

取扱説明書 活用ガイド

デジタルカメラ

品番 DC-G99M2



LUMIX

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(「取扱説明書<準備編>」)を必ずお読みください。
- パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします。詳しくは、[302](#) ページをご覧ください。

本機の性能向上、機能追加やセキュリティ強化のため、ファームウェアアップデートを実施しました。

- 詳細については、「ファームウェアアップデート」のページをお読みください。

困ったときは？

メッセージ表示 P265

Q&A 故障かな？
と思ったら P267

知りたいことの
探し方 P2

目次 P4

機能別目次 P9

各部の名前と働き P15

メニューガイド P164

さくいん P295



取扱説明書について

本書は、カメラのすべての機能や操作方法を詳しく説明している「取扱説明書 活用ガイド」です。

- 本書で説明する製品の外観と仕様は、実際とは異なる場合があります。
- 本書の画像やイラストは、機能や効果を説明するためのイメージです。

知りたいことの探し方

本書では、知りたいことを以下のページから探すことができます。ページ番号をクリックすると、該当ページへ移動して、知りたい情報を素早く見つけ出せます。

目次から探す

P4 ~

[目次] をクリックしても、移動できます。

機能の名前から探す

P9 ~

ボタンやダイヤルから探す

P15 ~

画面やアイコンから探す

P260 ~

メッセージから探す

P265 ~

メニュー名から探す

P164 ~

[メニュー] をクリックしても、移動できます。

Q&A から探す

P267 ~

キーワードから探す

P295 ~

[検索] をクリックしても、移動できます。



1 クリックすると、「知りたいことの探し方」のページに移動します。




2 クリックすると、直前に表示していたページに戻ります。

本書の見方

使用できるモード：      

説明している機能がどの撮影モードで使用できるかを表しています。


- 黒のアイコン：使用できるモード
- グレーのアイコン：使用できないモード


 は登録した撮影モードによって使用できる機能が変わります。



■ 本文中の記号について

MENU： [MENU/SET] ボタンを押してメニューの設定を示しています。

： 上手に使うためのヒントや撮影のポイントに記載しています。

： 特定の機能が使用できなくなる条件に記載しています。

(P**): 参照するページを示しています。クリックすると、そのページに移動します。

- 本文中やさくいんのページ番号をクリックすると、該当ページへ移動します。

メニュー設定の手順を次のように説明しています。
例) 撮影メニューで、[クオリティ]を[.]に設定する

MENU ボタン →  [撮影] → [クオリティ] → [.]

- 本書では交換レンズ(H-FSA14140)を用いて説明しています。

目次

取扱説明書について	2
知りたいことの探し方	2
本書の見方	3
機能別目次	9

1. はじめに

ご使用前に	11
同梱品	13
各部の名前と働き	15
使用できるレンズ	18

2. 準備と基本操作

ショルダーストラップの取り付け	19
バッテリーの充電	20
バッテリーの挿入	20
カメラにバッテリーを入れて充電する	21
カード(別売)の挿入	25
使用できるメモリーカード	27
カードのフォーマット(初期化)	27
レンズの取り付け	28
モニター位置の変更	31
時計の設定(初めて電源を入れるとき)	32
基本操作	34
カメラの構え方	34
ファインダー撮影について	35
シャッターボタン(写真の撮影)	36
動画ボタン(動画の撮影)	36
モードダイヤル(撮影モードの選択)	37
前ダイヤル/後ダイヤル	37
コントロールダイヤル	39
カーソルボタン/[MENU/SET]ボタン	40
[DISP.]ボタン(情報表示の切り換え)	40
タッチパネル(タッチ操作)	43
タッチ機能を使って撮る	44
メニューの設定方法	46
クイックメニュー	48
クイックメニューをお好みの項目に変更する	49
Fnボタン	50
文字の入力	53

3. 撮影モード

かんたん撮影(インテリジェントオートモード)	54
インテリジェントオートメニュー	56
色合い・ボケ具合・明るさを変えて撮る	57
プログラムAEモード	58
絞り値/シャッタースピードを決めて撮る	59
絞り優先AEモード	59
シャッター優先AEモード	60
マニュアル露出モード	60
バルブ撮影	61
ライブビューコンポジット撮影	62
プレビューモード	64
ワンプッシュAE	65
カスタムモード	66
カスタムセットへの登録	66
カスタムセットを使う	66
シーンガイドモード	67
クリエイティブコントロールモード	70
画像効果の種類	71

4. ピント・明るさ(露出)・色合いの設定

AFを使う	75
フォーカスモードの選択(AFS, AFF, AFC)	76
AF追従感度(写真)	77
AFモードの選択	78
AFエリアの移動操作	82
タッチパッドを使ったAFエリアの移動操作	85
タッチした位置にピントや明るさを合わせる	86
MFで撮る	87
ピントや露出の固定(AF/AEロック)	90
露出補正	91
ISO感度の設定	92
ホワイトバランス(WB)の設定	94
ホワイトバランスの調整	96

5. 4Kフォト・ドライブの設定

ドライブモードの選択	97
連写する	98
4Kフォト撮影	100
4Kフォトについてのお知らせ	102
4K連写ファイルから写真を選ぶ	105
写真を選ぶときの操作	106
フォーカスセレクト撮影	109
ピント位置を選んで写真を保存する	111
フォーカス合成	112
インターバル撮影/コマ撮りアニメ撮影	114
インターバル撮影	114

コマ撮りアニメ撮影	116
インターバル/コマ撮りアニメの動画	117
セルフタイマー撮影	118
ブラケット撮影	119
露出ブラケット	120
絞りブラケット	121
フォーカスブラケット	121
ホワイトバランスブラケット	122

6. 手ブレ補正・ズーム・フラッシュ

手ブレ補正	123
手ブレ補正の設定	124
レンズの焦点距離を設定する	125
ズームを使って撮る	127
光学ズーム	127
望遠効果を上げる	127
タッチ操作でズームを使う(タッチズーム)	131
フラッシュを使う	132
フラッシュ機能の設定	134
発光モード、マニュアル発光量設定	134
フラッシュモード	134
フラッシュシンクロ	136
フラッシュ発光量調整	137
露出補正連動	137
ワイヤレスフラッシュ撮影	138
ワイヤレスフラッシュ撮影の設定	140

7. 動画撮影

動画を撮る	141
画質設定	143
AF連続動作	144
AFカスタム設定(動画)	144
Log 撮影する(V-Log L)	145
動画撮影中に写真を撮る	146
スナップムービー	147
録音レベルの表示/設定	149
クリエイティブ動画モード	150
4Kライブクロップ	151
スロー&クイックモード	154
スロー&クイックメニュー	156

8. 画像の再生・編集

写真の再生	157
動画の再生	158
写真の切り出し	159
表示方法の切り換え	160
拡大表示	160
サムネイル表示	160
カレンダー表示	161
グループ画像	162
画像の消去	163

9. メニューガイド

撮影モードの専用メニュー	164
撮影メニュー	165
動画メニュー	180
カスタムメニュー	183
セットアップメニュー	199
マイメニュー	208
再生メニュー	209

10. Wi-Fi/Bluetooth

Wi-Fi®/Bluetooth® 機能について	224
スマートフォンと接続する	225
[LUMIX Sync]のインストール	225
スマートフォンとの接続 (Bluetooth接続)	226
スマートフォンとの接続 (Wi-Fi接続)	229
スマートフォンでカメラを操作する	231
リモート撮影	232
シャッターリモコン	233
画像取り込み	235
自動画像転送	236
位置情報記録	237
リモート起動	238
自動時刻合わせ	238
スマートフォンに画像を送る	239
カメラ内の画像を簡単にスマートフォンに送る	241
Wi-Fi接続	243
以前と同じ設定でWi-Fi接続する	243
[Wi-Fi]を登録したFnボタン	244
送信設定	245
画像の送信設定	245
Wi-Fi設定メニュー	246

11. 他機器との接続

接続する	247
テレビで見る.....	248
カメラの映像をモニターしながら撮る	249
ピエラリンク(HDMI)を使う	250
パソコンに画像を取り込む	251
パソコンに画像をコピーする	251
ソフトウェアのインストール.....	253
レコーダーにダビングする	254

12. 資料

別売品のご紹介.....	255
別売品を使う.....	256
モニター/ファインダーの表示.....	260
メッセージ表示.....	265
Q&A 故障かな?と思ったら.....	267
使用上のお願い.....	275
無線LAN/Bluetooth 使用上のお願い	281
バッテリーの撮影可能枚数、撮影可能時間	282
カードの写真撮影枚数、動画記録時間	283
各撮影モードで設定できる機能一覧.....	284
仕様	287
商標、ライセンス.....	293
さくいん	295
保証とアフターサービス(よくお読みください)	300

「取扱説明書 活用ガイド」は、下記サポートサイトでもご覧いただけます。
<https://panasonic.jp/support/dsc/index.html>

機能別目次



撮影

撮影

撮影モード	P37
プレビュー	P64
バルブ撮影	P61
ライブビューコンポジット撮影	P62
インターバル撮影	P114
コマ撮りアニメ撮影	P116
ブラケット撮影	P119
サイレントモード	P175
多重露出	P178

4Kフォト

4Kフォト撮影	P100
フォーカスセレクト撮影	P109

ピント(AF/MF)

AF	P75
フォーカスモード	P76
AF追従感度(写真)	P77
AFモード	P78
AFエリアの位置移動	P82
MF	P87
AF/AEロック	P90

ドライブ

ドライブモード	P97
連写	P98
セルフタイマー	P118

画質・色合い

ホワイトバランス	P94
記録画素数	P166
クオリティ	P166
フォトスタイル	P167
フィルター設定	P169
色空間	P170
ハイライトシャドウ	P171
iDレンジコントロール	P172
超解像	P173
長秒ノイズ除去	P174
シェーディング補正	P174
回折補正	P175
HDR	P177

露出

タッチAE	P45
ワンブッシュAE	P65
AF/AEロック	P90
露出補正	P91
ISO感度	P92
露出ブラケット	P120
測光モード	P171

手ブレ補正

Dual I.S.	P123
5軸ハイブリッド手ブレ補正	P123

フラッシュ

フラッシュモード	P134
フラッシュシンクロ	P136
フラッシュ光量調整	P137
ワイヤレスフラッシュ設定	P138



動画

動画

画質設定	P143
Log撮影(V-Log L)	P145
動画撮影中の写真撮影	P146
スナップムービー	P147
クリエイティブ動画モード	P150
4Kライブクロップ	P151
スロー&クイックモード	P154

モニタリング

撮影時HDMI出力	P249
音声モニタリング	P181

画面設定

録音レベル表示	P149
モノクロライブビュー	P189
センターマーカー表示	P191
ゼブラパターン表示	P192

音声

録音レベル設定	P149
録音レベルリミッター	P149
風音低減	P258
風音キャンセラー	P181
レンズ動作音低減	P181



セットアップ/カスタム

基本設定

フォーマット	P27
時計設定	P32
視度調整	P35
クイックメニュー	P48
電子音	P201
エコモード	P202
リセット (初期化)	P206
センサークリーニング	P207

カスタマイズ

Fnボタン	P50
カスタムモード	P66
カスタムメニュー	P183



再生

再生

写真の再生	P157
動画の再生	P158
再生ズーム	P160
サムネイル表示	P160
消去	P163
オートレビュー	P189
スライドショー	P210
画像回転/縦位置自動回転	P221、222

編集

4Kフォト一括保存	P105
フォーカスセレクト	P109
フォーカス合成	P112
タイトル入力	P212
RAW現像	P213
比較明合成	P215
軌跡合成	P216
クリアレタッチ	P217
文字焼き込み	P218
リサイズ	P219
トリミング	P220

画像設定

プロテクト	P211
レーティング	P211



Wi-Fi/Bluetooth

Wi-Fi/Bluetooth

Bluetooth 接続	P226
Wi-Fi 接続	P229
Wi-Fi 設定	P246
スマートフォンアプリ 「LUMIX Sync」	P225

リモート撮影	P232
位置情報	P237
画像送信 (スマートフォン)	P235、239



他機器接続

パソコン

SILKYPIX	P253
パソコンに画像を取り込む	P251

レコーダー

ダビング	P254
------------	------

テレビ

テレビで見る	P248
ピエラリンク	P250

1.

はじめに

ご使用の前に

■ カメラ/レンズのファームウェアについて

本機の性能向上や機能追加のため、ファームウェアアップデートを提供する場合があります。より快適な撮影のために、カメラ/レンズのファームウェアを最新のバージョンにすることをお勧めします。

- ファームウェアの最新情報やダウンロード、アップデート方法については、下記サポートサイトをご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/dsc/download/index.html>

- カメラ/レンズのファームウェアのバージョンは、カメラにレンズを取り付けて、セットアップメニューの[バージョン表示]でご確認ください。

■ カメラの取り扱いについて

カメラに、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。故障や破損の原因になります。

- 落としたり、ぶつけたりしないでください。
- レンズ部やモニターを強く押さえつけないでください。

モニターに砂やほこり、液体が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

- 付着したままモニターを収納すると、故障の原因になります。
- タッチ操作が誤認識される場合があります。

カメラのマウント内に手を入れないでください。

センサー部は精密機器のため、故障や破損の原因になります。

電源OFF時にカメラを振ると、センサーが動いたり、「カタカタ」音がしたりします。

ボディ内手ブレ補正機構によるもので、故障ではありません。

■ 防じん防滴について

本機の防じん防滴構造は、ほこりや水滴の侵入を完全に防ぐものではありません。

防じん防滴性能を満足させるため、以下の注意事項をお守りください。

- 防じん防滴対応の当社製レンズを取り付けてください。
- カメラの扉部、端子キャップ、接点カバー、フラッシュなどは、しっかりと閉じてください。
- レンズやキャップを取り外したとき、扉を開けたときは、砂やほこり、水滴が内部に侵入しないようにしてください。
- 液体が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

■ 露付き(レンズやファインダー、モニターが曇るとき)

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやファインダー、モニターの汚れ、かび、故障の発生原因になるためお気をつけください。
- 露付きが起こった場合は、電源を切り、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、自然に曇りが取れます。

■ 必ず事前に試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に記録されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

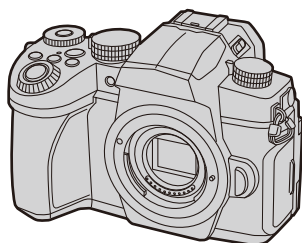
本機およびカードの不具合で記録されなかった場合、内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影、録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断で使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合があるためお気をつけください。

■ 「使用上のお願い」も、併せてお読みください(P275)

同梱品

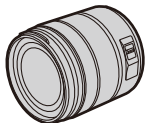


デジタルカメラボディ
(本書では本体と表記します)

記載の品番は2025年1月現在のものです。変更されることがあります。

DC-G99M2H(レンズキット商品)に同梱

- 交換レンズ(H-FSA14140)は、防じん防滴対応です。



交換レンズ
H-FSA14140
(本書ではレンズと表記します)



レンズフード
VYC1119



レンズキャップ※
DVZE1047Z



レンズリアキャップ※
1GE1Z136Z

※ お買い上げ時はレンズに装着されています。

 <p>バッテリーパック DMW-BLC12 (本書ではバッテリーと表記します) ● 充電してからお使いください。</p>	 <p>ホットシューカバー※ SKF0106K</p>
 <p>ショルダーストラップ DVPW1002Z</p>	 <p>バッテリーグリップ 接点カバー※ SKF0145K</p>
 <p>ボディキャップ※ 1HE1MC5229Z</p>	

※ お買い上げ時は本体に装着されています。

- メモリーカードは別売です。
- 別売品については本書の 255 ページをご確認ください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

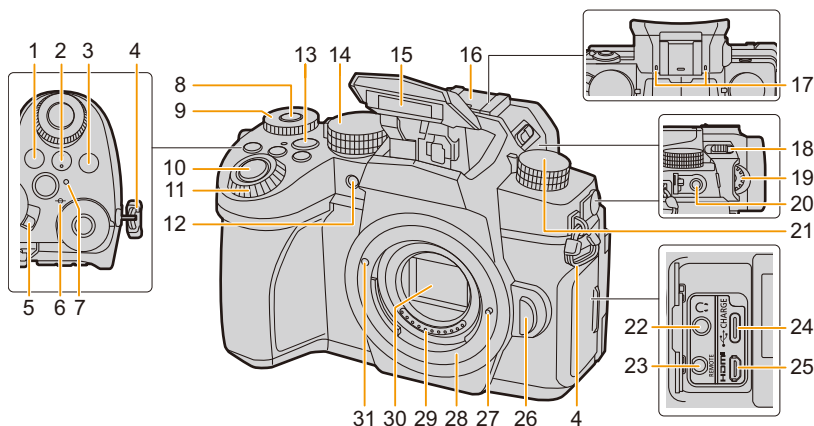
付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイトでお買い求めいただけるものもあります。
詳しくはパナソニックの家電製品直販サイトをご覧ください。

パナソニックグループのショッピングサイト
<https://ec-plus.panasonic.jp/>



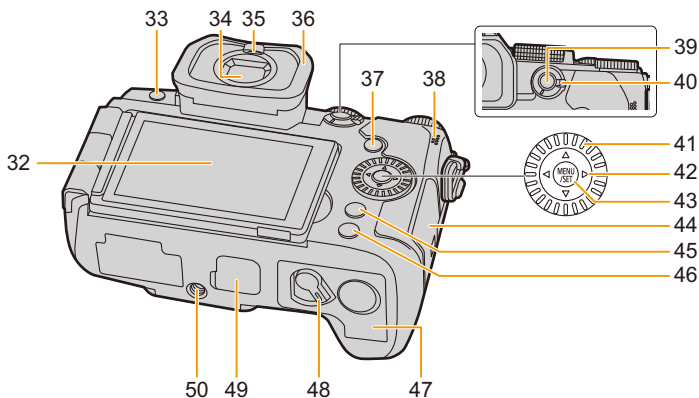
各部の名前と働き

■ デジタルカメラボディ



- | | |
|----|--------------------------------------|
| 1 | [WB](ホワイトバランス)ボタン(P94) |
| 2 | [ISO](ISO感度)ボタン(P92) |
| 3 | [](露出補正)ボタン(P91) |
| 4 | ショルダーストラップ取り付け部(P19) |
| 5 | 電源スイッチ(P32) |
| 6 | [-e-](撮影距離基準マーク)(P88) |
| 7 | 充電ランプ(P22)/
WIRELESS 接続ランプ(P224) |
| 8 | ダイヤル動作切換ボタン(P38)/
Fnボタン(Fn1)(P50) |
| 9 | 後ダイヤル(P37) |
| 10 | シャッターボタン(P36) |
| 11 | 前ダイヤル(P37) |
| 12 | セルフタイマーランプ(P118)/
AF補助光ランプ(P185) |
| 13 | 動画ボタン(P141) |
| 14 | モードダイヤル(P37) |
| 15 | フラッシュ発光部(P132) |
| 16 | ホットシュー(ホットシューカバー)(P133) |

- | | |
|----|--|
| 17 | ステレオマイク(P149)
●マイクを指で塞がないようお気をつけ
ください。音が記録されにくくなります。 |
| 18 | [](フラッシュオープンレバー)(P132) |
| 19 | 視度調整ダイヤル(P35) |
| 20 | [MIC] 端子(P257) |
| 21 | ドライブモードダイヤル(P97) |
| 22 | ヘッドホン端子(P181) |
| 23 | [REMOTE] 端子(P257) |
| 24 | [USB/CHARGE] 端子
(P22、251、254) |
| 25 | [HDMI] 端子(P248) |
| 26 | レンズ取り外しボタン(P29) |
| 27 | レンズロックピン |
| 28 | マウント |
| 29 | 接点 |
| 30 | センサー |
| 31 | レンズ取り付けマーク(P28) |

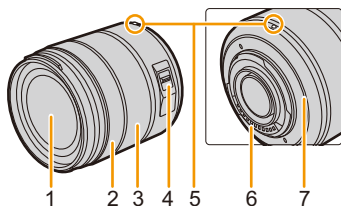


32	タッチパネル(P43)/モニター(P260)	44	カード扉(P25)
33	[LVF]ボタン(P35)/[Fn3]ボタン(P50)		[Q.MENU]ボタン(P48)/ [Fn2]ボタン(P50)/
34	ファインダー(P35、276)	45	[] (消去)ボタン(P163)/ [] (戻る)ボタン(P47)
35	アイセンサー(P35)	46	[DISP.]ボタン(P40)
36	アイカンプ	47	バッテリー扉(P20)
37	[] (再生)ボタン(P157)	48	開閉レバー(P20)
38	スピーカー(P201)	49	バッテリーグリップ接点カバー(P256)
39	[AF/AE LOCK]ボタン(P90)		三脚取り付け部(P279)
40	フォーカスモードレバー(P75、76、87)	50	●ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、しっかり固定できない場合や、本機を傷つける場合があります。
41	コントロールダイヤル(P39)		
	カーソルボタン(P40)/		
	▲:Fnボタン(Fn9)(P50)		
42	▼:Fnボタン(Fn11)(P50)/		
	スマートフォン転送ボタン		
	◀:[] (AFモード)ボタン(P75)		
	▶:Fnボタン(Fn10)(P50)		
43	[MENU/SET]ボタン(P40、46)		

- Fnボタン[Fn4]～[Fn8]は、タッチアイコンです。撮影画面の[Fn]タブをタッチすると表示されます。

■ 同梱レンズ

H-FSA14140



- | | |
|---|-------------------|
| 1 | レンズ面 |
| 2 | フォーカスリング (P87) |
| 3 | ズームリング (P127) |
| 4 | O.I.S.スイッチ (P123) |
| 5 | レンズ取り付けマーク (P28) |
| 6 | 接点 |
| 7 | レンズマウントラバー (P277) |

使用できるレンズ

本機は、マイクロフォーサーズ™システムのレンズマウント規格に準拠した交換レンズ(マイクロフォーサーズマウント)を使うことができます。



■ レンズと機能について

お使いのレンズによっては、フォーカス、手ブレ補正、ズーム操作など一部の機能が使用できない、または動作が異なる場合があります。

- 本機に対応するレンズの情報は、カタログ/ホームページをご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/dsc/connect/index.html>

- マイクロフォーサーズのレンズに記載されている焦点距離は、35 mmフィルムカメラで換算すると2倍に相当します。(50 mmレンズを使用した場合は、35 mm換算で100 mmレンズ相当になります)

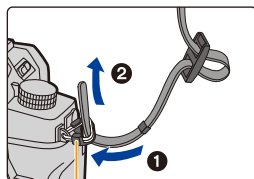
2.

準備と基本操作

ショルダーストラップの取り付け

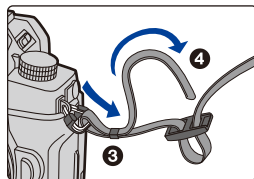
落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてご使用いただくことをお勧めします。

- 1 ショルダーストラップを本体のショルダーストラップ取り付け部に通す

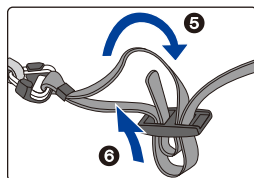


ショルダーストラップ
取り付け部

- 2 矢印に従って、ショルダーストラップの端をリングに通したあと、留め具に通す

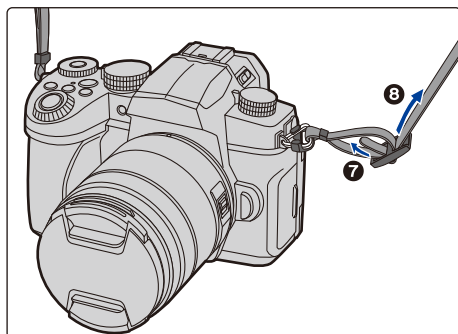


- 3 ショルダーストラップの端を留め具のもう一方の穴に通す



- 4 ショルダーストラップを引いて、抜けないことを確認する

- 手順1~4の操作を行って、もう片方のショルダーストラップも取り付けてください。



バッテリーの充電

バッテリーはカメラ本体を使って充電できます。カメラの電源をオンにして、電源コンセントから電力を供給（給電）することもできます。

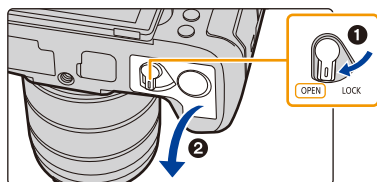
- バッテリーチャージャー（別売：DMW-BTC12）でも充電できます。
- 本機で使うことができるバッテリーは DMW-BLC12 です。（2025 年 1 月現在）
- お買い上げ時、バッテリーは充電されていないため、充電してからお使いください。

バッテリーの挿入

● 電源スイッチが [OFF] になっていることを確認してください。

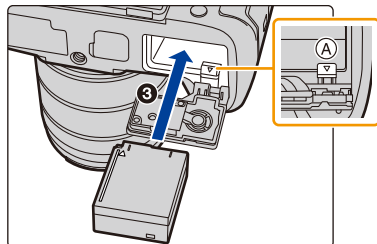
1 バッテリー扉を開く

- 開閉レバーを [OPEN] 側にスライドします。



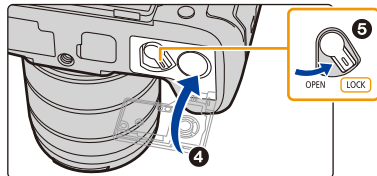
2 バッテリーを入れる

- バッテリーの端子部を奥にして、ロック音がするまでしっかりと押し込んでください。
- バッテリーに (A) のレバーがかかっていることを確認してください。



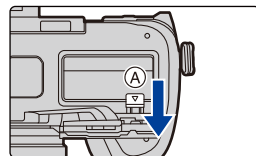
3 バッテリー扉を閉じる

- バッテリー扉を閉じて、開閉レバーを [LOCK] 側にスライドします。



■ バッテリーを取り出す

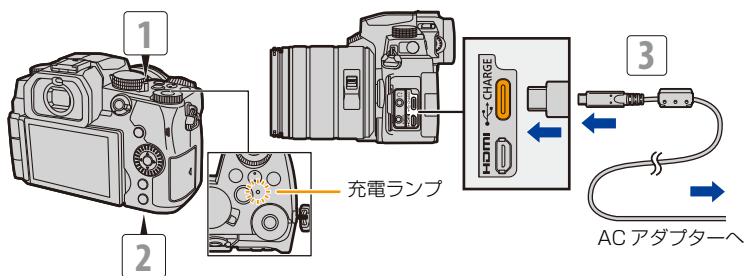
①のレバーを矢印の方向に押し、
バッテリーを取り出す



- バッテリー扉の内側(ゴムパッキン)に異物が付着していないことを確認してください。
- 使用後は、バッテリーを取り出してください。(長期間放置すると、バッテリーは消耗します)
- 使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
- 電源を切り、モニターの「LUMIX」表示が完全に消えてから、バッテリーを取り出してください。(本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影データが壊れたりするおそれがあります)
- バッテリーを取り出すときに、バッテリーが飛び出しますので、お気をつけください。

カメラにバッテリーを入れて充電する

- 充電には当社製の AC アダプター(別売:DMW-AC11)の使用を推奨します。
- バッテリーチャージャー(別売:DMW-BTC12)でも充電できます。
- 本機は市販の AC アダプターや USB 接続ケーブルで充電できます。
 - ※ 市販品の AC アダプターの推奨仕様
 - DC 5 V / 3 A (15 W)出力対応
 - USB Type-C 端子
 - ※ 充電には 15 W 出力以上の USB 接続ケーブルをお使いください。
- 充電には5 V / 500 mA以上のACアダプターも使用できます。ただし、推奨のACアダプターより充電時間が長くなる場合があります。
- 市販されているすべての機器との動作を保証するものではありません。
- バッテリーグリップ(別売)に挿入したバッテリーは充電できません。



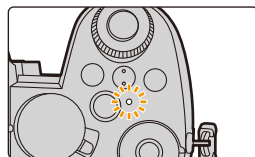
- 1 カメラの電源を切る
- 2 カメラにバッテリーを入れる
- 3 カメラの [USB/CHARGE] 端子と AC アダプターを USB 接続ケーブルでつなぐ
 - 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)
- 4 AC アダプターを電源コンセントに差し込む
 - 充電ランプが赤色点灯し、充電が始まります。

- 充電完了後は、電源との接続を解除してください。
- 電源スイッチを [OFF] にして電源を切った状態でも、電力を消費しています。長期間使用しないときは、節電のため、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- USB 機器 (パソコンなど) とカメラを USB 接続ケーブルでつないで充電することもできます。この場合、充電時間が長くなる場合があります。

■ 充電ランプの表示

赤色点灯: 充電中

消灯: 充電完了 (充電完了後は、電源との接続を解除してください)



● 点滅するときは

- 温度が極端に高い、または低いところで充電しているときの現象です。周囲の温度が 10℃ ~ 30℃ (バッテリーの温度も同様) のところで USB 接続ケーブルをつなぎ直し、再度充電をお試しください。
- USB 機器 (パソコンなど) の給電能力が低い場合は、充電できません。

充電時間	約 180 分
<ul style="list-style-type: none"> ● カメラ本体と別売の AC アダプター (DMW-AC11) を使用。 ● 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長期間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。 	

電力の供給(給電)


カメラにバッテリーを入れて充電しているときに電源をオンにすると、電力を供給(給電)しながら撮影できます。

- 給電には当社製の AC アダプター(別売:DMW-AC11)の使用を推奨します。
- 本機は市販の AC アダプターや USB 接続ケーブルで給電できます。

※ 市販品の AC アダプターの推奨仕様

- DC 5 V / 3 A (15 W)出力対応
- USB Type-C 端子

※ 給電には 15 W 出力以上の USB 接続ケーブルをお使いください。


- 市販されているすべての機器との動作を保証するものではありません。
- 給電時は、画面に [] が表示されます。

● 撮影中など使用状況によって、バッテリーを消耗する場合があります。バッテリー残量がなくなると、電源が切れます。

● 給電中はバッテリーの充電はできません。

● ACアダプターを抜き差しする場合は、本機の電源を切ってください。

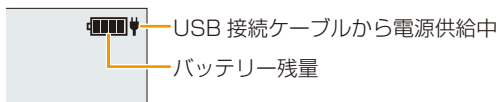
● USB機器(パソコンなど)の給電能力によっては、給電できない場合があります。

● 周囲の温度が高い場合は、本機の温度が上昇します。[] が表示されたあと、一時的に給電できなくなることがあります。本機の温度が下がるまでお待ちください。

充電 / 給電についてのお知らせ

■ 電源に関する表示

モニター表示



バッテリー残量表示

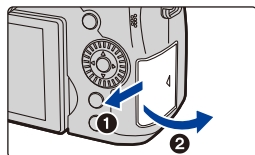
	75 % 以上
	50 % ~ 74 %
	25 % ~ 49 %
	24 % 以下
赤色点滅	残量不足 ● バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。

- 表示される残量は目安です。周囲の環境や使用条件によって異なります。
- パナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めします。純正品以外のバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。純正品以外のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、弊社では、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 電源プラグの接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。
- USB 延長ケーブルや、USB 変換アダプターは使用しないでください。
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はお勧めできません。(バッテリーが膨らむ特性があります)
- 停電時など電源コンセントに異常が発生した場合は、充電が正常に終了しないことがあります。電源プラグを接続し直してください。
- キーボードやプリンターのUSB端子やUSBハブには接続しないでください。
- 接続したパソコンが休止状態になると、充電/給電が中止されることがあります。
- 充電が完了してもバッテリー残量表示が [] にならない場合は、バッテリーが劣化している可能性があります。該当バッテリーのご使用は控えください。

カード(別売)の挿入

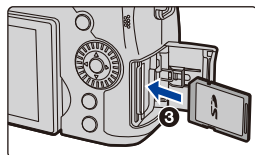
- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認してください。

1 カード扉をスライドして開く

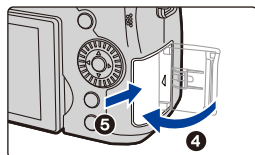


2 カードを「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れる

- カードの向きを確認してください。
- カードの接続端子部には触れないでください。

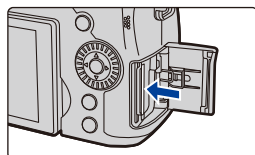


3 カード扉を閉じて、矢印の方向に「カチッ」と音がするまで確実に扉をスライドする



■ カードの取り出し

「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く



- 電源を切り、モニターの「LUMIX」表示が完全に消えてから、カードを取り出してください。
(本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影データが壊れたりするおそれがあります)

■ カードアクセス中の表示

アクセス表示

カードに画像を記録しているときは、アクセス表示が赤く表示されます。



- アクセス中(画像の書き込みや読み出し、消去、フォーマット中など)は、以下の操作をしないでください。カードや撮影データが壊れることや、本機が正常に動作しなくなることがあります。
 - 電源を切る
 - バッテリーやカード、電源プラグを抜く
 - 本機に振動、衝撃や静電気を与える
- 振動、衝撃や静電気により動作が停止した場合は、再度操作してください。

使用できるメモリーカード

本機では、SD規格に準拠した以下のカードを使用できます。(本書では、カードと表記します)

SDメモリーカード/SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカード(最大512GB)	●本機は UHS-I/UHS-II UHS Speed Class 3 規格のSDHC/SDXCメモリーカードに対応しています。
--	--

■ 動画撮影時や4Kフォト撮影時のスピードクラスについて

以下のSDスピードクラスやUHSスピードクラスに対応したカードをお使いください。

- SDスピードクラスやUHSスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

画質設定	スピードクラス	表示の例
FHD/HD	Class 4 以上	CLASS 4 4
4K	UHS Speed Class 3	3
4Kフォト撮影/ フォーカスセレクト撮影	UHS Speed Class 3	3

- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去、フォーマット、撮影日時順での表示などができなくなる場合があります。
- カードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などにより壊れたり消失したりすることがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをお勧めします。



カードのフォーマット(初期化)

本機で撮影する前に、カードをフォーマットします。フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、必要なデータを保存してからフォーマットしてください。

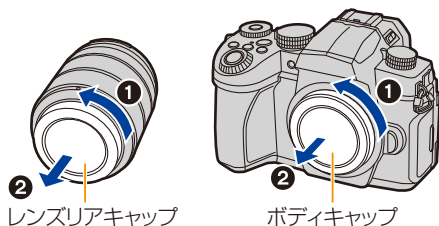
MENU ボタン → [セットアップ] → [フォーマット]

- フォーマット中は電源を切ったり、他の操作をしたりしないでください。
- フォーマット中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。

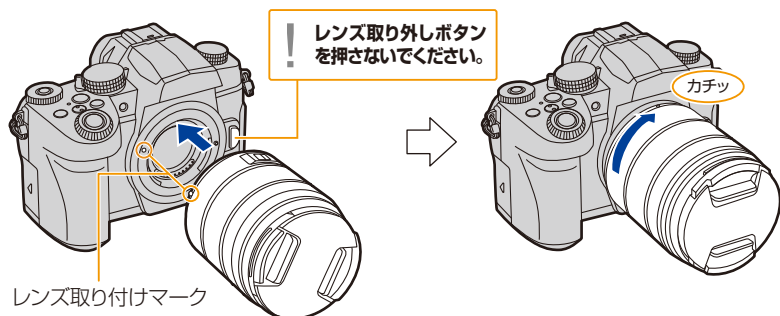
レンズの取り付け

- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認してください。
- レンズの交換は、ごみやほこりの少ない場所で行ってください。ごみなどが付着した場合は：(P276)

1 レンズリアキャップとボディキャップを矢印の方向に回して外す



2 レンズ取り付けマークを合わせて、レンズを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回す

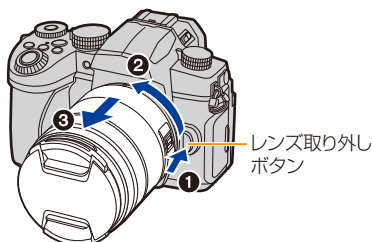


- レンズを本体に対して傾いた状態で付けようとすると、本体のレンズ取り付け部を傷つけるおそれがありますのでお気をつけください。

■ レンズの取り外し

- レンズキャップを取り付けてください。

レンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して外す



- 本体からレンズを取り外すと、ほこりなどが付着、侵入するおそれがあります。ボディキャップとレンズリアキャップを必ず付けてください。

■ レンズフードの取り付け

日差しが強い逆光での撮影時、レンズ内部で光の乱反射が生じて、光が写り込んだり、コントラストが低下したりすることを軽減します。余分な光を遮り、より美しく撮ることができます。

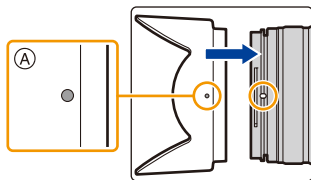
交換レンズ(H-FSA14140)に付属しているレンズフード(花型)を取り付ける場合

レンズフードを図のように指を添えて持ってください。

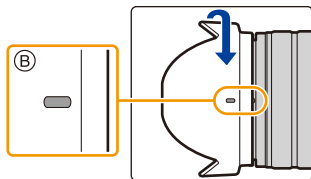
- レンズフードをゆがませるような持ち方はしないでください。



- 1 レンズフードの指標①(●)とレンズ先端の指標を合わせる

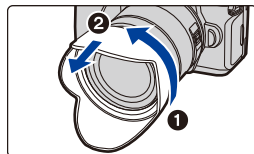


- 2 レンズフードを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回し、レンズフードの指標②(■)とレンズ先端の指標を合わせる

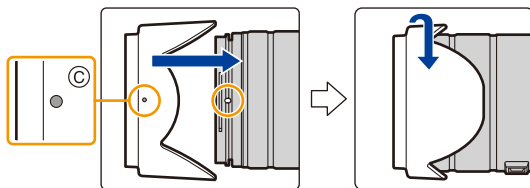


■ レンズフードの取り外し

レンズフードを矢印の方向に回して取り外す

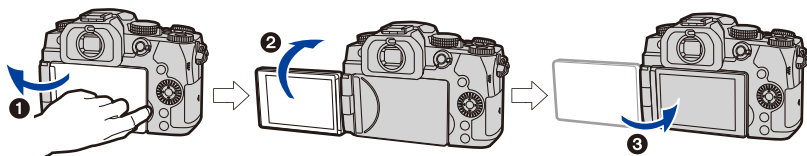
**💡 レンズフードを一時的に逆向きに付けて運ぶ**

例: H-FSA14140 の場合

① レンズフードを取り外す**②** レンズフードの指標 ©(●) とレンズ先端の指標を合わせる**③** レンズフードを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回して付ける

モニター位置の変更

お買い上げ時、モニターは収納状態になっています。
下図のようにしてモニター面を表にします。



① モニターを開く(最大180°まで開きます)

② レンズ方向に180°回転する

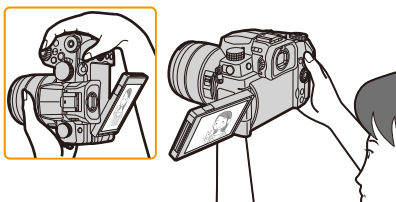
③ 元の位置へ閉じる

● モニターを回転するときは、無理な力を加えないようご注意ください。故障の原因になります。

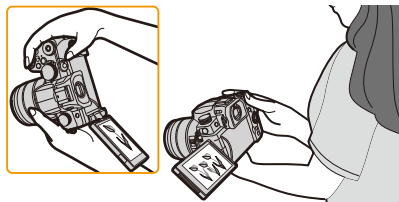
■ フリーアングル撮影

レンズ側に180°、手前に90°回転できます。

ハイアングル撮影



ローアングル撮影



● 調整できる角度は目安です。

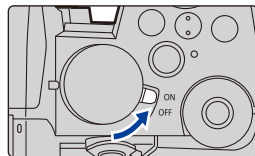
● 無理な力を加えないでください。傷や故障の原因になります。

● カメラを使用しないときは、モニター面を内側にして閉じてください。

時計の設定(初めて電源を入れるとき)

- お買い上げ時は、時計が設定されていません。

- 1 電源スイッチを[ON]にする
- 2 [時計を設定してください]と表示されたら、[MENU/SET]ボタンを押す
- 3 ◀/▶ ボタンで合わせたい項目(年・月・日・時・分)を選び、▲/▼ボタンで設定する



🏠 : ホームの時間
✈️ : 旅行先の時間



表示順・時刻表示形式を設定する場合

- [表示形式]を選び、[MENU/SET]ボタンを押すと、表示順・時刻表示形式の設定画面が表示されます。



表示順 時刻表示形式

- 4 [MENU/SET]ボタンを押す
- 5 [時計を設定しました]と表示されたら、[MENU/SET]ボタンを押す

6 [ホームエリアを設定してください]と表示されたら、
[MENU/SET] ボタンを押す

7 ◀/▶ ボタンでお住まいの地域を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す

- サマータイム [▲☀️] (夏時間) を採用している場合は、▲ を押してください。(時計が 1 時間進みます)元に戻すには、もう一度 ▲ を押してください。

都市・地域名 現在時刻



GMT(グリニッジ標準時)との時差

■ 時計を合わせ直す

MENU ボタン → ⌂ [セットアップ] → [時計設定]

- 32 ページの手順 3.4 の操作で変更できます。

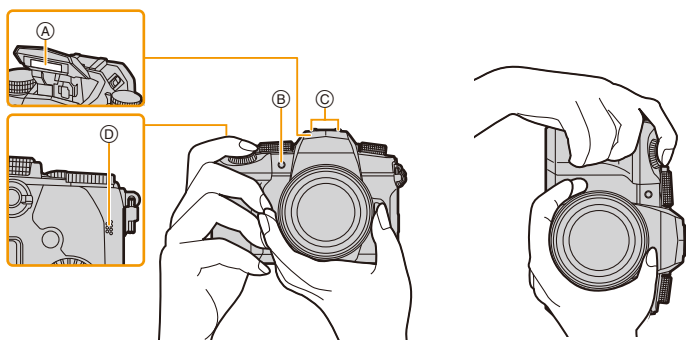
- 時計の設定をしないでカメラを使うと、2025 年 1 月 1 日 0:00 に設定されます。
- バッテリーなしでも約 3 か月間、時計用内蔵電池を使って時計設定を記憶できます。(内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーを本機に約 24 時間入れたままにしてください)

基本操作

カメラの構え方

両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

- フラッシュ発光部(A)やAF補助ランプ(B)、マイク(C)、スピーカー(D)を指などで塞がないでください。
- 足場が安定しているか確認し、周囲の人や物などにぶつからないよう気をつけて撮影してください。



■ 構えた向きを検出する(縦位置検出機能)

本機を縦に構えて撮影したとき、構えた向きを検出します。再生時に自動で縦向きに表示できます。([縦位置自動回転]を[ON]に設定した場合)



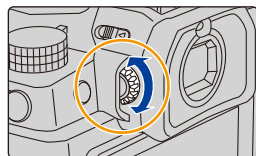
- 本機を縦に構えた状態で、本機を大きく上や下に向けて撮影すると、縦位置検出機能が正しく働かない場合があります。

●動画撮影時にカメラの縦位置情報を記録する/しないを設定できます。(P195)

ファインダー撮影について

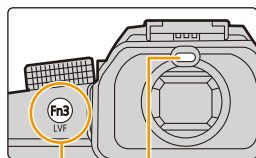
ファインダーの視度の調整

ファインダー内に表示される文字がはっきり見えるように、視度調整ダイヤルを回してください。



モニターとファインダーの切り換え

[LVF] ボタンを押す

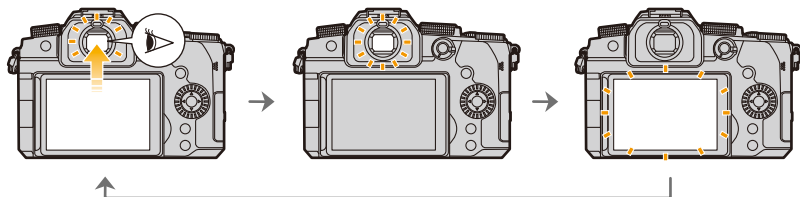


[LVF]ボタン アイセンサー

ファインダー/モニター
自動切り換え

ファインダー表示

モニター表示



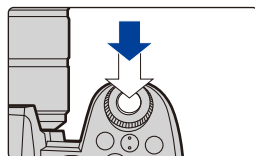
■ ファインダー/モニター自動切り換え

ファインダーに目や物を近づけると、アイセンサーにより自動的にファインダー表示に切り換わります。

- バッテリーの消耗を抑えるには、[エコモード](P202)の[省電力ファインダー撮影]を設定してください。
- 眼鏡の形状やカメラの構え方、接眼部付近への強い光により、アイセンサーが正しく動かない場合があります。
- 動画再生中およびスライドショー中は、ファインダー/モニター自動切り換えが動きません。
- モニターの角度によっては、アイセンサーが動きません。
- カスタムメニュー(フォーカス/リリース)の[アイセンサーAF]を[ON]に設定した場合、ファインダーをのぞいたときにピントを合わせます。[アイセンサーAF]でピントが合っても電子音は鳴りません。

シャッターボタン(写真の撮影)

シャッターボタンは2段階になっています。
シャッターボタンを半押し(軽く押す)してピントを
合わせる

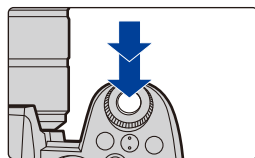


フォーカス表示

- 絞り値とシャッタースピードが表示されます。(フラッシュ発光時を除き、適正な露出が得られないときは、赤くなり点滅します)
- ピントが合うとフォーカス表示が点灯します。(ピントが合わないときは点滅します)

絞り値
シャッタースピード

シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)して撮影する

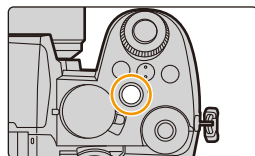


- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないように気をつけてください。
- [フォーカス/リリース優先]を[フォーカス]に設定した場合、ピントが合うまで撮影できません。
- メニュー操作中や画像の再生中にシャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影できる状態になります。

動画ボタン(動画の撮影)

動画ボタンを押して撮影を開始する

- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。
もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する



モードダイヤル(撮影モードの選択)

モードダイヤルを回して、撮影モードを選択する

- モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。



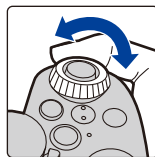
iA	インテリジェントオートモード(P54)
	インテリジェントオートプラスモード(P55)
P	プログラムAEモード(P58)
A	絞り優先AEモード(P59)
S	シャッター優先AEモード(P60)
M	マニュアル露出モード(P60)
M	クリエイティブ動画モード(P150)
S&Q	スロー&クイックモード(P154)
C	カスタムモード(P66)
SCN	シーンガイドモード(P67)
🎨	クリエイティブコントロールモード(P70)

前ダイヤル/後ダイヤル

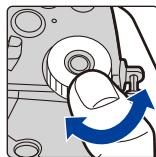
回す: 項目や数値を選択します。

- 本書では次のように説明しています。

- 前ダイヤルを左右に回すとき:
- 後ダイヤルを左右に回すとき:




前ダイヤル



後ダイヤル

P / A / S / Mモード時は、絞りやシャッタースピードなどを設定します。

モードダイヤル	 前ダイヤル	 後ダイヤル
P	プログラムシフト	プログラムシフト
A	絞り値	絞り値
S	シャッタースピード	シャッタースピード
M	絞り値	シャッタースピード

■ ISO感度設定画面でダイヤルに割り当てる機能を設定する

MENU ボタン → [カスタム] → [操作] → [ISO感度画面の操作] → [前/後ダイヤルの割当]

ISO / ISO	ISO感度 / ISO感度
ISO LIMIT / ISO	ISOオート上限設定 / ISO感度
OFF / ISO	OFF / ISO感度
ISO / ISO LIMIT	ISO感度 / ISOオート上限設定
ISO / OFF	ISO感度 / OFF

■ 露出補正画面で▲/▼ボタンおよびダイヤルに割り当てる機能を設定する

MENU ボタン → [カスタム] → [操作] → [露出補正画面の操作]

上 / 下ボタンの割当		露出ブラケット
	OFF	OFF
前 / 後ダイヤルの割当	/	露出補正 / 露出補正
	/	フラッシュ光量調整 / 露出補正
	OFF /	OFF / 露出補正
	/	露出補正 / フラッシュ光量調整
	/ OFF	露出補正 / OFF

前後のダイヤルの動作を一時的に変更する(ダイヤル動作切換)

1 Fnボタンに[ダイヤル動作切換]を設定する(P50)

- お買い上げ時は、Fnボタン(Fn1)に設定されています。

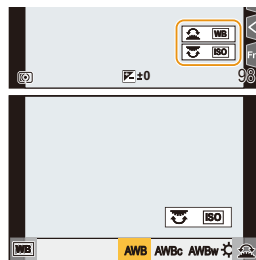
2 Fnボタンを押す

- 前後のダイヤルに割り当てた機能のガイドが表示されます。
- 何も操作をしない場合、数秒後にガイドの表示が消えます。

3 ガイドが表示されている間に、前後のダイヤルを回す

4 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- 以下の操作でも、同じ操作ができます。
 - シャッターボタンを半押しする
 - Fnボタンを押す




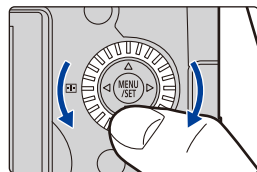
- カスタムメニュー(操作)の[ダイヤル設定]で以下の設定ができます。(P39)

- 前後のダイヤルの操作方法
- コントロールダイヤルの操作方法
- [ダイヤル動作切換]で、一時的に前後のダイヤルに割り当てる項目



コントロールダイヤル






















回す: 項目や数値を選択します。

- 本書では次のように説明しています。
 - コントロールダイヤルを左右に回すとき: 



■ ダイヤルの操作方法を設定する

MENU ボタン →  [カスタム] →  [操作] → [ダイヤル設定]

F/SSダイヤルの割当	<p>マニュアル露出モード時のダイヤルの割り当てる操作を設定します。</p> <p>[ F  SS]: 前ダイヤルに絞り値、後ダイヤルにシャッター速度の操作を割り当てます。</p> <p>[ SS  F]: 前ダイヤルにシャッター速度、後ダイヤルに絞り値の操作を割り当てます。</p>												
F/SSダイヤルの回転	<p>絞り値とシャッター速度を操作する際の、ダイヤルの回転方向を変更します。</p> <p>[], []</p>												
コントロールダイヤルの割当	<p>撮影画面でコントロールダイヤルに割り当てる機能を設定します。</p> <p>[] (ヘッドホン音量)、 [ / ] (露出補正/絞り)^{※1}、 [] (露出補正)、 [] (ISO感度)、 [] (フォーカス枠サイズ)^{※2}</p> <p>※1 露出補正の操作を割り当てます。 マニュアル露出モード時は、絞り値を調整します。</p> <p>※2 以下の操作を割り当てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - AFモードが []、 []、 []、 [] の場合: AFエリアの大きさの変更 - AFモードが []、またはフォーカスモードが MF の場合: アシスト画面の拡大率の変更 												
露出補正のダイヤル割当	<p>露出補正の操作を前ダイヤルまたは後ダイヤルに割り当てます。(マニュアル露出モード時を除く)</p> <p>[] (前ダイヤル)、 [] (後ダイヤル)、 [OFF]</p>												
ダイヤル動作切替設定	<p>Fnボタンの [ダイヤル動作切替] で、前後のダイヤルに一時的に割り当てる項目を設定します。</p> <p>[] (前ダイヤル動作)、 [] (後ダイヤル動作)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設定できる項目は、以下のとおりです。 <table border="0"> <tbody> <tr> <td>- [フォトスタイル]</td> <td>- [超解像]</td> </tr> <tr> <td>- [フィルター効果]</td> <td>- [フラッシュモード]</td> </tr> <tr> <td>- [画像横縦比]</td> <td>- [フラッシュ光量調整]</td> </tr> <tr> <td>- [4K フォト]</td> <td>- [ISO 感度]</td> </tr> <tr> <td>- [ハイライトシャドウ]</td> <td>- [ホワイトバランス]</td> </tr> <tr> <td>- [iD レンジコントロール]</td> <td>- [オートフォーカスモード]</td> </tr> </tbody> </table> ● [ハイライトシャドウ] では2つのダイヤルを使用します。 	- [フォトスタイル]	- [超解像]	- [フィルター効果]	- [フラッシュモード]	- [画像横縦比]	- [フラッシュ光量調整]	- [4K フォト]	- [ISO 感度]	- [ハイライトシャドウ]	- [ホワイトバランス]	- [iD レンジコントロール]	- [オートフォーカスモード]
- [フォトスタイル]	- [超解像]												
- [フィルター効果]	- [フラッシュモード]												
- [画像横縦比]	- [フラッシュ光量調整]												
- [4K フォト]	- [ISO 感度]												
- [ハイライトシャドウ]	- [ホワイトバランス]												
- [iD レンジコントロール]	- [オートフォーカスモード]												

カーソルボタン/[MENU/SET] ボタン

カーソルボタンを押す：

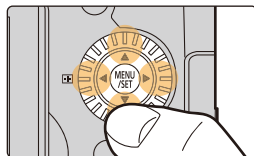
項目や数値を選択します。

- 本書ではカーソルボタンの上下左右を▲/▼/◀/▶で説明しています。

[MENU/SET] ボタンを押す：

設定内容を決定します。

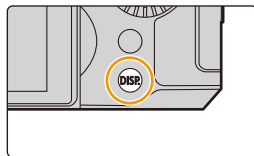
- 撮影時と再生時はメニューを表示します。



[DISP.] ボタン (情報表示の切り換え)

[DISP.] ボタンを押す

- 情報表示が切り換わります。



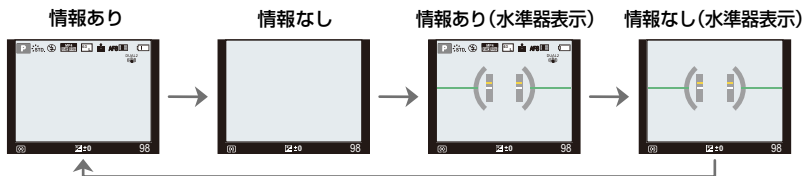
撮影時

ファインダー/モニターの表示方法を切り換えることができます。

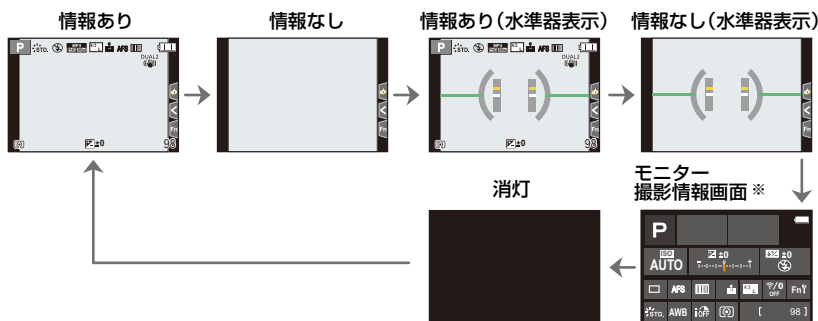
MENU ボタン → [カスタム] → [モニター/表示] → [LVF/モニター表示設定] → [LVF表示設定]、[モニター表示設定]

(ファインダースタイル)	適度な視野で像を表示し、画角全体を見渡せます。
(モニタースタイル)	画面いっぱい像を表示し、画面の細部まで確認できます。

- ファインダースタイル (ファインダー表示の場合)



- [] モニタースタイル(モニター表示の場合)

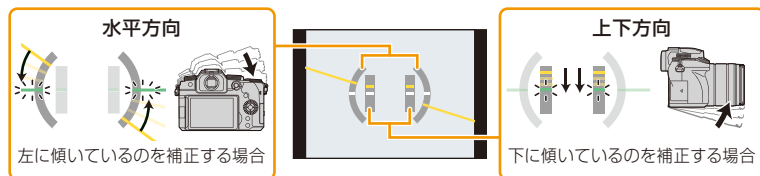


※ カスタムメニュー(モニター/表示)の[モニター撮影情報画面]を[ON]にした場合に表示されます。各項目をタッチすると、設定を直接変更できます。

- カスタムメニュー(操作)の[Fnボタン設定]で[LVF/モニター表示スタイル]をFnボタンに割り当てることができます。Fnボタンを押すごとに、現在表示しているモニターかファインダーの表示スタイル([]/[])をそれぞれ切り換えます。

■ 水準器表示について

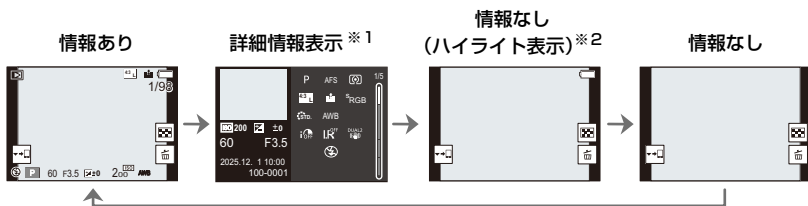
水準器を表示すると、カメラの傾きを補正したい場合などに便利です。



- カメラの傾きがほぼない状態では、水準器が緑に変わります。

- 傾きが補正された状態でも、 $\pm 1^\circ$ 程度の誤差が生じることがあります。
- 本機を大きく上や下に向けて撮影すると、水準器表示が正しく表示できなかったり、縦位置検出機能が正しく働かなかったりする場合があります。

再生時



※1 ▲/▼ ボタンを押すと、以下の表示内容に切り換わります。

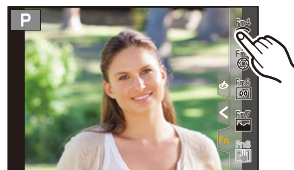
- 詳細情報表示
- ヒストグラム表示
- フォトスタイル、ハイライトシャドウ表示
- ホワイトバランス表示
- レンズ情報表示

※2 カスタムメニュー(モニター/表示)の[ハイライト表示]を[ON]に設定した場合に表示されます。

タッチパネル(タッチ操作)

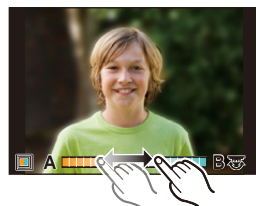
■ タッチする

タッチパネルに触れて離す動作です。



■ ドラッグする

タッチパネルに触れたまま動かす動作です。



■ ピンチする(広げる・縮める)

タッチパネル上で2本の指を広げる(ピンチアウト)と拡大し、縮める(ピンチイン)と縮小します。



- タッチパネルは、清潔で乾燥している指でタッチしてください。
- 市販のモニター保護シートを使う場合は、その注意書きに従ってください。
(モニター保護シートの種類によっては、視認性や操作性を損なう場合があります)

こんなときは使用できません

- 以下の場合、タッチパネルが正常に動作しないことがあります。
 - 手袋を着用している
 - タッチパネルがぬれている

タッチ機能を使って撮る

タッチ AF/タッチシャッター

使用できるモード：  P A S M  SCN 




1 をタッチする



2 アイコンをタッチする


- タッチすることによってアイコンが切り換わります。



 (タッチ AF)	タッチした位置にピントを合わせます。*
 (タッチシャッター)	タッチした位置にピントを合わせて撮影します。*
 (OFF)	タッチAF、タッチシャッターは動きません。

※ カスタムメニュー (操作) で[タッチ設定]の[タッチAF]を[AF+AE]に設定した場合は、タッチした位置にピントと明るさを合わせます。(P86)

3 (OFF以外に設定した場合) 被写体をタッチする

- []設定時にAFエリアの位置や大きさを変更する操作については、82 ページをお読みください。



- タッチシャッターに失敗した場合、AFエリアが赤く点灯したあと消えます。

タッチ AE


使用できるモード：  P A S M  S&Q SCN 

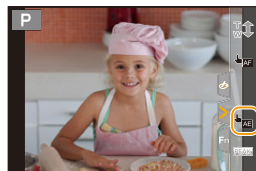
タッチした位置に、簡単に明るさを合わせることができます。人物の顔が暗く写るときに、顔に合わせて画面を明るくすることなどができます。

1 をタッチする



2 をタッチする

- 明るさを合わせる位置の設定画面が表示されます。
- [測光モード]はタッチAE専用のに切り換わります。




3 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- 明るさを合わせる位置を中央に戻すには、[リセット]をタッチしてください。

4 [決定]をタッチする



■ タッチAE機能を解除する

 をタッチする

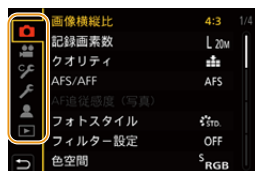
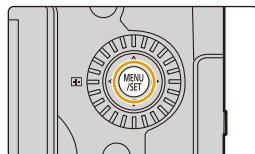
こんなときは使用できません

- 以下の場合、タッチAEが使用できません。
 - デジタルズーム使用時
 - 4Kライブクロップ設定時
 - カスタムメニュー(操作)の[タッチ設定]で、[タッチAF]を[AF+AE]に設定したとき

メニューの設定方法

メニューは、ボタン操作またはタッチ操作で設定できます。

- 1 [MENU/SET] ボタンを押して
メニューを表示する
- 2 ◀ ボタンを押す
- 3 ▲/▼ ボタンで[📷]などのメニュー切り換え
アイコンを選ぶ
 - 前ダイヤルを回しても、メニュー切り換えアイコンを選択
できます。



インテリジェントオート(P56)	各撮影モードで使用できる機能を設定します。
クリエイティブ動画(P150)	
スロー&クイック(P154)	
カスタムモード(P66)	
シーンガイド(P67)	
撮影(P165)	写真撮影時の設定ができます。
動画(P180)	動画撮影時の設定ができます。
カスタム(P183)	画面の表示方法やボタンの動きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。
セットアップ(P199)	時計の設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。 Wi-Fi、Bluetooth機能に関する設定もできます。
マイメニュー(P208)	よく使うメニューを登録できます。
再生(P209)	画像の再生や編集の設定ができます。

- 「セットアップメニュー」は、本機の時計や電源に関する大切な設定です。ご使用の前に設定を確認してください。

4 [MENU/SET] ボタンを押す

タッチ操作

[📷]などのメニュー切り換えアイコンをタッチする

5 ▲/▼ ボタンでメニュー項目を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

- 後ダイヤルを回すと、ページを切り換えることができます。

タッチ操作

メニュー項目をタッチする

- ページを切り換えるには、画面右のパー(A)をタッチしてください。



6 ▲/▼ ボタンで設定内容を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

- メニュー項目によっては、設定が表示されなかったり、表示のしかたが異なったりする場合があります。

タッチ操作

設定内容をタッチして決定する



- コントロールダイヤルを回しても、メニュー切り換えアイコンやメニュー項目、設定内容を選択できません。

■ メニューを終了する

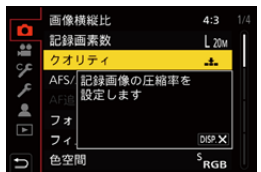
[OK] ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しする

タッチ操作

[OK] をタッチする



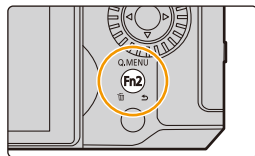
- メニューの説明を表示するには、[DISP.] ボタンを押してください。
- 設定できないメニュー項目は、グレーで表示されます。一部の設定状況では、グレーの項目を選択しているときに[MENU/SET] ボタンを押すと、設定できない理由が表示されます。



クイックメニュー

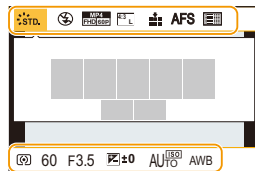
撮影中によく使う機能を、メニュー画面を呼び出すことなく素早く設定できるメニューです。

- 1 [Q.MENU] ボタンを押して、クイックメニューを表示する



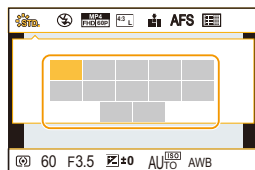
- 2 前ダイヤルを回してメニュー項目を選ぶ

- コントロールダイヤルを回しても設定できます。



- 3 後ダイヤルを回して設定内容を選ぶ

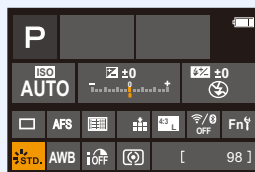
- 4 設定が終了したら [Q.MENU] ボタンを押してクイックメニューを終了する



- ▲/▼/◀/▶ ボタンでもメニュー項目や設定項目を選択できます。
- モードや表示画面によっては、設定の変更ができない項目もあります。

モニター撮影情報画面(P41)の場合

[Q.MENU] ボタンを押し、前ダイヤルを回して項目を選び、後ダイヤルを回して設定内容を選んでください。



クイックメニューをお好みの項目に変更する

- 最大15項目まで設定できます。

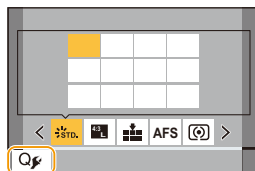
1 メニューを設定する

MENU ボタン → [カスタム] → [操作] → [Q.MENU] → [カスタム]

2 シャッターボタンを半押しして、メニューを終了する

3 [Q.MENU] ボタンを押して、クイックメニューを表示する

4 ▼ ボタンで [Q] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



上段：設定できる項目

5 ▲/▼/◀/▶ ボタンで上段のメニュー項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

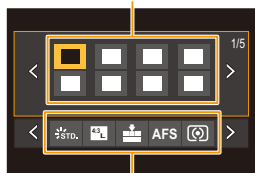
- 上段の設定済みの項目は、薄いグレーで表示されます。

6 ◀/▶ ボタンで下段の空き項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 上段から下段へ項目をドラッグしても、同じ操作ができます。
- 下段に空き項目がない場合は、設定済みの項目を選ぶと入れ替えることができます。
- 以下の操作で設定を解除できます。

① ▼ ボタンを押して、下段に移動する

② ◀/▶ ボタンで解除する項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



下段：設定済みの項目

7 [↵] ボタンを押す

- 上記手順4の画面に戻ります。撮影画面にするには[MENU/SET] ボタンを押してください。

Fnボタン

Fn(ファンクション)ボタンに機能を登録できます。撮影時と再生時でそれぞれ異なる機能を設定できます。

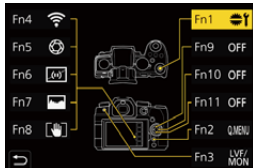
1 メニューを設定する

MENU ボタン → [カスタム] → [操作] → [Fnボタン設定] →
[撮影時設定]または[再生時設定]

2 ▲/▼ ボタンで機能を割り当てたいFnボタンを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで割り当てる機能を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [撮影時設定]で割り当てができる機能については(P51)
- [再生時設定]で割り当てができる機能については(P52)
- Fnボタンの設定をお買い上げ時の状態に戻すには、[デフォルトに戻す]を選んでください。
- Fnボタンに機能を設定しない場合は、[OFF]を選んでください。



■ モニター撮影情報画面からFnボタンを設定する

モニター撮影情報画面(P41)で[Fn]をタッチしても、手順2の画面を表示できます。

■ 素早く機能を割り当てる

Fnボタン([Fn1]～[Fn3]、[Fn9]～[Fn11])を長押し(2秒)すると、手順3の画面を素早く表示できます。(登録した機能や表示画面などによっては、表示できない場合もあります)

- モードや表示している画面によっては、使用できない機能もあります。
- Fnボタンによっては、割り当てができない機能があります。

撮影時にFnボタンを使う

Fnボタンを押すと、割り当てた機能を使うことができます。

■ タッチ操作でFnボタンを使う

- 1 をタッチする
- 2 [Fn4]～[Fn8]のいずれかをタッチする



■ [撮影時設定] で割り当てができる機能

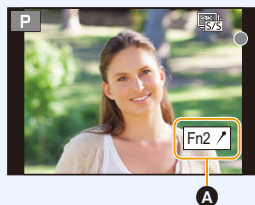
- Wi-Fi(P244)	- 測光モード(P171)	- 動画撮影中の写真撮影(P146)
- Q.MENU(P48)	- 連写速度(P98)	- 録音レベル表示(P149)
- 動画撮影(P141)	- 4Kフォト(P100)	- 録音レベル設定(P149)
- LVF/モニター切替(P35)	- セルフタイマー(P118)	- マイク指向性調整(P257)
- LVF/モニター表示スタイル(P40)	- ライブビューコンポジット撮影(P62)	- サイレントモード(P175)
- AF/AE LOCK(P90)	- ブラケット(P119)	- ビーパターン表示(P190)
- AF-ON(P90)	- ハイライトシャドウ(P171)	- ヒストグラム表示(P191)
- プレビュー(P64)	- iDレンジコントロール(P172)	- ガイドライン表示(P191)
- ワンプッシュAE(P65)	- 超解像(P173)	- ゼブラパターン表示(P192)
- タッチAE(P45)	- 下限シャッター速度(P173)	- モノクロライブビュー(P189)
- 水準器表示(P41)	- HDR(P177)	- 常時プレビュー(Mモード)(P189)
- フォーカスエリア選択	- シャッター方式(P176)	- ライブビューブースト(P190)
- ズーム操作(P128)	- フラッシュモード(P134)	- 記録枠表示(P194)
- ワンショット 4K フォト	- フラッシュ光量調整(P137)	- ステップズーム(P130)
- 操作ロック	- ワイヤレスフラッシュ設定(P138)	- スーム速度(P130)
- フォーカスリングロック(P188)	- EX テレコン(P127)	- 露出補正(P91)
- ダイヤル動作切替(P38)	- デジタルズーム(P129)	- ISO感度(P92)
- フォトスタイル(P167)	- 手ブレ補正(P123)	- ホワイトバランス(P94)
- フィルター効果(P70)	- 電子補正(動画)(P124)	- AFモード/MF(P78)
- 画像横縦比(P165)	- 手ブレロック(動画)(P125)	- S&Q 効果(P156)
- 記録画素数(P166)	- 4Kライブクロープ(P151)	- 撮影/再生切替
- クオリティ(P166)	- スナップムービー(P147)	- デフォルトに戻す
- AFS/AFF(P76)	- 動画画質設定(P143)	

● お買い上げ時の Fn ボタン設定

Fn1	ダイヤル動作切替
Fn2	Q.MENU
Fn3	LVF/モニター切替
Fn4	Wi-Fi
Fn5	プレビュー
Fn6	水準器表示

Fn7	ヒストグラム表示
Fn8	手ブレロック(動画)
Fn9	
Fn10	お買い上げ時は、機能が設定されていません。
Fn11	

- [動画撮影] 設定時は、動画ボタンと同様に動画記録の開始/停止を操作できます。
- [フォーカスエリア選択] 設定時は、AF エリアまたはMFアシストの位置設定画面を表示できます。
- [ワンショット 4K フォト] 設定時は、設定中の4Kフォトモードで1度だけ撮影します。撮影後は元の状態に戻ります。
- [操作ロック] 設定時、特定の操作を無効にします。無効にする操作は、カスタムメニュー(操作)の[操作ロック設定]で設定します。(P188)
- [撮影/再生切替] 設定時は、撮影状態と再生状態の切り換えができます。
- 画面にAのように表示された場合は、[Fnボタン設定]で割り当てた機能ではなく、表示された操作が実行されます。



再生時にFnボタンを使う

Fnボタンを押すと、割り当てた機能を使うことができます。

- 機能によっては、再生している画像に直接設定できます。

例)[レーティング★3]を[Fn1]に設定した場合

- 1 ◀▶ ボタンで画像を選ぶ
- 2 Fnボタン(Fn1)を押し、画像に[レーティング★3]を設定する



■ [再生時設定]で割り当てができる機能

- Fnボタン(Fn1)/[Fn3]ボタンに、以下の機能の割り当てができます。

- Wi-Fi(P244)	- レーティング★2(P211)
- LVF/モニター切替(P35)	- レーティング★3(P211)
- 撮影/再生切替	- レーティング★4(P211)
- スマートフォンに画像を送る(P241)	- レーティング★5(P211)
- 4Kフォト再生	- RAW現像(P213)
- 1枚消去(P163)	- 4Kフォト一括保存(P105)
- プロテクト(P211)	- デフォルトに戻す
- レーティング★1(P211)	

- お買い上げ時のFnボタン設定

Fn1	Wi-Fi
Fn3	LVF/モニター切替

- [4Kフォト再生]設定時は、4K連写ファイルから保存する写真の選択画面を表示します。

文字の入力

文字入力画面が表示されたら、以下のように操作してください。

1 ▲/▼/◀/▶ ボタンで文字を選び、 [MENU/SET] ボタンを押して入力する

- 続けて同じ文字を入力するには、前後のダイヤルまたはコントロールダイヤルを右側に回し、入力位置を移動してください。

- 以下の項目を選択したときの動作

- [切換]: かな (ひらがな)、カタ (カタカナ)、A / a (アルファベット)、1 (数字)、& (記号)に文字を切り換え ^{※1}

- []: 空白を入力
- [消去]: 文字を消去
- [<]: 入力位置を左に移動
- [>]: 入力位置を右に移動

※1 [DISP.]ボタンを押しても文字の切り換えができます。

- 入力できる文字数

- かな / カタ: 最大15文字 ([個人認証]の名前は最大6文字)
- A / a / 1 / & ^{※2}: 最大30文字 ([個人認証]の名前は最大9文字)

※2 [\], [[], []], [.], [-] は最大15文字 ([個人認証]の名前設定時は最大6文字)です。





2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで[決定]にカーソルを合わせ、[MENU/SET] ボタンを押して入力を終了する

3.

撮影モード

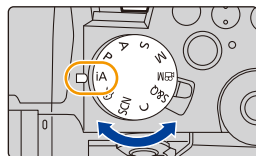
かんたん撮影(インテリジェントオートモード)

撮影モード:  

[iA]モード(インテリジェントオートモード)は、カメラにおまかせで撮影できるモードです。被写体や撮影状況に合わせてカメラがシーンを判別し、自動で最適な撮影設定をします。

1 モードダイヤルを[iA]に合わせる



- お買い上げ時は、インテリジェントオートプラスモードが設定されています。



2 被写体に向けてカメラを構える

- カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンに変わります。(自動シーン判別)



カメラが自動でシーンを判別します(自動シーン判別)( 写真撮影時、 動画撮影時)



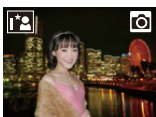
i 人物



i 風景



i マクロ



i 夜景&人物 *1



i 夜景



i 手持ち夜景 *2



i 料理



i 赤ちゃん *3



i 夕焼け



i ローライト



iA

*1 フラッシュ使用時に表示されます。

*2 [i手持ち夜景]を[ON]に設定した場合には表示されます。

*3 個人認証機能が登録した、3歳未満の人物を認識したときに表示されます。

●どのシーンにも当てはまらない場合は[iA]になり、標準的な設定にします。

●4Kフォト撮影時またはフォーカスセレクト撮影時は、動画撮影時と同じシーン判別になります。

■ インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードを切り換える

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [インテリジェントオート] → [インテリジェントオートモード]

2 ▲/▼ ボタンで または を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



インテリジェントオートモードの設定に加えて、インテリジェントオートプラスモードは、下記の設定を変更できます。

	インテリジェントオートプラスモード	インテリジェントオートモード
明るさ設定	○	×
色合い設定	○	×
ボケ味コントロール	○	×
設定できるメニュー	多い	少ない

■ AF/顔・瞳認識/個人認証

AFモードは自動で に設定されます。被写体をタッチすると追尾AF機能が働きます。

- ボタン () を押し、シャッターボタンを半押ししても追尾AF機能が働きます。
- [個人認証] を [ON] に設定した場合、登録した顔に近い顔を認識すると、、、 の右上に [R] が表示されます。



■ フラッシュ

- フラッシュを使うときは、フラッシュを開いてください。(P132)

フラッシュを開いているときは、被写体の種類や明るさに合わせて、カメラが自動で 、 または に設定します。

- 、 のときは、シャッタースピードが遅くなります。
- インテリジェントオートプラスモード時は、フラッシュを開いているときでも、撮影メニューの [フラッシュ設定] で [フラッシュモード] を (発光禁止) に設定できます。

■ 自動シーン判別について

- と判別された場合に、三脚などを使用してください。ブレの量が少ないとカメラが判断したとき、シャッタースピードは通常より遅くなります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにお気をつけください。
- 撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンになることがあります。



逆光補正について

カメラが自動で画像を明るくすることで、逆光時に被写体が暗く写らないように補正します。インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモード時は、逆光補正が自動で働きます。

インテリジェントオートメニュー

手持ちで夜景を撮る(i手持ち夜景)

手持ち撮影で夜景を撮影中に[]と判別された場合、夜景を高速連写で撮影し1枚の写真に合成します。

MENU ボタン → [インテリジェントオート] → [i手持ち夜景] → [ON]/[OFF]

- 画角が僅かに狭くなります。
- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- フラッシュは[] (発光禁止)に固定されます。

階調豊かな写真に合成する(iHDR)

背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。

[iHDR]は必要に応じて働きます。働くときは、画面に[HDR]が表示されます。

MENU ボタン → [インテリジェントオート] → [iHDR] → [ON]/[OFF]


- 画角が僅かに狭くなります。
- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 動いている被写体を撮影すると、被写体の動きが残像のように不自然に写る場合があります。



こんなときは使用できません

- 動画撮影中の写真記録では、[i手持ち夜景]、[iHDR]が働きません。
- 以下の場合、[i手持ち夜景]、[iHDR]が使用できません。
 - 連写撮影時
 - 4Kフォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - ブラケット撮影時
 - [クオリティ]を[RAW]、[RAW]、[RAW]に設定したとき
 - [EXテレコン(写真)]設定時
 - インターバル撮影時
 - コマ撮りアニメ撮影時 ([自動撮影]設定時)
- 以下の場合、[iHDR]が使用できません。
 - フラッシュ撮影時

色合い・ボケ具合・明るさを変えて撮る

撮影モード: 


■ 色合いを設定する


- 1 [WB] ボタンを押す
- 2 後ダイヤルを回して色合いを調整する

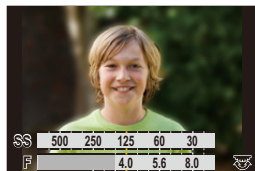
- 撮影画面に戻るには、もう一度 [WB] ボタンを押してください。
- 設定した色合いを標準(中心点)に戻すには、電源スイッチを [OFF] にする、または他の撮影モードに変更してください。




■ 背景をぼかして撮る(ボケ味コントロール)


- 1 [] ボタンを押して、明るさ設定画面を表示する
- 2 Fnボタン(Fn1)を押して設定画面を表示する
- 3 後ダイヤルを回してボケ具合を設定する

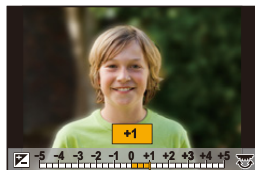
- 撮影画面に戻るには、[MENU/SET] ボタンを押してください。
- 設定を解除するには、ボケ具合の設定画面で [Fn2] ボタンを押してください。
- AFモードは [] になります。AFエリアの位置を設定するには、画面をタッチしてください。(大きさは変更できません)




■ 明るさを設定する




- 1 [] ボタンを押す
- 2 後ダイヤルを回して明るさを調整する

- カスタムメニュー(操作)の[露出補正画面の操作]で、露出補正画面で設定する内容を変更できます。(P38)
- 撮影画面に戻るには、もう一度 [] ボタンを押してください。



タッチパネルで設定を変える

- 1 [] をタッチする
- 2 設定する項目をタッチする

[]: 色合い[]: ボケ具合[]: 明るさ

- 3 スライダーをドラッグして設定する
 - 撮影画面に戻るには、[MENU/SET] ボタンを押してください。



- 使用するレンズによっては、ボケ具合を操作しているときに、レンズ部から音がすることがあります。このときの音はレンズの絞り動作によるもので、異常ではありません。
- 使用するレンズによっては、動画撮影中にボケ具合を操作すると、その動作音が記録されることがあります。

プログラムAEモード

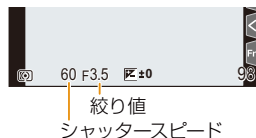
撮影モード: [P]

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動で設定します。撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

1 モードダイヤルを[P]に合わせる

2 シャッターボタンを半押しして、画面に絞り値とシャッタースピードの数値を表示させる

- 適正な露出が得られない場合は、絞り値とシャッタースピードが赤色で表示され、点滅します。



■ プログラムシフトについて

本機が自動的に設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままですることができます。これをプログラムシフトといいます。

より背景をぼかしたい(絞り値を小さくする)、動きを表現したい(シャッタースピードを遅くする)などの設定が可能です。

1 シャッターボタンを半押しして、画面に絞り値とシャッタースピードの数値を表示させる

2 数値が表示されている間に(約10秒間)、後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してプログラムシフトする

- プログラムシフトを解除するには、以下の操作をしてください。
 - 電源スイッチを[OFF]にする
 - プログラムシフト表示が消えるまで、前後のダイヤルを回す



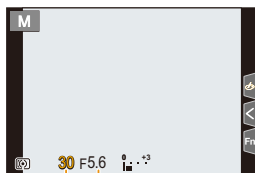
🚫 こんなときは使用できません

- 以下の場合、プログラムシフトできません。
 - フラッシュ撮影時
 - 4Kフォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - ISO感度を[ISO]に設定したとき

絞り値/シャッタースピードを決めて撮る

撮影モード: **A** **S** **M**

(例: マニュアル露出モード)



絞り値
シャッタースピード

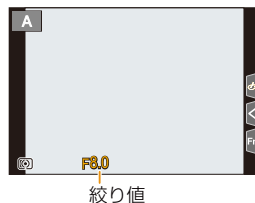
<p>絞り値</p>	 <p>小さい 背景をぼかしやすくなります。</p>	 <p>大きい 背景までペンシルが合った状態にしやすくなります。</p>
<p>シャッタースピード</p>	 <p>遅い 動きを表現しやすくなります。</p>	 <p>速い 動きを止めやすくなります。</p>

- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。(P64)
- 画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正な露出が得られないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。

A: 絞り優先AEモード

絞り値を設定すると、被写体の明るさに応じたシャッタースピードをカメラが自動的に設定します。

- 1 モードダイヤルを **[A]** に合わせる
- 2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回して絞り値を設定する



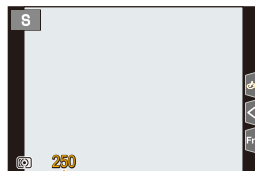
絞り値

- 絞りリングのあるレンズを使用しているときは、絞りリングの位置を **[A]** 以外にすると、レンズの絞り値に設定されます。

S: シャッター優先AEモード

シャッタースピードを設定すると、被写体の明るさに応じた絞り値をカメラが自動的に設定します。

- 1 モードダイヤルを [S] に合わせる
- 2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する



シャッタースピード

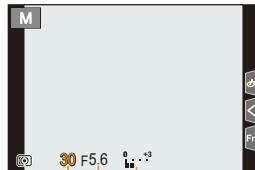
- フラッシュ発光時は、1/200秒より速いシャッタースピードに設定できません。(P135)

M: マニュアル露出モード

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。

- 1 モードダイヤルを [M] に合わせる
- 2 後ダイヤルを回してシャッタースピードを、前ダイヤルを回して絞り値を設定する

設定可能なシャッタースピード(秒)	
メカシャッター使用時	B(バルブ)、60 ~ 1/4000
電子先幕使用時	B(バルブ)、60 ~ 1/2000
電子シャッター使用時	1 ~ 1/16000



マニュアル露出アシスト
絞り値
シャッタースピード






シャッタースピードと絞り値にISO感度を合わせる

ISO感度を[AUTO]に設定した場合、シャッタースピードと絞り値に応じてISO感度が設定されます。

- 撮影条件により、適正な露出が得られなかったり、ISO感度が高くなったりする場合があります。

マニュアル露出アシストについて

ISO感度を[AUTO]以外に設定したときに、マニュアル露出アシストが撮影画面に表示されます。

	適正露出になります。
	シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。
	シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。

- マニュアル露出アシストは目安です。撮影画像を再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。
- 絞りリングのあるレンズを使用する場合は、絞りリングの位置を[A]にすると前後のダイヤルの設定が有効になります。[A]以外では絞りリングの設定が優先されます。
- フラッシュ発光時は、1/200秒より速いシャッタースピードは設定できません。(P135)

バルブ撮影

撮影モード：**[M]**

マニュアル露出モード時にシャッタースピードをB(バルブ)に設定すると、シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開いた状態になります。(最大約30分間)

シャッターボタンを離すと、シャッターが閉じます。

花火や夜景撮影などで、長時間シャッターを開けておきたいときに使います。



- バルブ撮影時は、手ブレ防止のために三脚やシャッターリモコン(別売: DMW-RS2)の使用をお勧めします。
- バルブ撮影をすると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、撮影メニューの[長秒ノイズ除去]を[ON]にして撮影することをお勧めします。



こんなときは使用できません

- 以下の場合、B(バルブ)が使用できません。
 - フラッシュ撮影時([フラッシュシンクロ]を[後幕]に設定したとき)
 - 4Kフォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - ブラケット撮影時
 - [サイレントモード]を[ON]に設定したとき
 - 電子シャッター使用時
 - [HDR]を[ON]に設定したとき
 - インターバル撮影時
 - コマ撮りアニメ撮影時([自動撮影]設定時)

ライブビューコンポジット撮影

撮影モード: **[M]**

設定した露光時間ごとに画像を撮影し、明るく変化した部分を合成して1枚の写真として記録します。露光時間が経過するたびに合成された画像が表示され、仕上がりを確認しながら撮影できます。

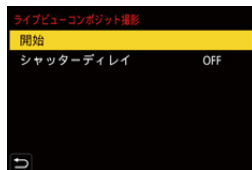
全体の明るさを抑えて撮影できるため、明るい夜景を背景にして、星や花火の光跡を撮影するときに便利です。



- カメラのブレを抑えるために、三脚を使用してください。

- 1 モードダイヤルを **[M]** に合わせる
- 2 ライブビューコンポジット撮影を開始する

MENU ボタン → **[撮影]** →
[ライブビューコンポジット撮影]
 → **[開始]**



- 3 1コマごとの露光時間(シャッタースピード)と ISO 感度を設定する

- シャッタースピードは [1/2秒] ~ [60秒] の範囲で設定できます。
- ISO 感度は **[ISO]** ボタンを押し、前後のダイヤル、またはコントロールダイヤルを回して設定します。

- 4 シャッターボタンを全押しして、ノイズリダクション用の画像を取得する

- カウントダウン画面が表示されます。終了するまでお待ちください。

- 5 シャッターボタンを全押しして、撮影を開始する

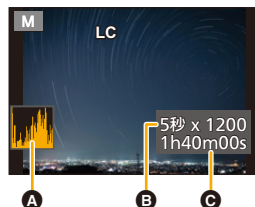
- 手順3で設定した露光時間が経過するたびに画像が合成されます。

A ヒストグラム表示

B 1コマごとの露光時間 × 合成した枚数

C 経過時間

- 合成した枚数が増えるたびに時間が更新されます。



- 6 シャッターボタンをもう一度全押しして、撮影を終了する

- ノイズリダクションが実行され、画像が保存されます。
- 1回のライブビューコンポジット撮影につき、最大3時間まで撮影できます。(3時間を超えると、自動的に撮影を終了します)

■ シャッターディレイ

撮影開始時、シャッターを押したときの手ブレを抑えたいときは手順**2**で[シャッターディレイ]を設定できます。シャッターボタンを押したあと、設定時間経過後にシャッターが切れます。

設定:[8秒]、[4秒]、[2秒]、[1秒]、[OFF]

■ ライブビューコンボジット撮影の終了方法

撮影画面で[Fn2]ボタンを押す

- [長秒ノイズ除去]は[ON]に固定されます。
- フラッシュ撮影時は、1コマ目だけ発光します。
- ノイズリダクション用の画像を取得したあとは、一部のメニューが表示されません。
- 以下の操作をすると、ノイズリダクション用の画像が破棄されます。再度手順**4**の操作をしてください。
 - [ライブビューコンボジット撮影]で[開始]を選ぶ
 - シャッタースピードを変更する
 - ISO感度を変更する
 - 再生モードに切り換える
 - 動画撮影を開始する
 - 撮影モードを変更する
 - ドライブモードを変更する
- シャッターボタンを全押しして撮影を終了するときは、最後の画像が合成されない場合があります。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、ライブビューコンボジット撮影ができません。
 - フラッシュ撮影時([フラッシュシンクロ]を[後幕]に設定時)
 - 連写撮影時
 - 4Kフォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - ブラケット撮影時
 - [フィルター設定]設定時
 - [サイレントモード]を[ON]に設定したとき
 - [シャッター方式]を[電子シャッター]に設定したとき
 - [HDR]を[ON]に設定したとき
 - インターバル撮影時
 - コマ撮りアニメ撮影時
 - [多重露出]設定時

プレビューモード

使用できるモード: **P** **A** **S** **M**

- **絞り効果の確認**: 実際に撮影される絞り値までレンズの絞り羽根を物理的に絞り込むことにより、被写界深度(ピントの合っている範囲)を確認できます。
- **シャッタースピード効果の確認**: 実際に撮影されるシャッタースピードで画面を表示し、動きを確認できます。

[Fn5] ボタンをタッチして確認画面を切り換える

- お買い上げ時の設定では、[Fn5] ボタンに [プレビュー] が設定されています。(P51)



通常撮影画面



絞り効果確認画面
絞り効果: ON
シャッタースピード効果: OFF



シャッタースピード効果確認画面
絞り効果: ON
シャッタースピード効果: ON



被写界深度の性質

撮影条件	絞り値	小さい	大きい
	焦点距離	望遠	広角
	被写体までの距離	近い	遠い
被写界深度 (ピントの合っている範囲)		浅い(狭い) 例: 背景をぼかして撮りたいときなど	深い(広い) 例: 背景までピントを合わせて撮りたいときなど

- プレビューモード中でも撮影できます。
- シャッタースピード効果を確認できる範囲は、8秒～1/16000秒です。



こんなときは使用できません



- [4K プリ連写] で撮影時、プレビューモードが使用できません。

ワンブッシュAE

使用できるモード:      SCN 

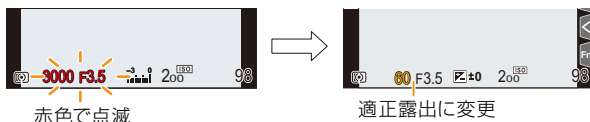
露出の設定が明るすぎたり、暗すぎたりしたとき、ワンブッシュAEを使うと簡単に適正露出に合わせることができます。

適正露出でないときの見分け方

- シャッターボタンを半押しした際、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり、点滅したとき。
- マニュアル露出モード時、マニュアル露出アシスト(P61)が   以外で表示されたとき。

1 Fnボタンに[ワンブッシュAE]を設定する(P50)

2 (適正露出でないときに)Fnボタンを押す



- 絞り値やシャッタースピードが適正露出に合った設定に変わります。
- 以下の場合、適正露出に合わせることができません。
 - 非常に暗い被写体など、絞り値やシャッタースピードを変えても適正露出にできないとき
 - フラッシュ撮影時
 - プレビューモード時
 - 絞りリングのあるレンズを使用したとき

カスタムモード

撮影モード: **C**

カスタムセットへの登録

現在のカメラの設定内容を[カスタムセット登録]で3つまで登録できます。
(C1、C2、C3)

お買い上げ時、カスタムセットにはプログラムAEモードの初期設定が登録されています。
準備: あらかじめ保存したい状態の撮影モードとメニュー設定にする。

MENU ボタン → [セットアップ] → [カスタムセット登録] → 登録したいカスタムセット

- 以下のメニュー項目はカスタムセット登録されません。
 - マイメニュー、セットアップメニュー、再生メニュー
 - カスタムメニュー(メニューガイド)/個人認証で登録されたデータ/[プロフィール設定]の設定内容)

カスタムセットを使う

モードダイヤルを[C]に合わせる

- 最後に使ったカスタムセットが呼び出されます。

■ カスタムモードの切り換え

1 メニューを設定する

MENU ボタン → **C** [カスタムモード]

2 ▲/▼ボタンで[SET1]、[SET2]または[SET3]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 選択したカスタムセットの設定に切り換わります。




撮影画面の撮影モードアイコンをタッチしても、カスタムセットの選択画面を表示できます。



■ 登録内容を変更する

モードダイヤルを[C]に合わせた状態で一時的にメニュー設定を変更しても、登録内容は変更されません。登録内容を変更する場合は、セットアップメニューの[カスタムセット登録]で登録内容を上書きしてください。

シーンガイドモード

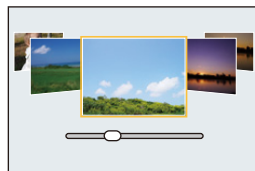
撮影モード: 

作例写真を見ながら、被写体や撮影状況に合わせてシーンを選択すると、カメラが最適な露出や色調、ピントの合わせ方などを設定し、シーンに合った撮影ができます。

1 モードダイヤルを [SCN] に合わせる

2 ◀/▶ ボタンでシーンを選ぶ

- 作例写真やスライドバーをドラッグしても、シーンを選択できます。



3 [MENU/SET] ボタンを押す



撮影画面の撮影モードアイコンをタッチしても、選択画面を表示できます。



- シーンによっては撮影画面がコマ落としのように表示されます。
- シーンガイドモードを変更するには、シーンガイドメニューの[シーン切換]を選択してください。上記手順 2 に戻ります。
- シーンガイドモード時はカメラが自動で最適に調整するため、一部の撮影メニューが設定できません。
- シーンによってはホワイトバランスは [AWB] に固定されますが、撮影画面で [WB] ボタンを押すとホワイトバランスの調整 (P96) やホワイトバランスブラケット (P122) が使用できます。

シーンガイドモードの種類



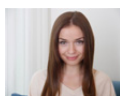
シーンの説明や撮影のヒントを表示する

シーン選択画面で [DISP.] ボタンを押す

- ガイド表示では、各シーンの詳しい説明や撮影のヒントが表示されます。



1: 人物をきれいに撮る



2: 人物の肌をきれいに撮る

- 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時に滑らかになります。
- 明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。



3: 逆光でふんわり撮る



4: 逆光でしっかり撮る



5: ほのぼのした雰囲気撮る



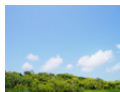
6: 子どもをかわいく撮る

顔をタッチする

- タッチした場所にピンとや露出が合い、写真が撮影されます。



7: 風景をきれいに撮る



8: 青空をさわやかに撮る



9: 夕焼けを幻想的に撮る



10: 夕焼けを印象的に撮る

**11: 水面をキラキラ撮る**

- クロスフィルターを使用するため、水面以外がキラキラと強調される場合があります。

**13: 夜空をクールに撮る****15: 夜景をアーティスティックに撮る****17: 夜景を手持ちで撮る**

- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 画角が僅かに狭くなります。

**19: 花をふんわり撮る**

- 近距離撮影する場合は、フラッシュを使用しないことをお勧めします。

**21: スイーツをかわいく撮る**

- 近距離撮影する場合は、フラッシュを使用しないことをお勧めします。

**23: スポーツをきれいに撮る****12: 夜景をきれいに撮る****14: 夜景を暖かく撮る****16: イルミネーションをキラキラ撮る****18: 夜景をバックに人物をきれいに撮る**

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 被写体の人に、撮影後約1秒間は動かないように伝えてください。

**20: 料理をおいしそうに撮る**


- 近距離撮影する場合は、フラッシュを使用しないことをお勧めします。

**22: 動くペットをきちんと撮る**

- [AF補助光]の初期設定は[OFF]になります。

**24: モノクロで撮る**

クリエイティブコントロールモード

撮影モード: 

画像に加える効果は作例写真から選ぶことができ、画面で確認しながら設定できます。

1 モードダイヤルを  に合わせる

2 ▲/▼ ボタンで画像効果(フィルター)を選ぶ

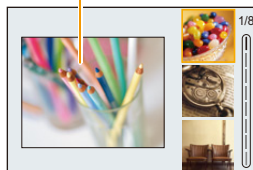
- 作例写真をタッチして選ぶこともできます。



撮影画面の撮影モードアイコンをタッチしても、選択画面を表示できます。



プレビュー表示



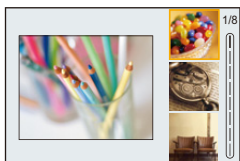
3 [MENU/SET] ボタンを押す

 画像効果の説明を表示する

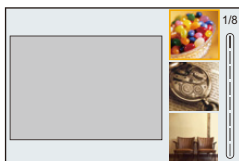
画像効果選択画面で [DISP.] ボタンを押す

- ガイド表示では、各画像効果の説明が表示されます。

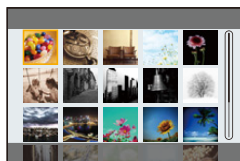
通常表示



ガイド表示



一覧表示



- ホワイトバランスは [AWB] に、ISO 感度は [AUTO] に固定されます。
- 画像効果によっては撮影画面がコマ落としのように表示されます。

■ クリエイティブコントロールメニュー

クリエイティブコントロールモード時は、以下のメニューを設定できます。

MENU ボタン →  [クリエイティブコントロール]



フィルター効果	画像効果(フィルター)選択画面を表示します。
フィルターなし同時記録	画像効果を加えない写真を同時に記録する設定ができます。

画像効果の種類


	ポップ		レトロ		オールドデイズ
	ハイキー		ローキー		セピア
	モノクローム		ダイナミック モノクローム		ラフモノクローム
	シルキー モノクローム		インプレッシブ アート		ハイダイナミック
	クロスプロセス		トイフォト		トイポップ
	ブリーチバイパス		ジオラマ		ソフトフォーカス
	ファンタジー		クロスフィルター		ワンポイント カラー
	サンシャイン				

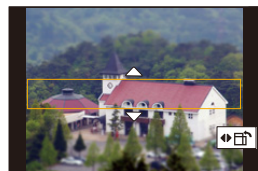
■ [ジオラマ]でぼかしを設定する

1 ▲ ボタンを押して設定画面を表示する

- [] をタッチしたあと、[] をタッチしても表示できます。

2 ▲/▼ ボタンまたは ◀/▶ ボタンでぼかさない部分を移動する

- 撮影画面で画面をタッチしても、ぼかさない部分を移動できます。
- 撮影する向き(ぼかす向き)を設定するには、[] をタッチしてください。



3 後ダイヤルを回してぼかさない部分の大きさを変更する

- 画面をピンチアウト/ピンチインしても、拡大/縮小できません。
- ぼかさない部分の設定を初期設定に戻すには、[DISP.]ボタンを押してください。

4 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- 動画に音声は録音されません。
- 動画は約 1/10 の時間で記録されます。(10 分間撮影した場合、動画記録時間は約 1 分になります) 表示される記録可能時間は約 10 倍になります。
- 動画撮影を短い時間で終了すると、一定の時間まで撮影を続けることがあります。

■ [ワンポイントカラー] で残したい色を設定する

1 ▲ ボタンを押して設定画面を表示する

- [👉] をタッチしたあと、[👉] をタッチしても表示できます。

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで枠を移動し、残す色を選ぶ

- 画面をタッチしても、残す色を選択できます。
- 枠を中央に戻すには、[DISP.]ボタンを押してください。

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する



- 被写体によっては、設定した色が残らない場合があります。

■ [サンシャイン] で光源の位置と大きさを設定する

1 ▲ ボタンを押して設定画面を表示する

- [👉] をタッチしたあと、[☀️] をタッチしても表示できます。

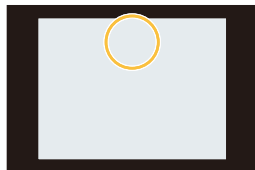
2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで光源の中心の位置を移動する

- 画面をタッチしても、光源の位置を移動できます。



光源の中心を置くときのポイント

より自然な仕上がりにするには、画像の外に光源の中心を置いてください。



3 後ダイヤルを回して光源の大きさを調整する

- ピンチアウト/ピンチインしても拡大/縮小できません。
- 光源の設定を初期設定に戻すには、[DISP.]ボタンを押してください。

4 [MENU/SET] ボタンを押す


画像効果を好みに合わせて調整する

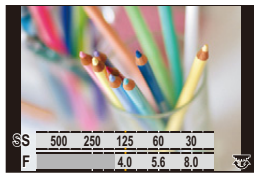
- 1 [WB] ボタンを押す
- 2 後ダイヤルを回して設定する
 - 撮影画面に戻るには、もう一度[WB] ボタンを押してください。



画像効果	調整できる項目	
ポップ	鮮やかさ	落ち着いた色合い ⇄ 派手な色合い
レトロ	色合い	黄色っぽい色 ⇄ 赤っぽい色
オールドデイズ	コントラスト	明暗差が小さい ⇄ 明暗差が大きい
ハイキー	色合い	ピンクっぽい色 ⇄ 水色っぽい色
ローキー	色合い	赤っぽい色 ⇄ 青っぽい色
セピア	コントラスト	明暗差が小さい ⇄ 明暗差が大きい
モノクローム	色合い	黄色っぽい色 ⇄ 青っぽい色
ダイナミックモノクローム	コントラスト	明暗差が小さい ⇄ 明暗差が大きい
ラフモノクローム	粒子感	粒子感が弱い ⇄ 粒子感が強い
シルキーモノクローム	ボケ具合	ボケ具合が小さい ⇄ ボケ具合が大きい
インプレッシブアート	鮮やかさ	白黒 ⇄ 派手な色合い
ハイダイナミック	鮮やかさ	白黒 ⇄ 派手な色合い
クロスプロセス	色合い	緑っぽい色 / 青っぽい色 / 黄色っぽい色 / 赤っぽい色
トイフォト	色合い	オレンジっぽい色 ⇄ 青っぽい色
トイポップ	周辺光量が落ちる範囲	小さい ⇄ 大きい
ブリーチバイパス	コントラスト	明暗差が小さい ⇄ 明暗差が大きい
ジオラマ	鮮やかさ	落ち着いた色合い ⇄ 派手な色合い
ソフトフォーカス	ボケ具合	ボケ具合が小さい ⇄ ボケ具合が大きい
ファンタジー	鮮やかさ	落ち着いた色合い ⇄ 派手な色合い
クロスフィルター	× - ×	輝きが短い ⇄ 輝きが長い
	× - *	輝きが少ない ⇄ 輝が多い
	↓ × ↓	輝きを左に回転 ⇄ 輝きを右に回転
ワンポイントカラー	残す色の量	少し色を残す ⇄ 多く色を残す
サンシャイン	色合い	黄色っぽい色 / 赤っぽい色 / 青っぽい色 / 白っぽい色

背景をぼかして撮る(ボケ味コントロール)



- 1 [] ボタンを押して、明るさ設定画面を表示する
- 2 Fnボタン(Fn1)を押して設定画面を表示する
- 3 後ダイヤルを回して設定する
 - 撮影画面に戻るには、[MENU/SET] ボタンを押してください。
 - 設定を解除するには、ボケ具合の設定画面で [Fn2] ボタンを押してください。

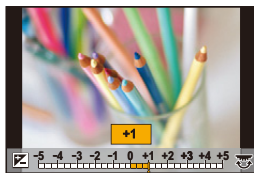


こんなときは使用できません





- クリエイティブコントロールモードの [ジオラマ] では、ボケ味コントロール機能を使用できません。

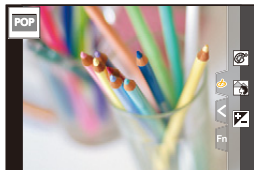
明るさを設定する

- 1 [] ボタンを押す
- 2 後ダイヤルを回して設定する
 - カスタムメニュー (操作) の [露出補正画面の操作] で、露出補正画面で設定する内容を変更できます。(P38)
 - 撮影画面に戻るには、もう一度 [] ボタンを押してください。



■ タッチパネルで設定を変える

- 1 [] をタッチする
- 2 設定する項目をタッチする
 - [] : 画像効果の調整
 - [] : ボケ具合
 - [] : 明るさ
- 3 スライダーをドラッグして設定する
 - 撮影画面に戻るには、[MENU/SET] ボタンを押してください。



4.

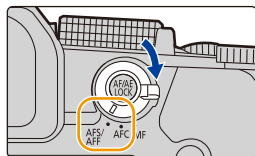
ピント・明るさ(露出)・色合いの設定

AFを使う

AF(オートフォーカス)とは自動ピント合わせのことです。被写体や撮影状況に合わせてフォーカスモードとAFモードを選択してください。

1 フォーカスモードレバーを [AFS/AFF] または [AFC] に合わせる

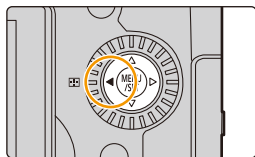
- フォーカスモードを設定します。(P76)



2 [OK] ボタン(◀)を押す

3 ◀/▶ ボタンでAFモードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- AFモードを設定します。(P78)



4 シャッターボタンを半押しする

- AFが働きます。

ピント	合っている	合っていない
フォーカス表示	点灯	点滅
AFエリア	緑	—
電子音	ピピッ	—

- 暗い環境ではフォーカス表示が[●_{LOW}]と表示され、通常よりピント合わせに時間がかかることがあります。
- [●_{LOW}]を表示後に夜空の星などを検知した場合、星空AFが働きます。ピントが合うと、フォーカス表示が[●_{STAR}]と表示され、ピントを合わせたAFエリアが表示されます。(画面の端では、星空AFでの検知ができません)




フォーカス表示

- ピントを合わせたあとズーム操作をした場合は、ピントに誤差が生じる場合があります。ピントを合わせ直してください。

💡 ピントが合いにくい被写体や撮影環境

- 動きの速い被写体、非常に明るい、または濃淡のないもの
- ガラス越しや光るものの近くにある被写体を撮影するとき
- 暗いときや手ブレしているとき
- 被写体に近すぎるときや、遠くと近くを同時に撮影するとき

💡 シャッター半押し時の構図づくりについて

[>]で撮影するとき、被写体の位置が撮りたい構図の中央にない場合は、以下の手順で撮影してください。(フォーカスモードを[AFS]に設定した場合)

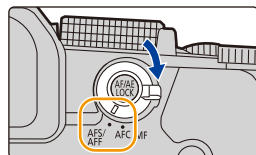
- 1 被写体にAFエリアを合わせる
- 2 シャッターボタンを半押しする
 - ピントと露出を固定します。
- 3 シャッターボタンを半押ししたまま、撮りたい構図に本機を動かす
- 4 シャッターボタンを押して撮影する



フォーカスモードの選択(AFS、AFF、AFC)

使用できるモード：  **P** **A** **S** **M**  **S&Q** **SCN** 

シャッターボタン半押し時のピント合わせ動作を設定します。

フォーカスモードレバーを合わせる



項目		お勧めの撮影シーン
AFS/AFF	AFS (Auto Focus Single)	静止している(風景、記念撮影など) シャッターボタンを半押ししている間、ピントが固定され、構図を変えて撮影できます。
	AFF (Auto Focus Flexible)	動きが予測できない(子ども、ペットなど) シャッターボタンを半押ししている間に被写体が動いても、動きに合わせて自動でピントを合わせ直します。
		メニューを設定して、切り換えることができます。 MENU ボタン →  [撮影]/  [動画] → [AFS/AFF] 設定: [AFS]、[AFF]
AFC (Auto Focus Continuous)		動いている(スポーツ、鉄道など) シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にピントを合わせ続けます。

[AFF]、[AFC]で撮影する場合は

- 被写体の動きを予測しながらピントを合わせます。(動体予測)
- W端からT端にズームした場合や、急に被写体を遠くから近くに変えた場合、ピントが合うまで時間がかかることがあります。
- 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直してください。
- シャッターボタンを半押ししている間、画面に揺れが見える場合があります。

- 以下の場合、フォーカスモードの[AFF]または[AFC]は、[AFS]と同じ動作をします。
 - クリエイティブ動画モード
 - [4K連写(S/S)]で撮影時
 - 低照度時
- 4Kフォト撮影時、[AFF]に設定できません。撮影時にはAF連続動作が働きます。
- フォーカスセレクト撮影時は設定できません。

AF追従感度(写真)

使用できるモード：  **P** **A** **S** **M**   

被写体の動きに合わせてピント合わせをするときの感度を設定します。

準備：フォーカスモードを[AFF]または[AFC]に設定する。(P76)

MENU ボタン →  [撮影] → [AF 追従感度(写真)]

設定：[+2]、[+1]、[±0]、[-1]、[-2]

+	被写体との距離が大きく変わったときに、すぐにピントを合わせ直します。異なる被写体に次々にピントを合わせることができます。
-	被写体との距離が大きく変わったときに、ピントの合わせ直しを少し待ちます。カメラの前を障害物が横切った場合など、意図しないピントの合わせ直しを防ぐことができます。


こんなときは使用できません

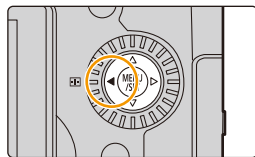
- 以下の場合、[AF 追従感度(写真)]が使用できません。
 - 4Kフォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時




AFモードの選択



使用できるモード: 

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

- 1  ボタン(◀)を押す
- 2 ◀/▶ ボタンでAFモードを選び、
[MENU/SET] ボタンを押す



 (顔・瞳認識)	<p>人の顔や目を自動的に検知します。ピントは本機に近い側の目に、露出は顔に合わせます。([測光モード]を[☉])に設定したとき (P79)</p>	
 (追尾)	<p>指定した被写体が動いても、自動でピントと露出を合わせ続けます。(動体追尾) ([測光モード]を[☉])に設定したとき (P79)</p>	
 (49点)	<p>最大49点のAFエリアでピントを合わせることができます。被写体が中央にない場合に有効です。</p>	
 (カスタムマルチ)	<p>49点のAFエリアから、被写体に合わせて、自由にAFエリアの形状を設定できます。(P80)</p>	
 (1点)	<p>AFエリア内にピントを合わせます。</p>	
 (ピンポイント)	<p>[]より小さな点で繊細なピント合わせができます。シャッターボタンを半押しすると、ピントを確認するための画面が拡大表示されます。</p>	

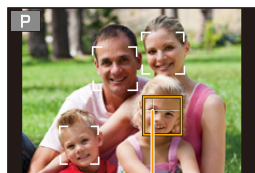
- インテリジェントオートモードおよびインテリジェントオートプラスモード時は、 または  に切り換えることができます。

顔・瞳認識について

カメラが顔を認識するとAFエリアとピントを合わせる目が表示されます。

黄色: シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと緑色に変わります。

白色: 複数の顔を認識すると表示されます。黄色のAFエリア内の顔と同じ距離にある顔にはピントが合います。



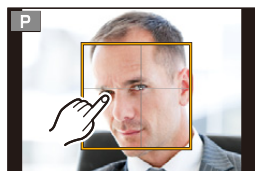
ピントを合わせる目

- カメラが認識できる人の顔は、最大15人までです。認識できる目は、ピントを合わせる顔の目だけです。

ピントを合わせる目を変更する

ピントを合わせる目をタッチする

- [AF]をタッチする、または[MENU/SET]ボタンを押すと、ピントを合わせる目の設定が解除されます。



追尾する被写体をロックする (追尾)

ボタン操作

被写体を追尾AFエリアに合わせ、シャッターボタンを半押しする

- 被写体を認識すると、AFエリアが緑色になります。
- シャッターボタンを離すとAFエリアが黄色に変わります。
- [MENU/SET]ボタンを押すと、ロックは解除されます。

追尾AFエリア



タッチ操作

被写体をタッチする

- タッチシャッター機能は解除してください。
- ロック中は追尾AFエリアが黄色になります。
- [AF]をタッチすると、ロックは解除されます。

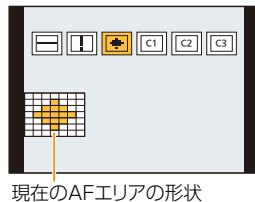


- ロックが失敗すると、追尾AFエリアが赤く点滅したあとに消えます。

AFエリアの形状を設定する(カスタムマルチ)

- 1 [] ボタン()を押す
- 2 カスタムマルチアイコン([] など)を選び、 ボタンを押す
- 3 ボタンで設定項目を選び、 ボタンを押す

(横)	流し撮りなどの撮影に便利な形状です。	
(縦)	建築物の撮影などに便利な形状です。	
(中央)	中央周辺にピントを合わせたい場合に便利な形状です。	
/ / (カスタム)	カスタム登録した内容を設定できます。	



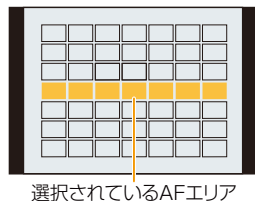
- AFエリア設定画面が表示されます。

4 AFエリアを選ぶ

[] / [] / [] 選択時

① AFエリアを変更する

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	タッチ	位置の移動
	ピンチアウト/ ピンチイン	大きさの変更
[DISP.]	[リセット]	1 回目: 位置を中央に戻す 2 回目: 大きさを初期設定に戻す



② [MENU/SET] ボタンを押して、決定する

[[C1]]/[[C2]]/[[C3]] 選択時

① AFエリアを変更する

ボタン操作

▲/▼/◀/▶ ボタンでAFエリアを選び、[MENU/SET] ボタンで設定する(繰り返す)

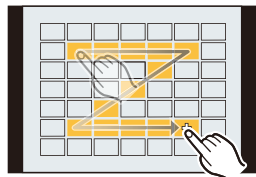
- 選択したAFエリアを解除するには、もう一度[MENU/SET] ボタンを押してください。
- すべての選択を解除するには、[DISP.]ボタンを押してください。

タッチ操作

タッチまたはドラッグして、AFエリアを選ぶ

- 選択したAFエリアを解除するには、もう一度タッチしてください。

② Fnボタン(Fn1)を押して、決定する



■ 設定したAFエリアを [[C1]]、[[C2]]、[[C3]] (カスタム) に登録する

① 80ページの手順3の画面で、▲ ボタンを押す

② ▲/▼ ボタンで登録先を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [[MENU]]/[[C1]]/[[C2]]/[[C3]] で調整した設定は、電源スイッチを[OFF]にするとお買い上げ時の設定に戻ります。

AFモードの制限事項

- 以下の場合、AFモードは[[□]]に固定されます。
 - デジタルズーム使用時
 - クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]
- 4Kライブクロープ設定時、AFモードは[[👤]]に固定されます。
- 以下の場合、AFモードは設定できません。
 - フォーカスセレクト撮影時
 - [スナップムービー]の[ピント送り]を[ON]にしたとき

👤 (顔・瞳認識)

- 以下の場合、[[👤]] が設定できません。
 - シーンガイドモードの[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティストチックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景を手持ちで撮る]/[料理をおいしそうに撮る]/[スイーツをかわいく撮る]
- 4Kライブクロープ設定時、ピントを合わせる目の変更はできません。
- 被写体の動きが速いときなど、状況によっては顔を認識できない場合は、[[👤]]の動作になります。

👤 (追尾)

- 被写体が小さいときや暗いときなど、撮影状況によって追尾AFが正しく動作しない場合は、[[□]]の動作になります。

- 以下の場合、[AF-ON]が使用できません。
 - インターバル撮影時
 - ライブビューコンボジット撮影時
- 以下の場合、[AF-ON]は[AF-ON]の動作になります。
 - シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[花をぶんわり撮る]/[モノクロで撮る]
 - クリエイティブコントロールモードの[セピア]/[モノクローム]/[ダイナミックモノクローム]/[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
 - [フォトスタイル]の[モノクローム]/[L.モノクローム]/[L.モノクロームD]

[+] (ピンポイント)



- 動画撮影時や4Kフォト撮影時、[+]に設定している場合は、[AF-ON]に切り換わります。
- フォーカスモードが[AFF] または [AFC] の場合、[+]に設定できません。

AFエリアの移動操作

使用できるモード:   **P** **A** **S** **M**  **S&Q** **SCN** 

AFモードの [AF-ON]、[AF-ON]、[AF-ON]、[+] では、AFエリアの位置や大きさを設定できます。
[AF-ON] では、ロック開始位置を設定できます。

- タッチ機能を [AF-ON] (タッチAF) に切り換えてください。(P44)
- 撮影画面をタッチしても、AFエリア設定画面を表示できます。

MENU ボタン →  [カスタム] →  [操作] → [タッチ設定] → [タッチAF] → [AF]

- カスタムメニュー(フォーカス/リリース)で、AFエリアの表示方法などをお好みに応じて設定できます。(P183)

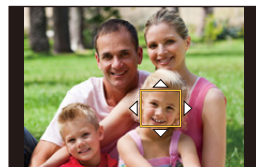
- [測光モード]が[□]のときは、測光ターゲットもAFエリアに合わせて移動します。

こんなときは使用できません



- 以下の場合、AFエリアの位置と大きさを変えることはできません。
 - デジタルズーム使用時
 - 4Kライブクロップ設定時

[AF-ON]、[AF-ON]、[AF-ON] 選択時

- 1 [AF-ON] ボタン(◀)を押す
- 2 [AF-ON]、[AF-ON] または [AF-ON] を選び、▼ ボタンを押す
 - AFエリア設定画面が表示されます。



3 AFエリアの位置と大きさを変更する

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶	タッチ	位置の移動
	ピンチアウト/ピンチイン	大きさの変更(細かく)*
	—	大きさの変更**
[DISP.]	[リセット]	1回目:位置を中央に戻す 2回目:大きさを初期設定に戻す**

* [AF] の場合は操作できません。

4 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

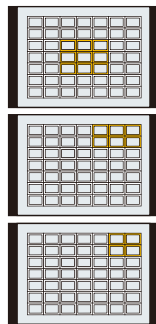
- [AF] 選択時は、設定した場所に [AF] と同じ動きのAFエリアが設定されます。
[MENU/SET] ボタンを押す、または [AF] をタッチするとAFエリアの設定を解除できます。

[AF] 選択時

AFエリアのグループを選ぶことで、ピントを合わせる位置を設定できます。49点のAFエリアは9点(画面の端では6点または4点)ごとのグループに分けられています。

- 1 [AF] ボタン(◀)を押す
- 2 [AF] を選び、▼ボタンを押す
 - AFエリア設定画面が表示されます。
- 3 ▲/▼/◀/▶ ボタンで、AFエリアのグループを選択する
- 4 [MENU/SET] ボタンを押して決定する
 - [MENU/SET] ボタンを押す、または [AF] をタッチするとAFエリアの設定が解除されます。

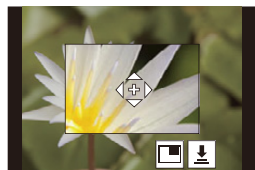
グループの例



[+] 選択時

画面を拡大して、ピント位置を細かく設定できます。

- 1 [] ボタン(◀)を押す
- 2 [+] を選び、▼ ボタンを押す
- 3 ▲/▼/◀/▶ ボタンでピントを合わせる位置を決め、
[MENU/SET] ボタンを押す
● 拡大表示が表示されます。
- 4 [+] をピントを合わせる位置に移動する



ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶	タッチ	[+]の移動
	ピンチアウト/ピンチイン	画面を細かく拡大/縮小
	—	画面を拡大/縮小
		拡大表示の切り換え(画面の一部/画面全体)
[DISP.]	[リセット]	手順3の画面に戻す

- 画面の一部のときは約3倍～6倍、画面全体のときは約3倍～20倍に拡大できます。
- [] をタッチしても、写真を撮影できます。

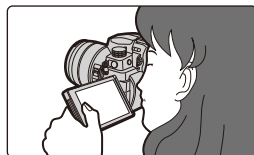
5 [MENU/SET] ボタンを押して決定する



- ピントを合わせる位置は、画面の端に設定できません。

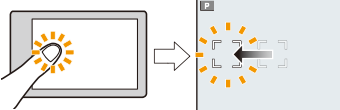
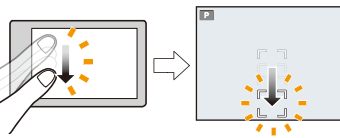
タッチパッドを使った AF エリアの移動操作




使用できるモード：

ファインダー表示中にモニターをタッチして AF エリアを移動できます。



MENU ボタン →  [カスタム] →  [操作] → [タッチ設定] → [タッチパッド AF]

絶対位置	タッチパッドをタッチした位置に、ファインダーの AF エリアが移動します。	
相対位置 1 ~ 相対位置 7	タッチパッドをドラッグした移動量に応じて、ファインダーの AF エリアが移動します。 操作エリアを 7 つから選択できます。 設定: [相対位置 1] (全域) [相対位置 2] (右半分) [相対位置 3] (右上) [相対位置 4] (右下) [相対位置 5] (左半分) [相対位置 6] (左上) [相対位置 7] (左下)	例) [相対位置 1] に設定した場合 
OFF	—	—

- シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる位置を決定してください。
また、ピントを合わせる位置を中央に戻すには、決定前に [DISP.] ボタンを押してください。
もう一度押すと、大きさが初期設定に戻ります。
- []、[]、[] 選択時に、AF エリア枠の設定を解除するには、[MENU/SET] ボタンを押してください。
- 以下の場合、[タッチパッド AF] が使用できません。
 - 4K ライブクロップ撮影時
 - [スナップムービー] の [ピント送り] を [ON] にしたとき

タッチした位置にピントや明るさを合わせる

使用できるモード: P A S M S&Q SCN

MENU ボタン → [カスタム] → [操作] → [タッチ設定] → [タッチAF] → [AF+AE]

1 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- タッチした場所に [■] と同じ働きのAFエリアが表示されます。(P82)
- 明るさを合わせる位置がAFエリアの中央に表示され、AFエリアに合わせて移動します。
- [測光モード]はタッチAE専用の に変わります。

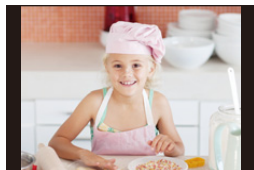


2 [決定]をタッチする

- [AF+AE] の設定を解除するには、 ([■] 設定時は))をタッチしてください。



背景が明るくなりすぎた場合などは、露出補正をすることで、背景との明るさのバランスを調整できます。



- タッチシャッター撮影時は、タッチした位置でピントと明るさを合わせて撮影します。
- 画面の端では、タッチした場所の周辺の明るさの影響を受ける場合があります。



こんなときは使用できません

- 以下の場合、[AF+AE]が働きません。
 - デジタルズーム使用時
 - 4Kライブクローズアップ撮影時

MFで撮る

使用できるモード：      

MF(マニュアルフォーカス)とは手動ピント合わせのことで、ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、AFを働かせたくない場合に使います。

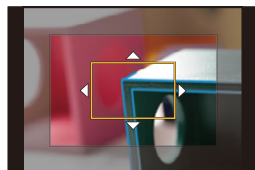
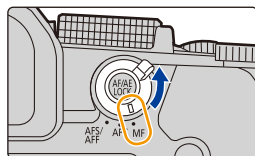
1 フォーカスモードレバーを[MF]に合わせる

2 [MENU] ボタン(◀)を押す

3 ▲/▼/◀/▶ ボタンでピントを合わせる位置を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- アシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。(MFアシスト)
- 画面をドラッグしても、ピントを合わせる位置を選択できます。
- 以下の操作でも拡大表示されます。
 - フォーカスリングを回す
 - フォーカスレバーを動かす
 - 画面をピンチアウトするか2回タッチする

4 ピントを合わせる

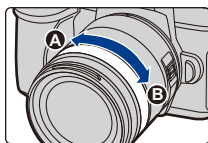


手動でピントを合わせる操作はレンズによって異なります。

フォーカスリングのある交換レンズをお使いの場合

A 側に回す：近くにピントを合わせる

B 側に回す：遠くにピントを合わせる

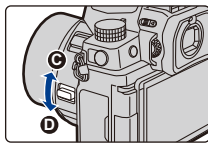


フォーカスレバーのある交換レンズをお使いの場合

C 側に動かす：近くにピントを合わせる

D 側に動かす：遠くにピントを合わせる

- フォーカスレバーを動かす幅によって、ピントを合わせる速度が変わります。



フォーカスリングのない交換レンズをお使いの場合

▶ ボタンを押す：近くにピントを合わせる

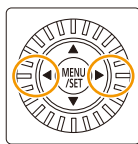
◀ ボタンを押す：遠くにピントを合わせる

- ◀/▶ ボタンを押したままにすると、ピント調整の速度が速くなります。

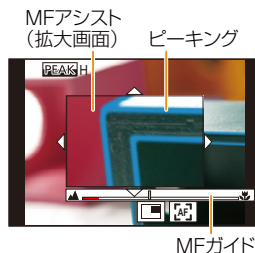
- スライダーをドラッグしても、ピント合わせができます。



スライダー



- ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。(ピーキング)
- 近距離側、遠距離側へピントを合わせる方向を確認できます。(MFガイド)



以下の操作ができます。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶※1	ドラッグ	拡大表示位置の移動
	ピンチアウト/ピンチイン	画面を細かく拡大/縮小
	—	画面を拡大/縮小
※2	※2	拡大表示の切り換え(画面の一部/画面全体) ↔
[DISP.]※1	[リセット]※1	1回目: 拡大表示する位置を中央に戻す 2回目: 大きさを初期設定に戻す

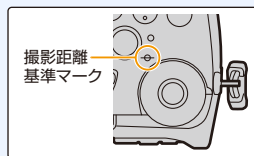
※1 フォーカスリングのない交換レンズをお使いの場合、▼ボタンを押して拡大位置の設定画面を表示させると操作ができます。

※2 インテリジェントオートモードでは設定できません。

- 画面の一部のときは約3倍～6倍、画面全体のときは約3倍～20倍に拡大できます。

5 シャッターボタンを半押しする

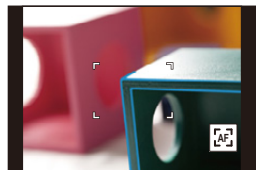
- [MENU/SET]ボタンを押しても、同じ操作ができます。
- フォーカスリングを回して、またはフォーカスレバーを動かして拡大表示した場合は、操作をやめると約10秒後にアシスト画面を終了します。
- 使用するレンズにより、MFアシストまたはMFガイドが表示されない場合があります。MFアシストを表示するには、タッチパネル操作またはボタン操作で本機を直接操作してください。
- カスタムメニュー(フォーカス/レリーズ)の[縦/横位置フォーカス切換]を設定した場合、カメラの向きごとにMFアシストの拡大表示位置を記憶できます。
- 撮影距離基準マークは、撮影距離の基準となるマークです。MFや接写の目安にしてください。



AFを使って素早くピントを合わせる

をタッチする

- 枠の中心でAFが働きます。
- 以下の操作でもAFが働きます。
 - [AF-ON]を設定した[AF/AE LOCK]ボタンを押す (P90)
 - [AF-ON]を設定したFnボタンを押す (P50)
 - モニターをドラッグしてピントを合わせたい位置で指を離す
- 4Kライブクローズアップ設定時、この機能は使用できません。



ピントや露出の固定(AF/AEロック)

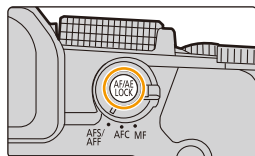
使用できるモード:      S&Q  

撮影前にピントや露出を固定し、そのまま構図を変えて撮影します。画面の端にピントを合わせたいときや逆光時などに便利です。

1 被写体に向けてカメラを構える



2 [AF/AE LOCK] ボタンを押したまま、ピントや露出を固定する

- お買い上げ時の設定では [AE LOCK] が動作して、露出を固定します。画面に [AEL] が表示されます。
- [AF/AE LOCK] ボタンを離すと、ロックは解除されます。

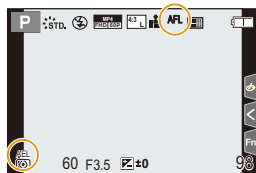


3 [AF/AE LOCK] ボタンを押したまま、撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする

■ [AF/AE LOCK] の機能を設定する

MENU ボタン →  [カスタム] →  [フォーカス/リリース] → [AF/AEロック切換]

AE LOCK	露出を固定します。 • [AEL] が表示されます。
AF LOCK	ピントを固定します。 • [AFL] が表示されます。
AF/AE LOCK	ピントと露出を固定します。 • [AFL] と [AEL] が表示されます。
AF-ON	AF が働きます。



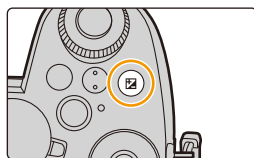
- マニュアル露出モード時は、AFロックだけ働きます。
- MF時は、AEロックだけ働きます。
- AEロック時でも、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直すことができます。
- AEロック時でも、プログラムシフトを設定できます。

露出補正

使用できるモード：       

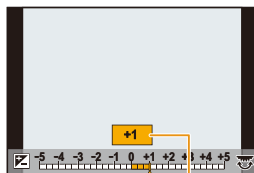
被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

1 [] ボタンを押す



2 前後のダイヤル、またはコントロールダイヤルを回して露出を補正する

- カスタムメニュー(操作)の[露出補正画面の操作]で、露出補正画面で設定する内容を変更できます。(P38)



露出補正

露出アンダー	適正露出	露出オーバー
		
露出をプラス方向に補正してください。		露出をマイナス方向に補正してください。

3 [] ボタンを押して決定する

- シャッターボタンを半押ししても決定できます。

- マニュアル露出モード時は、ISO感度を[AUTO]に設定した場合に露出補正できます。
- 露出補正值は、-5 EV ~ +5 EV の範囲で設定できます。
動画撮影時、4K フォト撮影時およびフォーカスセレクト撮影時は、-3 EV ~ +3 EV の範囲で設定できます。
- 撮影メニューの[フラッシュ設定]の[露出補正連動]を[ON]に設定した場合、露出補正值に応じてフラッシュの発光量も自動的に調整されます。
- 明るさによっては、補正できない場合があります。
- 露出補正值が-3 EV から +3 EV の範囲を超える場合、撮影画面の明るさはそれ以上変化しません。シャッターボタンを半押しする、または[AF/AE LOCK] ボタンで AE ロックにすると、撮影画面に反映されます。
- 設定した露出補正值は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。([露出補正リセット]を[OFF]に設定した場合)

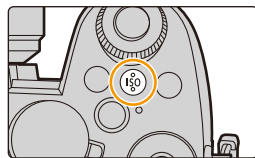
ISO感度の設定

使用できるモード:        


光に対する感度(ISO感度)を設定できます。

- 1 [ISO] ボタンを押す
- 2 前後のダイヤル、またはコントロールダイヤルを回してISO感度を選ぶ

- カスタムメニュー(操作)の[ISO感度画面の操作]で、ISO感度画面で設定する内容を変更できます。(P38)



ISO感度

AUTO	明るさに応じて、自動的にISO感度を調整します。 ● 最大[ISO3200] ^{※1}
 ISO (インテリジェントISO)	被写体の動きと明るさに応じてカメラが最適なISO感度とシャッタースピードを自動的に設定し、被写体のブレを抑えます。 ● 最大[ISO3200] ^{※1} ● シャッタースピードはシャッターボタン半押し時に固定されません。全押しするまで常に被写体の動きに合わせて変化します。
L.100 ^{※2} 、200～25600	それぞれのISO感度に固定します。

※1 撮影メニューの[ISO感度設定(写真)]の[ISOオート上限設定]を[AUTO]に設定した場合

※2 カスタムメニュー(露出)の[拡張ISO感度]を[ON]に設定した場合

- 3 [ISO] ボタンを押して決定する

- シャッターボタンを半押ししても決定できます。

ISO感度の性質

	200	↔	25600
撮影場所(お勧め)	明るいとき(屋外)		暗いとき
シャッタースピード	遅くなる		速くなる
ノイズ	少ない		多い
被写体ブレ	多い		少ない

- [AUTO] 設定時のフラッシュ撮影可能範囲については、132 ページをお読みください。
- シャッター優先AEモードやマニュアル露出モードでは、[ISO] が使用できません。
- [多重露出] 設定時のISO感度の上限は [ISO3200] になります。
- [フォトスタイル] を [V-Log L] に設定した場合は、ISO感度の下限が [ISO400] になります。
- 以下の機能を使用中は、設定できるISO感度に制限があります。
 - クリエイティブ動画モード/4Kフォト撮影/フォーカスセレクト撮影：
[AUTO]、200～6400 ([拡張ISO感度] を [ON] に設定した場合は、L.100～6400)
 - ライブビューコンボジット撮影：
200～1600 ([拡張ISO感度] を [ON] に設定した場合は、L.100～1600)

■ 拡張ISO感度

使用できるモード：        

ISO感度を最小 [ISO100] まで設定できるようになります。

MENU ボタン →  [カスタム] →  [露出] → [拡張ISO感度] → [ON]

こんなときは使用できません

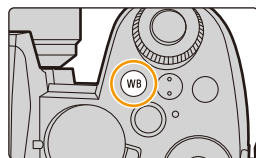
- 以下の場合、[拡張ISO感度] が動きません。
 - [フォトスタイル] を [V-Log L] に設定したとき
 - [多重露出] 設定時

ホワイトバランス(WB)の設定

使用できるモード：     







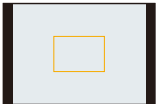


光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

1 [WB] ボタンを押す



2 前後のダイヤルまたはコントロールダイヤルを回してホワイトバランスを選ぶ



AWB	オート	
AWBc	オート(白熱電球下で赤みを抑えます)	
AWBw	オート(白熱電球下で赤みを残します)	
	晴天の屋外での撮影時	
	曇りの屋外での撮影時	
	屋外の晴天下の日陰での撮影時	
	白熱灯下での撮影時	
 *	フラッシュ光だけでの撮影時	
	白いものを撮影してホワイトバランスを設定します。複数の光源下で撮影するとき便利です。 ① ▲ ボタンを押す ② 画面中央の枠内に紙など白いものを映し、[MENU/SET] ボタンを押す ● ホワイトバランスが設定され、撮影画面に戻ります。 ● 被写体が明るすぎたり、暗すぎたりすると、ホワイトバランスを設定できない場合があります。そのときは適切な明るさに調整して再度設定してください。	
	光源に合わせてホワイトバランスの色温度を設定します。 ① ▲ ボタンを押す ② ▲/▼ ボタンで色温度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す ● [2500K]～[10000K]まで設定できます。	

※ 動画撮影時、4K フォト撮影時およびフォーカスセレクト撮影時は[AWB]の動作になります。

3 [WB] ボタンを押して決定する

- シャッターボタンを半押ししても決定できます。



蛍光灯やLEDなどの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なります。
[AWB]、[AWBc]、[AWBw]、[]、[]、[]、[]をお使いください。

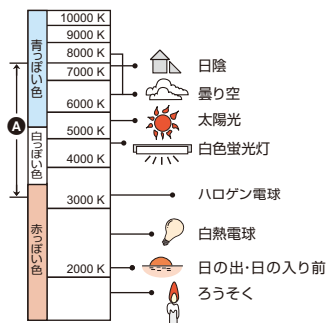
- フラッシュ撮影可能範囲外でフラッシュ撮影をすると、ホワイトバランスが合わない場合があります。
- シーンガイドモード時は、
 - それぞれのシーンに適した設定になります。
 - シーンまたは撮影モードを変更すると、設定したホワイトバランス(ホワイトバランスの調整も含む)が[AWB]に戻ります。

■ オートホワイトバランスについて

撮影時の状況によっては、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、以下の場合は、オートホワイトバランスが正常に働かないことがあります。ホワイトバランスを[AWB]、[AWBc]、[AWBw]以外に設定して調整してください。

- 光源が複数あるとき
- 白に近い色がないとき

A: [AWB]が働く範囲



ホワイトバランスの調整

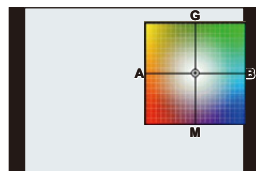
ホワイトバランスを設定しても、思いどおりの色合いにならないときに、色合いを調整できます。

1 ホワイトバランスを選び、▼ ボタンを押す

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して色合いを調整する

- ◀:A(アンバー:オレンジ系) ▲:G(グリーン:緑系)
▶:B(ブルー:青系) ▼:M(マゼンタ:赤系)

- ホワイトバランスのグラフをタッチしても調整できます。
- 中心点に戻すには、[DISP.]ボタンを押してください。
- ホワイトバランスブラケットを設定するには、コントロールダイヤルを回してください。(P122)



3 [MENU/SET] ボタンを押す

- シャッターボタンを半押しして、撮影画面に戻ります。

- ホワイトバランスをA(アンバー)またはB(ブルー)方向に調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンが調整した色に変わります。
- ホワイトバランスをG(グリーン)またはM(マゼンタ)方向に調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンに[+] または[-] が表示されます。

5.

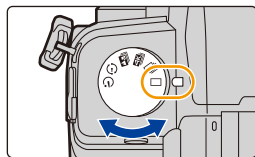
4Kフォト・ドライブの設定






ドライブモードの選択

使用できるモード： **P** **A** **S** **M** MM S&Q  

シャッターボタンを押したときの動作を切り換えることができます。

ドライブモードダイヤルを回す




<input type="checkbox"/> 単写	シャッターボタンを押すと1枚だけ撮影します。
 連写(P98)	シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
 4Kフォト(P100)	シャッターボタンを押すと4Kフォトの撮影をします。
 フォーカスセレクト(P109)	シャッターボタンを押すとフォーカスセレクトの撮影をします。
 インターバル/コマ撮り撮影(P114, 116)	インターバル撮影、またはコマ撮りアニメを撮影します。
 セルフタイマー(P118)	シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。

連写する

使用できるモード：      

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

1 ドライブモードダイヤルを [] に合わせる

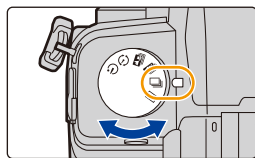
2 連写設定を選ぶ

MENU ボタン →  [撮影] → [連写速度]

設定：[H](高速)、[M](中速)、[L](低速)

3 ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。



■ 連写速度

	連写速度	連写中のライブビュー
[H](高速)	9 コマ/秒 (AFS, MF) 6 コマ/秒 (AFF, AFC)	なし (AFS, MF) あり (AFF, AFC)
[M](中速)	6 コマ/秒	あり
[L](低速)	2 コマ/秒	あり

■ 連写コマ数

	RAWファイルあり	RAWファイルなし
[H](高速)	27 コマ以上	600 コマ以上
[M](中速)		
[L](低速)		

- 当社測定条件による撮影時。

途中から連写速度が遅くなりますが、カードの容量がいっぱいになるまで撮影できます。
撮影条件によっては連写コマ数が少なくなる場合があります。

■ 連続撮影可能枚数について

シャッターボタンを半押しすると、連続撮影可能枚数が表示されます。
撮影速度を維持しながら連写撮影できる枚数の目安が確認できます。

例) 20 枚のとき：[r20]



- 撮影を始めると連続撮影可能枚数は減少します。[r0] と表示されると、撮影速度が低下します。
- [r99+] と表示されているときは、100 枚以上の連続撮影ができます。

■ 連写時のピントについて

ピント合わせは、フォーカスモードとカスタムメニュー(フォーカス/リリース)の [フォーカス/リリース優先] の設定によって異なります。

フォーカスモード	フォーカス/ リリース優先	[H]	[M]/[L]
AFS	フォーカス	1コマ目	
	バランス		
	リリース		
AFF/AFC※ ¹	フォーカス	予測ピント※ ²	常時ピント※ ³
	バランス	予測ピント※ ²	
	リリース		
MF	—	マニュアルで設定したフォーカス	

※¹ 被写体が暗い場合は、ピントは1コマ目に固定されます。

※² 連写速度を優先し、可能な範囲でピントを予測します。

※³ 連写速度は遅くなることがあります。

- 連写速度は、以下の設定によって低下することがあります。
 - [記録画素数]/[クオリティ]/ISO感度/フォーカスモード/[フォーカス/リリース優先]
- 連写速度を[H] (フォーカスの設定が[AFS]または[MF]の場合)に設定したときは、1コマ目の露出に固定されます。その他の場合は、1コマごとに露出を調整します。
- 連写した写真の保存には時間がかかる場合があります。保存中に引き続き連写した場合は、連写コマ数が減少します。連写時は、高速タイプのカードのご使用をお勧めします。
- シャッターボタンを押したまま連続撮影するときは、シャッターリモコン(別売:DMW-RS2)の使用をお勧めします。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、連写は働きません。
 - シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景を手持ちで撮る]/[花をぶんわり撮る]
 - クリエイティブコントロールモードの[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ジオラマ]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
 - フラッシュ撮影時
 - [多重露出]設定時

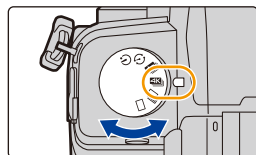
4Kフォト撮影

使用できるモード： **P** **A** **S** **M**

約800万画素の写真を30コマ/秒で連写撮影します。撮影後に連写ファイルから一瞬を選んで保存できます。

- 撮影時はUHS Speed Class 3のカードをお使いください。

1 ドライブモードダイヤルを[4K]に合わせる



2 撮影方法を選ぶ

MENU ボタン → [撮影] → [4Kフォト] → [撮影方法]

 4K連写	動きが速い被写体のベストな一瞬をとらえたいとき (スポーツ、飛行機、鉄道など) 音声記録: なし
 4K連写(S/S) S/Sとは 「Start/Stop」の 略を表します。	いつ起こるかわからないシャッターチャンスをとらえたいとき (植物、動物、子どもなど) 音声記録: あり※
 4Kプリ連写	シャッターチャンスの瞬間に合わせて撮りたいとき (ボールを投げる瞬間など) 音声記録: なし







※ 本機で再生する場合、音声は再生されません。

3 シャッターボタンを半押しして、メニューを終了する

4 4Kフォトを撮影する

- AFで撮影中はAF連続動作が働き、ピントを合わせ続けます。


 4K連写	<ol style="list-style-type: none"> シャッターボタンを半押しする 撮影したい間、シャッターボタンを全押ししたままにする <ul style="list-style-type: none"> ●全押ししてから約0.5秒後に撮影が開始されるので、早めに全押ししてください。 ●撮影開始後すぐにシャッターボタンを離すと、最大約1.5秒後まで記録される場合があります。 	
----------	---	--

 <p>4K連写(S/S)</p>	<p>1 シャッターボタンを全押しする 2 もう一度、シャッターボタンを全押しして、撮影を終了する</p> <p> 手動でマーカを設定する 撮影中に [Fn2] ボタンを押すと、マーカを付けることができます。(1回の撮影に最大40個まで) 4K連写ファイルから写真を選び保存するときに、マーカを付けた位置へスキップできます。</p>	<p>開始 (1回目) 終了 (2回目)</p>  <p>記録される範囲</p>
 <p>4Kプリ連写</p>	<p>シャッターボタンを全押しする</p> <ul style="list-style-type: none"> ● AF時はピントを合わせ続けます。マニュアル露出モード以外では、露出も合わせ続けます。 ● 通常の撮影画面と比べて滑らかさが劣る場合があります。 <p> 撮影のテクニック 被写体が中央にないときなどに、ピントや露出を固定したい場合は、AF/AEロックをお使いください。(P90)</p>	 <p>約1秒 約1秒</p> <p>記録される範囲</p>

- 4Kフォトを連写撮影し、MP4形式の4K連写ファイルが記録されます。
- オートレビューを設定している場合、写真を選ぶ画面が自動で表示されます。続けて撮影する場合は、シャッターボタンを半押しして、撮影画面を表示してください。
- 撮影した4K連写ファイルから写真を選び保存する方法は：(P105)

■ プリ記録を設定する(4K連写、4K連写(S/S))

シャッターボタンを全押しする約1秒前から記録し、シャッターチャンスを見逃すことを防ぎます。

MENU ボタン →  [撮影] → [4Kフォト] → [プリ記録]


設定: [ON]、[OFF]

- 設定時は撮影画面に [PRE] が表示されます。
- [プリ記録] 使用時のAFの動作や設定できないメニューは、[4Kプリ連写]と同じです。

■ ループ記録を設定する(4K連写(S/S))

古いデータを消去しながら記録できます。カードを交換せずにシャッターチャンス待ちながら撮影できます。

- 撮影を開始すると、4K連写ファイルが約2分ごとに分割して記録されます。最新の約10分間(最大約12分間)が記録されます。それ以前の部分は消去されます。

MENU ボタン →  [撮影] → [4Kフォト] → [ループ記録(4Kフォト)]

設定: [ON]、[OFF]

- 十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- 連続して撮影できるのは、12時間までです。
- 設定時は撮影画面に[🔄]が表示されます。

こんなときは使用できません

- カードの空き容量が不足する場合、ループ記録ができません。



本機の温度やバッテリーの消耗について

- 周囲の温度が高い場合は、[△]が表示されたあと、撮影が停止することがあります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
 - [🔄] (4Kプリ連写)* や [プリ記録] を設定しているときは、バッテリーの消耗が早くなり、本機の温度も上昇します。撮影するときだけ設定してください。
- * 本機の保護のため、[🔄] (4K連写) に切り換わる場合があります。

4Kフォトについてのお知らせ

■ 横縦比を変更する

撮影メニューの[画像横縦比]を設定することで、4Kフォトの横縦比を設定できます。

■ 被写体ブレを抑えて撮る

シャッタースピードを速くすることで、被写体ブレを抑えることができます。

1 モードダイヤルを[S]に合わせる

2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する

- 晴天の屋外でのシャッタースピードの目安：1/1000秒以上
- シャッタースピードを速くすると、ISO感度が高くなり、画面にノイズが増えることがあります。

■ 手ブレを抑えて撮る

[比較明合成]や[軌跡合成]をする場合、カメラのブレを抑えるために、三脚とシャッターリモコン(別売:DMW-RS2)の使用をお勧めします。

■ 撮影時のシャッター音について

- [4K連写]や[4Kプリ連写]で撮影するときは、[電子シャッター音音量]と[電子シャッター音音色]で、電子シャッター音を設定できます。
- [4K連写(S/S)]で撮影時、開始音/終了音は、[電子音音量]で音量を設定できます。
- [サイレントモード]と組み合わせて撮影すると、静かに高速連写撮影ができます。

■ 苦手な撮影シーン

極端に明るい場所や室内での撮影

極端に明るい場所、または蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、色合いや明るさが変わったり、画面に横しまが現れたりすることがあります。シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減される場合があります。

速く動く被写体

速く動く被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。

■ 4Kフォト撮影時のカメラの設定について

4Kフォト撮影時は、自動で最適な設定に切り換わります。

- 以下の撮影メニューは固定されます。


記録画素数	[4K](8M)	クオリティ	[]
	[4:3]: 3328×2496 [3:2]: 3504×2336 [16:9]: 3840×2160 [1:1]: 2880×2880	シャッター方式	[電子シャッター]

- 4K連写ファイルは以下の設定で撮影されます。
動画メニューの設定は、4K連写ファイルに反映されません。

画質設定	[4K/100M/30p]	輝度レベル設定	[0-255]
AF連続動作	[ON]		

- 4Kフォト撮影時は、以下の機能を設定できる範囲が写真撮影時と異なります。
 - シャッタースピード: 1/30～1/16000
 - [下限シャッター速度]: [1/1000]～[1/30]
 - 露出補正: -3 EV～+3 EV
 - ISO感度: [AUTO]、200～6400 ([拡張ISO感度]を[ON]にした場合は、L.100～6400)
- 4Kフォト撮影時は、以下の機能が使用できません。
 - フラッシュ撮影
 - ブラケット撮影
 - プログラムシフト
 - フォーカスモード(AFF)
 - AFモード()
 - MFアシスト([4Kプリ連写]設定時)
 - ホワイトバランス()
- 以下のメニューは設定できません。

インテリジェントオート	[i手持ち夜景]/[iHDR]
クリエイティブコントロール	[フィルターなし同時記録]
撮影	[記録画素数]/[クオリティ]/[AFS/AFF]/[AF追従感度(写真)]/ [色空間]/[フラッシュ設定]/[長秒ノイズ除去]/[シェーディング補正]/ [EXテレコン(写真)]/[ライブビューコンボジット撮影]/ [シャッター方式]/[シャッターディレイ]/[ブラケット]/[HDR]
カスタム	[記録枠表示]/[個人認証]/[プロフィール設定]
セットアップ	[エコモード]([4Kプリ連写]設定時)

- 以下の条件ではファイルは分かれて保存・再生されます。(撮影は中断することなく続けることができます)
 - SDHCメモリーカード使用時: ファイルサイズが4GBを超える場合
 - SDXCメモリーカード使用時: 連続記録時間が3時間4分を超える場合、ファイルサイズが96GBを超える場合
- 4Kフォト撮影時、以下のようになります。
 - 画角が狭くなります。
 - [トラベル日付]の[旅行先]は記録できません
 - [フィルター設定]の[フィルターなし同時記録]は設定できません
 - HDMI出力はできません
- [4Kプリ連写]で撮影時、[パワースームレンズ]の[ステップズーム]は動きません。
- インテリジェントオートモードでのシーン判別は、動画撮影時と同じです。
- ドライブモードを4Kフォトに設定した場合、動画撮影中に写真を撮影できません。
([ (写真優先)]設定時)

こんなときは使用できません

- 以下の場合、4Kフォトは働きません。
 - シーンガイドモードの[逆光でしっかり撮る]/[水面をキラキラ撮る]/
[夜景をアーティスティックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/
[夜景を手持ちで撮る]/[夜景をバックに人物をきれいに撮る]/[花をふんわり撮る]
 - クリエイティブコントロールモードの[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/
[ジオラマ]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
 - 動画撮影時
 - [多重露出]設定時

4K連写ファイルから写真を選ぶ

1 再生画面で [] アイコンが付いた画像を選び、▲ ボタンを押す

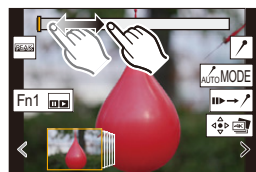
- アイコン [] をタッチしても同じ操作ができます。
- [4Kプリ連写] で撮影した場合は、手順3へ進んでください。



2 スライダーをドラッグし、おおまかにシーンを選ぶ

- スライドフォトセレクト画面での操作方法は、106 ページをお読みください。
- [] (Fn1) をタッチすると、4K連写再生画面でもシーンを選択できます。(P107)
- [] をタッチすると、マーカー操作画面に切り換わります。(P108)

スライドフォトセレクト画面



3 ドラッグし、写真として保存するコマを選ぶ

- ◀/▶ を押しても、同じ操作ができます。
- 連続してコマ戻し/コマ送りするには、[<]/[>] をタッチし続けてください。



4 [] をタッチして、写真を保存する

- 写真は JPEG 形式で保存されます。

- 保存する写真には、シャッタースピード、絞り、ISO感度などの撮影情報 (Exif 情報) が記録されます。
- パソコンに4K連写ファイルを保存した場合、MP4 動画として扱われます。

■ 4Kフォト一括保存

4K連写ファイルから、5秒分の写真を一括で保存できます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [再生] → [4Kフォト一括保存]

2 ◀/▶ ボタンで4K連写ファイルを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

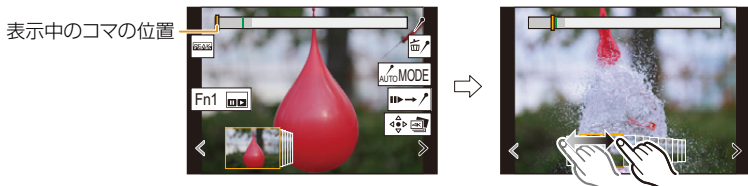
- 連写時間が5秒以下の場合、すべてのコマを写真として保存します。

3 一括保存する最初のコマを選ぶ

- 選択方法は、4K連写ファイルから写真を選ぶ操作と同じです。
- 写真は JPEG 形式で、1つの連写グループとして保存されます。(P162)

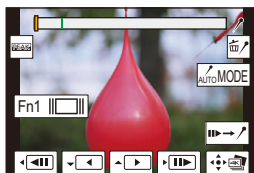
写真を選ぶときの操作

■ スライドフォトセレクト画面での操作



ボタン操作	タッチ操作	操作内容
◀/▶ / (時計マーク)	ドラッグ/ ◀ / ▶	コマの選択 ● スライドフォトセレクトを切り換えるには、端のコマを選択し、[<] または [>] をタッチしてください。
◀/▶ 長押し	◀ / ▶ タッチし続ける	連続してコマ戻し/コマ送り
—	表示中のコマの位置 タッチ/ドラッグ	表示するコマの選択 ● 前後のコマをスライドフォトで表示します。
(拡大アイコン)	ピンチアウト/ピンチイン	表示の拡大/縮小
(拡大アイコン)	—	拡大したままコマを選択 (拡大表示中)
▲/▼ / ◀/▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動 (拡大表示中)
—	AUTO MODE	表示するマーカーの切り換え (P108)
Fn1	4K連写再生アイコン	4K連写再生画面を表示
—	マーカー操作アイコン	マーカー操作への切り換え (P108)
—	マーカー追加/削除アイコン	マーカーの追加/削除
—	PEAK	ピントが合っている部分に色をつけて表示 (ピーキング) ● [PEAK OFF] → [PEAK L] (低) → [PEAK H] (高) の順に切り換わります。
[MENU/SET]	保存アイコン	写真の保存

■ 4K連写再生画面での操作



一時停止中



連続再生中

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶/	連続再生/一時停止(連続再生中)
▼	◀/	連続戻し再生/一時停止(連続戻し再生中)
▶/(⊙)	▶▶/ ▶	早送り再生/コマ送り(一時停止中)
◀/(⊙)	◀◀/◀	早戻し再生/コマ戻し(一時停止中)
-	タッチ/ドラッグ	表示するコマの選択(一時停止中)
	ピンチアウト/ピンチイン	表示の拡大/縮小(一時停止中)
	-	拡大したままコマを選択(拡大表示中)
▲/▼/◀/▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動(拡大表示中)
-	AUTO MODE	表示するマーカーの切り換え(P108)
Fn1	□	スライドフォトセレクト画面を表示(一時停止中)
-	▶▶→/	マーカー操作への切り換え(P108)
-	▶/◀	マーカーの追加/削除
-	PEAK	ピントが合っている部分に色をつけて表示(ピーキング) ● [PEAK OFF] → [PEAK L](低) → [PEAK H](高)の順に切り換わります。
[MENU/SET]		写真の保存(一時停止中)

- 画面を2回タッチすることにより、拡大表示/通常表示が切り換わります。

テレビの画面で写真を選び保存する

- [HDMI出力解像度(再生時)]を[AUTO]または[4K/30p]の解像度の設定にしてください。
4K動画に対応していないテレビに接続する場合は、[AUTO]に設定してください。
- テレビに接続して表示する場合、4K連写再生画面が表示されます。

マーカー

4K連写ファイルから写真を選んで保存するときに、マーカーの位置へスキップすると、写真が選びやすくなります。マーカーには2種類あります。

白色: 撮影時や再生時に手動で設定したマーカー

緑色: 撮影時にカメラが自動で設定したマーカー
(オートマーキング機能)

マーカー操作画面



■ マーカーの位置へスキップする

スライドフォトセレクト画面、または4K連写再生画面で[⏪→]をタッチすると、マーカー操作画面に切り換わり、マーカーの位置にスキップできます。[↶→]をタッチすると、元の操作に戻ります。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
◀/▶	◀ / ▶	前 / 次のマーカーへ移動



オートマーキング機能

カメラが被写体の動きや顔を検出したシーンに、自動でマーカーを設定します。
(例: 乗り物が横切るシーン、風船が割れるシーン、人が振り向くシーン)

- 1ファイルにつき最大10個まで表示されます。
- 以下の場合は撮影条件や被写体の状態によって、オートマーキング機能によるマーカーが設定されることがあります。
 - 流し撮りや手ブレなどでカメラが動いている
 - 被写体の動きが遅い/小さい
 - 被写体が小さい
 - 顔が正面を向いていない

■ 表示するマーカーを切り換える

スライドフォトセレクト画面、4K連写再生画面、またはマーカー操作画面で [AUTO MODE] をタッチする

オート	顔を検出したシーンや、動きを検出したシーンのマーカーを表示します。
顔優先	顔を検出したシーンのマーカーを優先して表示します。
動き優先	動きを検出したシーンのマーカーを優先して表示します。
OFF	手動で設定したマーカーだけを表示します。

- オートマーキング機能によるマーカーは削除できません。
- 4K連写ファイルを他の機器で動画分割して再び本機で再生すると、オートマーキング機能によるマーカーは、正しく表示されない場合があります。
- 以下の場合、オートマーキング機能によるマーカーは表示されません。
 - [4Kプリ連写]で撮影した4K連写ファイル

フォーカスセレクト撮影

使用できるモード：  P A S M   

4K連写でピント位置を変えながら撮影し、撮影後にピント位置を選ぶことができます。動きのない被写体に適した機能です。



自動でピントをずらしながら 4K フォト連写



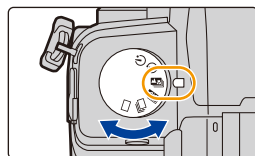
合わせたいピント位置をタッチ



好みのピント位置の写真が完成

- 撮影時はUHS Speed Class 3のカードをお使いください。
- フォーカス合成する場合は、三脚の使用をお勧めします。

1 ドライブモードダイヤルを に合わせる



2 構図を決めて、シャッターボタンを半押しする

- AFが働き、画面内のピント位置を検出します。(画面の端を除く)
- シャッターボタンを半押ししている間、画面に揺れが見える場合があります。
- 画面内にピントが合う位置がない場合、フォーカス表示 (A) が点滅し、撮影できません。

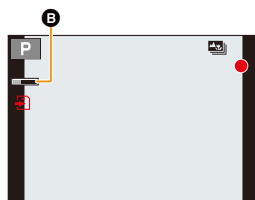


シャッターボタン半押しから撮影終了までは


- 被写体との距離や構図が変わらないようにしてください。

3 シャッターボタンを全押しして、撮影を開始する

- ピント位置を自動で変えながら撮影します。アイコン (B) が消えると、撮影は自動で終了します。
- 音声は記録されません。
- オートレビューを設定している場合、ピントを合わせる位置を選ぶ画面が表示されます。(P111)



本機の温度について

- 周囲の温度が高い場合は、 が表示されたあと、撮影が停止することがあります。本機の温度が下がるまでお待ちください。

■ フォーカスセレクト撮影の制限事項

- 4Kフォトと同様の画質で撮影するため、撮影機能やメニュー設定に制限があります。
詳しくは、103 ページの「4Kフォト撮影時のカメラの設定について」をお読みください。
- フォーカスセレクト撮影時は、4Kフォトの制限事項に加え、以下が制限されます。
 - AFモードは設定できません
 - MF操作はできません
 - 動画撮影はできません
 - [デジタルズーム]は使用できません
 - 以下のカスタムメニューは設定できません
[シャッター半押し AF]

こんなときは使用できません

- 以下の場合、フォーカスセレクト撮影は働きません。
 - シーンガイドモードの[逆光でしっかり撮る]/[水面をキラキラ撮る]/
[夜景をアーティストィックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景を手持ちで撮る]/
[夜景をバックに人物をきれいに撮る]/[花をふんわり撮る]
 - クリエイティブコントロールモードの[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/
[ジオラマ]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
 - [多重露出]設定時

ピント位置を選んで写真を保存する

- 1 再生画面で [▲📷] アイコンが付いた画像を選び、
▲ ボタンを押す
- アイコン [▲📷] をタッチしても同じ操作ができます。



- 2 ピントを合わせる位置をタッチする
- 選んだ位置にピントが合う写真がない場合は、赤い枠が表示されます。写真を保存できません。
 - 画面の端は選択できません。



ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶/ 	タッチ	ピント位置の選択 ● 拡大表示中は選択できません。
		表示の拡大
		表示の縮小(拡大表示中)
Fn1		フォーカス合成操作への切り換え(P112)
-	PEAK	ピントが合っている部分に色をつけて表示(ピーキング) ● [PEAK OFF] → [PEAK L](低) → [PEAK H](高)の順に切り換わります。
[MENU/SET]		写真の保存

- 拡大表示中は、スライダーをドラッグして、ピントを微調整できます。(◀/▶ ボタンでも同じ操作ができます)

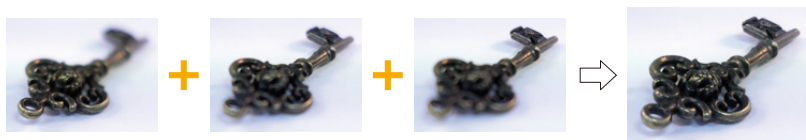
- 3 [📷] をタッチして、写真を保存する
- 写真はJPEG形式で保存されます。



- テレビに画像を表示して、ピント位置を選ぶことはできません。

フォーカス合成

複数のピント位置を合成して写真を保存します。



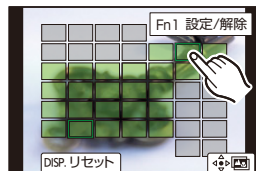
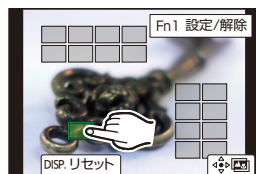
- 「ピント位置を選んで写真を保存する」(P111)の手順2のピントを合わせる位置を選ぶ画面で、**[MENU]** をタッチする
 - Fnボタン(Fn1)を押しても、同じ操作ができます。
- 合成方法をタッチする

自動合成	合成に適した写真を自動で選び、1枚の写真に合成します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 近距離側の写真を優先して選びます。 ● 合成が実行され写真が保存されます。
指定範囲合成	選択したピント位置の写真を1枚の写真に合成します。

([指定範囲合成] 選択時)

3 ピントを合わせる位置をタッチする

- 2点以上の位置を選択してください。
- 選択した2点の間で、ピントの合う範囲が表示されます。
- 選択できない範囲がグレーで表示されます。
- 選択を解除するには、もう一度タッチしてください。
- 位置を続けて選択するには、画面をドラッグしてください。



ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶/ ⌂/⌂/⌂/⌂	タッチ	位置の選択
Fn1	[設定/解除]	位置の設定/解除
[DISP.]	[全範囲]	すべての位置を選択 (位置の選択前)
	[リセット]	すべての選択を解除 (位置の選択後)
[MENU/SET]	⌂/⌂	写真の合成・保存

4 [] をタッチして、写真を合成し保存する

- 写真はJPEG形式で保存され、最も近い位置の写真のシャッタースピード、絞り、ISO感度などの撮影情報(Exif 情報)も記録されます。
- 手ブレによる画像のずれを自動で調整します。その場合、合成時に画角が僅かに狭くなります。
- 以下の場合、不自然な写真に合成されることがあります。
 - 撮影中に被写体が動いたとき
 - 被写体間の距離の差が大きいとき
 - ボケ具合が大きいとき(絞り値を大きくして撮影すると、不自然さが軽減することがあります)
- 他の機器で撮影した画像は、フォーカス合成できない場合があります。



インターバル撮影/コマ撮りアニメ撮影

使用できるモード： P A S M

インターバル撮影、またはコマ撮りアニメを撮影できます。撮影した写真を動画にすることもできます。

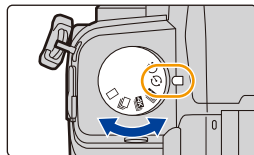
- あらかじめ時計設定をしてください。(P32)
- 撮影した写真はグループ画像として表示されます。

インターバル撮影

時間経過を追って動植物などの被写体を自動的に撮影し、動画を作成できます。

- 1 ドライブモードダイヤルを [] に合わせる
- 2 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [インターバル/コマ撮り撮影] → [撮影方法] → [インターバル撮影]



- 撮影画面で [] をタッチしても、同じ操作ができます。
- ドライブモードダイヤルを [] に切り換えてから [MENU/SET] ボタンを押すと、[インターバル/コマ撮り撮影] が選択された状態でメニューが表示されます。(ドライブモードダイヤルを切り換えたあとの1回目だけ表示されます)

- 3 ▲/▼ ボタンで項目を選び、設定する

撮影間隔設定	ON	撮影開始から次の撮影開始までの時間を設定します。
	OFF	撮影終了後、間隔を空けずに次の撮影を開始します。
開始時刻	即時開始	シャッターボタンを全押しすると、撮影を開始します。
	開始時刻設定	最大23時間59分後まで設定できます。 ◀/▶: 項目(時・分)選択、▲/▼: 設定、[MENU/SET]: 決定
撮影枚数 撮影間隔*1	撮影枚数と撮影間隔を設定できます。 ◀/▶: 項目(分・秒・枚)選択、▲/▼: 設定、[MENU/SET]: 決定	

*1 [撮影間隔設定]が[ON]の場合に設定できます。

- 設定画面に、撮影の終了予定時刻が表示されます。
[撮影間隔設定]を[OFF]に設定した場合は、以下の条件で表示されます。
 - 撮影モード: シャッター優先 AE モードまたはマニュアル露出モード
 - フォーカスモード: [MF]
- 撮影条件によっては、設定した撮影間隔や撮影枚数どおりに撮影できなかったり、終了予定時刻に終了しなかったりする場合があります。



- 4 シャッターボタンを半押しする

- 撮影画面が表示されます。



5 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- 自動的に撮影が開始されます。
- 撮影待機中に一定時間何も操作をしないと、電源が自動的に切れます。電源が切れてもインターバル撮影は継続され、撮影開始時刻になると自動的に電源が入ります。手動で電源を入れる場合はシャッターボタンを半押ししてください。
- 撮影待機中の操作(電源が入った状態)

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
[Fn2] ※2	 ※3	一時停止または終了の選択画面を表示
		再開または終了の選択画面を表示(一時停止中)

※2 [撮影間隔設定]を[OFF]に設定して撮影するときは、撮影中でも[Fn2]を押すことができます。

[Fn2]を押したときの画像の撮影(露光)が終了してから、選択画面を表示します。

※3 [撮影間隔設定]を[OFF]に設定して撮影するときは、タッチ操作はできません。

- 撮影終了後、続けて動画を作成する確認画面が表示されます。
作成する場合は、[はい]を選んでください。
動画の作成については、「インターバル/コマ撮りアニメの動画」(P117)をお読みください。

- システム用途(監視カメラ)の機能ではありません。
- 以下の場合、インターバル撮影は一時停止します。
 - バッテリー残量がなくなったとき
 - 電源スイッチを[OFF]にしたとき
 設定時間内であれば、一時停止中にバッテリーやカードを交換し、電源を入れて再開できます。(ただし、カードを交換してから撮影した画像は、別のグループ画像として記録されます)
なお、バッテリーやカードを交換するときは、電源スイッチを [OFF] にしてください。
- [撮影間隔]を長く設定し、撮影待機中に電源が自動的に切れる場合は、AFでインターバル撮影することをお勧めします。

こんなときは使用できません

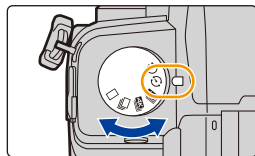
- 以下の場合、[インターバル撮影]が使用できません。
 - シーンガイドモードの[夜景を手持ちで撮る]
 - [多重露出]設定時

コマ撮りアニメ撮影

写真をつなぎ合わせてストップモーション動画を作成します。

- 1 ドライブモードダイヤルを [(🕒)] に合わせる
- 2 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [インターバル/コマ撮り撮影] → [撮影方法] → [コマ撮りアニメ]



- 撮影画面で [(📷)] をタッチしても、同じ操作ができます。
- ドライブモードダイヤルを [(🕒)] に切り換えてから [MENU/SET] ボタンを押すと、[インターバル/コマ撮り撮影] が選択された状態でメニューが表示されます。(ドライブモードダイヤルを切り換えたあとの1回目だけ表示されます)

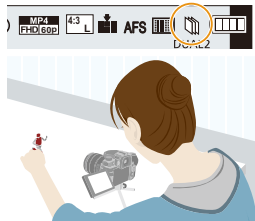
- 3 ▲/▼ ボタンで項目を選び、設定する

自動撮影	ON	設定した撮影間隔で自動的に写真を撮影します。
	OFF	1コマずつ手動で写真を撮影します。
撮影間隔	([自動撮影]を[ON]に設定した場合) ◀/▶:項目(秒)選択、▲/▼:設定、[MENU/SET]:決定	

- 4 シャッターボタンを半押しする
 - 撮影画面が表示されます。
- 5 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する
- 6 (2枚目以降を撮影する場合)

被写体を動かし、構図を決めて撮影する(繰り返す)

- 最大9999コマまで撮影できます。
- 撮影中に電源を切ると、電源を入れたときに撮影再開のメッセージが表示されます。[はい]を選ぶと続きから撮影できます。

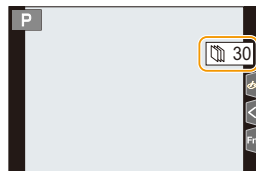


素材を上手に撮影するために

- 撮影画面には2つ前までの撮影画像が表示されます。動かす量の参考にしてください。
- 撮影した画像を確認するには、[(📷)] ボタンを押してください。不要な画像は [(🗑️)] ボタンを押して消去できます。撮影画面に戻るには、もう一度 [(📷)] ボタンを押してください。

7 [] をタッチして撮影を終了する

- 撮影メニューから[インターバル/コマ撮り撮影]を選び、[MENU/SET] ボタンを押しても終了できません。
- [自動撮影]を[ON]に設定した場合は、確認画面で[終了]を選んでください。([-一時停止]を選んだ場合、撮影を再開するにはシャッターボタンを全押ししてください)
- 撮影終了後、続けて動画を作成する確認画面が表示されます。作成する場合は、[はい]を選んでください。



動画の作成については、「インターバル/コマ撮りアニメの動画」(下記)をお読みください。

■ 撮影済みのコマ撮りグループに画像を追加する

手順3で[続きから撮る]を選べると、[コマ撮りアニメ]で撮影したグループ画像が表示されます。グループ画像を選んで[MENU/SET] ボタンを押してください。

- フラッシュ撮影など、撮影条件によっては撮影に時間がかかる場合があります。このため、設定した撮影間隔どおりに自動撮影できないことがあります。
- 1枚だけ撮影された画像を[続きから撮る]で選ぶことはできません。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[コマ撮りアニメ]が使用できません。
 - [多重露出]設定時
- 以下の場合、[コマ撮りアニメ]の[自動撮影]が使用できません。
 - シーンガイドモードの [夜景を手持ちで撮る]

インターバル/コマ撮りアニメの動画

インターバル撮影、コマ撮り撮影後に、続けて動画を作成できます。

1 動画の作成方法を選ぶ

画質設定	動画の画質を設定します。
フレームレート	1秒当たりのコマ数を設定します。数字が大きいくほど滑らかな動画になります。
動画化順番	[撮影順]: 撮影した順番で画像をつなげます。 [逆順]: 撮影した順番とは逆の順番で画像をつなげます。

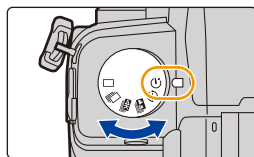
2 ▲/▼ ボタンで[実行]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 再生メニューの[インターバル動画作成](P221)、[コマ撮りアニメ作成](P222)からも動画を作成できます。
- 画質設定のサイズを[4K]に設定して動画を作成する場合、記録時間が29分59秒を超える動画は作成できません。
 - SDHCメモリーカード使用時は、ファイルサイズが4GBを超える場合も動画作成できません。
 - SDXCメモリーカードを使用すると、ファイルサイズが4GBを超えても動画作成できます。
- 画質設定のサイズを[FHD]または[HFD]に設定して動画を作成する場合、記録時間が29分59秒を超える、またはファイルサイズが4GBを超える動画は作成できません。

セルフタイマー撮影

使用できるモード：

1 ドライブモードダイヤルを[🕒]に合わせる

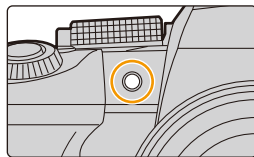


2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- ピントと露出はシャッターボタン半押し時に固定されます。



- セルフタイマーランプが点滅後、撮影が始まります。



■ セルフタイマーの時間を設定する

MENU ボタン → [撮影] → [セルフタイマー]

	10秒後に撮影します。
	10秒後に約2秒間隔で3枚撮影します。
	2秒後に撮影します。 ●シャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。

- セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をお勧めします。

こんなときは使用できません


- 以下の場合、 に設定できません。
 - [フィルター設定]の[フィルターなし同時記録]を[ON]に設定したとき
 - ブラケット撮影時
 - [多重露出]設定時
 - ライブビューコンポジット撮影時
- 以下の場合、セルフタイマーは動きません。
 - 動画撮影時




ブラケット撮影

使用できるモード：      

シャッターボタンを押すと、自動的に設定を変えて複数枚の画像を撮影できます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [撮影] → [ブラケット] → [ブラケット種類]

 露出ブラケット	シャッターボタンを押すと、露出を変えながら撮影します。 (P120)
 絞りブラケット	シャッターボタンを押すと、絞り値を変えながら撮影します。 (P121) ●絞り優先AEモード時、またはマニュアル露出モードでISO感度を[AUTO]に設定した場合に選択できます。
FOCUS フォーカスブラケット	シャッターボタンを押すと、ピント位置を変えながら撮影します。(P121)
WB  ホワイトバランス ブラケット	1回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランスの調整値を変えた画像を自動的に3枚撮影します。(P122)

2 ▲/▼ ボタンで [詳細設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [詳細設定] については、各機能のページをお読みください。
- シャッターボタンを半押ししてメニューを終了してください。

3 ピントを合わせて撮影する

- 露出ブラケット設定時は、設定枚数分がすべて撮影されるまでブラケット表示が点滅します。設定枚数分を撮影する前にブラケットの設定を変更したり、電源スイッチを [OFF] にしたりすると、1枚目からの撮影になります。

■ ブラケットを解除する

手順1で [OFF] を設定する。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、ブラケット撮影は動きません。
 - シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景を手持ちで撮る]/[花をふんわり撮る]
 - クリエイティブコントロールモードの[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ジオラマ]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
 - フラッシュ撮影時(ホワイトバランスブラケットを除く)
 - 動画撮影時
 - 4Kフォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - [多重露出]設定時
 - インターバル撮影時
 - コマ撮りアニメ撮影時([自動撮影]設定時)
- 以下の場合、ホワイトバランスブラケットは動きません。
 - インテリジェントオートプラスモード
 - クリエイティブコントロールモード
 - 連写撮影時
 - [クオリティ]を[RAW $\frac{1}{2}$],[RAW $\frac{1}{4}$],[RAW]に設定したとき

露出ブラケット

■ 詳細設定(119 ページの手順2)

補正幅	撮影枚数と露出補正幅を設定します。 [3・1/3](3枚撮影・1/3 EV 幅)～[7・1](7枚撮影・1 EV 幅)
ブラケット順序	画像の撮影順を設定します。
単写時撮影方法※	[□]: シャッターボタンを押すごとに1枚撮影。 [□]: 1回シャッターボタンを押すと設定枚数すべてを撮影。

※ 連写設定時は設定できません。シャッターボタンを押し続けると設定枚数まで連続撮影されます。

補正幅: [3・1/3]、ブラケット順序: [0/-/+]設定時の例

1 枚目



±0 EV

2 枚目



- 1/3 EV

3 枚目



+ 1/3 EV

- 露出補正をしてから露出ブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。

絞りブラケット

撮影モード: **A** **M**

■ 詳細設定 (119 ページの手順2)

撮影枚数	[3]、[5]: 開始時の絞り値を基準に、前後の絞り値で設定枚数を撮影。 [ALL]: すべての絞り値で撮影。
------	--

● 連写設定時は、シャッターボタンを押し続けると設定枚数まで連続撮影されます。

絞り値は使用するレンズによって変わります。

交換レンズ(H-FSA14140)装着時の例



開始位置を F8.0 に設定時

① 1 枚目、② 2 枚目、③ 3 枚目…⑦ 7 枚目

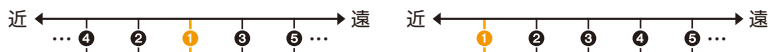
フォーカスブラケット

■ 詳細設定 (119 ページの手順2)

補正幅	ピント合わせの幅を設定します。 ● 1つの補正幅でピント位置をずらす距離は、開始時のピント位置に近い場合は短く、遠い場合は長くなります。
撮影枚数 [※]	撮影枚数を設定します。
ブラケット順序	[0/-/+]: 開始時のピント位置を基準に、前後にピント位置をずらして撮影します。 [0/+]: 開始時のピント位置を基準に、遠距離側へピント位置をずらして撮影します。

※ 連写設定時は設定できません。シャッターボタンを押している間、連続撮影されます。

[ブラケット順序]: [0/-/+] 設定時の例 [ブラケット順序]: [0/+] 設定時の例




① 1 枚目、② 2 枚目…⑤ 5 枚目…


● フォーカスブラケット撮影した写真は、グループ画像として表示されます。

ホワイトバランスブラケット

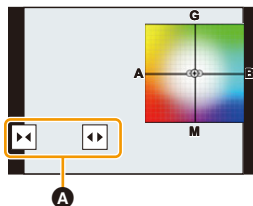
■ 詳細設定 (119 ページの手順2)

コントロールダイヤルを回して補正幅を設定し、
[MENU/SET] ボタンを押す

 : 横方向 (A~B)

 : 縦方向 (G~M)




- **A** をタッチしても補正幅を設定できます。


















6.




手ブレ補正・ズーム・フラッシュ

手ブレ補正

本機は、ボディ内手ブレ補正、レンズ内手ブレ補正が使用できます。2つの手ブレ補正を効果的に組み合わせたDual I.S.方式のうち、補正効果の高いDual I.S.2 (、、) に対応しています。さらに動画撮影時には、電子式を組み合わせた5軸ハイブリッド手ブレ補正が使用できます。

- 装着するレンズによって使用できる手ブレ補正は異なります。撮影画面に表示されるアイコンは、現在働いている手ブレ補正の種類を表します。

装着するレンズ	使用できる手ブレ補正	表示されるアイコン	
		写真撮影時	動画撮影時
Dual I.S.方式に対応した当社製レンズ (マイクロフォーサーズ規格準拠)	レンズ+ボディ (Dual I.S./ Dual I.S.2)	 /  /  / 	 / 
手ブレ補正機能のあるレンズ (マイクロフォーサーズ規格準拠)	レンズまたはボディ	 / 	
手ブレ補正機能のないレンズ	ボディ	 / 	
本機との通信機能がないレンズ	ボディ	 / 	

- 5軸ハイブリッド手ブレ補正機能は、すべてのレンズで使用できます。
撮影メニューの[手ブレ補正]の[電子補正(動画)]を[ON]に設定してください。[ON]に設定した場合、撮影画面では以下のアイコンが表示されます。
- Dual I.S.方式に対応した当社製レンズ:  / 
- 上記以外: 
- Dual I.S.方式に対応した当社製レンズを使用しても撮影画面のアイコンに[DUAL2]や[DUAL]が表示されない場合は、レンズのファームウェアを最新のバージョンにしてください。対応レンズの最新情報やファームウェアのダウンロードについては、ホームページをご覧ください。(P11)

■ 手ブレ補正を使う

- O.I.S.スイッチのあるレンズを使用するときは、O.I.S.スイッチを[ON]にしてください。
- 本機との通信機能がないレンズを使用するときは、カメラの電源を入れたときに、焦点距離設定の確認メッセージが表示されます。
手ブレ補正機能を正しく動作させるには、レンズに合わせて焦点距離を設定する必要があります。メッセージに従って焦点距離を設定してください。メニューでも設定できます。(P125)



手ブレを防ぐために

手ブレ警告表示〔〕が表示されたときは、手ブレ補正、三脚、セルフタイマー、シャッターリモコン(別売: DMW-RS2)などをお使いください。

- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されます。シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をお勧めします。
 - スローシンクロ
 - 赤目軽減スローシンクロ
 - シーンガイドモードの[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景をバックに人物をきれいに撮る]
 - シャッタースピードを遅くしたとき

手ブレ補正の設定

使用できるモード: **P** **A** **S** **M** **S&Q** **SCN**

撮影状況に合わせて、手ブレ補正の動作を設定します。

- O.I.S.スイッチがある交換レンズ(H-FSA14140 など)の場合、レンズのO.I.S.スイッチを[ON]にすると手ブレ補正機能が働きます。(お買い上げ時は〔〕に設定されています)

MENU ボタン → [撮影] / [動画] → [手ブレ補正]

動作設定	(通常)	上下、左右、回転の動きに対する手ブレを補正します。	
	(流し撮り)	上下の動きに対する手ブレを補正します。流し撮り(一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて、本機を振りながら撮影する方法)するときに適しています。	
	OFF	手ブレ補正は動きません。() ●O.I.S.スイッチがあるレンズをご使用の場合は、レンズのO.I.S.スイッチを[OFF]にしてください。	
電子補正(動画)	動画撮影時の上下方向、左右方向、回転軸、縦回転、水平回転の5つのブレをレンズ、ボディ、電子式を組み合わせで補正します。(5軸ハイブリッド手ブレ補正) [ON]、[OFF] ●[ON]に設定すると、画角が狭くなる場合があります。		

<p>手ブレロック (動画)</p>	<p>動画撮影中の手ブレ補正の効果を高めます。固定したアングルで撮りたい場合、安定した構図を保つことができます。</p> <p>[ON]、[OFF]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 撮影中だけ働きます。撮影画面に[[手]]が表示されます。 ● 撮影中に構図を変える場合は、[OFF]に設定してから本機を動かしてください。撮影中に[ON]/[OFF]を切り換えるには、Fnボタンを使用してください。(P50) ● 望遠レンズ装着時など、焦点距離が大きくなるほど、補正効果が弱くなります。 ● 使用するレンズによっては、補正効果が弱くなる場合があります。 ● 他社製の手ブレ補正機能のあるレンズをお使いの場合、[手ブレロック(動画)]が使用できません。
<p>焦点距離設定</p>	<p>本機との通信機能がないレンズを使用しているときに、焦点距離を手動で設定します。</p>

レンズの焦点距離を設定する

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影]/ [動画] → [手ブレ補正] → [焦点距離設定]

2 焦点距離を入力する

◀/▶:項目(桁)選択、▲/▼:設定

- 焦点距離は 0.1 mm ~ 1000 mm まで設定できます。

3 [MENU/SET] ボタンを押す

■ 焦点距離を登録する

① 焦点距離を入力する


- ▶ ボタンで上書き登録する焦点距離を選び、[DISP.] ボタンを押す

- 焦点距離の設定は3つまで登録できます。





■ 登録済みの焦点距離を呼び出す

- ◀/▶ ボタンで登録済みの焦点距離を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



- 手ブレ補正が働いているときは、動作音がしたり、振動したりすることがあります。故障ではありません。
- 三脚を使用するときは、手ブレ補正機能をオフにすることをお勧めします。
- 以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
 - 手ブレが大きいとき
 - ズーム倍率が高いとき
 - デジタルズーム使用時
 - 動きのある被写体を追いつながら撮影するとき
 - 室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなる時
- 以下の場合、での流し撮りの効果が出にくくなります。
 - 夏の日中など、明るいところ
 - シャッタースピードが1/100秒より速い場合
 - 被写体の動きが遅く、本機を振る速度があまりにも遅い場合(背景が流れません)
 - 本機が被写体の動きにうまく追いつけていない場合

こんなときは使用できません

- 以下の場合、 (流し撮り) にしていても、 (通常) に切り換わります。
 - 動画撮影時
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
- 以下の場合、対応レンズを使用しても  は  に切り換わります。
 - スロー&クイックモード時
- 以下の場合、5軸ハイブリッド手ブレ補正機能が使用できません。
 - デジタルズーム使用時
 - スロー&クイックモード時
 - 4K ライブクロップ設定時

ズームを使って撮る

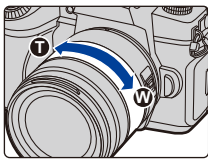
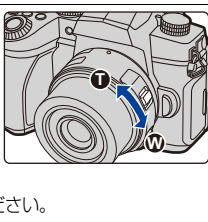
光学ズーム

使用できるモード： P A S M  S&Q SCN 

人や物を大きく撮ったり、風景などを広く撮ったりすることができます。

T 側：望遠、大きく撮る

W 側：広角、広く撮る

<p>ズームリングのある交換レンズ</p>	<p>ズームリングを回す。</p>	
<p>パワーズーム(電動式ズーム)に対応した交換レンズ</p>	<p>ズームレバーを動かす。 (動かす幅によって、ズーム速度が変わります) ● Fnボタンに [ズーム操作] を割り当てると、◀/▶ ボタンでゆっくり、▲/▼ ボタンで速く、光学ズーム操作ができます。操作方法については、128 ページの手順2以降をお読みください。</p>	
<p>ズームに対応していない交換レンズ</p>	<p>光学ズームはできません。</p>	

望遠効果を上げる

EX テレコン

使用できるモード： P A S M  S&Q SCN 

EXテレコンを使うと、画質を劣化させずにさらに大きく撮ることができます。

準備：

- 写真撮影時：[記録画素数]を[EXM]または[EXS]に、[クオリティ]を[RAW]以外に設定する。
- 動画撮影時：[画質設定]のサイズを[FHD]または[HD]に設定する。

EX テレコン使用時の最大ズーム倍率

<p>写真撮影時</p>	<p>[EX テレコン(写真)]</p>	<p>1.3 倍：[EXM]([画像横縦比]が[16:9]の場合) 1.4 倍：[EXM]([画像横縦比]が[4:3]、[3:2]、[1:1]の場合) 2.0 倍：[EXS]</p>
<p>動画撮影時</p>	<p>[EX テレコン(動画)]</p>	<p>2.7 倍 ([画質設定]のサイズが[FHD]の動画) 4.0 倍 ([画質設定]のサイズが[HD]の動画)</p>

■ 写真撮影時にズーム倍率を段階的に拡大する

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [EX テレコン(写真)] → [ZOOM]

2 Fnボタンに [ズーム操作] を設定する (P50)

3 Fnボタンを押す

4 ◀/▶ ボタンまたは ▲/▼ ボタンを押す

▲/▶ ボタン:T 側(望遠、大きく撮る)

▼/◀ ボタン:W 側(広角、広く撮る)

● もう一度 Fn ボタンを押すか、一定時間が経過するとズーム操作が終了します。



光学ズーム領域(焦点距離)[※] EXテレコン領域(ズーム倍率)

※ パワースームに対応した交換レンズをお使いの場合に表示されます。

- ズーム速度は一定です。
- ズーム倍率は目安です。
- タッチズームでズーム操作することもできます。(P131)

■ ズーム倍率を最大に固定する

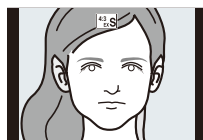
MENU ボタン → [撮影] → [EX テレコン(写真)] → [TELE CONV.]

MENU ボタン → [動画] → [EX テレコン(動画)] → [ON]

[OFF]



[TELE CONV.]または[ON]



- カスタムメニュー(操作)の[Fnボタン設定]に[EXテレコン]を設定すると、設定したFnボタンを押して写真と動画のEXテレコンの設定画面を表示できます。画面表示中に[DISP.]ボタンを押すと[記録画素数]の設定を変更できます。



こんなときは使用できません

- 以下の場合、EXテレコンが使用できません。
 - クリエイティブコントロールモードの[トイフォト]/[トイポップ]
 - [クオリティ]を[RAW]に設定したとき
 - 4Kフォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - [HDR]を[ON]に設定したとき
 - [多重露出]設定時
 - 4Kライブクロップ設定時
- 以下の場合、[EXテレコン(写真)]が使用できません。
 - シーンガイドモードの[夜景を手持ちで撮る]
- HDMI出力中は [EX テレコン(動画)] が使用できません。(クリエイティブ動画モード時を除く)

デジタルズーム

使用できるモード:   **P** **A** **S** **M**  S&Q SCN 

画質は拡大するたびに劣化しますが、元のズーム倍率の最大4倍まで拡大できます。(段階的な拡大はできません)

MENU ボタン →  [撮影] /  [動画] → [デジタルズーム] → [4×]/[2×]

- デジタルズーム使用時は、三脚とセルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。


こんなときは使用できません

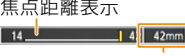

- 以下の場合、デジタルズームが使用できません。
 - クリエイティブコントロールモードの[トイフォト]/[トイポップ]/[ジオラマ]
 - [クオリティ]を[RAW]、[RAW]、[RAW]に設定したとき
 - フォーカスセレクト撮影時
 - [HDR]を[ON]に設定したとき
 - [多重露出]設定時

パワーズームレンズの設定を変更する

使用できるモード:   **P** **A** **S** **M**  **S&Q** **SCN** 

パワーズーム(電動式ズーム)対応交換レンズ使用時の画面表示や動作を設定します。

MENU ボタン →  [カスタム] →  [レンズ/その他] → [パワーズームレンズ]

焦点距離表示	ズーム操作をすると、焦点距離が表示され、ズーム位置を確認できます。	 <p>焦点距離表示 現在の焦点距離</p>
ステップズーム	<p>[ON]に設定してズーム操作をすると、決められた各焦点距離の位置でズームが停止します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 動画撮影時や [4K プリ連写] 撮影時は動きません。 	 <p>ステップズーム表示</p>
ズーム速度	<p>ズーム操作時のズーム速度を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [ステップズーム] を [ON] に設定した場合、ズーム速度は変わりません。 <p>[写真]: [H] (高速)、[M] (中速)、[L] (低速) [動画]: [H] (高速)、[M] (中速)、[L] (低速)</p>	
ズームリング操作	ズームレバーとズームリングのあるパワーズーム対応交換レンズを装着しているときに選択できます。[OFF]に設定すると、誤操作を防止するためにズームリングの操作を無効にします。	

タッチ操作でズームを使う(タッチズーム)

光学ズームや写真撮影時のEXテレコンのズーム倍率をタッチ操作で変更できます。

- パワースームに対応していない交換レンズ(H-FSA14140)をお使いの場合は、[EXテレコン(写真)]を[ZOOM]に設定すると、EXテレコンのズーム倍率を操作できます。

1 [◀]をタッチする

2 [W↕]をタッチする

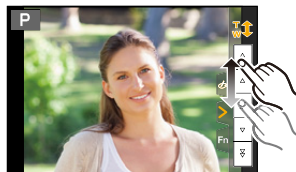
- スライダーが表示されます。



3 スライダーをドラッグして、ズーム操作する

- タッチする位置により、ズーム速度は変わります。

[▼]/[▲]	ゆっくりズームする
[▼]/[▲]	速くズームする



- タッチズーム操作を終了するには、もう一度[W↕]をタッチしてください。

フラッシュを使う

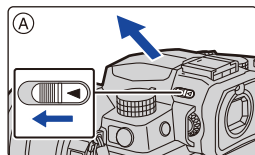
使用できるモード:      

■ 内蔵フラッシュを開く/閉じる

① 開くとき

フラッシュオープンレバーをスライドする

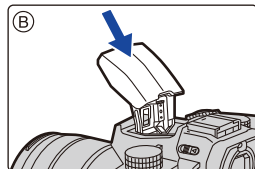
- フラッシュが飛び出しますので、お気をつけください。



② 閉じるとき

フラッシュをカチッと音がするまで押す

- 指などを挟まないようにお気をつけください。
- 無理に閉じようとすると故障の原因になります。
- 使わないときは、内蔵フラッシュを必ず閉じてください。



■ フラッシュ撮影可能範囲

使用するレンズによってはフラッシュ光が遮られたり、フラッシュ光がレンズの画角をカバーできなかつたりするため、撮影画像の一部が暗くなる場合があります。

フラッシュ光が遮られる被写体との距離やフラッシュ光が届く距離は、使用するレンズによって異なります。被写体との距離を確認しながら撮影してください。

交換レンズ(H-FSA14140)装着時

W端時	T端時
約0.5 m～約7.3 m	約0.5 m～約4.5 m

- ISO感度を[AUTO]、[ISO感度設定(写真)]の[ISOオート上限設定]を[AUTO]に設定した場合の範囲です。



フラッシュを上手に使うには

フラッシュ使用時にレンズフードを付けていると、フラッシュ光がレンズフードに遮られ、画面の下が暗くなり、調光もできなくなります。レンズフードを外して使用することをお勧めします。

- 熱や光で変形、変色する場合がありますので、以下のことはしないでください。
 - フラッシュに物を近づける
 - 発光中にフラッシュを閉じる
 - 発光中にフラッシュを手で塞ぐ
- 赤目軽減強制発光などの予備発光の直後にフラッシュを閉じないでください。故障の原因となります。
- バッテリー残量が少ないときや、連続して発光したときは、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤色で点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- 外部フラッシュ装着時は、外部フラッシュが優先されます。

■ 外部フラッシュの使用について

外部フラッシュを使用すると、内蔵フラッシュに比べてフラッシュ撮影可能範囲が広がります。

●動作確認済みの外部フラッシュについては、下記サポートサイトをご覧ください。

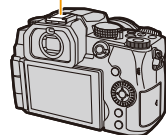
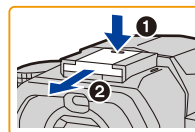
<https://panasonic.jp/support/dsc/connect/index.html>

準備: 内蔵フラッシュを閉じ、電源スイッチを [OFF] にする。

ホットシューカバーの取り外し

お買い上げ時、ホットシューにはホットシューカバーが取り付けられています。

ホットシューカバーを矢印①の方向に押しながら、矢印②の方向に引いて取り外す



本体との通信機能のない市販の外部フラッシュを使う場合

- 外部フラッシュ使用時の露出は、外部フラッシュ側で設定する必要があります。外部フラッシュをオートモードでお使いになる場合は、本体側で設定されている絞り値とISO感度に合わせることでできる製品をお使いください。
- 絞り優先AEまたはマニュアル露出モードにして使用し、本機で設定した絞り値とISO感度を外部フラッシュ側でも設定してください。(シャッター優先AEモードでは絞り値が変化するので適正な露出が得られません。またプログラムAEモードでは絞り値が固定できないので、外部フラッシュの調光が適切に働きません)

- 外部フラッシュを装着すると、フラッシュ撮影時でも以下の機能を使用できます。
 - 絞りブラケット
 - フォーカスブラケット
- 外部フラッシュ装着時も本機の絞り値やシャッタースピード、ISO感度を設定できます。
- 広角時に近くで撮影すると、フラッシュ光がレンズで遮られ画面の下部が暗くなる場合があります。
- 外部フラッシュを使用する場合、極性が逆のもの、またはカメラとの通信機能のあるものは使用しないでください。カメラを故障させる原因になる場合や、正常に動作しない場合があります。
- 外部フラッシュ装着時は、外部フラッシュだけを持たないようにしてください。脱落のおそれがあります。
- 詳しくは、外部フラッシュの取扱説明書をお読みください。

フラッシュ機能の設定

カメラからフラッシュの発光を制御するためのフラッシュ機能を設定できます。

- 外部フラッシュによっては設定できない機能があります。


発光モード、マニュアル発光量設定

使用できるモード：  **P** **A** **S** **M**    S&Q 

発光量を自動で設定するか、手動で設定するかを選びます。

- 内蔵フラッシュ使用時に設定できます。


1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [撮影] → [フラッシュ設定] → [発光モード]

TTL	カメラが自動的にフラッシュの発光量を設定します。
マニュアル	フラッシュの発光量を手動で設定します。[TTL]では発光量が大きくなりがちな暗いシーンなどでも、意図どおりの撮影ができます。 ●[マニュアル]に設定すると、画面のフラッシュアイコンに光量比([1/1]など)が表示されます。

2 ([マニュアル]に設定時)

メニューを設定する

MENU ボタン →  [撮影] → [フラッシュ設定] → [マニュアル発光量設定]


3 ◀▶ ボタンで発光量を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す






- [1/1](フル発光)～[1/128]まで、1/3段ごとに設定できます。

フラッシュモード

使用できるモード：  **P** **A** **S** **M**    S&Q 

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光方法を設定します。

MENU ボタン →  [撮影] → [フラッシュ設定] → [フラッシュモード]

 : 強制発光	フラッシュが強制的に発光します。
 : 赤目軽減強制発光*	●逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。
 S : スローシンクロ	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。
 S : 赤目軽減スローシンクロ*	●夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。 ●シャッタースピードを遅くすると画像がブレることがあります。 三脚の使用をお勧めします。
 : 発光禁止	フラッシュは発光しません。

* [フラッシュ設定] を以下の設定にしてください。

- [ワイヤレスモード]: [OFF]

- [発光モード]: [TTL]

- インテリジェントオートプラスモードでは、[] または [] に設定できます。インテリジェントオート (または) モード時のフラッシュ設定については、55 ページをお読みください。

フラッシュは2回発光します。特に []、[] に設定した場合は、発光間隔が長くなります。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。

- 赤目軽減の効果には個人差があります。被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。

■ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード
	1/60秒* ~ 1/200秒
	1 ~ 1/200秒

* シャッター優先AEモード時は60秒、マニュアル露出モード時はB(バルブ)になります。

- インテリジェントオート (または) モード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。

■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。

(○: 設定可、×: 設定不可、◎: シーンガイドモード初期設定)

撮影モード						
P	プログラムAEモード					
A	絞り優先AEモード	○	○	○	○	○
S	シャッター優先AEモード	○	○	×	×	○
M	マニュアル露出モード					
SCN シーンガイド モード	人物をきれいに撮る	○	◎	×	×	○
	人物の肌をきれいに撮る	○	◎	×	×	○
	逆光でしっかり撮る	◎	×	×	×	○
	子どもをかわいく撮る	○	◎	×	×	○
	夜景をバックに人物をきれいに撮る	×	×	×	◎	○
	花をふんわり撮る	◎	×	×	×	○
	料理をおいしそうに撮る	◎	×	×	×	○
	スイーツをかわいく撮る	◎	×	×	×	○
	動くペットをきちんと撮る	◎	×	×	×	○
	スポーツをきれいに撮る	◎	×	×	×	○
モノクロで撮る	◎	○	○	○	○	


- 以下の場合、**[☹]**(発光禁止)に固定されます。
 - フラッシュを閉じたとき(外部フラッシュ使用時を除く)
 - シーンガイドモード(P67)の[逆光でふんわり撮る]/[ほのほのした雰囲気撮る]/[風景をきれいに撮る]/[青空をさわやかに撮る]/[夕焼けを幻想的に撮る]/[夕焼けを印象的に撮る]/[水面をキラキラ撮る]/[夜景をきれいに撮る]/[夜景をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティストックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景を手持ちで撮る]
 - 動画撮影時(P141)
 - 4Kフォト撮影時(P100)
 - フォーカスセレクト撮影時(P109)
 - 電子シャッター使用時(P176)
 - [フィルター設定]設定時(P169)
 - [サイレントモード]を[ON]に設定したとき(P175)
 - [HDR]を[ON]に設定したとき(P177)
- シーンガイドモードのフラッシュ設定はシーンを変更するたびに初期設定に戻ります。



フラッシュシンクロ

使用できるモード：**[A]** **[S]** **[M]** **[M]** S&Q SCN 

夜間、動きのある被写体をスローシャッターでフラッシュ撮影すると、光の軌跡が被写体の前方に写ります。[フラッシュシンクロ]を[後幕]に設定すると、シャッターが閉じる直前にフラッシュを発光させることで、光の軌跡が被写体の後方に写り、躍動感のある写真を撮影できます。

準備：[フラッシュ設定]の[ワイヤレスモード]を[OFF]に設定する。

MENU ボタン →  [撮影] → [フラッシュ設定] → [フラッシュシンクロ]

さきまく 先幕	一般的なフラッシュ撮影の方法です。	
あとまく 後幕	被写体の後ろに光源が写り、躍動感が出ます。	

- [後幕]に設定すると、画面のフラッシュアイコンに[2nd]が表示されます。
- シャッタースピードが速いときは、フラッシュシンクロの効果が十分に得られない場合があります。
- [後幕]設定時は、**[$\frac{1}{2}$ ☹]**、**[$\frac{1}{2}$ S☹]**に設定できません。
- [フラッシュシンクロ]の設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。


フラッシュ発光量調整

使用できるモード:   **P** **A** **S** **M**  

フラッシュで撮影した写真が明るすぎたり暗すぎたりする場合は、フラッシュの発光量を調整します。

準備: [フラッシュ設定]の[ワイヤレスモード]を[OFF]、[発光モード]を[TTL]に設定する。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [撮影] → [フラッシュ設定] → [フラッシュ発光量調整]

2 ◀/▶ ボタンでフラッシュの発光量を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す

- -3 EVから+3 EVの範囲で、1/3 EVごとに調整できます。
- フラッシュ発光量を調整しない場合は、“±0”を選んでください。

- フラッシュ発光量を調整すると、画面のフラッシュアイコンに[+]または[-]が表示されます。
- [フラッシュ発光量調整]の設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。

露出補正連動

使用できるモード:   **P** **A** **S** **M**  

露出補正量に応じてフラッシュの発光量を自動で調整します。

MENU ボタン →  [撮影] → [フラッシュ設定] → [露出補正連動]

設定: [ON]、[OFF]

- 露出補正については:(P91)
- [露出補正連動]の設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。

ワイヤレスフラッシュ撮影

使用できるモード:  P A S M 

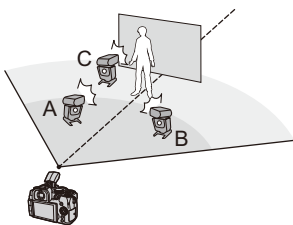
ワイヤレス撮影機能のある外部フラッシュをお使いの場合、その機能により、3つのグループのフラッシュと内蔵フラッシュ(または本機のホットシューに装着した外部フラッシュ)を別々に発光制御できます。

■ ワイヤレスフラッシュの設置

ワイヤレスフラッシュのワイヤレス受光部をカメラに向けて設置してください。

設置例

発光グループ A、B でできる被写体の背景の影を消すために C を設置した場合



- 設置範囲は周辺の環境により異なります。
- ワイヤレスフラッシュの設置台数は1グループ最大3台をお勧めします。
- 被写体が近すぎる場合、通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。[ワイヤレス通信光量]を[弱]に設定したり、ディフューザーなどで減光したりすると、影響を緩和できます。

準備: 本機のフラッシュオープンレバーをスライドしてフラッシュを開く、または本機に外部フラッシュを取り付ける。

1 ワイヤレスフラッシュの設定をRCモードにして、配置する

- ワイヤレスフラッシュのチャンネルとグループを設定してください。

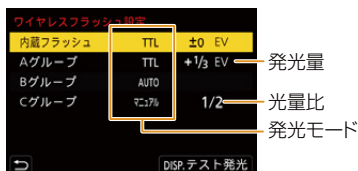
2 メニューを設定する

MENU ボタン →  [撮影] → [フラッシュ設定]

ワイヤレスモード	[ON]に設定してください。画面のフラッシュアイコンに[WL]が表示されます。
ワイヤレスチャンネル	手順 1 で設定したワイヤレスフラッシュと同じチャンネルを選んでください。
ワイヤレス設定	手順 3 へ進んでください。

3 ▲/▼ ボタンで設定項目を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

- テスト発光をするには、[DISP.] ボタンを押してください。



内蔵 フラッシュ※1/ 外部 フラッシュ※1	発光モード	[TTL]: カメラが自動的に発光量を設定します。 [AUTO]※2: 外部フラッシュ側で発光量を設定します。 [マニュアル]※2: 外部フラッシュの光量比を手動で設定します。 [OFF]: 本機側のフラッシュは通信発光だけ動作します。
	フラッシュ 光量調整	[発光モード]の設定が[TTL]の場合に、本機側の発光量を手動で調整します。
	マニュアル 発光量設定	[発光モード]の設定が[マニュアル]の場合に、外部フラッシュの光量比を設定します。 ● [1/1](フル発光)～[1/128]まで、1/3段ごとに設定できます。
Aグループ/ Bグループ/ Cグループ	発光モード	[TTL]: カメラが自動的に発光量を設定します。 [AUTO]※1: ワイヤレスフラッシュ側で自動的に発光量を設定します。 [マニュアル]: ワイヤレスフラッシュの光量比を手動で設定します。 [OFF]: 設定したグループのワイヤレスフラッシュは発光しません。
	フラッシュ 光量調整	[発光モード]の設定が[TTL]の場合に、ワイヤレスフラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル 発光量設定	[発光モード]の設定が[マニュアル]の場合に、ワイヤレスフラッシュの光量比を設定します。 ● [1/1](フル発光)～[1/128]まで、1/3段ごとに設定できます。

※1 [ワイヤレスFP]を[ON]に設定した場合は、設定できません。


※2 外部フラッシュ装着時に設定できます。

- 外部フラッシュによっては設定できない機能があります。

ワイヤレスフラッシュ撮影の設定


ワイヤレス FP

ワイヤレス撮影時に、外部フラッシュがFP発光(フラッシュが高速で発光を繰り返すこと)します。速いシャッタースピードでもフラッシュ撮影が可能になります。

MENU ボタン →  [撮影] → [フラッシュ設定] → [ワイヤレス FP]
設定: [ON]、[OFF]

ワイヤレス通信光量

通信発光の強さを設定します。

MENU ボタン →  [撮影] → [フラッシュ設定] → [ワイヤレス通信光量]
設定: [強]、[中]、[弱]



動画を撮る

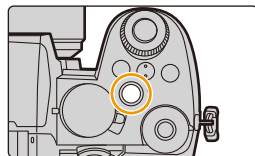
使用できるモード：  P A S M  S&Q SCN 

1 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 各撮影モードに適した動画が撮影できます。
- 動画の記録中は、記録動作表示(赤)が点灯します。
- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。
- mは「minute(分)」, sは「second(秒)」を省略した表示です。

2 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

- 静かな環境下で撮影した場合は、絞りやフォーカスの動作音が録音されることがあります。これは異常ではありません。動画撮影中のフォーカス動作は[AF連続動作](P144)で[OFF]に設定できます。



記録経過時間 記録動作表示



記録可能時間



撮影終了時の動画ボタンの操作音が気になる場合は、以下をお試しください。

- 3秒ほど長めに撮影し、再生メニューの[動画分割]で動画の終わりの部分を分割してください。
- シャッターリモコン(別売:DMW-RS2)を使って撮影してください。

- 周囲の温度が高い場合は、[△]が表示されたあと、撮影が停止することがあります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- 動画撮影中のISO感度は、[AUTO] (動画用)の動作になります。クリエイティブ動画モードでは、ISO感度を設定して動画を撮影できます。
- クリエイティブ動画モードでは、撮影前に記録可能時間を表示できます。
- 画像横縦比の設定が写真と動画で異なる場合、動画撮影を開始したときに画角が変わります。カスタムメニュー(モニター/表示)の[記録枠表示]を[]に設定すると、動画撮影時の画角が表示されます。
- 動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
- 使用するレンズにより、動画撮影中に働く機能に差があります。また、レンズの動作音が記録される場合があります。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 以下のシーンガイドモードの場合、動画撮影時に撮影モードが切り換わります。


シーンガイドモード	動画撮影時の撮影モード
[逆光でしっかり撮る]	人物モード
[夜景をきれいに撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/ [夜景を手持ちで撮る]/[夜景をバックに人物をきれいに撮る]	ローライトモード

こんなときは使用できません

- 以下の場合、動画撮影できません。
 - シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/
[花をぶんわり撮る]
 - クリエイティブコントロールモードの[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/
[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
 - フォーカスセレクト撮影時
 - インターバル撮影中
 - コマ撮りアニメ中

画質設定

撮影する動画の画質を設定します。本機では、4K解像度(3840×2160)またはフルハイビジョン解像度(1920×1080)の動画を撮影できます。

MENU ボタン →  [動画] → [画質設定]

画質設定	サイズ	記録フレームレート	センサー出力	ビットレート
4K/100M/30p [※]	3840×2160	30p	30コマ/秒	100 Mbps
4K/100M/24p [※]	3840×2160	24p	24コマ/秒	100 Mbps
FHD/28M/60p	1920×1080	60p	60コマ/秒	28 Mbps
FHD/20M/30p	1920×1080	30p	30コマ/秒	20 Mbps
HD/10M/30p	1280×720	30p	30コマ/秒	10 Mbps

※ 4K 動画

- 「ビットレート」の数値が大きいほど高画質になります。本機はVBR記録方式を採用しています。撮影する被写体によりビットレートが自動的に変わるため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。
- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では、4K動画に設定できません。
- 4K動画撮影時は UHS Speed Class 3のカードをお使いください。
- 4K動画の場合、他のサイズの動画よりも画角が狭くなります。
- 4K動画は高い精度でピントを合わせるためにAFの速度を抑えて撮影します。AFでピントが合いにくいことがあります。異常ではありません。
- 連続撮影時間については、[283](#) ページをお読みください。

■ 撮影した動画の互換性について


MP4動画の対応機器であっても再生できない場合があります。

また、再生時に画質や音質が悪くなることや、撮影情報が正しく表示されないことがあります。この場合は本機で再生してください。

AF連続動作

使用できるモード:   **P** **A** **S** **M**  **S&Q** **SCN** 

動画撮影中のAFでのピントの合わせ方を選びます。

MENU ボタン →  [動画] → [AF 連続動作]

フォーカスモード	AF 連続動作	設定
AFS、AFF、AFC	ON	撮影中も自動でピントを合わせ続けます。
	OFF	撮影開始時のピント位置に固定されます。
MF	ON/OFF	手でピントを合わせます。

- フォーカスモードを [AFS]、[AFF]、[AFC] に設定した場合、動画撮影中にシャッターボタンを半押しするとピントを合わせ直します。
- 撮影環境や使用レンズによっては、動画撮影時にAFが働くと、動作音が記録されることがあります。動作音が気になる場合は、[AF連続動作]を [OFF] に設定することをお勧めします。
- 動画撮影時にズーム操作をすると、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。

こんなときは使用できません


- 以下の場合、[AF連続動作]は動きません。
- [スナップムービー]の[ピント送り]の動作中

AFカスタム設定(動画)

使用できるモード:   **P** **A** **S** **M**  **S&Q** **SCN** 

[AF連続動作]を使って動画を撮影するときのピントの合わせ方を細かく調整できます。

準備: [AF連続動作]を [ON] に設定する。

MENU ボタン →  [動画] → [AF カスタム設定(動画)]


ON	下記の設定を有効にします。	
OFF	下記の設定を無効にします。	
設定	AF 駆動速度	[+] 側: 速いスピードでピントを合わせます。 [-] 側: 緩やかなスピードでピントを合わせます。
	AF 追従感度	[+] 側: 被写体との距離が大きく変わったときに、すぐにピントを合わせ直します。 [-] 側: 被写体との距離が大きく変わったときに、ピントの合わせ直しを少し待ちます。

Log 撮影する (V-Log L)

使用できるモード:       

[フォトスタイル]を[V-Log L]に設定すると、Log撮影ができます。ポストプロダクション処理により、階調の豊かな映像に上げることができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [動画] → [フォトスタイル]

2 ◀/▶ ボタンで[V-Log L]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 撮影画面や HDMI出力された映像などが全体的に暗くなります。

- LUT (ルックアップテーブル) を使ってポストプロダクション処理ができます。LUT ファイルは、下記サポートサイトからダウンロードできます。

<https://panasonic.jp/support/dsc/download/index3.html>



本機の動画は4:2:0/8 bit で記録されるため、ポストプロダクション処理すると青空や人の肌、白い壁などに輝度や色のむら、またはノイズが現れる場合があります。

事前に試し撮りを行い、ポストプロダクション処理をした映像を確認してから、撮影することをお勧めします。

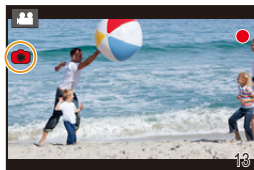
動画撮影中に写真を撮る

使用できるモード: **P** **A** **S** **M**

動画撮影中でも、同時に写真を撮影できます。(同時記録)

動画撮影中に、シャッターボタンを全押しする

- 写真の記録中は、同時記録表示が出ます。
- タッチシャッター機能でも撮影できます。



■ 動画優先、写真優先を設定する

使用できるモード: **P** **A** **S** **M**

MENU ボタン → [動画] → [動画撮影中の写真撮影]

(動画優先)	<ul style="list-style-type: none"> ● 動画の画質設定に応じた記録画素数で写真を記録します。 ● [クオリティ]を[RAW]、[RAW]または[RAW]に設定した場合でも、JPEG画像が記録されます。([RAW]設定時は[]で記録されます) ● 最大40枚まで写真を撮影できます。(4K動画撮影中は最大10枚まで)
(写真優先)	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定した記録画素数、クオリティで写真を記録します。 ● 写真を記録中は画面が黒くなります。その間、動画には静止画像が記録され、音声は途切れます。 ● 最大10枚まで写真を撮影できます。(4K動画撮影中は最大5枚まで)

- 写真の画像横縦比は[16:9]に固定されます。

こんなときは使用できません

- (写真優先)設定時は、以下の場合に同時記録ができません。
 - [画質設定]をフレームレートが[24p]の動画に設定したとき
 - ドライブモードを4Kフォトに設定したとき
 - [EXテレコン(動画)] 使用時
- [スナップムービー]を[ON]に設定した場合は、同時記録ができません。


スナップムービー

使用できるモード: 

撮影時間をあらかじめ指定し、スナップ写真を撮るような感覚で動画を撮影します。ピント送りやフェード効果を加えることもできます。

- [FHD/20M/30p]で撮影されます。

1 メニューを設定する

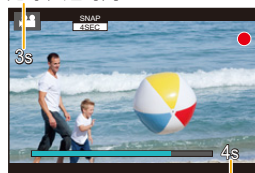
MENU ボタン →  [動画] → [スナップムービー] → [ON]

- シャッターボタンを半押ししてメニューを終了してください。

2 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。
- 途中で動画撮影は終了できません。設定した撮影時間が経過すると自動的に撮影が終了します。

記録経過時間




設定した撮影時間

■ スナップムービーの解除

手順1で [OFF] を設定する

スナップムービーの設定

MENU ボタン →  [動画] → [スナップムービー] → [設定]

撮影時間	動画撮影する時間を設定します。
ピント送り	撮影を開始すると、ピントがゆっくりと変化し、ドラマチックな映像表現にすることができます。(P148)
フェード	映像と音声撮影を開始するとフェードイン(ゆっくりと現れる)または、撮影の終了にかけてフェードアウト(ゆっくりと消える)する効果です。 [WHITE-IN]、[WHITE-OUT]: 白い画面でフェードイン、フェードアウトする効果です。 [BLACK-IN]、[BLACK-OUT]: 黒い画面でフェードイン、フェードアウトする効果です。 [COLOR-IN]、[COLOR-OUT]: 白黒からカラーへフェードイン、またはカラーから白黒へフェードアウトする効果です。音声は通常どおりに記録されます。 [OFF]

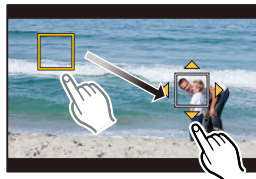
- [WHITE-IN]、[BLACK-IN]で撮影した動画は、再生時のサムネイル表示が白一色または黒一色になります。
- カスタムメニュー(操作)の[Fnボタン設定](P50)に[スナップムービー]を設定し、Fnボタンを押すと、[スナップムービー]の[ON]/[OFF]の切り換え画面を表示します。切り換え画面の表示中に [DISP.] ボタンを押すとスナップムービーの設定を変更できます。
- [スマートフォンとつないで使う]でWi-Fi接続すると、[スナップムービー]は[OFF]に切り換わります。
- 以下の場合、[スナップムービー]は使用できません。
 - クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]
 - 4Kフォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - 4Kライブクロップ撮影時

■ [ピント送り]の設定

ピント送りの開始位置(1点目)と終了位置(2点目)の枠を設定します。

ボタン操作

- 1 ◀ ボタンを押す
- 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで枠を移動し、
[MENU/SET] ボタンを押す(1点目)
 - [MENU/SET] ボタンを押す前に[DISP.] ボタンを押すと、枠は中央に戻ります。
- 3 手順 2 を繰り返す(2点目)
 - [MENU/SET] ボタンを押すと、2点目の枠の設定が解除されます。



タッチ操作

被写体をタッチし(1点目)、ドラッグして指を離す(2点目)

- [AF] をタッチすると、枠の設定が解除されます。



- 遠くから近く、近くから遠くのように、開始と終了でピントの変化を大きくすると効果が大きくなります。
- ピント設定後、被写体との距離が変化しないようにしてください。

- 枠の設定に失敗したときは、枠が 1 点目に戻ります。
- [ピント送り]を[ON]に設定した場合は、
 - AFモードは[ピント送り]専用の[AF]に変わります。
 - 写真撮影時の AF動作は、1点目の枠で [AF]と同じ動作になります。
- [測光モード](P171)が[測光]のときは、スポット測光ターゲットが1点目の枠に設定されます。



こんなときは使用できません

- 以下の場合、[ピント送り]が使用できません。
 - MF時
 - デジタルズーム使用時

録音レベルの表示/設定

録音レベル表示

使用できるモード: **P** **A** **S** **M** S&Q **SCN**

録音レベルを撮影画面に表示します。

MENU ボタン → [動画] → [録音レベル表示]

設定: [ON]、[OFF]

- [録音レベルリミッター]が[OFF]の場合、[録音レベル表示]は[ON]に固定されます。

録音レベル設定

使用できるモード: **P** **A** **S** **M** S&Q **SCN**

音声入力のレベルを19段階(-12 dB ~ +6 dB)に調整します。

MENU ボタン → [動画] → [録音レベル設定]

- 表示される dB 値は目安です。

録音レベルリミッター


使用できるモード: **P** **A** **S** **M** S&Q **SCN**

音声入力のレベルを自動的に調整します。音量が大きくなったときの、音声のゆがみ(音割れ)を抑えます。

MENU ボタン → [動画] → [録音レベルリミッター]

設定: [ON]、[OFF]

クリエイティブ動画モード

撮影モード: 


絞りやシャッタースピード、ISO感度を手動で設定して動画を撮影できます。

以下の動画は、クリエイティブ動画モードだけで撮影できます。


- 4Kライブクロップ..... P151

1 モードダイヤルを に合わせる

2 メニューを設定する

MENU ボタン →  [クリエイティブ動画] → [動画露出設定] →
[P]、[A]、[S]または[M]


- モードダイヤルを P/A/S/M のいずれかに合わせたときと同じ操作で、絞り値やシャッタースピードを変更できます。
- プログラムシフトは働きません。

 撮影画面の撮影モードアイコンをタッチしても、選択画面を表示できます。



3 動画ボタン(またはシャッターボタン)を押して撮影を開始する

- 動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。タッチ操作をすることで、動画撮影中でも静かに操作できます。

①  をタッチする


② アイコンをタッチする

T↑↓ : ズーム ※

F : 絞り値

SS : シャッタースピード

※ パワーズーム(電動式ズーム)対応交換レンズ使用時

 : 露出補正

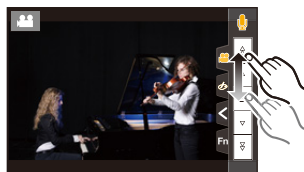
ISO : ISO 感度

 : 録音レベル設定

③ スライダーをドラッグして設定する

[▼]/[▲] : ゆっくり設定を変える


[▼]/[▲] : 速く設定を変える



4 もう一度動画ボタン(またはシャッターボタン)を押して撮影を終了する

■ ISO感度 [AUTO] の設定

ISO感度を [AUTO] に設定したときの、ISO感度の下限と上限を設定します。

MENU ボタン →  [動画] → [ISO感度設定(動画)]

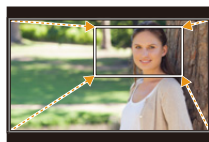
ISOオート下限設定	[200]/[400]/[800]/[1600]/[3200]
ISOオート上限設定	[AUTO]/[400]/[800]/[1600]/[3200]/[6400]

4Kライブク롭

4K画角からフルハイビジョン動画を切り出すことで、カメラを固定したままパンやズームイン、ズームアウトの動作を加えた動画を記録できます。




パン



ズームイン

- 動画メニューの [画質設定] は [FHD/20M/30p] に固定されます。
- 撮影時は、カメラをしっかり固定してください。
- 画角は狭くなります。

- 1 モードダイヤルを [CM] に合わせる
- 2 メニューを設定する

MENU ボタン →  [クリエイティブ動画] → [4Kライブク롭] → [40秒] または [20秒]

3 切り出し開始枠を設定する

- 初回設定時、1920×1080の大きさの開始枠が表示されます。(切り出し開始枠、終了枠の設定後は、直前に設定した開始枠と終了枠が表示されます)
- 位置や大きさは、電源を切っても記憶されます。

切り出し開始枠



ボタン操作	タッチ操作	操作内容	
▲/▼/◀/▶	タッチ	枠の移動	
	—	枠を細かく拡大/縮小	1920×1080 ~ 3840×2160 の範囲で設定できます
	ピンチアウト/ ピンチイン	枠の拡大 / 縮小	
[DISP.]	[リセット]	枠の位置を中央に、初回設定時の大きさに戻す	
[MENU/SET]	[決定]	枠の位置と大きさの決定	

4 切り出し終了枠を設定する

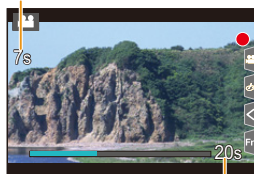
切り出し終了枠



5 動画ボタン(またはシャッターボタン)を押して撮影を開始する

- 動画ボタン(またはシャッターボタン)を押したあと、すぐに離してください。
- 設定した動作時間が経過すると、自動的に撮影が終了します。途中で撮影を止めるには、再度動画ボタン(またはシャッターボタン)を押してください。

記録経過時間



設定した動作時間





ズームイン/ズームアウトの動作を加える場合は、切り出しの開始と終了の画角を異なる設定にしてください。例えば、ズームイン撮影では開始の画角を大きく、終了の画角を小さく設定します。

■ 切り出し枠の位置や大きさを変更する

撮影画面で ◀ ボタンを押し、手順 **3**、**4** を行う。

■ 4Kライブクロップ撮影を解除する

手順 **2** で [4Kライブクロップ] を [OFF] に設定する。

- AFモードは、[] (顔認識) に切り換わります。(ピントを合わせる目は表示されません)
- 明るさの測定とピント合わせは、切り出し開始枠内で行います。動画撮影中は、切り出し枠内で行います。ピント位置を固定する場合は、[AF連続動作] を [OFF] にするか、フォーカスモードを [MF] に設定してください。
- [測光モード] は [] (マルチ測光) になります。



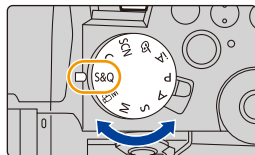
スロー& クイックモード

使用できるモード: (A) (P) (A) (S) (M) (S&Q) (SCN) (🔗)

スローモーション動画、クイックモーション動画を撮影します。

- [画質設定]は[FHD]で撮影します。

1 モードダイヤルを[S&Q]に合わせる



2 撮影の設定をする

MENU ボタン → S&Q [スロー& クイック] →
[S&Q 露出設定]/
[S&Q 画質設定]/
[S&Q 効果]



撮影画面の撮影モードアイコンをタッチしても、選択画面を表示できます。



3 シャッターボタンを半押しして、メニューを終了する

4 動画ボタンまたはシャッターボタンを押して撮影を開始する

5 もう一度動画ボタンまたはシャッターボタンを押して撮影を終了する

■ 動画撮影中の操作

露出などの設定をタッチ操作で変更できます。

1 [S&Q]をタッチする

2 アイコンをタッチする

W↓:ズーム※1

F:絞り値

SS:シャッタースピード

※1 パワーズーム(電動式ズーム)対応交換レンズ使用時

※2 撮影中は操作できません。

[]:露出補正

ISO:ISO感度

[S&Q]:S&Q効果※2

3 スライダーをドラッグして設定する

[▼]/[▲]:ゆっくり設定を変える

[▽]/[▲]:速く設定を変える

- アイコン(A)をタッチすると手順2の画面に戻ります。



- 動画に音声は録音されません。

スロー& クイックメニュー

S&Q 露出設定

露出設定を選択します。

MENU ボタン → **S&Q**[スロー& クイック] → [S&Q 露出設定]

設定: [P]、[A]、[S]、[M]

- [P]/[A]/[S]/[M]モードと同じ露出操作ができます。
- プログラムシフトは動きません。

S&Q 画質設定

記録フレームレートを選択します。

MENU ボタン → **S&Q**[スロー& クイック] → [S&Q 画質設定]

設定: [60p]、[30p]

S&Q 効果

速度効果を設定します。

MENU ボタン → **S&Q**[スロー& クイック] → [S&Q 効果]

8xQUICK	約 8 倍速の動画を撮影します。 例: [60p]に設定時:8 コマ / 秒 [30p]に設定時:4 コマ / 秒	クイックモーション動画
4xQUICK	約 4 倍速の動画を撮影します。	
2xQUICK	約 2 倍速の動画を撮影します。	
2xSLOW ^{※1}	約 1/2 倍速の動画を撮影します。	スローモーション動画
4xSLOW ^{※2}	約 1/4 倍速の動画を撮影します。	

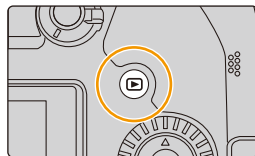
※1 [S&Q 画質設定]が[60p]のときは、画角が狭くなります。

※2 [S&Q 画質設定]が[30p]のときに選択できます。(画角が狭くなります)

- 設定によって、撮影画面がコマ落としのように表示されます。
- [S&Q 画質設定]、[S&Q 効果]、フォーカスモードによって、設定できるシャッタースピードが異なります。

写真の再生

1 [▶] ボタンを押す



2 ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押す

◀: 前の画像へ ▶: 次の画像へ

- ◀/▶ ボタンを押したままにすると、画像を連続して送ることができます。
- 以下の操作でも同じことができます。

画像を送る	<ul style="list-style-type: none"> 前ダイヤルまたはコントロールダイヤルを回す 画面を水平にドラッグする
画像を連続して送る	<ul style="list-style-type: none"> ドラッグして画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにする



■ 再生を終了する

再度 [▶] ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しする


こんなときは使用できません

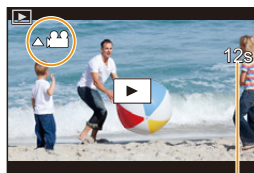
- 本機は一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA) にて制定された統一規格 DCF (Design rule for Camera File system) および、Exif (Exchangeable Image File Format) に準拠しています。DCF 規格に準拠していないファイルは再生できません。
- 他の機器で撮影された画像は、本機で正しく再生されない場合や、本機の機能を使用できない場合があります。

動画の再生

本機で再生できる動画のファイル形式はMP4です。






[]が付いた画像を選び、▲ ボタンを押して再生する

- 再生を開始すると、画面に再生経過時間が表示されます。
例) 8分30秒のとき: 8m30s
- 画面中央の[]をタッチしても動画を再生できます。
- [スナップムービー]で撮影した動画は自動再生されます。



動画記録時間

■ 動画再生中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲		再生/一時停止
◀		早戻し再生 *
		コマ戻し(一時停止中)
		音量を下げる

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▼		停止
▶		早送り再生 *
		コマ送り(一時停止中)
		音量を上げる

※ 早送り/早戻し速度を速くするには、もう一度▶/◀ ボタンを押してください。

■ スナップムービー自動再生中の操作

▲	最初から再生
◀	前の画像へ
▶	次の画像へ

- 画面をタッチすると自動再生が停止します。



写真の切り出し

動画の1フレームをJPEG画像として切り出して保存します。


1 動画再生中に▲ボタンを押して、一時停止にする

- 位置の細かい調整をするには、一時停止中に◀▶ボタンを押してください。


2 [MENU/SET]ボタンを押す

- [ ]をタッチしても同じ操作ができます。



- 画像横縦比は[16:9]、[クオリティ]は[]で保存されます。記録画素数は動画により異なります。

動画の画質設定	保存する写真の記録画素数
[4K]	3840×2160
[FHD]、[HD]	1920×1080

- 動画から作成された写真は、通常の画質より粗くなる場合があります。
- 動画から作成された写真には、再生時に[]が表示されます。

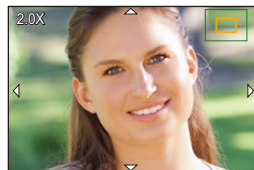
表示方法の切り換え

拡大表示

再生画像を拡大表示(再生ズーム)できます。

後ダイヤルを右側に回す

1倍⇄2倍⇄4倍⇄8倍⇄16倍



ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	-	画面を拡大/縮小
-	ピンチアウト/ピンチイン	画面を細かく拡大/縮小
	ドラッグ	拡大表示位置の移動
	-	ズーム倍率、ズーム位置を保持したまま画像を送る

- 画面を2回タッチすることにより、拡大表示/通常表示が切り換わります。
- [クオリティ]を[RAW]にして撮影した画像は、8倍まで拡大できます。

サムネイル表示

後ダイヤルを左側に回す

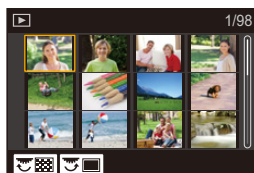
1画面⇄12画面⇄30画面⇄カレンダー表示

- 後ダイヤルを右側に回すと、1つ前に戻ります。
- 再生画面を切り換えるには、以下のアイコンをタッチしてください。
 - []: 1画面
 - []: 12画面
 - []: 30画面
 - []: カレンダー表示
- 画面を上下にドラッグすると、一覧表示をスクロールできます。
- [[!]]と表示される画像は再生できません。

■ 1画面表示に戻すには

画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 動画を選択すると、自動で再生されます。



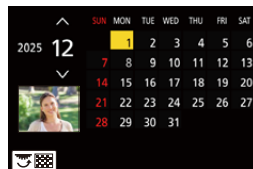
カレンダー表示

1 後ダイヤルを左側に回して、カレンダー表示にする

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで再生する日付を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す

- 同じ日付に撮影した画像だけ表示されます。
- カレンダー表示に戻すには、後ダイヤルを左側に回してください。

3 ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す




- 初めに選ばれる日付は、再生画面で選んだ画像の撮影日になります。
- カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。
- 時計を設定せずに撮影した場合、2025年1月1日に表示されます。
- [ワールドタイム]を[旅行先]に設定した場合は、撮影した画像が旅行先の日時で表示されます。


グループ画像


複数枚の画像を1つにまとめたグループ画像を連続再生したり、1枚ずつ再生したりできます。

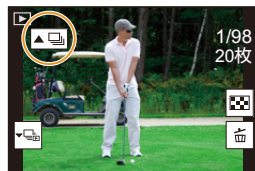
- グループ単位で消去や編集ができます。(例えば、グループ画像を消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます)

[]: [4K フォト一括保存] で保存したグループ画像

[]: フォーカスブラケット撮影したグループ画像

[]: インターバル撮影したグループ画像

[]: コマ撮り撮影したグループ画像




- 時計を設定せずに撮影した場合、画像はグループ化されません。

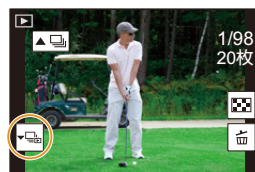
■ グループ画像を1枚ずつ再生する

1 ▼ ボタンを押す

- [, [, [, [] をタッチしても同じ操作ができます。




2 ◀▶ ボタンを押して画像を送る

- 通常の再生画面に戻るには、もう一度 ▼ ボタンを押す、または [] をタッチしてください。
- グループ内の画像に対して、通常の写真再生時と同様の操作が可能です。(サムネイル表示、拡大表示、画像の消去など)





■ グループ画像を連続再生する

▲ ボタンを押す

- グループ画像アイコン([, [, []) をタッチしても同じ操作ができます。
- グループ画像を1枚ずつ再生しているときは、選択肢が表示されます。
[連写再生] (または [連続再生]) を選んだあとに、以下の再生方法を選んでください。
[最初の画像から見る]: グループの先頭画像から連続再生されます。
[この画像から見る]: 再生中の画像から連続再生されます。

- 連続再生中の操作



ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲		連続再生/一時停止
◀		早戻し再生
		前の画像に戻る(一時停止中)

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▼		停止
▶		早送り再生
		次の画像へ送る(一時停止中)

画像の消去

画像は一度消去すると元に戻すことができません。

■ 1枚消去



- 再生状態で消去する画像を選び、[] ボタンを押す
 - [] をタッチしても同じ操作ができます。



- ▲ ボタンで [1枚消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ 複数消去(100枚まで)

- グループ画像は1枚として扱います。(選んだグループ画像内のすべての画像が消去されます)

- 再生状態で [] ボタンを押す
- ▲/▼ ボタンで [複数消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンで設定する(繰り返す)
 - 設定した画像に [] が表示されます。
選択を解除するには、もう一度 [MENU/SET] ボタンを押してください。
- [DISP.] ボタンを押す



- 消去する枚数により、時間がかかることがあります。

9.

メニューガイド

メニューの一覧を紹介します。他のページに詳細な説明があるメニューについては、ページ番号を記載しています。

- メニューの操作方法については、[46](#) ページをお読みください。
- 文字入力の操作方法については、[53](#) ページをお読みください。

撮影モードの専用メニュー	🔑 下記
撮影メニュー	🔑 P165
動画メニュー	🔑 P180
カスタムメニュー	🔑 P183
セットアップメニュー	🔑 P199
マイメニュー	🔑 P208
再生メニュー	🔑 P209



撮影モードの専用メニュー

IA IA+ インテリジェントオートメニュー

- インテリジェントオートモード([P55](#))
- iHDR([P56](#))
- i手持ち夜景([P56](#))

M クリエイティブ動画メニュー

- 動画露出設定([P150](#))
- 4Kライブクロップ([P151](#))

S&Q スロー&クイックメニュー

- S&Q 露出設定([P156](#))
- S&Q 効果([P156](#))
- S&Q 画質設定([P156](#))

C カスタムモードメニュー

カスタムセットの変更ができます。([P66](#))

SCN シーンガイドメニュー

- シーン切替([P67](#))

🌀 クリエイティブコントロールメニュー

- フィルター効果([P70](#))
- フィルターなし同時記録([P70](#))

📷 撮影メニュー

- 画像横縦比(下記)
- 記録画素数(P166)
- クオリティ(P166)
- AFS/AFF(P76)※
- AF追従感度(写真)(P77)
- フォトスタイル(P167)※
- フィルター設定(P169)※
- 色空間(P170)
- 測光モード(P171)※
- ハイライトシャドウ(P171)※
- iDレンジコントロール(P172)※
- 超解像(P173)※
- フラッシュ設定(P134)
- ISO感度設定(写真)(P173)
- 下限シャッター速度(P173)
- 長秒ノイズ除去(P174)
- シェーディング補正(P174)
- 回折補正(P175)※
- 手ブレ補正(P123)※
- EXテレコン(写真)(P127)
- デジタルズーム(P129)※
- 連写速度(P98)
- 4Kフォト(P100)
- セルフタイマー(P118)
- インターバル/コマ撮り撮影(P114、116)
- ライブビューコンボジット撮影(P62)
- サイレントモード(P175)
- シャッター方式(P176)
- シャッターディレイ(P177)
- ブラケット(P119)
- HDR(P177)
- 多重露出(P178)

※ 撮影メニューと動画メニューで共通したメニュー項目です。設定を変更すると、両方の設定に反映されます。

[画像横縦比]

使用できるモード:   **P** **A** **S** **M**   

画像の横縦比(アスペクト比)を選択できます。

MENU ボタン →  [撮影] → [画像横縦比]

4:3	4:3テレビの横縦比
3:2	一般のフィルムカメラの横縦比
16:9	16:9テレビの横縦比
1:1	正方形横縦比

【記録画素数】


使用できるモード：  **P** **A** **S** **M**   

写真の画像サイズを設定します。

MENU ボタン →  [撮影] → [記録画素数]

画像横縦比	記録画素数		画像横縦比	記録画素数	
4:3	L(20M)	5184×3888	16:9	L(14.5M)	5184×2920
	EX M(10M)	3712×2784		EX M(8M)	3840×2160
	EX S(5M)	2624×1968		EX S(2M)	1920×1080
3:2	L(17M)	5184×3456	1:1	L(14.5M)	3888×3888
	EX M(9M)	3712×2480		EX M(7.5M)	2784×2784
	EX S(4.5M)	2624×1752		EX S(3.5M)	1968×1968

- [EXテレコン(写真)] 設定時は、各画像横縦比の[L]以外の記録画素数に **[EX]** が表示されます。

 **こんなときは使用できません**







- 以下の場合、[記録画素数]が設定できません。
 - 4Kフォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時

【クオリティ】

使用できるモード：  **P** **A** **S** **M**   

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

MENU ボタン →  [撮影] → [クオリティ]

設定	ファイル形式	設定内容
	JPEG	画質を優先したJPEG画像です。
		標準画質のJPEG画像です。画素数を変えずに記録枚数を増やす場合などに便利です。
RAW 	RAW+JPEG	RAW 画像とJPEG画像( または )を同時に記録します。
RAW 		
RAW	RAW	RAW 画像を記録します。



RAWについて

RAW形式とは、カメラで画像が処理されていないそのままのデータ形式です。RAW画像の再生・編集には本機または専用のソフトウェアが必要です。

- 再生メニューの[RAW 現像]でRAW画像を現像できます。
- パソコンでRAWファイルの現像・編集をする場合は、ソフトウェア(アドワー「SILKYPIX Developer Studio」)をお使いください。(P253)

- RAW画像は常に画像横縦比[4:3] (5184×3888)で記録されます。
- [RAW]、[RAW]の画像を本機で消去すると、RAW画像とJPEG画像が同時に消去されます。
- [RAW]の画像を再生しているときは、撮影時の画像横縦比に合わせてグレーの領域が表示されます。
- 4K フォト撮影時およびフォーカスセレクト撮影時は、[]に固定されます。

こんなときは使用できません













- 以下の場合、[RAW]、[RAW]、[RAW]に設定できません。
 - シーンガイドモードの[夜景を手持ちで撮る]

[フォトスタイル]

使用できるモード:   **P** **A** **S** **M**  

撮影したいイメージに合わせて効果を選択できます。

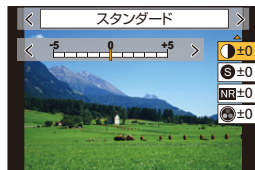
MENU ボタン →  [撮影] /  [動画] → [フォトスタイル]

 ST.D. スタンダード	標準的な設定
 VIVID ヴィヴィッド	彩度高め、コントラスト高め of 鮮やかな効果
 NAT ナチュラル	コントラスト低め of 柔らかな効果
 MONO モノクローム	色味を抜いた単色の効果
 L.MONO L.モノクローム	階調が豊かで黒の引き締まったモノクロ効果
 L.MONO D L.モノクロームD	ハイライトとシャドウを強調したダイナミックな印象のモノクロ効果
 SCNY 風景	青空や緑を鮮やかにし、風景撮影に適した効果
 PORT 人物	健康的できれいな肌色にし、人物撮影に適した効果
 CUST カスタム	あらかじめ登録している設定を使用
 CNED シネライクD	ダイナミックレンジを優先したガンマカーブで映画感覚に仕上げる効果 ● 動画編集時の処理に適しています。
 CNEV シネライクV	コントラストを重視したガンマカーブで映画感覚に仕上げる効果
 V-LogL V-Log L	ポストプロダクション処理を前提としたガンマカーブの効果 ● ポストプロダクション処理により、階調の豊かな映像に仕上げることが出来ます。

- インテリジェントオートプラスモードでは、
 - [スタンダード]、[モノクローム]に設定できます。
 - 撮影モードを切り換えたり、電源を切ったりすると、[スタンダード]にリセットされます。
 - 画質調整はできません。
- シーンガイドモード時は、画質調整だけを設定できます。

■ 画質調整する

- 1 ◀/▶ ボタンでフォトスタイルの種類を選ぶ
- 2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、◀/▶ ボタンで調整する
 - [DISP.] ボタンを押すと、調整した内容を[カスタム]に登録できます。



● コントラスト ※1	+	画像の明暗差を大きくします。
	-	画像の明暗差を小さくします。
S シャープネス	+	画像の輪郭を強調します。
	-	画像の輪郭を柔らかくします。
NR ノイズリダクション	+	ノイズリダクションの効果を強め、ノイズを軽減します。解像感が僅かに低下する場合があります。
	-	ノイズリダクションの効果を弱め、より解像感のある画質を得ることができます。
● 彩度 ※1,2	+	派手で鮮やかな色になります。
	-	落ち着いた色になります。
● 色調 ※3	+	青っぽい色になります。
	-	黄色っぽい色になります。
● フィルター効果 ※3	黄	青空をくっきりと撮影できます。
	オレンジ	青空を色濃く撮影できます。
	赤	青空をさらに色濃く撮影できます。
	緑	人物の肌や唇を落ち着いた色にします。緑の葉を明るくし、強調します。
	OFF	-
● 粒状 ※3	弱 / 中 / 強	粒状感の強弱を設定します。
	OFF	-

※1 [V-Log L] 選択時は、調整できません。

※2 [モノクローム]、[L.モノクローム]、[L.モノクローム D] 選択時は表示されません。

※3 [モノクローム]、[L.モノクローム]、[L.モノクローム D] 選択時に表示されます。

- 画質調整すると、フォトスタイルアイコンに[+]が表示されます。

3 [MENU/SET] ボタンを押す

- [粒状]の効果は、撮影画面で確認できません。



🚫 こんなときは使用できません

- 以下の場合、[粒状]が使用できません。
 - 動画撮影時
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時

【フィルター設定】


使用できるモード:   **P** **A** **S** **M**  S&Q SCN 

クリエイティブコントロールモードと同じ画像効果(フィルター)を加えることができます。
(P70)


MENU ボタン →  [撮影]/  [動画] → [フィルター設定] → [フィルター効果]

設定: [ON]、[OFF]、[設定]


■ タッチ操作でフィルターを設定する

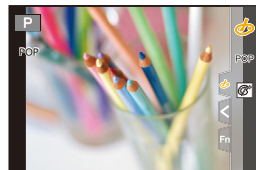
①  をタッチする


② 設定する項目をタッチする

 : 画像効果の入/切

[POP] : 画像効果(フィルター)

 : 画像効果の調整



- 以下の場合、[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン] が使用できません。
 - クリエイティブ動画モード
 - 動画撮影時
- ISO感度の上限は [ISO3200] になります。
- [ハイダイナミック] 設定時は、ISO感度は [AUTO] に固定されます。
- [フィルター効果] 使用時は、クリエイティブコントロールモードで設定できない機能も設定できなくなります。例えば、ホワイトバランスは [AWB] に、フラッシュは  (発光禁止) に固定されます。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[フィルター設定] が使用できません。
 - 4Kライブクローズアップ設定時

■ フィルターなし同時記録

1回シャッターボタンを押すと、画像効果を加えた写真と加えない写真を同時に撮影できます。

MENU ボタン → [撮影] / [動画] → [フィルター設定] → [フィルターなし同時記録]
設定: [ON]、[OFF]

- 画像効果あり、画像効果なしの順で撮影されます。
- オートレビュー時は、画像効果を加えた画像が表示されます。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[フィルターなし同時記録]が使用できません。
 - シーンガイドモード
 - 動画撮影中の写真記録 ((動画優先)) 設定時
 - 4Kフォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - 連写撮影時
 - [クオリティ]を[RAW]、[RAW]、[RAW]に設定したとき
 - ブラケット撮影時
 - インターバル撮影時
 - コマ撮りアニメ撮影時

[色空間]

使用できるモード:

撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、正しい色を再現するための方式を設定します。

MENU ボタン → [撮影] → [色空間]

sRGB	sRGB色空間に設定します。パソコンを中心とした機器で広く使われています。
AdobeRGB	AdobeRGB色空間に設定します。 AdobeRGB色空間はsRGB色空間よりも色再現の範囲が広いので、主に商用印刷などの業務用途で使われています。

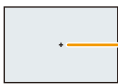
- AdobeRGBについての専門的な知識がない方は、sRGBに設定してください。
- 以下の場合、[sRGB]に固定されます。
 - 動画撮影時
 - 4Kフォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - [フォトスタイル]を[V-Log L]に設定したとき

[測光モード]

使用できるモード:

明るさを測る測光方式を切り換えることができます。

MENU ボタン → [撮影] / [動画] → [測光モード]

	明るさの測定位置	こんなときに
マルチ測光	画面全体	通常使用 (バランスがとれた写真になります)
中央重点測光	画面中央とその周囲	被写体が画面中央にあるとき
スポット測光	[+](スポット測光ターゲット)の中心 	被写体と背景の明るさが極端に異なるとき (舞台上のスポットライトが当たった人物を撮るとき、逆光時など)

- スポット測光ターゲットを画面の端に設定した場合は、周辺の明るさの影響を受けます。

[ハイライトシャドウ]

使用できるモード:




画像の明るい部分と暗い部分の明るさを画面で確認しながら調整できます。

MENU ボタン → [撮影] / [動画] → [ハイライトシャドウ]

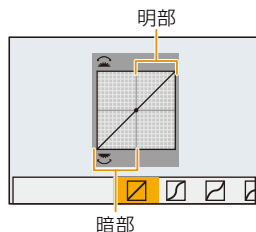
1 ◀▶ ボタンでハイライトシャドウの種類を選ぶ

<input checked="" type="checkbox"/> (スタンダード)	調整なしの状態になります。
<input checked="" type="checkbox"/> (コントラストを上げる)	明部を明るく、暗部を暗くします。
<input checked="" type="checkbox"/> (コントラストを下げる)	明部を暗く、暗部を明るくします。
<input checked="" type="checkbox"/> (暗部を明るくする)	暗部を明るくします。
/ / (カスタム)	カスタム登録した内容を設定できます。

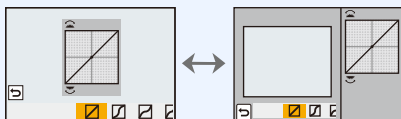
2 前後ダイヤルを回して、明部/暗部の明るさの調整をする






- グラフをドラッグ操作しても調整できます。
- お好みの設定を登録する場合は ▲ ボタンを押して、カスタム登録先(カスタム 1 () / カスタム 2 () / カスタム 3 ())を選んでください。

3 [MENU/SET] ボタンを押す



- 明るさ調整の画面で [DISP.] ボタンを押すと、画面の表示を切り換えることができます。



-  /  /  /  で調整した設定は、電源スイッチを [OFF] にするとお買い上げ時の設定に戻ります。
- [フォトスタイル] を [V-Log L] に設定した場合、 (スタンダード) に固定されます。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[ハイライトシャドウ] が設定できません。
 - [フィルター設定] 設定時

[iDレンジコントロール]

使用できるモード：      S&Q  

背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、コントラストや露出を補正します。

MENU ボタン →  [撮影] /  [動画] → [iDレンジコントロール]

設定： [AUTO]、[強]、[中]、[弱]、[OFF]

こんなときは使用できません

- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 以下の場合、[iDレンジコントロール] が動きません。
 - [HDR] を [ON] に設定したとき
- 以下の場合、[iDレンジコントロール] が使用できません。
 - [フォトスタイル] を [V-Log L] に設定したとき
 - ライブビューコンポジット撮影時

[超解像]

使用できるモード: S&Q SCN

超解像技術を利用して、より輪郭がはっきりした、解像感がある画像を撮影できます。

MENU ボタン → [撮影] / [動画] → [超解像]

設定: [強]、[中]、[弱]、[OFF]

[ISO感度設定(写真)]

使用できるモード: S&Q SCN

ISO感度を[AUTO]または[ISO]に設定したときの、ISO感度の下限と上限を設定します。

MENU ボタン → [撮影] → [ISO感度設定(写真)]

ISOオート下限設定	[200]/[400]/[800]/[1600]/[3200]/[6400]/[12800]
ISOオート上限設定	[AUTO]/[400]/[800]/[1600]/[3200]/[6400]/[12800]/[25600]

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[ISO感度設定(写真)]が設定できません。
 - シーンガイドモードの[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景を手持ちで撮る]

[下限シャッター速度]

使用できるモード: S&Q SCN

ISO感度を[AUTO]または[ISO]に設定したときの、シャッタースピードの下限を設定します。

MENU ボタン → [撮影] → [下限シャッター速度]

設定: [AUTO]、[1/16000]～[1/1]

- 適正な露出が得られない撮影状況では、シャッタースピードが設定値より遅くなることがあります。

[長秒ノイズ除去]

使用できるモード:      

夜景撮影など、遅いシャッタースピードで撮影する場合に発生するノイズを、カメラが自動的に取り除きます。

MENU ボタン →  [撮影] → [長秒ノイズ除去]

設定: [ON]、[OFF]

- ノイズ除去中は、信号処理のためにシャッタースピードと同じ時間「長秒ノイズ除去中」と表示されます。


こんなときは使用できません

- 以下の場合、[長秒ノイズ除去]は使用できません。
 - 動画撮影時
 - 4Kフォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - 電子シャッター使用時

[シェーディング補正]

使用できるモード:      


レンズの特性によって画面周辺が暗くなる場合、画面周辺の明るさを補正した画像を撮影できます。

MENU ボタン →  [撮影] → [シェーディング補正]

設定: [ON]、[OFF]

- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 高いISO感度では、画面周辺のノイズが目立つ場合があります。

こんなときは使用できません

- 以下の場合は補正できません。
 - 動画撮影時
 - 動画撮影時の写真記録 ([ (動画優先)] 設定時)
 - 4Kフォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - [EXテレコン(写真)]使用時
 - デジタルズーム使用時

[回折補正]

使用できるモード:       

絞りを絞ったときの回折現象のボケを補正し、画像の解像感を高めます。

MENU ボタン →  [撮影] /  [動画] → [回折補正]

設定: [AUTO]、[OFF]

- 高いISO感度では、ノイズが目立つ場合があります。




[サイレントモード]

使用できるモード:       

操作音と発光の禁止を一括で設定します。

MENU ボタン →  [撮影] → [サイレントモード]

設定: [ON]、[OFF]

- スピーカーからの音声は消音になり、フラッシュやAF補助光は発光禁止に設定されます。以下の設定が固定されます。
 - [フラッシュモード]:  (発光禁止)
 - [シャッター方式]: [電子シャッター]
 - [AF 補助光]: [OFF]
 - [電子音音量]:  (OFF)
 - [電子シャッター音量]:  (OFF)
- [ON] に設定していても、以下のランプは点灯 / 点滅します。
 - WIRELESS 接続ランプ
 - セルフタイマーランプ
- レンズの絞り音などの動作音は消音されません。
- 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

[シャッター方式]

使用できるモード:   **P** **A** **S** **M**   

写真撮影時のシャッター方式を選びます。

MENU ボタン →  [撮影] → [シャッター方式]

自動切換	撮影状況やシャッタースピードに応じて、シャッター方式を自動で切り換えます。
メカシャッター	メカシャッター方式で撮影します。
電子先幕	電子先幕方式で撮影します。
電子シャッター	電子シャッター方式で撮影します。


	メカシャッター方式	電子先幕方式	電子シャッター方式
仕組み	露光の開始と終了をメカシャッターで行う方式	電子的に露光を開始し、メカシャッターで終了する方式	露光の開始と終了を電子的に行う方式
フラッシュ	○	○	×
シャッタースピード	B(バルブ) ^{*1} 、60秒～1/4000秒	B(バルブ) ^{*1} 、60秒～1/2000秒	1秒 ^{*2} ～1/16000秒
シャッター音	メカシャッター音	メカシャッター音	電子シャッター音 ^{*3}

※1 マニュアル露出モード時に設定できます。

※2 [ISO3200]より高い場合、1秒より速くなります。

※3 セットアップメニューの[電子音]の[電子シャッター音音量]と[電子シャッター音音色]で、電子シャッター音の設定ができます。

- 電子先幕方式は、メカシャッター方式に比べ、シャッターによる振動が少ないので、シャッターブレを抑えることができます。
- 電子シャッター方式は、シャッターによる振動のない撮影ができます。

- 画面に[]が表示されている場合は、電子シャッター方式で撮影されます。
- [電子シャッター]設定時に動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。
- [電子シャッター]設定時は、蛍光灯やLEDなどの照明下では、横しまが撮影されることがあります。シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。

[シャッターディレイ]

使用できるモード：  **P** **A** **S** **M**   

手ブレやシャッターブレを抑えるため、シャッターボタンを押したあと、設定時間経過後にシャッターが切れます。

MENU ボタン →  [撮影] → [シャッターディレイ]

設定：[8秒]、[4秒]、[2秒]、[1秒]、[OFF]

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[シャッターディレイ]が使用できません。
 - 動画撮影時
 - 4Kフォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - [HDR]を[ON]に設定したとき

[HDR]

使用できるモード：  **P** **A** **S** **M**   

露出の異なる写真を3枚撮影して、1枚の階調豊かな写真に合成します。背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、黒つぶれや白飛びを抑えて撮影できます。

HDR合成した画像はJPEGで記録されます。

MENU ボタン →  [撮影] → [HDR]



設定：[ON]、[OFF]、[設定]

■ 設定を変更する

Dレンジ設定	[AUTO]: 被写体の明暗差に応じて露出の調整幅を自動調整して撮影します。 [±1EV]、[±2EV]、[±3EV]: 設定した露出の調整幅で撮影します。
自動位置調整	[ON]: 手ブレなどによる画像のずれを自動的に調整します。手持ち撮影時にお勧めの設定です。 [OFF]: 画像のずれを調整しません。三脚使用時にお勧めの設定です。

- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 動いている被写体を撮影すると、被写体の動きが残像のように不自然に写る場合があります。
- [自動位置調整]を[ON]に設定した場合、画角が僅かに狭くなります。
- フラッシュは[⊕] (発光禁止)に固定されます。

こんなときは使用できません

- 動画撮影中の写真記録では働きません。
- 以下の場合、[HDR]が使用できません。
 - 4Kフォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - 連写撮影時
 - ブラケット撮影時
 - [クオリティ]を[RAW ]、[RAW ]、[RAW]に設定したとき
 - インターバル撮影時
 - コマ撮りアニメ撮影時 ([自動撮影]設定時)

[多重露出]

使用できるモード:   **P** **A** **S** **M**  M S&Q SCN 

1枚の画像に最大4回の露光をしたような効果を得ることができます。

MENU ボタン →  [撮影] → [多重露出]

- ▲/▼ ボタンで [開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 構図を決めて1枚目を撮影する
 - 撮影後、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影に進みます。
 - ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと以下の操作が可能です。
 - [次の撮影]: 次の撮影に進む
 - [撮り直し]: 1枚目の撮影に戻る
 - [完了]: 1枚目の撮影画像を記録し、撮影を終了する
- 2枚目、3枚目、4枚目を撮影する
 - 撮影画像を記録し、撮影を終了するには、撮影時に [Fn2] ボタンを押してください。
- ▼ ボタンで [完了] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - シャッターボタンを半押ししても終了できます。



■ 設定を変更する

自動ゲイン補正	[OFF]に設定すると、すべての露光結果をそのまま重ね合わせます。必要に応じて露出補正をしてください。
再生画像と多重	[ON]に設定すると、すでに撮影した画像に多重露出ができます。 [開始]を選択したあとに、カード内の画像が表示されます。RAW画像を選んで[MENU/SET]ボタンを押し、続けて撮影してください。

- 多重露出で撮影した画像の撮影情報は、最後に撮影した画像の情報になります。
- 本機で撮影されたRAW画像は、[再生画像と多重]を設定できます。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[多重露出]が使用できません。
 - インターバル撮影時
 - コマ撮りアニメ撮影時
 - ライブビューコンボジット撮影時



🎥 動画メニュー

- 画質設定(P143)
- スナップムービー(P147)
- AFS/AFF(P76)*
- AF連続動作(P144)
- AFカスタム設定(動画)(P144)
- フォトスタイル(P167)*
- フィルター設定(P169)*
- 輝度レベル設定(P180)
- 測光モード(P171)*
- ハイライトシャドウ(P171)*
- iDレンジコントロール(P172)*
- 超解像(P173)*
- ISO感度設定(動画)(P151)
- 回折補正(P175)*
- 手ブレ補正(P123)*
- フリッカー軽減(P180)
- EXテレコン(動画)(P127)
- デジタルズーム(P129)*
- 動画撮影中の写真撮影(P146)
- 録音レベル表示(P149)
- 録音レベル設定(P149)
- 録音レベルリミッター(P149)
- 風音キャンセラー(P181)/
風音低減(P258)
- レンズ動作音低減(P181)
- 専用マイク設定(P257)
- 音声モニタリング(P181)

* 撮影メニューと動画メニューで共通したメニュー項目です。設定を変更すると、両方の設定に反映されます。

[輝度レベル設定]

使用できるモード:   **P** **A** **S** **M**  S&Q SCN 

動画記録の用途に合わせて輝度の範囲を設定できます。

MENU ボタン →  [動画] → [輝度レベル設定]


設定: [0-255]、[16-255]

- 以下の場合、[0-255]に固定されます。
 - 写真撮影時(動画撮影中の写真撮影を含む)
 - [フォトスタイル]を[V-Log L]に設定したとき

[フリッカー軽減]

使用できるモード:   **P** **A** **S** **M**  S&Q SCN 

動画のちらつきや横しみを軽減させるために、シャッタースピードを固定できます。

MENU ボタン →  [動画] → [フリッカー軽減]

設定: [1/50]、[1/60]、[1/100]、[1/120]、[OFF]

[風音キャンセラー]

使用できるモード: **P** **A** **S** **M** S&Q **SCN**

音質を保ちながら、内蔵マイクに当たる風音ノイズを低減します。

MENU ボタン → [動画] → [風音キャンセラー]

設定: [強]、[標準]、[OFF]

- [強]は強風を検出すると、低音を抑えてより効果的に風音を低減する設定です。
- [標準]は音質を損なうことなく、風音だけを抽出して低減する設定です。
- 撮影状況によっては十分な効果が得られない場合があります。
- 内蔵マイクだけに動きます。外部マイク接続時は [風音低減] が表示されます。

[レンズ動作音低減]

使用できるモード: **P** **A** **S** **M** S&Q **SCN**

動画撮影時に記録される、パワーズーム時の動作音を低減できます。

- パワーズームに対応した交換レンズ装着時に使用できます。

MENU ボタン → [動画] → [レンズ動作音低減]

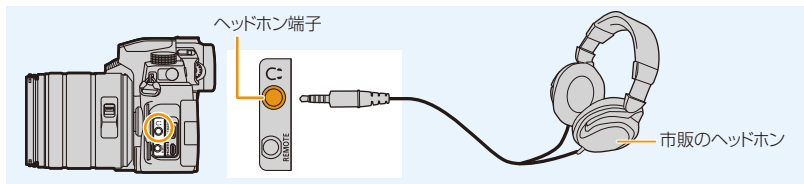
設定: [ON]、[OFF]

- 設定時は通常と音質が変わる場合があります。

[音声モニタリング]

使用できるモード: **P** **A** **S** **M** S&Q **SCN**

本機に市販のヘッドホンを接続して、動画の音声をモニターしながら撮影できます。



- ヘッドホンケーブルは 3 m 未満のものをご使用ください。
- ヘッドホン接続中は、電子音や電子シャッター音は鳴りません。

■ 音声出力方法を切り換える



MENU ボタン →  [動画] → [音声モニタリング]

リアルタイム	遅延のない音声。動画に記録される音声とは異なる場合があります。
記録音	動画に記録される音声。実際の音より遅れて出力される場合があります。

- 以下の場合、[音声モニタリング] が [記録音] に固定されます。
 - 撮影時
 - HDMI 出力中
 - 外部マイク使用時

■ ヘッドホンの音量を調整する

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [カスタム] →  [操作] → [ダイヤル設定] → [コントロールダイヤルの割当] → [🔊]


2 ヘッドホン接続中、撮影画面や動画再生中にコントロールダイヤルを回す

: 音量を下げる

: 音量を上げる

- 再生時は [-]、[+] をタッチしても、音量を調整できます。

メニューで調整する場合

MENU ボタン →  [セットアップ] → [ヘッドホン音量]

カスタムメニュー

露出

- ISO感度ステップ(P184)
- 拡張ISO感度(P93)
- 露出補正リセット(P184)

フォーカス/リリース

- AF/AEロック切換(P90)
- AF/AEロック維持(P184)
- シャッター半押し AF(P184)
- シャッター半押しリリース(P184)
- クイックAF(P184)
- アイセンサーAF(P184)
- ピンポイントAF設定(P185)
- AF補助光(P185)
- ダイレクトフォーカス移動(P185)
- フォーカス/リリース優先(P186)
- 縦/横位置フォーカス切換(P186)
- フォーカス枠のループ移動(P186)
- AFエリア表示(P186)
- AF+MF(P187)
- MFアシスト(P187)
- MFアシスト表示(P187)

操作

- Fn ボタン設定(P50)
- WB/ISO/露出補正ボタン(P187)
- ISO感度画面の操作(P38)
- 露出補正画面の操作(P38)
- Q.MENU(P188)
- ダイヤル設定(P39)
- 操作ロック設定(P188)
- フォーカスリングロック(P188)
- 動画ボタン(P188)
- リモコンの動画ボタン(P257)
- タッチ設定(P188)

モニター/表示

- オートレビュー(P189)
- モノクロライブビュー(P189)
- 常時プレビュー(Mモード)(P189)
- ライブビューブースト(P190)
- ビーキング(P190)
- ヒストグラム表示(P191)
- ガイドライン表示(P191)
- センターマーカー表示(P191)
- ハイライト表示(P192)
- ゼブラパターン表示(P192)
- 露出メーター(P193)
- MFガイド(P193)
- LVF/モニター表示設定(P193)
- モニター撮影情報画面(P193)
- 記録枠表示(P194)
- 残枚数/残時間切換(P194)
- 動画記録中の赤枠表示(P194)
- メニューガイド(P194)

レンズ/その他

- レンズ位置メモリー(P195)
- パワーズームレンズ(P130)
- レンズ Fn ボタン設定(P195)
- 絞りリング設定(P195)
- 動画の縦位置情報(P195)
- 個人認証(P196)
- プロフィール設定(P198)

MENU ボタン → [カスタム] → [露出]

[ISO感度ステップ]

ISO感度を設定する間隔を変更します。

設定: [1/3 EV]、[1 EV]

[露出補正リセット]

撮影モード変更時および電源OFF時に露出補正値をリセットします。

MENU ボタン → [カスタム] → [フォーカス/リリース]

[AF/AEロック維持]

[ON]に設定すると、[AF/AE LOCK] ボタンを押したあとに離してもピントや露出が固定されます。ロックを解除するには、もう一度 [AF/AE LOCK] ボタンを押してください。

[シャッター半押しAF]

シャッターボタン半押し時に、自動的にピントを合わせます。

[シャッター半押しリリース]

シャッターボタン半押しで、すぐにシャッターを切ることができます。

[クイックAF]

カメラのブレが小さくなると、カメラが自動的にピントを合わせます。シャッターボタンを押した際のピント合わせが速くなります。

- バッテリーの消費が早くなります。



こんなときは使用できません

- 以下の場合、[クイックAF]が働きません。
 - プレビューモード時
 - 低照度時

[アイセンサーAF]

アイセンサー動作時に、カメラが自動的にピントを合わせます。

- 低照度時は、[アイセンサーAF]が働かない場合があります。

MENU ボタン → [カスタム] → [フォーカス/リリース]

[ピンポイントAF設定]

AFモードが[+]の場合に表示される、拡大画面の設定を変更します。

ピンポイントAF時間	シャッターボタンを半押ししたときに、拡大画面が表示される時間を設定します。 設定: [LONG]、[MID]、[SHORT]
ピンポイントAF表示	拡大画面の表示方法を設定します。 設定: [全画面] (画面全体)、[PIP] (画面の一部)

[AF補助光]

暗い場所で撮影するときにシャッターボタンを半押しすると、AF補助光を点灯してピントを合わせやすくします。

- 補助光の有効距離は、使用するレンズによって異なります。
 - 交換レンズ(H-FSA14140)装着、W端時: 約 1.0 m ~ 約 3.0 m
- レンズフードは外してください。
- 交換レンズ(H-FSA14140)装着時、AF補助光が少し遮られますが、性能には問題ありません。
- 径の大きなレンズをお使いの場合は、AF補助光が大きく遮られ、フォーカスが合いにくい場合があります。
- 以下の場合、[AF補助光]が[OFF]に固定されます。
 - シーンガイドモードの [風景をきれいに撮る]/[青空をさわやかに撮る]/[夕焼けを幻想的に撮る]/[夕焼けを印象的に撮る]/[水面をキラキラ撮る]/[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[夜景を手持ちで撮る]
 - [サイレントモード]を[ON]に設定したとき

[ダイレクトフォーカス移動]

撮影時にカーソルボタンを使って、AF エリアや MF アシストを移動します。

- 以下の位置をカーソルボタンで移動できます。
 - []、[]、[+]、[] 選択時: AF エリア
 - [] 選択時: ロック開始位置
 - [+] 選択時: 拡大位置
- AFモードの選択などカーソルボタンに割り当てられている機能は、クイックメニュー(P48)やFn ボタン(P50)を使って設定してください。
- 以下の場合、[ダイレクトフォーカス移動]が[OFF]に固定されます。
 - シーンガイドモードの [水面をキラキラ撮る]
 - クリエイティブコントロールモード時
 - 4Kライブクロップ設定時

MENU ボタン → [カスタム] → [フォーカス/リリース]

[フォーカス/リリース優先]

AF時に、ピントを合わせることを優先するか、シャッターを切ることを優先するかを設定します。

- フォーカスモード([AFS/AFF]、[AFC])ごとに設定できます。

フォーカス	ピントが合っていないときは撮影できません。
バランス	ピント合わせとリリースタイミングのバランスをとり撮影します。
リリース	ピントが合っていないくても撮影できます。

[縦/横位置フォーカス切換]

カメラの縦横の位置によって、フォーカス位置を別々に記憶します。

ON	縦位置(左右2種)と横位置で別々に記憶します。 ●最後に設定した以下の位置を記憶します。 - AFエリア(、、 設定時)の位置 - MFアシストで表示する位置			
OFF	縦位置と横位置を同じ設定にします。			

[フォーカス枠のループ移動]



AFエリアやMFアシストの位置を設定するときに、画面の端から逆の端にループ移動ができます。

[AFエリア表示]

AFモードを (49点)、または など(カスタムマルチ)に設定したときの、AFエリア表示の設定をします。

ON	撮影画面に AF エリアを表示します。 ● (49点)やカスタムマルチの、、 でAFエリアが初期設定の場合は表示しません。
OFF	AFエリア設定後に数秒間表示します。

- 以下の場合、[ON] に設定していても、[OFF] と同じ動作になります。
 - 動画撮影時
 - クリエイティブ動画モード
 - 4K フォト撮影時

MENU ボタン →  [カスタム] →  [フォーカス/リリース]

[AF+MF]






AFロック中(以下の条件の場合)に手動でピントを微調整できます。
 - フォーカスモードを [AFS] に設定し、シャッターボタンを半押ししたとき
 - [AF/AE LOCK] ボタンを押したとき

[MFアシスト]

MFアシスト(拡大画面)の表示方法を設定します。

- 設定項目は、使用するレンズによって異なります。

フォーカスリングのある交換レンズ(H-FSA14140)をお使いの場合

	レンズでピント合わせをする、または [] ボタン(◀)を押すと、拡大表示されます。
 FOCUS	レンズでピント合わせをすると拡大表示されます。
	[] ボタン(◀)を押すと拡大表示されます。
OFF	拡大表示されません。

フォーカスリングのない交換レンズをお使いの場合

設定: [ON]、[OFF]



こんなときは使用できません

- 以下の場合、MFアシストは表示されません。
 - 動画撮影中
 - [4K プリ連写] で撮影時
 - デジタルズーム使用時

[MFアシスト表示]

MFアシスト(拡大画面)の表示方法を設定します。



設定: [全画面](画面全体)、[PIP](画面の一部)

MENU ボタン →  [カスタム] →  [操作]

[WB/ISO/露出補正ボタン]

[WB](ホワイトバランス)ボタン、[ISO](ISO感度)ボタン、および [] (露出補正) ボタンを押したときの動作を設定します。

押している間	ボタンを押している間、設定の変更ができます。ボタンを離すと、設定値を決定して撮影画面に戻ります。
押した後	ボタンを押すと、設定の変更ができるようになります。再度ボタンを押すと、設定値を決定して撮影画面に戻ります。

MENU ボタン →  [カスタム] →  [操作]

[Q.MENU]

[カスタム]に設定すると、クイックメニューをお好みの項目に変更できます。(P49)

[操作ロック設定]

カスタムメニュー(操作)の [Fnボタン設定] (P50) で [操作ロック] を設定した場合に、操作を無効にする対象を設定します。

カーソル	カーソルボタンおよび [MENU/SET] ボタンの操作を無効にします。
タッチパネル	タッチパネルのタッチ操作を無効にします。
ダイヤル	コントロールダイヤルの操作を無効にします。

[フォーカスリングロック]

MF中のフォーカスリング操作を無効にし、ピントを固定します。


- フォーカスリングのロック中は、撮影画面に [MFL] が表示されます。



[動画ボタン]

動画ボタンの有効、無効を設定します。

[タッチ設定]

タッチ操作の有効、無効を設定します。

タッチパネル	すべてのタッチ操作。
タッチタブ	画面右に表示される  などのタブ操作。
タッチAF	[AF]: タッチした被写体にピントを合わせる操作。(P82) [AF+AE]: ピントと明るさを合わせる操作。(P86)
タッチパッドAF	ファインダー表示中にモニターをタッチしてAFエリアを移動する操作。(P85)

MENU ボタン →  [カスタム] →  [モニター/表示]

[オートレビュー]

写真撮影後に撮影画像を表示します。

時間(写真)	写真撮影後の撮影画像の表示時間を設定します。
時間(4Kフォト)	4Kフォト撮影後に、撮影画像の表示/非表示を設定します。
時間(フォーカスセレクト)	フォーカスセレクト後に、撮影画像の表示/非表示を設定します。
再生操作優先	オートレビュー中に、再生画面の切り換えや消去などができます。

- [時間(写真)]を[ホールド]に設定した場合、シャッターボタンを半押しするまで画像を表示します。[再生操作優先]は[ON]に固定されます。
- [フォトスタイル]で[粒状]を設定した場合、[インターバル撮影]または[コマ撮りアニメ]撮影時に、オートレビューが表示されません。

[モノクロライブビュー]

撮影画面を白黒で表示できます。
MFでピントを合わせるときに便利です。

- 撮影時にHDMI出力する映像は、白黒表示になりません。
- 撮影画像に影響はありません。

[常時プレビュー(Mモード)]

マニュアル露出モード時に、撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果を確認できます。
[設定]で、[MFアシスト中のプレビュー]を[ON]に設定すると、MFアシスト画面でもプレビューが働きます。

- フラッシュ使用時は働きません。

MENU ボタン → [カスタム] → [モニター/表示]

[ライブビューブースト]

暗い環境でも被写体や構図を確認しやすいように、画面を明るく表示します。

MODE1	明るさ弱めで、滑らかに表示することを優先する設定です。
MODE2	明るさ強めで、画像が見えることを優先する設定です。

- [ライブビューブースト] が働く撮影モードは、[設定] で変更できます。

- 記録される画像に影響はありません。
- 記録される画像よりノイズが目立つ場合があります。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[ライブビューブースト] が働きません。
 - 露出を合わせるとき (シャッターボタンを半押ししたときなど)
 - 動画、4K フォト撮影中
 - [フィルター設定] 設定時
 - [常時プレビュー (Mモード)] 使用中

[ピーキング]

手でピントを合わせているときに、ピントが合っている部分 (画面上で輪郭がはっきりした部分) に色を付けて表示します。



- [設定] で [検出レベル] を [高] に設定すると、色を付けて表示される範囲を狭くするため、より厳密なピント合わせができます。
- [検出レベル] の設定を変更すると、[表示色] の設定も以下のように切り換わります。

[検出レベル]	[高] ←————→ [低]	
[表示色]	[] (水色)	[] (青)
	[] (黄色)	[] (オレンジ)
	[] (黄緑)	[] (緑)
	[] (ピンク)	[] (赤)
	[] (白)	[] (灰色)

- の [PEAK] をタッチすることにより [PEAK L] (検出レベル: 低) → [PEAK H] (検出レベル: 高) → [OFF] の順に切り換わります。

こんなときは使用できません

- クリエイティブコントロールモードの [ラフモノクローム] では、ピーキングが使用できません。
- [ライブビューブースト] 使用中は、ピーキングが働きません。

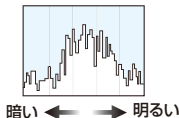
MENU ボタン →  [カスタム] →  [モニター/表示]

[ヒストグラム表示]

ヒストグラムを表示します。

▲/▼/◀/▶ ボタンで位置を設定できます。


- 撮影画面でも直接タッチ操作できます。
- ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。撮影した画像のヒストグラムの形状(グラフの分布)を見ることによって、その画像の露出状況を判断できます。



- 以下の条件で撮影画像とヒストグラムが一致しない場合は、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。
 - 露出補正時
 - フラッシュが発光するとき
 - 低照度時など適正な露出が得られないとき
- 撮影時のヒストグラムは目安です。

[ガイドライン表示]



撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。

[]にすると、▲/▼/◀/▶ ボタンで位置を設定できます。

- 撮影画面でも、ガイドライン上の [] を直接タッチして操作できます。

[センターマーカー表示]

撮影画面の中心を示す [+] を表示します。

MENU ボタン →  [カスタム] →  [モニター/表示]

[ハイライト表示]

オートレビューまたは再生時に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。



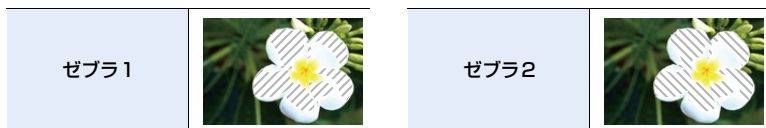
- 白飛びが起こっている場合は、ヒストグラムを参考に、露出をマイナス方向に補正して再度撮影することをお勧めします。
- 記録される画像に影響はありません。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、ハイライト表示が動きません。
 - 4Kフォト再生時
 - フォーカスセレクト撮影した画像を再生時
 - サムネイル表示時
 - カレンダー表示時
 - 拡大表示時



[ゼブラパターン表示]

白飛びのおそれがある部分をしま模様で表示します。



[設定]から、しま模様で表示する明るさを設定できます。

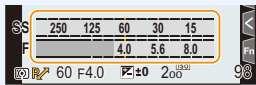
- 選べる明るさの範囲は[50 %]から[105 %]までです。[ゼブラ2]では、[OFF]に設定できます。[100 %]または[105 %]を選択すると、白飛びを起こしている部分だけがしま模様で表示されます。数値を小さくすると、しま模様で表示する明るさの範囲が広くなります。
- 白飛びが起こっている場合は、ヒストグラムを参考に、露出をマイナス方向に補正して撮影することをお勧めします。
- 表示されるしま模様は記録されません。
- カスタムメニュー(操作)の[Fnボタン設定]に[ゼブラパターン表示]を設定すると、設定したFnボタンを押すごとに[ゼブラ1]→[ゼブラ2]→[OFF]の順に切り換わります。[ゼブラ2]を[OFF]に設定した場合、[ゼブラ1]→[OFF]の順に切り換わります。

MENU ボタン →  [カスタム] →  [モニター/表示]

[露出メーター]

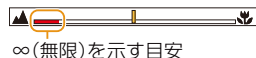
露出メーターを表示します。

- [ON] に設定すると、プログラムシフト使用時、絞り設定時、またはシャッタースピード設定時に露出メーターが表示されます。
- 適正でない範囲が、赤色で表示されます。
- 露出メーターが表示されないときは、[DISP.] ボタンを押して画面の表示情報を切り換えてください。
- 約4秒間何も操作しないと露出メーターの表示が消えます。



[MFガイド]



手でピントを合わせると、ピントを合わせる方向を確認できるMFガイドを画面に表示します。



∞(無限)を示す目安

[LVF/ モニター表示設定]

ファインダー/モニターの表示方法を切り換えることができます。

LVF表示設定	 (ファインダースタイル): 適度な視野で像を表示し、画角全体を見渡せます。
モニター表示設定	 (モニタースタイル): 画面いっぱいいに像を表示し、画面の細部まで確認できます。



撮影時、モニターの向きや角度によって、画面が反転する / しないを設定できます。

モニター左右反転表示	[AUTO]: モニターの開閉角度に合わせて、自動で左右を反転して表示します。 [ON]: 常に左右を反転して表示します。 [OFF]: 反転表示を行いません。
モニター上下反転表示	[AUTO]: モニターの回転角度に合わせて、自動で上下を反転して表示します。 [ON]: 常に上下を反転して表示します。 [OFF]: 反転表示を行いません。

- 本機能の設定は、再生画面には反映されません。



[モニター撮影情報画面]


モニターの撮影情報画面(P41、262)を表示します。

MENU ボタン →  [カスタム] →  [モニター/表示]

[記録枠表示]



写真撮影時または動画撮影時の画角表示に切り換えます。

	写真撮影時の画角で表示します。
	動画撮影時の画角で表示します。

- 記録枠表示は目安です。
- 4K フォト撮影時やフォーカスセレクト撮影時は、[記録枠表示]がに固定されます。

[残枚数/残時間切換]

記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えます。


	写真の記録可能枚数を表示します。
	動画の記録可能時間を表示します。

[動画記録中の赤枠表示]

撮影画面に、動画記録中であることを示す赤色の枠を表示します。

設定:[ON]、[OFF]

[メニューガイド]

モードダイヤルをSCN、に切り換えたときに選択画面を表示します。

MENU ボタン → **☞** [カスタム] → **◎** [レンズ / その他]

[レンズ位置メモリー]

電源を切ったときのピントの位置を記憶します。パワーズームに対応した交換レンズを装着した場合、ズーム位置も記憶します。

[レンズFnボタン設定]

フォーカスセットスイッチ、フォーカスボタンのある交換レンズをお使いの場合に、レンズのフォーカスボタンに割り当てる機能を設定します。

- レンズのフォーカスセットスイッチを [Fn] に設定し、レンズのフォーカスボタンを押すと、設定した機能呼び出すことができます。

設定： [フォーカスストップ]、[AF/AE LOCK]、[AF-ON]、[手ブレ補正]、
[フォーカスエリア選択]、[AFモード/MF]、[プレビュー]、[フォーカスリングロック]、
[OFF]、[デフォルトに戻す]

- [フォーカスストップ] 設定時、フォーカスボタンを押している間、ピントを固定します。

[絞りリング設定]

絞りリング操作による絞り値設定の刻みを変更できます。

- クリックレスの絞りリングに対応した交換レンズ（別売：H-X1025 / H-X2550）を装着したときに使用できます。（2025年1月現在）
- 写真撮影時に、絞りリングの位置を [A] 以外に合わせた場合に働きます。

SMOOTH	絞り値を細かく設定できます。
1/3EV	絞り値を 1/3 EV 刻みで設定できます。

- 絞りリングの位置を [A] に合わせた場合は、カメラ側の絞り値が有効になり、[1/3EV] と同じ設定になります。
- 動画撮影時は [SMOOTH] と同じ細かな設定になります。
- [SMOOTH] で設定するときは、絞り値の端数は画面に表示されません。

[動画の縦位置情報]

動画撮影時にカメラの縦位置情報を記録する / しないを設定できます。

ON	縦位置情報を記録します。カメラを縦にして撮影した動画は、パソコンやスマートフォンなどで再生時に自動で縦向きに再生されます。
OFF	縦位置情報を記録しません。

- カメラの再生画面では、サムネイル表示だけで縦向きに再生します。

MENU ボタン → [カスタム] → [レンズ / その他]

[個人認証]

個人認証とは、登録された顔に近い顔を見つけて、自動で優先的にピントや露出を合わせる機能です。集合写真などで大切な人が奥や隅にいても、大切な人の顔をきれいに撮影できます。

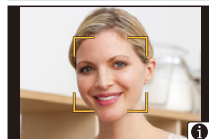
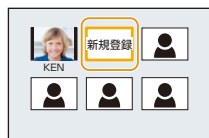
ON	個人認証機能を有効にします。
OFF	個人認証機能を無効にします。

顔画像の登録や登録した情報の変更、解除をします。

顔画像を登録する

最大6人までの顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。

- ▲/▼/◀/▶ ボタンで未登録の顔画像枠を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す
- ガイドに顔を合わせて撮影する
 - 人物以外の被写体の顔(ペットなど)は、登録できません。
 - 顔登録撮影の説明を表示するには、▶ ボタンを押す、または[]をタッチしてください。
- 項目を設定する
 - 顔画像は3枚まで登録できます。



登録

名前	名前を設定します。 ●文字の入力方法: (P53)	
月齢/年齢	誕生日を設定します。	
追加登録	追加登録	顔画像を追加登録します。 ●未登録の顔画像枠を選び、登録してください。
	解除	顔画像を1枚消去します。 ●解除したい顔画像を選んでください。

登録した人物の情報を変更または解除する

- ▲/▼/◀/▶ ボタンで編集または解除したい顔画像を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す
- 項目を設定する

情報編集	すでに登録している人物の情報を変更します。 ●「顔画像を登録する」の手順 ③ の操作をしてください。
登録順	登録順にピントや露出を合わせます。 ●登録順を選び、設定してください。
解除	すでに登録している人物の情報を消去します。

MENU ボタン → ズ [カスタム] → ◎ [レンズ / その他]

顔画像登録時の撮影ポイント

登録時の良い例

- 目を開き、口を閉じた状態で正面を向き、髪の毛で顔の輪郭、目や眉が隠れないようにする。
- 顔に極端な陰影が出ないようにする。(登録時、フラッシュは発光しません)



撮影時に認証されにくいと感じたら

- 同じ人物の顔を室内と屋外で、または表情やアングルを変えて追加で登録する。
- 撮影するその場で追加して登録する。
- 登録している人物を認証しなくなった場合は、登録をし直す。
- 登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。

- 個人認証機能では、以下の機能も動きません。


撮影時


- カメラが登録した顔を認識時、名前を表示 *

再生時

- 名前や月齢/年齢の表示

* 名前は3人まで表示されます。撮影時に表示される名前は登録順により決まります。

- [個人認証]は、AFモードが[- 連写撮影時は、1枚目だけに個人認証に関する撮影情報が付加されます。
- グループ画像では、1枚目の画像の名前が表示されます。


こんなときは使用できません

- 以下の場合、[個人認証]が動きません。
 - 動画撮影時
- 以下の場合、[個人認証]を設定できません。
 - クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]
 - 4Kフォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - インターバル撮影時

MENU ボタン → **🔍** [カスタム] → **📷** [レンズ / その他]

[プロフィール設定]

あらかじめ、赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢/年齢を画像に記録できます。これらは再生時に表示したり、[文字焼き込み]で撮影画像に焼き込んだりすることができます。

設定: [👶¹(赤ちゃん1)], [👶²(赤ちゃん2)], [🐾(ペット)], [OFF], [設定]

■ 名前、月齢/年齢を設定する

- ▲/▼ ボタンで [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ▲/▼ ボタンで [赤ちゃん1]、[赤ちゃん2] または [ペット] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ▲/▼ ボタンで [月齢/年齢] または [名前] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ▲/▼ ボタンで [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
[月齢/年齢] (誕生日) を入力する
[名前] を入力する

● 文字の入力方法: (P53)



■ 月齢/年齢や名前の表示を解除する

[プロフィール設定] で [OFF] を選ぶ

🚫 こんなときは使用できません

- 以下の場合、[プロフィール設定] が使用できません。
 - クリエイティブ動画モード時
 - 4Kフォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
- 以下の場合、月齢/年齢や名前は記録されません。
 - 動画撮影時
 - 動画撮影中に記録した写真 ([📷]) (動画優先)

✂ セットアップメニュー

- CLUB Panasonic 登録 (P199)
- カスタムセット登録 (P66)
- 時計設定 (P32)
- ワールドタイム (P199)
- トラベル日付 (P200)
- Wi-Fi® (P200)
- Bluetooth® (P201)
- WIRELESS 接続ランプ (P201)
- 電子音 (P201)
- ヘッドホン音量 (P182)
- エコモード (P202)
- モニター表示速度 (P203)
- モニター調整/LVF調整 (P203)
- モニター輝度 (P203)
- アイセンサー (P203)
- バッテリー使用順序 (P256)
- USBモード (P204)
- USB給電 (P204)
- テレビ接続設定 (P204)
- 言語設定 (P204)
- バージョン表示 (P205)
- フォルダー/ファイル設定 (P205)
- 番号リセット (P206)
- 設定リセット (P206)
- ネットワーク設定リセット (P206)
- ピクセルリフレッシュ (P207)
- センサークリーニング (P207)
- 水準器調整 (P207)
- デモモード (P207)
- 認証情報 (P207)
- フォーマット (P27)

MENU ボタン → ✂ [セットアップ]

[CLUB Panasonic 登録]

CLUB Panasonic に登録するための URL または QR コードを表示します。

設定: [URL 表示]、[QR コード表示]

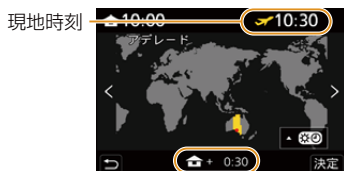
[ワールドタイム]

お住まいの地域と旅行先の時刻を設定します。

- [ホーム] 設定後に [旅行先] を設定できます。

[旅行先]、[ホーム] のいずれかを選択後、◀/▶ ボタンでエリアを選び、[MENU/SET] ボタンを押して決定してください。

[✂ 旅行先]: 旅行先の地域




ホームとの時差

[🏠 ホーム]: お住まいの地域



GMT (グリニッジ標準時)との時差

MENU ボタン →  [セットアップ]

- サマータイム [] (夏時間) を採用している場合は、▲ ボタンを押してください。(時計が1時間進みます)元に戻すには、もう一度 ▲ ボタンを押してください。
- 旅行先から戻ってきた場合、[ホーム] に設定してください。
- 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。

[トラベル日付]

トラベル日付設定	旅行の日程を設定して撮影すると、旅行の経過日数(何日目か)が記録されます。
旅行先	[トラベル日付設定] を設定しているときに、旅行先を設定できます。 ● 文字の入力方法: (P53)

- 経過日数や旅行先は、再生時に表示したり、[文字焼き込み] で撮影画像に焼き込んだりすることができます。
- トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。ワールドタイムを旅行先に設定している場合は、旅行先の日付により算出されます。
- [トラベル日付設定] を [OFF] に設定すると、経過日数は記録されません。撮影後に [トラベル日付設定] を [設定] にしても表示されません。
- 現在の日付が帰着日を経過した場合、[トラベル日付設定] は自動的に解除されます。
- 以下の場合、[旅行先] が記録できません。
 - 動画撮影時
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時

[Wi-Fi®]

- [Wi-Fi 機能] (P224)
- [Wi-Fi 設定] (P246)

MENU ボタン →  [セットアップ]

[Bluetooth®]

- [Bluetooth] (P226)
- [スマートフォンに画像を送る] (P239)
- [リモート起動] (P238)
- [スリープモードからの復帰動作] (P234)
- [自動画像転送] (P236)
- [位置情報記録] (P237)
- [自動時刻合わせ] (P238)

[WIRELESS接続ランプ]

WIRELESS 接続ランプの有効/無効を設定します。[OFF]に設定すると、点灯/点滅しません。

[電子音]

電子音や電子シャッター音を設定します。

設定: [電子音音量]、[電子シャッター音音量]、[電子シャッター音音色]

こんなときは使用できません


- [サイレントモード]を[ON]に設定した場合は、[電子音]を設定できません。

MENU ボタン →  [セットアップ]**[エコモード]**

一定時間何も操作をしないと、カメラをスリープ(省電力)状態にしたり、ファインダー/モニターを消灯したりする機能です。バッテリーの消費を抑えます。

スリープモード	スリープするまでの時間を設定します。 ● [OFF] にすると、本機の消費電力が増加する可能性があります。			
スリープモード(Wi-Fi)	Wi-Fi 切断後、15分でスリープするように設定します。 ● [OFF] にすると、本機の消費電力が増加する可能性があります。			
LVF/モニター自動OFF	ファインダー/モニターを消灯する時間を設定します。(電源は切りません)			
省電力ファインダー撮影	ファインダー/モニター自動切り換えで、撮影画面をモニターに表示しているときにスリープします。 ● [時間]を[OFF]に設定すると、[省電力ファインダー撮影]は動きません。			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th> <td>スリープするまでの時間を設定します。</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>画面</th> <td>スリープが働く画面を設定します。 [モニター撮影情報画面のみ]: モニター撮影情報画面(P41)を表示しているときだけスリープします。 [ライブビュー画面すべて]: 撮影待機中は、どの画面のときでもスリープします。</td> </tr> </tbody> </table>	時間	スリープするまでの時間を設定します。	画面
時間	スリープするまでの時間を設定します。			
画面	スリープが働く画面を設定します。 [モニター撮影情報画面のみ]: モニター撮影情報画面(P41)を表示しているときだけスリープします。 [ライブビュー画面すべて]: 撮影待機中は、どの画面のときでもスリープします。			

- [スリープモード]、[スリープモード(Wi-Fi)]、[省電力ファインダー撮影]から復帰する場合は、以下のいずれかの操作をしてください。
 - シャッターボタンを半押しする
 - 電源スイッチを[OFF]にしてから、もう一度[ON]にする
- [LVF/モニター自動OFF]から復帰するには、いずれかのボタンを押してください。

 こんなときは使用できません

- 以下の場合、[エコモード]が動きません。
 - パソコン接続時
 - 動画撮影/動画再生時
 - スライドショー時
 - [4K プリ連写]で撮影時
 - [多重露出]撮影時
 - インターバル撮影時
 - コマ撮りアニメ撮影時([自動撮影]設定時)
 - ライブビューコンボジット撮影時
 - 撮影時のHDMI出力中

MENU ボタン →  [セットアップ]**[モニター表示速度]**

モニターの表示速度を設定します。

30fps	電力消費を抑え、使用時間が長くなります。
60fps	動きを滑らかに表示できます。

- [モニター表示速度] の設定は、記録される画像に影響はありません。
- ファインダーは [60fps] に固定されます。

[モニター調整/LVF調整]

モニター/ファインダーの明るさや色合い、または赤みや青みなどの色味を調整します。

- ▲/▼ ボタンで設定項目を選び、◀/▶ ボタンで調整する
- [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- モニター表示時はモニターを、ファインダー表示時はファインダーを調整します。
- 被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。

[モニター輝度]

[A*] (AUTO)	周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。
[1*] (MODE1)	モニターを明るくします。
[2*] (MODE2)	モニターを標準的な明るさにします。
[3*] (MODE3)	モニターを暗くします。




- 被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。
- [**A***] または [**1***] 設定時は、使用時間が減少します。

[アイセンサー]

感度	アイセンサーの感度を設定します。
LVF/モニター切換	<p>モニター表示 / ファインダー表示の切り換えを設定します。 [LVF/MON AUTO] (ファインダー / モニター自動切り換え) [LVF] (ファインダー表示) [MON] (モニター表示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [LVF] ボタンで表示を切り換えると、[LVF/モニター切換] の設定も切り換わります。

MENU ボタン →  [セットアップ]**[USBモード]**

USB接続ケーブル接続時の通信方式を設定します。

 接続時に選択	機器と接続したときにUSB通信方式を選ぶ場合に設定します。
 PC (Storage)	パソコンに接続して画像を取り込む場合に設定します。
 PC (Webcam)	本機を Web カメラとして使用する場合に設定します。 <ul style="list-style-type: none"> パソコンに「LUMIX Webcam Software (Beta)」をインストールする必要があります。詳細はホームページをご確認ください。 https://panasonic.jp/support/software/lumix_webcam/download/lumix_webcam.html

[USB 給電]

USB接続ケーブルから給電します。

- ACアダプターに接続したときは、[OFF] に設定していても給電されます。

[テレビ接続設定]

[HDMI出力解像度(再生時)]:

本機とテレビやモニターをHDMIマイクロケーブルで接続したときに、再生モードで出力する映像方式を設定します。

AUTO	接続したテレビに合わせた出力解像度で出力します。
4K/30p、1080p、1080i、720p、480p	設定した出力解像度で出力します。

- [AUTO] に設定して映像がテレビに出ない場合は、お使いのテレビが表示できる「AUTO」以外の設定に切り換えてください。(テレビの取扱説明書もお読みください)

[HDMI情報表示(撮影時)]:


HDMI接続した外部機器に、カメラの情報表示を出力する/しないを選びます。(P249)

[ピエラリンク]:

[ON] に設定すると、本機とHDMIマイクロケーブルで接続したピエラリンク対応機器が自動的に連動します。ピエラリンク対応機器のリモコンを使って操作できるようになります。

[言語設定]

画面表示の言語を設定します。

- 誤った言語に設定した場合は、メニューアイコンの  を選び言語を設定してください。

MENU ボタン →  [セットアップ]

[バージョン表示]

本体とレンズのファームウェアバージョンを確認できます。

- 本機のソフトウェアに関する情報を表示するには、バージョン表示画面で[MENU/SET]ボタンを押してください。

[フォルダー/ファイル設定]

画像を保存するフォルダーとファイル名を設定します。

フォルダー名	ファイル名
100ABCDE 	PABC0001.JPG 
① フォルダー番号(3桁、100～999) ② 任意の5桁	① 色空間([P]:sRGB、[_]:AdobeRGB) ② 任意の3桁 ③ ファイル番号(4桁、0001～9999) ④ 拡張子

フォルダー選択	画像を保存するフォルダーを選択します。 ● フォルダー名には記録可能なファイル数が表示されます。	
新規フォルダー作成	OK	フォルダー名の任意の5桁を現在と同じ設定のまま、新規フォルダーを作成します。
	フォルダー名変更	フォルダー名の任意の5桁を入力し、変更して新規フォルダーを作成します。 ● 設定可能な文字: 英字(大文字)、数字、[_] ● 文字の入力方法: (P53)
ファイル名設定	フォルダー番号連動	ファイル名の任意の3桁をフォルダー番号に合わせます。
	ユーザー設定	ファイル名の任意の3桁を入力し、設定します。 ● 設定可能な文字: 英字(大文字)、数字、[_] ● 文字の入力方法: (P53)

MENU ボタン →  [セットアップ]

- 1 つのフォルダーに 1000 ファイルまで保存できます。
- ファイル番号は撮影順に 0001 ~ 9999 の連番で保存されます。保存するフォルダーを変更した場合、ファイル番号は前の番号の続きで保存されます。
- 以下の場合、次のファイルを保存するときに、フォルダー番号を繰り上げて新しいフォルダーが自動で作成されます。
 - フォルダー内に 1000 ファイルあるとき
 - ファイル番号が [9999] のファイルがフォルダー内にあるとき
- フォルダー番号が 100 ~ 999 のフォルダーがすべてある場合、新規でフォルダーを作成できません。データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをお勧めします。

[番号リセット]

次に撮影される画像のファイル番号を 0001 にします。

- リセット後に撮影すると、フォルダー番号が更新され、ファイル番号が 0001 から始まります。
- フォルダー番号は 100 ~ 999 まで作成されます。フォルダー番号が 999 になると番号リセットができなくなります。データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをお勧めします。
- フォルダー番号を 100 にリセットするには
 - ① [フォーマット] を実行し、カードを初期化する
 - ② [番号リセット] を実行し、ファイル番号をリセットする
 - ③ フォルダー番号のリセット画面で、[はい] を選ぶ

[設定リセット]

以下のそれぞれの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- 撮影設定
- ネットワーク設定 ([Wi-Fi 設定]、[Bluetooth] の設定内容)
- カスタム設定 ([個人認証]、[プロフィール設定] の設定内容)
- セットアップ/カスタム設定 ([Wi-Fi 設定]、[Bluetooth]、[個人認証]、[プロフィール設定] 以外)
- セットアップ/カスタム設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。
 - [ワールドタイム] の設定内容
 - [トラベル日付] の設定内容 (出発日、帰着日、旅行先)
 - 再生メニューの [縦位置自動回転]、[画像表示順]、[消去確認画面] の設定内容
- フォルダー番号、時計はリセットされません。
- 修理依頼または譲渡 / 廃棄される際は、278 ページの「個人情報について」をお読みください。

[ネットワーク設定リセット]

以下のネットワークに関する設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- [Wi-Fi 設定]
- [Bluetooth] の登録済み機器情報
- 修理依頼または譲渡 / 廃棄される際は、278 ページの「個人情報について」をお読みください。

MENU ボタン →  [セットアップ]**[ピクセルリフレッシュ]**

撮像素子と画像処理の最適化を行います。

- 撮像素子と画像処理の最適化については、お買い上げ時は最適な状態に設定されています。被写体でない明るい点が記録される場合は、本機能をお使いください。
- 終了後は、電源を入れ直してください。

[センサークリーニング]

撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクションを行います。

- 特にごみが気になるときに、本機能をお使いください。
- 終了後は、電源を入れ直してください。

[水準器調整]

調整	カメラを水平な状態にし、[MENU/SET] ボタンを押してください。水準器が調整されます。
調整値リセット	水準器の調整値をお買い上げ時の状態に戻します。

[デモモード]

フォーカスセレクトのピント合わせやピーキングなどをイメージ画像にてお試しいたげます。


[認証情報]

電波法に基づく工事設計認証番号を表示します。

マイメニュー

[マイメニュー設定]

よく使うメニューを登録し、[マイメニュー]に表示します。23項目まで登録できます。

MENU ボタン →  [マイメニュー] → [マイメニュー設定]

登録	マイメニューに表示するメニューを選び、登録します。
並べ換え	マイメニューに表示するときの順番を変更します。変更するメニューを選び、移動先を設定してください。
消去	登録したメニューを消去します。 [項目消去]: メニューを選び、消去します。 [全消去]: メニューをすべて消去します。
マイメニューから表示	メニュー画面を表示するときに、最初に表示するメニューを設定します。 [ON]: マイメニューを表示します。 [OFF]: 最後に使ったメニューを表示します。

再生メニュー

- スライドショー (P210)
- 再生モード (P211)
- プロテクト (P211)
- レーティング (P211)
- タイトル入力 (P212)
- 認証情報編集 (P212)
- RAW 現像 (P213)
- 4K フォト一括保存 (P105)
- 比較明合成 (P215)
- 軌跡合成 (P216)
- クリアレタッチ (P217)
- 文字焼き込み (P218)
- リサイズ(縮小) (P219)
- トリミング(切抜き) (P220)
- 画像回転 (P221)
- 動画分割 (P221)
- インターバル動画作成 (P221)
- コマ撮りアニメ作成 (P222)
- 縦位置自動回転 (P222)
- 画像表示順 (P222)
- 消去確認画面 (P222)
- 全画像消去 (P223)

● 他の機器で撮影した画像は、本機で正しく再生されない場合や、本機の機能を使用できない場合があります。

■ [1枚設定]、[複数設定]での画像の選び方

● [1枚設定]または[複数設定]が選択できない場合は、[1枚設定]の選び方と同じです。

[1枚設定] 選択時

1 ◀/▶ ボタンで画像を選ぶ

2 [MENU/SET] ボタンを押す

- 画面右下に[設定/解除]と表示される場合、もう一度 [MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。



[複数設定] 選択時

右のような画面の場合

1 ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す(繰り返す)

- 設定を解除するには、もう一度 [MENU/SET] ボタンを押してください。

2 [DISP.] ボタンを押して実行する



右のような画面の場合

▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンで設定する(繰り返す)

- 選択を解除するには、もう一度 [MENU/SET] ボタンを押してください。



[スライドショー]

撮影した画像を音楽に合わせて一定間隔で順番に再生できます。また、写真や動画だけをスライドショーで再生することもできます。テレビに接続して画像を見るときにお勧めの再生方法です。

MENU ボタン → [再生] → [スライドショー]

1 ▲/▼ ボタンで再生するグループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [写真のみ] 設定時、4K 連写ファイルと、フォーカスセレクト撮影した画像も再生されます。
- フォーカスセレクト撮影した画像は、ピントが合っている代表画像だけ再生されます。

2 ▲/▼ ボタンで [開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ スライドショー中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容	ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲		再生 / 一時停止	▼		スライドショーを終了する
◀		前の画像へ	▶		次の画像へ
		音量を下げる			音量を上げる

■ スライドショーの設定を変更する

スライドショーのメニュー画面で [効果] または [設定] を選ぶと、スライドショー再生時の設定を変更できます。


効果	画像が切り換わる際の画面効果を選ぶことができます。	
設定	再生間隔	● [再生間隔] は、[効果] を [OFF] の場合に設定できます。
	リピート	[ON]、[OFF]
	音設定	[AUTO]: 写真再生時は音楽を、動画再生時は音声を再生します。 [音楽]: 音楽を再生します。 [音声]: 動画の音声を再生します。 [OFF]: 音を出しません。

こんなときは使用できません

- 以下をスライドショー再生しているときは、[効果] の設定が働きません。
 - 4K 連写ファイル
 - フォーカスセレクト撮影した画像
 - グループ画像
- 以下をスライドショー時、[再生間隔] の設定が働きません。
 - 動画
 - フォーカスセレクト撮影した画像
 - 4K 連写ファイル
 - グループ画像

[再生モード]

[通常再生]、[写真のみ]、または[動画のみ]を選び、再生できます。


MENU ボタン →  [再生] → [再生モード]

▲/▼ ボタンで再生するグループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [写真のみ] 設定時、4K 連写ファイルと、フォーカスセレクト撮影した画像も再生されます。

[プロテクト]

画像を誤って消去することがないように、消去したくない画像にプロテクトを設定できます。

MENU ボタン →  [再生] → [プロテクト]

画像を選ぶ (P209)

- グループ画像に対して [プロテクト] を設定した場合は、グループ画像の枚数が表示されます。合計枚数が 1000 枚以上の場合は、[999+] と表示されます。

■ [プロテクト] 設定を全解除する

▲/▼ ボタンで [全解除] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す




カードの書き込み禁止スイッチを [LOCK] にすると、画像をプロテクトしなくても消去されません。

- [プロテクト] 設定は、他の機器では働かない場合がありますので、お気をつけください。
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は消去されます。

[レーティング]

画像に 5 種類のレベルに分けたレーティングを設定すると、以下のことができます。

- レーティングを設定した画像以外を消去する。
- パソコンのファイル詳細表示などで、レーティングのレベルを確認する。(JPEG 画像のみ)

MENU ボタン →  [再生] → [レーティング]

1 画像を選ぶ (P209)

2 ◀/▶ ボタンでレーティングのレベル(1~5)を設定し、[MENU/SET] ボタンで決定する

- [複数設定] 選択時は、手順 1、2 を繰り返してください。(一括で設定できません)
- グループ画像に対して [レーティング] を設定した場合は、グループ画像の枚数が表示されます。合計枚数が 1000 枚以上の場合は、[999+] と表示されます。

■ [レーティング] 設定を全解除する

▲/▼ ボタンで [全解除] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [再生モード] を [写真のみ] または [動画のみ] に設定した場合、[全解除] を選択できません。

[タイトル入力]

撮影画像に文字(コメント)を入力できます。入力後、[文字焼き込み]で撮影画像に焼き込むことができます。

MENU ボタン → [再生] → [タイトル入力]

1 画像を選ぶ (P209)

- すでにタイトルが入力されている画像にはが表示されます。

2 文字を入力する (P53)

- タイトルを消去するには文字入力画面ですべての文字を消去してください。
- [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、タイトル入力できません。
 - 動画
 - 4K 連写ファイル
 - フォーカスセレクト撮影した画像
 - [クオリティ]を[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影した画像

[認証情報編集]

選択した画像の個人認証に関する情報の解除や入れ換えができます。

MENU ボタン → [再生] → [認証情報編集]

- ▲/▼ ボタンで[入換え]または[解除]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ◀/▶ ボタンで人物を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ([入換え]選択時)▲/▼/◀/▶ ボタンで入れ換えたい人物の画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 解除した個人認証に関する情報は元に戻すことができません。
- グループ画像はグループ単位で編集してください。(1枚ずつ編集はできません)
- グループ画像は1枚目の画像を編集できます。

[RAW現像]

RAW形式で撮影した写真をカメラで現像し、JPEG形式で保存します。

MENU ボタン → **[再生]** → **[RAW 現像]**

1 ◀/▶ ボタンで RAW 画像を選び、

[MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲/▼ ボタンで項目を選ぶ

- 以下の項目が設定できます。設定を始めるときは、撮影時の設定が反映されています。



ホワイトバランス	ホワイトバランスを選び、調整できます。[📷]の付いた項目を選ぶと撮影時と同じ設定で現像できます。
明るさ補正	-2 EV~+2 EVの範囲で明るさの補正ができます。
フォトスタイル	フォトスタイルの効果を選択できます。 ● [V-Log L] 以外で撮影した写真は、[V-Log L] に設定できません。 ● [V-Log L] で撮影した写真は、[V-Log L] に固定されます。
iDレンジコントロール	iDレンジコントロールの設定を選択できます。
コントラスト	コントラストを調整できます。
ハイライト	明るい部分の明るさを調整できます。
シャドウ	暗い部分の明るさを調整できます。
彩度 / 色調	彩度を調整できます。([フォトスタイル]で[モノクローム]、[L.モノクローム]、[L.モノクロームD]を選択している場合は、色調の調整になります)
フィルター効果	フィルター効果を選択できます。([フォトスタイル]で[モノクローム]、[L.モノクローム]、[L.モノクロームD]を選択している場合)
粒状	粒状感の強弱を設定できます。([フォトスタイル]で[モノクローム]、[L.モノクローム]、[L.モノクロームD]を選択している場合)
ノイズリダクション	ノイズを軽減する設定ができます。
超解像	超解像の設定を選択できます。
シャープネス	解像感を調整できます。
詳細設定	▲/▼ボタンで項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押すと、以下の操作ができます。 [調整前に戻す]: 撮影時の設定に戻すことができます。 [色空間]: 色空間を[sRGB]または[Adobe RGB]から選択できます。 [記録画素数]: 保存時のJPEG画像のサイズを選択できます。

3 [MENU/SET] ボタンを押し、設定する

- 214 ページの「各項目の設定方法」をお読みください。

4 [MENU/SET] ボタンを押す

- 手順2の画面に戻ります。他に設定したい項目がある場合は、手順2から4を繰り返してください。

5 ▲/▼ ボタンで [RAW 現像実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ 各項目の設定方法

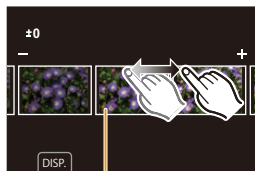
ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	ドラッグ	調整の選択
▲	[色温度設定]	色温度設定画面を表示 ([ホワイトバランス]の[白図]、 [白図]、[白図]、[白図]選択時)
▼	[調整]	ホワイトバランスの調整画面を表示 ([ホワイトバランス]選択時)
[DISP.]	[DISP.]	比較画面を表示
[MENU/SET]	[決定]	調整内容を決め、項目の選択画面 に戻る



- [ノイズリダクション]、[超解像]、[シャープネス]選択時、比較画面の表示はできません。
- 画面を2回タッチすることにより、拡大表示/通常表示が切り換わります。

比較画面では以下の方法で調整ができます。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	ドラッグ	調整の選択
[DISP.]	[DISP.]	設定画面に戻る
[MENU/SET]	[決定]	調整内容を決め、項目の選択画面 に戻る



現在の設定

- 中央の写真をタッチすると拡大表示されます。
[D]をタッチすると元の表示に戻ります。

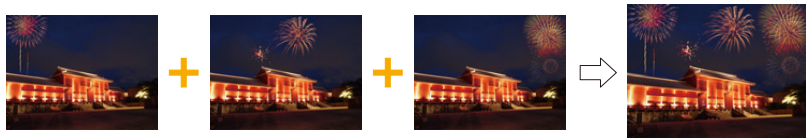
- 本機とソフトウェア「SILKYPIX Developer Studio」で設定するRAW現像の結果は、完全には一致しません。
- 本機で撮影したRAW画像は常に[4:3] (5184×3888)で記録されます。
再生メニューの[RAW現像]では撮影時の画像横縦比や[EXテレコン(写真)]の画角で現像されます。
- ([詳細設定]の[記録画素数]を設定する場合)
[EXテレコン(写真)]で拡大した画像を現像するときは、撮影時より大きい記録画素数に設定できません。
- 多重露出で撮影した写真は、[ホワイトバランス]の項目が撮影時の設定に固定されます。
- グループ画像は1枚ずつ編集してください。グループ画像とは別に新規保存されます。

こんなときは使用できません

- HDMI マイクロケーブル接続時、[RAW現像]が使用できません。
- 他の機器で撮影したRAW画像は、RAW現像できません。

[比較明合成]

4K連写ファイルから、合成したいコマを複数選び、前のコマと比較して明るく変化した部分を重ね合わせて、1枚の写真を合成します。



MENU ボタン → [再生] → [比較明合成]

- 1 ◀/▶ ボタンで4K連写ファイルを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 合成方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[選択合成] 選択時

合成したいコマを選んで、明るい部分を重ね合わせます。

- 1 スライダーをドラッグ、または ▲/▼/◀/▶ ボタンで合成したいコマを選ぶ
- 2 [MENU/SET] ボタンを押す
 - 選んだコマが記憶され、プレビュー画面になります。
 - ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと、以下の操作ができます。
 - [次の画像]: さらに合成したいコマを選択できます。
 - [選び直す]: 直前で選んだコマを破棄し、選択し直します。
- 3 手順 1 ~ 2 を繰り返し、合成したいコマを選ぶ
 - 最大40コマまで選択できます。
- 4 ▲/▼ ボタンで [保存] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



[範囲合成] 選択時

先頭と終了のコマを決めて、その範囲内で明るい部分を重ね合わせます。

- 1 先頭画像のコマを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - 選択方法は、[選択合成] の手順 1 と同じです。
- 2 終了画像のコマを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 3 確認画面で [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 写真はJPEG形式で保存され、1コマ目のシャッタースピード、絞り、ISO感度などの撮影情報 (Exif 情報) も記録されます。

[軌跡合成]

4K連写ファイルから合成したいコマを複数枚選び、動いている被写体の軌跡を1枚の写真に合成します。



MENU ボタン → [再生] → [軌跡合成]

- 1 ◀/▶ ボタンで 4K連写ファイルを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 コマを選び、合成する

コマの前後で動いている被写体が重ならないように、コマを選択してください。
(被写体が重なると正しく合成されない場合があります)

- ① スライダーをドラッグ、または ▲/▼/◀/▶ ボタンで合成したいコマを選ぶ
- ② [MENU/SET] ボタンを押す
 - 選んだコマが記憶され、プレビュー画面になります。
 - ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと、以下の操作ができます。
 - [次の画像]: さらに合成したいコマを選択できます。
 - [選び直す]: 直前で選んだコマを破棄し、選択し直します。
- ③ 手順 ① ~ ② を繰り返し、合成したいコマを選ぶ
 - 3コマ~40コマまで選択できます。
- ④ ▲/▼ ボタンで [保存] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



- 写真はJPEG形式で保存され、1コマ目のシャッタースピード、絞り、ISO感度などの撮影情報 (Exif 情報) も記録されます。

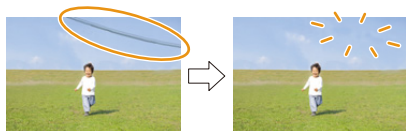


軌跡合成のコツ

軌跡合成に使用する画像を撮影するときは、三脚の使用をお勧めします。

[クリアタッチ](不要な部分を消去する)

- タッチ操作で設定するため、[クリアタッチ]では自動的にタッチ操作が可能な状態になります。



MENU ボタン → [再生] → [クリアタッチ]

- 1 ◀/▶ ボタンで写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 消去したい部分をなぞる

- 消去される部分に色が付きます。
- 色が付いた部分を1つ前の状態に戻すには、[1つ戻す]をタッチしてください。



細かい部分を消去するには(拡大表示)

- 1 [移動]をタッチする
 - 画面をピンチアウト/ピンチインすると、拡大/縮小表示できます。
 - 画面をドラッグすると、拡大部分を移動できます。
- 2 [消去]をタッチする
 - 消去したい部分をなぞる操作に戻ります。拡大したまま、消去したい部分をなぞることができます。



- 3 [決定]をタッチする
- 4 [保存]をタッチする、または[MENU/SET] ボタンを押す

- 消去した部分の背景を合成するため、画像が不自然になることがあります。
- グループ画像は1枚ずつクリアタッチしてください。(グループ単位の編集はできません)
- グループ画像にクリアタッチすると、グループ画像とは別に新規保存されます。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[クリアタッチ]が使用できません。
 - ファインダー表示時
 - HDMIマイクロケーブル接続時
- 以下の画像はクリアタッチできません。
 - 動画
 - 4K連写ファイル
 - フォーカスセレクト撮影した画像
 - [クオリティ]を[RAW]にして撮影した画像

[文字焼き込み]

撮影した画像に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込むことができます。



MENU ボタン → [再生] → [文字焼き込み]

1 画像を選ぶ (P209)

- すでに文字焼き込みした画像には、画面に が表示されます。

2 ▲/▼ ボタンで [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

撮影日時	撮影日時を焼き込みます。
名前	[] (個人認証): [個人認証] で登録した名前を焼き込みます。 [] (赤ちゃん/ペット): [プロフィール設定] で登録した名前を焼き込みます。
旅行先	[旅行先] で設定した旅行先名を焼き込みます。
トラベル日付	[トラベル日付] で設定したトラベル日付を焼き込みます。
タイトル	[タイトル入力] で入力したタイトルを焼き込みます。

3 [] ボタンを押して前の画面に戻る

4 ▲ ボタンで [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 文字焼き込みした画像は、お店で日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。
- [複数設定] で一度に設定できるのは 100 枚までです。
- 文字焼き込みすると、画質が粗くなる場合があります。
- グループ画像に文字焼き込みすると、グループ画像とは別に新規保存されます。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、文字や日付情報を焼き込むことができません。
 - 動画
 - 4K 連写ファイル
 - フォーカスセレクト撮影した画像
 - 時計とタイトルを設定せずに撮影した画像
 - 文字焼き込みした画像
 - [クオリティ] を [RAW] にして撮影した画像

[リサイズ(縮小)](画像サイズ(画素数)を小さくする)

ホームページ用やメール添付などに送信しやすいように、画像の容量(記録画素数)を小さくします。



MENU ボタン → [再生] → [リサイズ(縮小)]

画像、サイズを選ぶ

[1枚設定] 選択時

- 1 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 ▲/▼ ボタンでサイズを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[複数設定] 選択時

- 1 ▲/▼ ボタンでサイズを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンで設定する(繰り返す)
 - 選択を解除するには、もう一度[MENU/SET] ボタンを押してください。
- 3 [DISP.] ボタンを押して実行する



- [複数設定] で一度に設定できるのは100枚までです。
- リサイズ(縮小)すると画質が粗くなります。

こんなときは使用できません

- 以下の画像はリサイズ(縮小)できません。
 - 動画
 - 4K 連写ファイル
 - フォーカスセレクト撮影した画像
 - グループ画像
 - 文字焼き込みした画像
 - [クオリティ]を[RAW]にして撮影した画像

[トリミング(切抜き)](画像を切り抜く)

撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。



MENU ボタン → [再生] → [トリミング(切抜き)]

- 1 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 後ダイヤルと ▲/▼/◀/▶ ボタンで切り抜く部分を選ぶ

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
		画像を拡大
		画像を縮小
▲/▼/◀/▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動

3 [MENU/SET] ボタンを押す

- トリミング(切抜き)すると画質が粗くなります。
- グループ画像は1枚ずつトリミング(切抜き)してください。(グループ単位の編集はできません)
- グループ画像にトリミング(切抜き)すると、グループ画像とは別に新規保存されます。
- トリミング(切抜き)した画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。

こんなときは使用できません

- 以下の画像はトリミング(切抜き)できません。
 - 動画
 - 4K連写ファイル
 - フォーカスセレクト撮影した画像
 - 文字焼き込みした画像
 - [クオリティ]を[RAW]にして撮影した画像

[画像回転] (画像を手動で回転する)

画像を手動で 90° ずつ回転させます。

- [縦位置自動回転] を [OFF] に設定すると、[画像回転] は選択できません。

MENU ボタン → [再生] → [画像回転]

- 1 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 回転する方向を選ぶ

: 時計回りに 90° 回転します。

: 反時計回りに 90° 回転します。



[動画分割]

撮影した動画や 4K 連写ファイルを 2 つに分割できます。必要な部分と不要な部分を分割したいときにお勧めです。分割すると、元に戻すことができません。

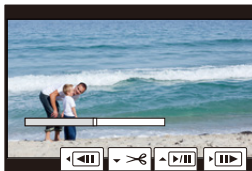
MENU ボタン → [再生] → [動画分割]

- 1 ◀/▶ ボタンで分割編集したい画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 分割したい位置で ▲ ボタンを押す

- 分割位置の細かい調整をするには、一時停止中に ◀/▶ ボタンを押してください。

- 3 ▼ ボタンを押す

- 分割処理中にカードまたはバッテリーを抜くと、画像が消失するおそれがあります。



こんなときは使用できません

- 動画の最初や最後の部分では分割できない場合があります。
- 撮影時間が短い場合は分割できません。

[インターバル動画作成]

インターバル撮影したグループ画像から動画を作成します。

MENU ボタン → [再生] → [インターバル動画作成]

- 1 ◀/▶ ボタンでインターバル撮影グループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 動画の作成方法を選び、動画化する
 - 詳しくは [117](#) ページをお読みください。

[コマ撮りアニメ作成]

[コマ撮りアニメ]で撮影したグループ画像から動画を作成します。

MENU ボタン → [再生] → [コマ撮りアニメ作成]

1 ◀/▶ ボタンでコマ撮りグループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 動画の作成方法を選び、動画化する

- 詳しくは [117](#) ページをお読みください。

[縦位置自動回転] (画像を自動で回転して表示する)

本機を縦に構えて撮影した写真を自動で縦向きに表示します。

MENU ボタン → [再生] → [縦位置自動回転] → [ON]

こんなときは使用できません

- パソコンで再生するとき、Exifに対応したOSまたはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。(Exifとは、一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA) にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加できる写真用のファイルフォーマットです)

[画像表示順]

本機で画像を再生するときの表示順を設定します。

MENU ボタン → [再生] → [画像表示順]

ファイル名	フォルダー名/ファイル名の順番で表示します。カード内の画像の位置がわかりやすい表示形式です。
撮影日時	画像が撮影された日時の順番で表示します。複数カメラで同じカードに撮影した場合は、画像が探しやすい表示形式です。

- 別のカードを入れたときなど、[撮影日時]の順で表示できない場合があります。しばらくすると、[撮影日時]の順で表示されます。

[消去確認画面]

画像消去時に表示される確認画面の選択肢として、[はい]/[いいえ] のどちらが最初に選ばれるかを設定します。


お買い上げ時は[いいえ]がはじめ]に設定されています。

MENU ボタン → [再生] → [消去確認画面]

「はい」がはじめ	最初に[はい]が選ばれるため、素早く消去操作ができます。
「いいえ」がはじめ	最初に[いいえ]が選ばれます。誤って画像を消去することを防ぎます。

[全画像消去]

カード内のすべての画像を消去します。

MENU ボタン →  [再生] → [全画像消去]

全画像消去	カード内のすべての画像を消去します。
レーティング以外全消去	レーティング設定した画像以外のすべての画像を消去します。

- [全画像消去]は、[再生モード]を[通常再生]に設定しているときに使用できます。
- 消去した画像は元に戻すことができません。十分に確認してから消去してください。
- 消去枚数により、時間がかかることがあります。



Wi-Fi®/Bluetooth® 機能について

本章では、カメラの Wi-Fi® / Bluetooth® 機能について説明します。

- 本書ではスマートフォンとタブレットを併せてスマートフォンと表記します。

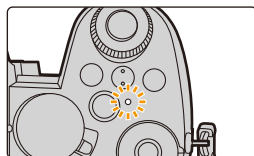
■ ご使用の前に

- 時計を設定してください。(P32)
- 本機で Wi-Fi 機能を使用するには、接続先の機器に無線 LAN 機能が必要です。

■ WIRELESS 接続ランプの表示について

青色点灯	Wi-Fi/Bluetooth 機能 ON 時、または接続中
青色点滅	カメラ操作で画像データ送信時

- セットアップメニューの[WIRELESS 接続ランプ]で、点灯/点滅しないように設定できます。(P201)



- 通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。
- 画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- 電波の状況によっては、送信が完了できないことがあります。また、画像送信中に切断された場合、一部が表示できない画像が送信されることがあります。

スマートフォンと接続する

スマートフォン用アプリ「Panasonic LUMIX Sync」(以降は「LUMIX Sync」と表記)をインストールしたスマートフォンと接続します。「LUMIX Sync」を使うと、リモート撮影や画像の転送ができます。


「LUMIX Sync」のインストール

「LUMIX Sync」はパナソニックが提供するスマートフォン用アプリケーションです。

●対応 OS

Android™: Android 10 以上

iOS: iOS 15 以上

- 1 スマートフォンをネットワークに接続する
- 2 (Android)「Google Play™ ストア」を選ぶ
(iOS) 「App Store」を選ぶ
- 3 検索フィールドに「LUMIX」または「panasonic lumix sync」と入力する
- 4 「Panasonic LUMIX Sync」を選び、インストールする

- 最新のバージョンをお使いください。
- 対応 OS は 2025 年 1 月現在のものです。対応 OS は変更する場合があります。
- 操作方法などについて詳しくは、「LUMIX Sync」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。「LUMIX Sync」の情報については、下記サポートサイトをご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/dsc/index.html>

スマートフォンとの接続(Bluetooth接続)

簡単な接続設定(ペアリング)で、Bluetooth Low Energy に対応したスマートフォンと接続します。ペアリング設定をすると、スマートフォンとのWi-Fi接続も自動で行います。

- 初めて接続する場合は、ペアリング設定が必要です。

2回目以降の接続について(P228)

●対応スマートフォン

Android™: Android 10以上で、Bluetooth 4.0以上を搭載
(Bluetooth Low Energy 非対応の一部の端末を除く)

iOS: iOS 15以上

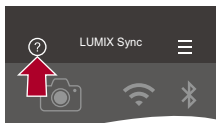
- あらかじめスマートフォンのBluetooth機能をオンにしてください。

1 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

- 機器(カメラ)登録についてのメッセージが表示されます。「次へ」を選んでください。



- メッセージを閉じた場合は、[(?)]を選び、[カメラの登録(ペアリング)]からカメラを登録してください。



2 表示されるガイドの内容を確認し、カメラを登録する画面が表示されるまで、「次へ」を選ぶ

スマートフォンのガイドに従って、カメラを操作します。

3 カメラを Bluetooth のペアリング待機状態にする

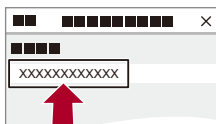
MENU ボタン → ⌂ [セットアップ] → [Bluetooth] → [Bluetooth] → [設定] → [ペアリング]

- カメラがペアリングの待機状態になり、デバイス名 (A) が表示されます。



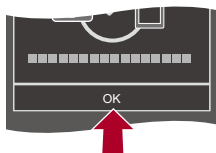
4 スマートフォンでカメラのデバイス名を選ぶ

- (iOS 機器) 接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続] を選んでください。



5 機器の登録が完了したメッセージが表示されたら、[OK] を選ぶ

- カメラとスマートフォンが Bluetooth 接続されます。



- ペアリング設定したスマートフォンはペアリング済み機器として登録されます。
- Bluetooth接続中は、撮影画面に[📶]が表示されます。Bluetooth機能が有効になっていても、スマートフォンと接続されていないときは、[📶]が半透明で表示されます。
- スマートフォンは 16 台まで登録できます。16 台を超えて登録すると、古い登録情報から順に消去されます。

■ Bluetooth接続の終了

Bluetooth 接続を終了するには、カメラの Bluetooth 機能をオフにしてください。

MENU ボタン → ⌂ [セットアップ] → [Bluetooth] → [Bluetooth] → [OFF]

- 接続を解除してもペアリング設定は解除されません。

■ ペ어링済みスマートフォンとの接続

ペ어링済みのスマートフォンとは、以下の手順で接続できます。

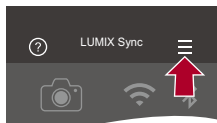
1 カメラの Bluetooth 機能を有効にする

MENU ボタン → [セットアップ] → [Bluetooth] → [Bluetooth] → [ON]

2 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

- カメラを検索中のメッセージが表示される場合は、メッセージを閉じてください。

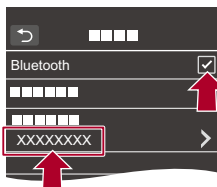
3 を選ぶ



4 [Bluetooth 設定] を選ぶ

5 Bluetooth をオンにする

6 [登録済みカメラ] の項目からカメラのデバイス名を選ぶ



- 複数のスマートフォンとペ어링設定していても、一度に接続できるスマートフォンは 1 つです。
- ペ어링に時間がかかるときは、スマートフォンとカメラ両方のペ어링設定を解除してから、もう一度設定すると正しく認識される場合があります。

■ ペ어링の解除

1 カメラのペ어링設定を解除する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Bluetooth] → [Bluetooth] → [設定] → [解除]

2 ペ어링を解除するスマートフォンを選ぶ

- スマートフォン側のペ어링設定も解除してください。
- セットアップメニューの [設定リセット] でネットワーク設定をリセットすると、登録済み機器の情報が消去されます。


スマートフォンとの接続(Wi-Fi接続)

スマートフォンを Wi-Fi で接続します。

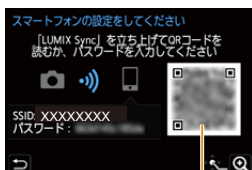
- 以下の機能を使用中は、[Wi-Fi 機能] は使用できません。
- [自動画像転送]

■ QRコードを読み取って接続する

1 QRコード (B) を表示する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] →
[新規に接続する] → [スマートフォンとつないで使う]

- [Wi-Fi] を登録した Fn ボタンを押しても同じ操作ができます。(P50)
- [MENU/SET] ボタンを押すと、QR コードが拡大表示されます。



(B)

2 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する



- カメラを検索中のメッセージが表示される場合は、メッセージを閉じてください。

3 [≡] を選ぶ

4 [Wi-Fi 接続] を選ぶ

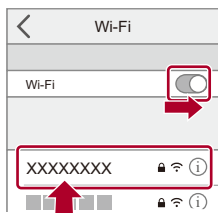
5 [QR コード] を選ぶ

6 カメラの画面に表示されている QR コードを「LUMIX Sync」で読み取る

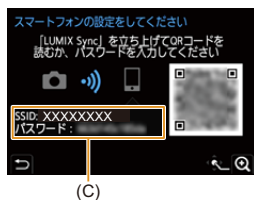
- (iOS 機器) 接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続] を選んでください。

■ パスワードを手動入力して接続する

- 1 「QRコードを読み取って接続する」手順 1 の画面を表示する (P229)
- 2 スマートフォンの設定メニューで Wi-Fi 機能を ON にする



- 3 Wi-Fi 設定画面で、カメラに表示された SSID (C) を選ぶ
- 4 (初回接続時)カメラに表示されたパスワード (C) を入力する



- 5 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

Wi-Fi接続を終了する

カメラとスマートフォンの Wi-Fi 接続を終了するには、以下の操作をしてください。

- 1 シャッターボタンを半押しして、カメラを撮影モードにする
- 2 Wi-Fi 接続を終了する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [はい]

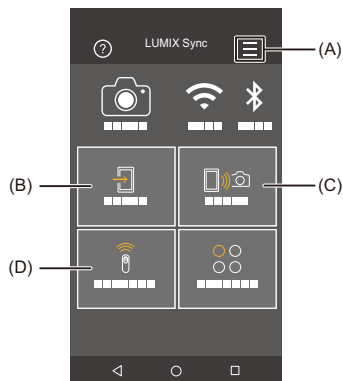
- [Wi-Fi] を登録した Fn ボタンを押しても同じ操作ができます。(P50)
- 3 スマートフォンで「LUMIX Sync」を終了する

スマートフォンでカメラを操作する

スマートフォンからカメラを操作する機能について説明します。本書で **Bluetooth** の記号を付けて説明している機能は、Bluetooth Low Energyに対応したスマートフォンが必要です。

■ ホーム画面

「LUMIX Sync」を起動すると、ホーム画面が表示されます。



(A) : アプリ設定 (P228、229、238)

接続の設定やカメラの電源操作、ヘルプの表示などをします。

(B) : 画像取り込み (P235)

(C) : リモート撮影 (P232)

(D) : シャッターリモコン (P233)

リモート撮影

離れた場所のカメラのライブビュー映像を確認しながら、スマートフォンで撮影できます。

準備:

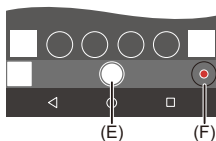
- スマートフォンと接続する (P226, 229)
- スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

1 ホーム画面で [📷] (リモート撮影) を選ぶ

- (iOS 機器) 接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続] を選んでください。

2 撮影する

- 撮影した画像はカメラに保存されます。



(E) 写真撮影

(F) 動画撮影開始 / 終了

■ リモート撮影中の操作方法

リモート撮影中にカメラとスマートフォンのどちらの操作を優先するかを設定します。

MENU ボタン → ⚙ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi設定] → [リモート優先操作設定]

カメラ	カメラとスマートフォンの両方で操作できます。 <ul style="list-style-type: none"> ● ダイヤルなどの設定は、スマートフォンで変更できません。
スマートフォン	スマートフォンだけで操作できます。 <ul style="list-style-type: none"> ● ダイヤルなどの設定をスマートフォンで変更できます。 ● リモート撮影を終了するには、カメラのいずれかのボタンを押して画面を表示し、[終了] を選んでください。

- 接続中は設定を変更できません。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、リモート撮影ができません。
 - インターバル撮影時


シャッターリモコン

Bluetooth

スマートフォンをシャッターリモコンとして使うことができます。

準備:

- スマートフォンと Bluetooth 接続する (P226)
- スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

- 1 ホーム画面で [] (シャッターリモコン) を選ぶ
- 2 撮影する



動画撮影開始 / 終了



写真撮影



B(バルブ)について





マニュアル露出モードでシャッタースピードを [B] (バルブ) に設定すると、B (バルブ) 撮影ができます。(最大 30 分間)

撮影開始から終了までの間、シャッターを開けたままにできるので、星空や夜景の撮影に便利です。

準備:

- カメラを [M] モードにする (P60)
- カメラのシャッタースピードを B (バルブ) に設定する (P61)

スマートフォンを操作する

- 1 [] をタッチして、撮影を開始する (タッチしたまま、指を離さない)
- 2 [] から指を離して、撮影を終了する
 - [] を LOCK 方向にスライドすると、シャッターボタンを全押しした状態で固定して撮影できます。([] を元の方向に戻す、またはカメラのシャッターボタンを押すと、撮影を終了します)
 - B (バルブ) 撮影中に Bluetooth 接続が切れた場合は、再度 Bluetooth 接続してスマートフォンで撮影終了の操作をしてください。



- [シャッターリモコン]は、カメラの電源スイッチが[ON]のときに使うことができます。
- カメラのライブビューはスマートフォンで確認できません。
- 撮影中に[スリープモード]が働いてカメラの電源が切れたときは、スマートフォンで再度[シャッターリモコン]を選択すると、電源を入れ直すことができます。(ただし、以下の設定をする必要があります)
 - [リモート起動]: [ON]
 - [自動画像転送]: [OFF]
- [シャッターリモコン]を使ってカメラの電源を入れることはできません。

■ [スリープモード]からの復帰時間を短くする

スマートフォンを使って[スリープモード]から復帰するときに、優先して使うスマートフォンの機能を選びます。

準備: [Bluetooth]と[リモート起動]を[ON]に設定する。(P238)

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Bluetooth] → [スリープモードからの復帰動作]

 画像取り込み / リモート撮影優先	[画像取り込み] や [リモート撮影] を使って復帰するときにかかる時間を短くします。
 シャッターリモコン優先	[シャッターリモコン] を使って復帰するときにかかる時間を短くします。

画像取り込み

カードに保存した画像を Wi-Fi 接続したスマートフォンに転送します。

準備:

- スマートフォンと接続する (P226、229)
- スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

1 ホーム画面で [📁] (画像取り込み) を選ぶ

- (iOS 機器) 接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続] を選んでください。

2 転送する画像を選ぶ



3 画像を転送する

[📁] を選びます。

- 動画の場合、画面中央の [▶] をタッチすると再生できます。



- 動画再生時は、データサイズを小さくして「LUMIX Sync」に送信しているため、実際に撮影された画質とは異なります。また、お使いのスマートフォンや使用環境によって、動画や写真の再生時に画質劣化や音飛びが発生する場合があります。
- ファイルサイズが 4 GB を超える画像は転送できません。

自動画像転送

Bluetooth

写真を撮影するたびに、撮影画像をスマートフォンに自動転送できます。

準備:

- スマートフォンと Bluetooth 接続する (P226)

1 カメラの [自動画像転送] を有効にする

MENU ボタン → [セットアップ] → [Bluetooth] → [自動画像転送] → [ON]

- カメラに Wi-Fi 接続の終了確認画面が表示されたら、[はい] を選んで終了してください。

2 スマートフォンで [はい] (Android 機器) または [接続] (iOS 機器) を選ぶ

- Wi-Fi 接続を自動で行います。

3 カメラで送信設定を確認し、[MENU/SET] ボタンを押す

- 撮影画面に [📶] が表示されると、自動画像転送ができます。

4 カメラで撮影する

- ファイルを送信中は [📶] が表示されます。

■ 自動画像転送を終了する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Bluetooth] → [自動画像転送] → [OFF]

- Wi-Fi 接続の終了確認画面が表示されます。

- カメラの [Bluetooth] と [自動画像転送] を [ON] に設定しているときにカメラの電源を入れると、スマートフォンと Wi-Fi/Bluetooth の接続を自動で行います。スマートフォンで [LUMIX Sync] を起動して、カメラと接続してください。
- [リモート撮影] でカメラの撮影画面をスマートフォンに表示しているときは、画像は転送されません。
- [自動画像転送] を [ON] に設定しているときは、[Wi-Fi 機能] が使用できません。
- 画像転送中にカメラの電源が切れてファイルの送信が中断された場合は、カメラの電源を入れ直すと言信を再開します。
 - 未送信のファイルの保存状況が変化すると送信できないことがあります。
 - 未送信のファイル数が多い場合、すべてのファイルを送信できないことがあります。
- 以下の機能を使用して撮影した画像は、自動画像転送ができません。
 - 動画撮影

位置情報記録

Bluetooth

スマートフォンの位置情報をBluetoothでカメラに送信することで、位置情報を書き込みながら撮影します。



- ① 位置情報を取得 ② 位置情報を送信 ③ 位置情報を書き込みながら撮影

準備: スマートフォンのGPS機能を有効にする。

- 1 スマートフォンとBluetooth接続する (P226)
- 2 カメラのメニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Bluetooth] → [位置情報記録] → [ON]

- 位置情報が記録できる状態になり、撮影画面に [GPS] が表示されます。

- 3 カメラで撮影する

- 撮影した画像に位置情報が書き込まれます。

[GPS]が半透明で表示されるときは

位置情報が取得できていないので書き込みができません。建物やかぼんの中などでは、スマートフォンのGPSが測位できない場合があります。

- 空を広く見渡せる場所などの測位しやすい場所に移動してお試しください。
- スマートフォンの取扱説明書もお読みください。

- 位置情報が書き込まれた画像には、[GPS]が表示されます。
- 位置情報の取得中はスマートフォンの電池の消耗が早くなります。
- 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。


リモート起動

Bluetooth

カメラの電源を切っている場合でも、スマートフォン操作でカメラを起動して撮影したり、撮影画像を確認したりできます。

準備:

- 1 スマートフォンと Bluetooth 接続する (P226)
- 2 カメラの [リモート起動] を有効にする

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Bluetooth] → [リモート起動] → [ON]


- 3 カメラの電源スイッチを [OFF] にする
- 4 スマートフォンで「LUMIX Sync」を起動する

■ カメラの電源を入れる

「LUMIX Sync」のホーム画面で [リモート撮影] を選ぶ

- (iOS 機器) 接続先の変更を確認するメッセージが表示されたら、[接続] を選んでください。
- カメラの電源が入り、自動で Wi-Fi 接続を行います。

■ カメラの電源を切る

- 1 「LUMIX Sync」のホーム画面で  を選ぶ
- 2 [電源 OFF 操作] を選ぶ
- 3 [電源を切る] を選ぶ

- [自動画像転送] を [ON] に設定しているときは、リモート起動中に撮影した画像はスマートフォンに自動で転送されます。未送信の画像が残った状態で [電源を切る] を選んだ場合は、次にカメラの電源を入れたときに送信を再開します。
- [リモート起動] を設定しているときは、カメラの電源スイッチを [OFF] にしても Bluetooth 機能が働くため、バッテリーを消費します。

自動時刻合わせ

Bluetooth

カメラのセットアップメニューの [時計設定] と、[ワールドタイム] の [ホーム] または [旅行先] を、スマートフォンの設定に合わせます。


- 1 スマートフォンと Bluetooth 接続する (P226)
- 2 カメラのメニューを設定する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Bluetooth] → [自動時刻合わせ] → [ON]

スマートフォンに画像を送る

準備:

- スマートフォンに「LUMIX Sync」をインストールする (P225)

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る]または[カメラ内の画像を送る]

1 スマートフォンと接続する

- QRコードを読み取って接続する (P229)
- パスワードを手動入力して接続する (P230)

2 接続したい機器を選ぶ

3 送信設定を確認し、[MENU/SET] ボタンを押す

- 画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。(P245)

[撮影中に画像を送る]選択時

4 写真を撮る (P240)

[カメラ内の画像を送る]選択時

4 画像を選ぶ (P240)

- [Bluetooth]の[自動画像転送]を[ON]に設定時は、[Wi-Fi 機能]が使用できません。

■ 本機で送信できる画像

送信先機器	送信できる画像	
	撮影中に画像を送る	カメラ内の画像を送る
スマートフォン	JPEG / RAW	JPEG / RAW / MP4*

※ 4 GB を超える場合、送信できません。

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の取扱説明書をご確認ください。

【撮影中に画像を送る】

写真を撮るたびに、指定した機器に自動で画像を送ります。

- ファイル送信中はカメラの撮影画面に [📶] が表示されます。
- 接続を終了するには、以下の操作を行ってください。
MENU ボタン → **🔧** [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [はい]
- 写真を送信中は設定を変更することはできません。

- 撮影動作中は撮影を優先するため、送信完了までに時間がかかります。
- 送信完了前に電源を切る、または Wi-Fi 接続を終了した場合、送信されなかったファイルの再送信は行われません。
- 送信中はファイルの消去や再生メニューの使用はできない場合があります。
- インターバル撮影時は、Wi-Fi 接続を終了するため使用できません。

【カメラ内の画像を送る】

撮影後に画像を選んで送信できます。

【1 枚選択】選択時

- 1 画像を選ぶ
- 2 [MENU/SET] ボタンを押す



【複数選択】選択時

- 1 画像を選ぶ(繰り返す)
 - もう一度選ぶと設定が解除されます。
 - 2 [DISP.] ボタンを押して実行する
- 接続を終了する場合は、[終了]を選んでください。



- 本機以外で撮影した画像、パソコンで編集・加工した画像は送信できない場合があります。

カメラ内の画像を簡単にスマートフォンに送る

再生時に ▼ ボタンを押すだけで、Bluetooth 接続したスマートフォンに画像を転送できます。メニューから簡単に転送することもできます。

- [スマートフォンに画像を送る] を登録した Fn ボタンを押しても同じ操作ができます。(P50)

準備:

- スマートフォンに[LUMIX Sync]をインストールする (P225)
- カメラとスマートフォンを Bluetooth 接続する (P226)
- カメラの [▶] ボタンを押して再生画面を表示する

写真を 1 枚送る

- 1 ◀/▶ で画像を選ぶ
- 2 ▼ ボタンを押す
- 3 [1 枚選択] を選ぶ
 - 画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。(P245)
- 4 スマートフォンで [はい](Android 機器)または [接続](iOS 機器)を選ぶ
 - Wi-Fi 接続を自動で行います。

複数枚の写真を送る

- 1 ▼ ボタンを押す
- 2 [複数選択] を選ぶ
 - 画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。(P245)
- 3 画像を選び、転送する
 - ◀/▶ : 画像の選択
 - [MENU/SET] ボタン: 設定 / 解除
 - [DISP.]: 転送の実行
- 4 スマートフォンで [はい](Android 機器)または [接続](iOS 機器)を選ぶ
 - Wi-Fi 接続を自動で行います。

■ グループ画像の写真を送る場合

グループ画像 (P162) の写真をスマートフォンに転送するには、次の手順で操作してください。

- 1 グループ画像を選択した状態で ▼ ボタンを押す
- 2 ▲ ボタンを押してサブメニューを表示する
- 3 ▲/▼ ボタンで [スマートフォンに画像を送る] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 4 ▲/▼ ボタンで [1 枚選択] または [複数選択] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - 画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。(P245)
 - 以降の操作は「写真を 1 枚送る」、「複数枚の写真を送る」の手順 ③、④ と同じです。

メニュー操作で簡単に転送する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Bluetooth] → [スマートフォンに画像を送る]

設定: [1枚選択]、[複数選択]

- [1枚選択] のときは、◀/▶ で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押して実行します。
- [複数選択] のときは、「複数枚の写真を送る」の場合と同じ操作で実行できます。(P241)

- ファイルサイズが 4 GB を超える画像は転送できません。
- 撮影中は撮影を優先するため、送信完了までに時間がかかります。
- 送信完了前に電源を切る、または Wi-Fi 接続を終了した場合、送信は再開されません。
- 送信中はファイルの消去や、再生メニューの使用ができない場合があります。
- 以下の機能を使用中は、[Wi-Fi 機能] は使用できません。
- [自動画像転送]

Wi-Fi接続

接続には以下の種類があります。

MENU ボタン → ⌂ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能]

新規に接続する	スマートフォンとの接続設定をします。
履歴から接続する / お気に入りから接続する	以前と同じ設定で接続します。(P243)

以前と同じ設定でWi-Fi接続する

Wi-Fi機能を使うとWi-Fi接続の履歴が保存されます。履歴から接続すると、以前と同じWi-Fi接続設定で簡単に接続できます。

- 接続する機器の設定を変更した場合、接続できないことがあります。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → ⌂ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能]

履歴から接続する	以前に使用した設定で接続します。
お気に入りから接続する	お気に入りに登録された設定で接続します。

2 接続したい項目を選ぶ

- 接続の詳細を表示するには、[DISP.]ボタンを押してください。

■ お気に入り登録

① メニューを設定する

MENU ボタン → ⌂ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [履歴から接続する]

- ② 登録したい項目を選び、▶ ボタンを押す
- ③ 登録名を入力する
 - 文字の入力方法: (P53)
 - 入力できる文字数は最大30文字です。2バイト文字は2文字の扱いになります。

■ お気に入り登録した項目の編集

① メニューを設定する

MENU ボタン → ⌂ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [お気に入りから接続する]

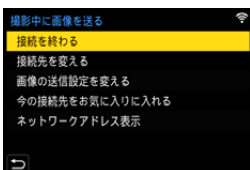
- ② 編集したいお気に入り項目を選び、▶ ボタンを押す

お気に入りを消す	—
お気に入りの順番を変える	移動先を選びます。
登録名を変える	● 文字の入力方法: (P53)

- 履歴に保存される数には制限があります。よく使う接続設定はお気に入りに登録してください。
- [ネットワーク設定リセット]をすると履歴とお気に入り登録した内容は消去されます。

[Wi-Fi] を登録した Fn ボタン

Wi-Fi 接続後に [Wi-Fi] を登録した Fn ボタンを押すと、以下の操作ができます。(P50)



接続を終わる	Wi-Fi 接続を終了します。
接続先を変える	Wi-Fi 接続を終了し、別の Wi-Fi 接続先を選択します。
画像の送信設定を変える	画像を送信する際の画像のサイズやファイル形式などを設定します。(P245)
今の接続先をお気に入りに入れる	現在の接続先や接続方法を登録すると、次回以降、同じ接続設定で接続できます。
ネットワークアドレス表示	本機のMACアドレスとIPアドレスを表示します。(P246)

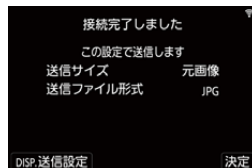
- お使いの Wi-Fi 機能や接続先によっては、一部の操作ができない場合があります。

送信設定

画像の送信設定

接続先機器に送信する画像のサイズやファイル形式などを設定します。

- 1 Wi-Fi 接続後に送信設定の確認画面が表示されたら、
[DISP.] ボタンを押す




- 2 送信設定を変更する

送信サイズ	送信する画像のサイズを変更します。 [元画像]、[変更] ([M]、[S] または [VGA])
送信ファイル形式	送信する画像のファイル形式を設定します。 [JPG]、[RAW+JPG]、[RAW] ● 送信先が本機からの RAW 画像転送に対応している場合に設定できます。

Wi-Fi設定メニュー

Wi-Fi機能を使うために必要な各種設定をします。
Wi-Fi接続中は設定を変更できません。

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定]

[リモート優先操作設定]

リモート撮影時に、カメラとスマートフォンのどちらの操作を優先するかを設定します。
(P232)

[機器名称]

本機の名前(SSID)を変更できます。

- ① [DISP.]ボタンを押す
- ② 任意の機器名称を入力する
 - 文字の入力方法: (P53)
 - 入力できる文字数は最大32文字です。

[Wi-Fi機能ロック]

誤操作、第三者によるWi-Fi機能の使用の防止および設定した個人情報を保護するため、Wi-Fi機能をパスワードで保護することをお勧めします。

設定	数字4桁で任意のパスワードを設定します。 ● 文字の入力方法: (P53)
解除	パスワードを解除します。

- パスワードを設定すると、Wi-Fi機能を使用する際に、パスワードの入力が必要になります。
- パスワードを忘れてしまった場合、セットアップメニューの[ネットワーク設定リセット]をするとパスワードをリセットできます。

[ネットワークアドレス表示]

本機のMACアドレスとIPアドレスを表示します。

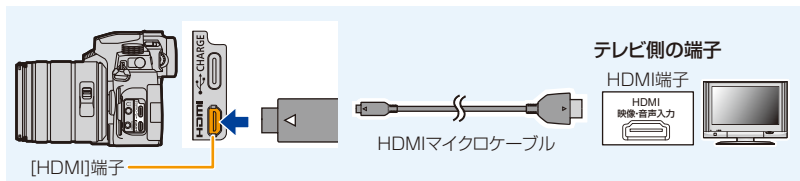
- 「MACアドレス」とは、ネットワーク機器を識別するための固有アドレスです。
- 「IPアドレス」とは、インターネットなどのネットワークに接続されたコンピューターを識別する番号のことです。ご家庭では、無線アクセスポイントなどのDHCP機能で自動的に割り当てられるのが一般的です。(例: 192.168.0.87)

接続する

- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)
- 誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

■ HDMI 端子

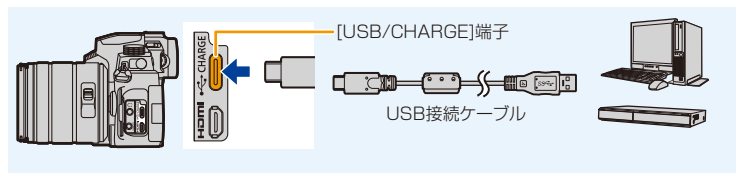
市販のHDMIマイクロケーブルで本機とHDMI機器(テレビなど)をつなぐ



- ハイスピードHDMI マイクロケーブル(Type A-Type Dプラグ、3 m未満)をお使いください。

■ USB 端子

USB 接続ケーブル(市販)で本機とパソコンまたはレコーダーをつなぐ



- USB 接続ケーブルは USB 規格に準拠したケーブルをお使いください。

テレビで見る

準備: カメラとテレビの電源を切る。

1 HDMI マイクロケーブルで本機とテレビをつなぐ (P247)

- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
(斜めに差したり、向きを逆にしたりすると、端子が変形して故障の原因になります)
また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

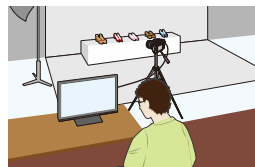
2 テレビの電源を入れ、接続する端子に合わせてテレビの入力切換を選ぶ

3 本機の電源を入れ、[▶] ボタンを押す

- [画像横縦比]によっては、画像の上下や左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。
- 画像の上下の端が切れて表示される場合は、テレビの画面モードの設定を変更してください。
- [HDMI出力解像度(再生時)](P204)を確認してください。
- 24p動画を再生時は[HDMI出力解像度(再生時)]を[AUTO]に設定してください。[AUTO]以外に設定していると、24コマ/秒では出力できません。
- 本機のモニター/ファインダーに画像は表示されません。また、本機のスピーカーから音声は出ません。
- USB接続ケーブルと同時に接続すると、[HDMI]端子は動きません。
- テレビの取扱説明書もお読みください。

カメラの映像をモニターしながら撮る

HDMI出力時は、外部モニターやテレビなどでモニターしながら写真や動画を撮影できます。



■ HDMI 出力時の情報表示を設定する

HDMI 接続した外部機器に、カメラの情報表示を出力する / しないを選びます。

MENU ボタン → [セットアップ] → [テレビ接続設定] → [HDMI 情報表示(撮影時)] 設定: [ON]、[OFF]

- 撮影時に HDMI 出力する場合、接続する機器に合わせて自動で出力する画質を切り換えます。ただし、以下の場合は動画メニューの [画質設定] に合わせて出力します。(接続する機器が対応していない設定の場合、機器に合わせて自動で出力する画質を切り換えます)
 - 動画撮影時
 - クリエイティブ動画モード時
 - [記録枠表示] を [] に設定したとき
- 撮影メニューの [画像横縦比] は、[16:9] に固定されます。
- 4K 動画に対応した外部モニターやテレビに接続した場合、以下の設定をすると通常よりもさらに画角が狭くなります。
 - [画質設定] の [4K/100M/30p]/[4K/100M/24p]
 - 4K ライブクロップ
- AF モードの [] 選択時、および MF アシスト中は、拡大表示が出力されません。
- EX テレコン (動画) は動きません。(クリエイティブ動画モードを除く)
- 電子音や電子シャッター音は鳴りません。
- 本機をテレビに接続して映像や音声を確認するとき、テレビのスピーカーから出る音を本機のマイクが拾い、異常音 (ハウリング) が発生することがあります。その場合は本機をテレビから離すか、テレビの音量を下げてお使いください。
- HDMI 出力中に Wi-Fi 接続した場合、カメラのモニターに映像は表示されません。
- 一部の設定画面は、HDMI 出力されません。
- 以下の場合、HDMI 出力されません。
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時

ビエラリンク(HDMI)を使う

ビエラリンク(HDMI) (HDAVI Control™)とは

- 本機とHDMIマイクロケーブルを使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、ビエラのリモコンで簡単に操作できる機能です。(すべての操作ができるものではありません)
- ビエラリンク(HDMI)はHDMI CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準のHDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。ビエラリンク(HDMI)に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機は、ビエラリンク(HDMI) Ver.5に対応しています。ビエラリンク(HDMI) Ver.5とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した当社基準です。

準備:

MENU ボタン → [セットアップ] → [テレビ接続設定] → [ビエラリンク] → [ON]

- 1 HDMIマイクロケーブルで、本機とビエラリンク(HDMI)に対応した当社製テレビ(ビエラ)をつなぐ(P248)
- 2 本機の電源を入れ、 ボタンを押す
- 3 テレビのリモコンで操作する

電源OFF

テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。

自動入力切換

- HDMIマイクロケーブルで接続して本機の電源を入れ、本機の ボタンを押すと、テレビの入力切換を自動で本機の画面に切り換えます。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。(テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合)

- 本機のボタンを使っての操作は制限されます。
- スライドショーで動画の音声を再生するには、スライドショー設定画面で[音設定]を[AUTO]または[音声]に設定してください。
- ハイスピードHDMI マイクロケーブル(Type A-Type Dプラグ、3 m未満)をお使いください。
- ビエラリンク(HDMI)が正しく働かない場合は、273 ページをご確認ください。

パソコンに画像を取り込む

本機をパソコンと接続すると、撮影した画像をパソコンにコピーできます。

パソコンで動画の再生や編集をするには、記録した動画形式に対応したソフトウェアをご使用ください。

また、RAW 画像を現像、編集するためのソフトウェアをご利用いただけます。(P253)

パソコンに画像をコピーする

パソコンに接続後、本機のファイルやフォルダーをパソコンにドラッグアンドドロップして、撮影した画像をコピーできます。

■ 使用できるパソコン

マスマストレージデバイス(大容量記憶装置)が認識可能な以下のパソコンに接続できます。

対応 OS

Windows : Windows 10、Windows 11

Mac : macOS 12.0 ~ 12.7、13.0 ~ 13.6、14.0 ~ 14.2

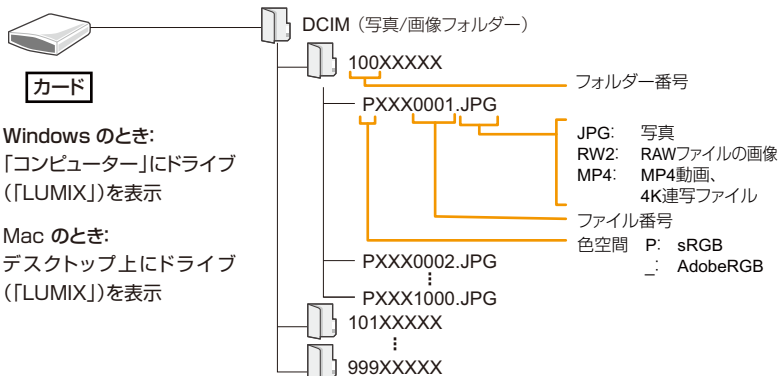
準備: 本機とパソコンの電源を入れる

- 1 USB接続ケーブル(市販)で本機とパソコンをつなぐ
- 2 ▲/▼ ボタンで [PC (Storage)] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 3 本機のファイルやフォルダーをパソコンにドラッグアンドドロップする



■ カード内のフォルダー構造

取り込みたい画像が入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグアンドドロップすると、パソコンに画像を保存できます。



- セットアップメニューの〔USBモード〕を〔PC(Storage)〕に設定すると、〔USBモード〕の選択画面は表示されず、自動でパソコンと接続します。(P204)
- 画像の取り込み中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- 画像の取り込み後は、パソコンを操作して USB 接続ケーブルを安全に取り外してください。
- カードの抜き差しをする前に、電源を切り、USB 接続ケーブルを抜いてください。撮影データが壊れるおそれがあります。

ソフトウェアのインストール

RAW 画像を現像、編集するためのソフトウェアをインストールします。

- ソフトウェアをダウンロードするには、パソコンをインターネットに接続できる環境が必要です。
- 対応 OS は 2025 年 1 月現在のものです。対応 OS は変更する場合があります。

SILKYPIX Developer Studio SE

RAW画像を現像、編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式(JPEG、TIFF など)で保存できます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード / インストールしてください。

<http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/>

●動作環境

対応OS	Windows: Windows 10(64 bit)、Windows 11
	Mac: macOS 10.13 ~ 10.15、11、12、13、14

- SILKYPIX Developer Studio の使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」またはアドワンのサポートサイトをお読みください。



レコーダーにダビングする

本機を当社製ブルーレイディスクレコーダーまたはDVDレコーダーを接続すると、写真や動画をレコーダーに残すことができます。

準備: 本機とレコーダーの電源を入れる。

1 USB接続ケーブル(市販)で本機とレコーダーをつなぐ(P247)

- 端子の向きを確認し、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)
また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

2 ▲/▼ ボタンで [PC(Storage)] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- セットアップメニューで[USBモード]を[PC (Storage)]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動的にレコーダーと接続します。
- 充電についてのメッセージが表示される場合があります。表示が消えるまでしばらくお待ちください。

3 レコーダーを操作してダビングする

- ダビングや再生の方法について詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。
 - お使いのレコーダーによっては、4K動画などのモードに対応していない場合があります。
- 十分に充電されたバッテリーを使用してください。接続中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。すぐに取り込みを中止してください。撮影データが壊れるおそれがあります。
- カードの抜き差しをする前に、電源を切り、USB接続ケーブルを抜いてください。撮影データが壊れるおそれがあります。

別売品のご紹介

(品番は 2025 年 1 月現在)

バッテリーパック	DMW-BLC12
バッテリーチャージャー	DMW-BTC12 ^{※1}
AC アダプター	DMW-AC11 ^{※2}
バッテリーグリップ	DMW-BGG1
LED ビデオライト	VW-LED1
ステレオガンマイクrohホン	DMW-MS2
ステレオマイクrohホン	VW-VMS10
シャッターリモコン	DMW-RS2
トライポッドグリップ	DMW-SHGR2, DMW-SHGR1
三脚アダプター	DMW-TA1 ^{※3}
ボディキャップ	DMW-BDC1

※1 AC アダプター、USB 接続ケーブル付き(充電時間:約 175 分)

※2 電源コード、USB 接続ケーブル付き

※3 取り付けしたレンズが三脚の台座に接触する場合にお使いください。

- 別売品の最新情報は、カタログ / ホームページなどをご覧ください。
- レンズの最新情報やレンズに対応する別売品については、カタログ / ホームページをご覧ください。

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイトでお買い求めいただけるものもあります。
詳しくはパナソニックの家電製品直販サイトをご覧ください。

パナソニックグループのショッピングサイト

<https://ec-plus.panasonic.jp/>

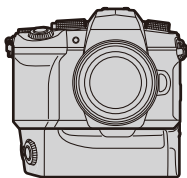


別売品を使う

バッテリーグリップ(別売)

バッテリーグリップ(別売:DMW-BGG1)をカメラに装着すると、縦位置撮影の操作性やホールド感を向上できます。また、バッテリーグリップにバッテリーを装着することで、長時間の撮影でも安定して電源を供給できます。

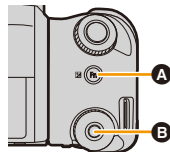
バッテリーグリップ(別売:DMW-BGG1)には、バッテリーパック(DMW-BLC12)が付属します。



■ バッテリーグリップのボタン動作

本機にバッテリーグリップを取り付けた場合、バッテリーグリップのボタン動作が以下のようになります。

- A** **[]**(露出補正)ボタン/[Fn] ボタン:
露出補正ボタンとして動作します。
- B** **ファンクションボタン**:
Fn1 ボタンと同じ動きをします。



■ 優先的に使用するバッテリーを選ぶ

準備: カメラの電源を切り、バッテリーグリップ接点カバーを外す。

- ① カメラにバッテリーグリップを取り付ける
- ② カメラの電源を入れる
- ③ メニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [バッテリー使用順序]

[本体優先]: カメラ側のバッテリーを先に使用します。

[BG 優先]: バッテリーグリップ側のバッテリーを先に使用します。

- バッテリーグリップ側のバッテリーを使用中は、画面に **[BG]** が表示されます。
- バッテリーグリップ接点カバーが外れにくいときは、カメラの溝があるほうの角を中央へ向けて外してください。
- 詳しくは、バッテリーグリップの取扱説明書をお読みください。

シャッターリモコン(別売)

シャッターリモコン(別売:DMW-RS2)をカメラの[REMOTE]端子につないで、以下の使い方ができます。

- シャッターボタン全押し時の手ブレを防止する
- バルブ撮影や連写時にシャッターボタンを固定する
- 動画撮影を開始/終了する



■ シャッターリモコンの動画ボタン

動画を撮影しないときは、動画ボタンを無効にして、誤操作を防止できます。

MENU ボタン → [カスタム] → [操作] → [リモコンの動画ボタン] 設定: [ON]、[OFF]

- 詳しくは、シャッターリモコンの取扱説明書をお読みください。

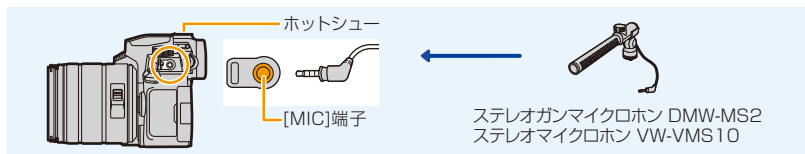
こんなときは使用できません

- 以下の場合、シャッターリモコンでは操作できません。
 - [スリープモード]、[スリープモード Wi-Fi]、[省電力ファインダー撮影]を解除するとき

外部マイク(別売)

ステレオガンマイクロホン(別売: DMW-MS2)やステレオマイクロホン(別売: VW-VMS10)を使用すると、内蔵マイクに比べて高音質の音声録音ができます。

準備: 内蔵フラッシュを閉じて、カメラの電源スイッチを [OFF] にする。




- ステレオマイクロホンケーブルは 3 m 未満をご使用ください。
- カメラに取り付ける場合は、ホットシューカバーを取り外してください。(P133)

■ 専用マイク設定

カメラにステレオガンマイクロホン(別売:DMW-MS2)を取り付けると、[専用マイク設定]でマイクの收音する範囲を設定できます。

- 1 カメラにステレオガンマイクロホンを取り付ける
- 2 カメラの電源を入れる

③ メニューを設定する

MENU ボタン →  [動画] → [専用マイク設定]

ステレオ	広い範囲の音をステレオで収音できます。
レンズ連動	レンズの画角に合わせた範囲の音を収音できます。
ガン	周囲の雑音を拾いにくくし、一定方向の音を収音できます。
スーパーガン	[ガン]よりもさらに狭い範囲の一定方向の音を収音できます。
マニュアル	手動で設定した範囲の音を収音できます。

④ ([マニュアル]選択時)


◀/▶ ボタンで範囲を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ 風音低減

外部マイク使用時の風雑音を低減できます。

MENU ボタン →  [動画] → [風音低減]

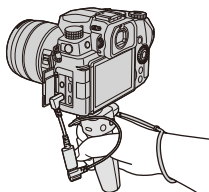
設定: [強]、[中]、[弱]、[OFF]

- 外部マイクを接続した場合に使用できます。
- [風音低減]を設定すると、通常と音質が変わることがあります。
- 外部マイク接続中は、画面にが表示されます。
- 外部マイクを接続すると、[録音レベル表示]が自動的に[ON]になり、画面に録音レベルが表示されます。
- 外部マイク装着時は、外部マイクだけを持たないでください。脱落のおそれがあります。
- 外部マイク装着時は、内蔵フラッシュを開かないでください。
- ACアダプター(別売)使用時にノイズなどが記録される場合は、バッテリーをご使用ください。
- ステレオマイクロホン(別売: VW-VMS10)を装着した場合、[専用マイク設定]は[ステレオ]に固定されます。
- [専用マイク設定]を[レンズ連動]、[スーパーガン]、[マニュアル]に設定した場合、動画メニューの[音声モニタリング]は[記録音]に固定されます。
- [専用マイク設定]を[マニュアル]に設定した場合、Fnボタン機能の[マイク指向性調整]を使用できます。設定したFnボタンを押すと、範囲の設定画面が表示されます。
- 詳しくは、外部マイクの取扱説明書をお読みください。

トライポッドグリップ(別売)

トライポッドグリップ(別売:DMW-SHGR2、DMW-SHGR1)を取り付けて、歩き撮り用のグリップや、三脚、シャッターリモコンとして使用できます。

- トライポッドグリップに付属している変換ケーブルを使ってカメラの [REMOTE] 端子に接続してください。



- カメラを取り付けた状態で、ハンドストラップだけを持って運ばないでください。
- 詳しくは、トライポッドグリップの取扱説明書をお読みください。



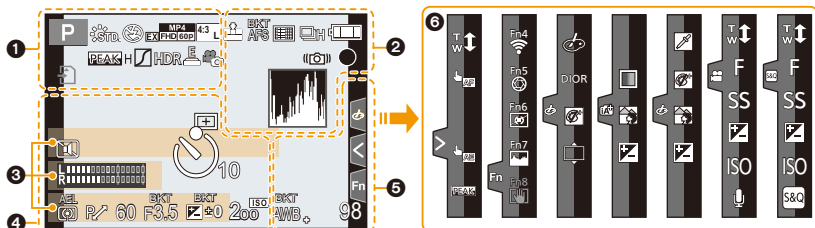
モニター/ファインダーの表示

モニター/ファインダーの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

表示例：[] (モニタースタイル) に設定し、モニター表示した場合

●表示されるヒストグラムや倍率、数値などの情報は目安です。

撮影時



	撮影モード (P37)
	動画撮影モード (P141)
	フォトスタイル (P167)
	フラッシュモード (P134)
	フラッシュ設定 (P136、138)
	EXテレコン (動画時) (P127)
	画質設定 (P143)
	スナップムービー (P147)
	画像横縦比 (P165) / 記録画素数 (P166)
	EXテレコン (写真時) (P127)
	フィルター効果調整 (P73、169)
POP	フィルター設定 (P169)
	ループ記録 (P101)
	カード (記録時に表示) (P26)
XXhXXmXXs	記録経過時間 *1 (P141)
	同時記録表示 (P146)
LVF/ MON/AUTO	ファインダー/モニター自動 切り換え (P35)
	ピーキング (P190)
	ハイライトシャドウ (P171)
HDR	HDR (P177) / iHDR (P56)
LC	ライブビューコンボジット 撮影 (P62)

	多重露出 (P178)
	デジタルズーム (P129)
	電子シャッター (P176)
	動画撮影中の写真撮影 (写真優先) (P146)
	温度上昇表示 (P268)
	クオリティ (P166)
	S&Q 効果 (P156)
AFS AFF AFC MF	フォーカスモード (P76、87)
	フォーカスブラケット (P121)
	フォーカスセレクト (P109)
	AFモード (P78)
	プリント送り (P148)
	個人認証 (P196)
AFL	AFロック (P90)
	連写 (P98)
	4Kフォト (P100)
	セルフタイマー (P118)
	バッテリー残量 (P24)
	給電 (P23)
	バッテリーグリップ (P256)

② (続き)

	手ブレ補正 (P123)
	手ブレ警告 (P124)
PRE	4Kプリ連写/プリ記録 (P101)
	フォーカス (緑点灯) (P36)/ 記録動作表示 (赤点灯) (P141)
LOW	フォーカス (低照度 AF 時) (P75)
STAR	フォーカス (星空 AF 時) (P75)
	Wi-Fi接続状態
	Bluetooth接続状態 (P227)
GPS	位置情報記録 (P237)
	ヒストグラム表示 (P191)

③

名前 *2 (P198)
トラベル経過日数 *3 (P200)
月齢/年齢 *2 (P198)
旅行先 *3 (P200)
現在日時/旅行先設定 *3: (P199)
露出メーター (P193)
焦点距離表示 (P130)
ステップズーム (P130)

④

	画像送信中 (P236)
	AFエリア (P82)
+	スポット測光ターゲット (P171)
+	センターマーカー表示 (P191)
	セルフタイマー (P118)
	録音レベル表示 (P149)
LMT OFF	録音レベルリミッター (OFF) (P149)
	サイレントモード (P175)
	外部マイク (P257)
AEL	AEロック (P90)
	測光モード (P45、171)
P	プログラムシフト (P58)
F3.5	絞り値 (P36)
BKT F3.5	絞りブラケット (P121)
60	シャッタースピード (P36)
	露出補正值 (P91)
BKT ±0	露出ブラケット (P120)
	明るさ (P57、74)
	マニュアル露出アシスト (P61)
ISO 200	ISO感度 (P92)

⑤

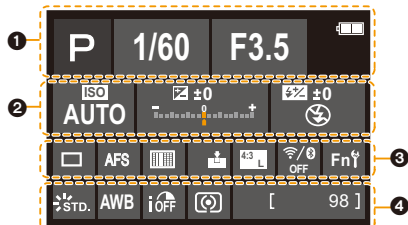
BKT AWB+	ホワイトバランスブラケット (P122)
	ホワイトバランスの調整 (P96)
AWBc AWBw	
	ホワイトバランス (P94)
	色合い (P57)
98	記録可能枚数 (P283)
r20	連続撮影可能枚数 (P98)
残XXmXXs	記録可能時間 *1 (P283)
----	カードなし

⑥

タッチタブ (P188)	
	T↑ W↓ タッチズーム (P131)
	タッチシャッター (P44)
	タッチ AF (P44)
	タッチ AE (P45)
	ピーキング (P190)
	Fn Fnボタン (P50)
	色合い (P57)
	ボケ味コントロール (P57、74)
	明るさ (P57、74)
	ぼかし方 (ジオラマ) (P71)
	ワンポイントカラー (P72)
	光源の位置 (P72)
	フィルター効果調整 (P74、169)
	フィルターの入/切 (P169)
	DIOR フィルター設定 (P169)
	F 絞り値 (P150)
	SS シャッタースピード (P150)
	露出補正 (P150、155)
	ISO ISO感度 (P150)
	録音レベル設定 (P150)
	S&Q 効果 (P155)

- *1 hは「hour(時)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。
 *2 [プロフィール設定]を設定した場合、電源を入れてから約5秒間表示されます。
 *3 電源を入れたとき/時計を設定後/再生から撮影モードへ切り換え後、約5秒間表示されます。

モニター撮影情報画面



①

P	撮影モード(P37)
MOVIE	動画撮影モード(P141)
F3.5	絞り値(P36)
1/60	シャッタースピード(P36)
BATT	バッテリー残量(P24)
BATT	給電(P23)

②

ISO AUTO	ISO感度(P92)
±0	露出補正值(P91)
±0	マニュアル露出アシスト(P61)
FLASH	フラッシュモード(P134)
±0	フラッシュ設定(P136、138)

③

S	単写(P97)
H	連写(P98)
4K	4Kフォト(P100)
AF	フォーカスセレクト(P109)
10	セルフタイマー(P118)
AFS	フォーカスモード(P76、87)
AF	AFモード(P78)
QUAL	クオリティ(P166)
QUAL	画質設定(P143)

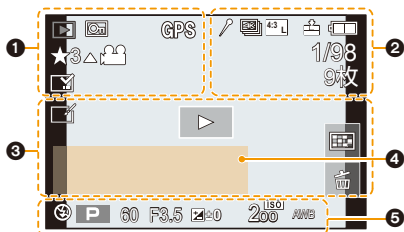
4:3	画像横縦比(P165)/ 記録画素数(P166)
2x QUICK	S&Q効果(P156)
Wi-Fi/BT	Wi-Fi/Bluetooth 接続状態 (P224)
Fn	Fnボタン設定(P50)

④

STD.	フォトスタイル(P167)
AWB	ホワイトバランス(P94)
iD	iDレンジコントロール(P172)
METER	測光モード(P171)
98	記録可能枚数(P283)
r20	連続撮影可能枚数(P98)
残XXmXXs	記録可能時間*(P283)
----	カードなし

※ mは「minute(分)」,sは「second(秒)」を省略した表示です。

再生時



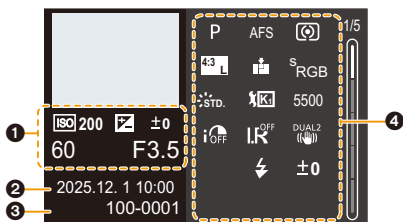
1		再生モード(P211)
		プロテクト(P211)
		位置情報記録(P237)
		レーティング(P211)
		動画再生(P158)
		4K連写ファイルから写真を保存(P105)
		フォーカスセレクト画像から写真を保存(P111)
		文字焼き込み済み表示(P218)
		再生経過時間 ^{※1} (P158)
2		マーカーあり表示(P106、108)
		4Kフォト(4K連写ファイル)(P100)
		フォーカスセレクト(P109)
		フォーカス合成(P112)
		画像横縦比(P165)/ 記録画素数(P166)
		画質設定(P143)
		スナップムービー(P147)
		クオリティ(P166)
		S&Q 効果(P156)
		バッテリー残量(P24)
		給電(P23)
		バッテリーグリップ(P256)
	1/98	画像番号/トータル枚数
		Wi-Fi/Bluetooth 接続状態
	9枚	グループ画像枚数
		動画記録時間 ^{※1} (P158)

	XXmXXs	S&Q 再生時間 / 記録時間 ^{※1}
	XXmXXs	(P156)
3		クリアタッチ済み表示(P217)
		情報取得中アイコン
		再生(動画)(P158)
		グループ画像(P162)
		サイレントモード(P175)
		トラベル経過日数(P200)
		サムネイル表示(P160)
		消去(P163)
		スマートフォンに画像を送る(P241)

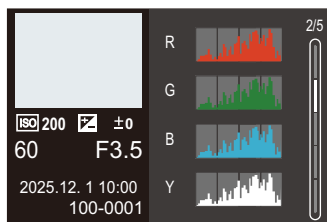
4	名前 ^{※2} (P196、198)
	旅行先 ^{※2} (P200)
	タイトル ^{※2} (P212)
	月齢/年齢(P196、198)
5	撮影情報

- ※1 hは「hour(時)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。
 ※2 [タイトル]、[旅行先]、[名前] (赤ちゃん/ペット)、[名前] (個人認証)の優先順位で表示されます。

詳細情報表示



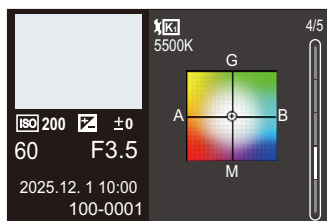
ヒストグラム表示



フォトスタイル、ハイライトシャドウ表示



ホワイトバランス表示



レンズ情報表示



1

撮影情報 (基本)

2

撮影日時 (P32)

3

フォルダー・ファイル番号 (P252)

4

撮影情報 (詳細)

メッセージ表示

カメラの画面に表示される主なメッセージの意味と対処法です。

■ カード

メモリーカードエラー/フォーマットしますか？

- 本機では使用できないフォーマットです。別のカードをご使用いただくか、必要なデータをバックアップしてから本機でフォーマットしてください。(P27)

メモリーカードエラー/このカードは使用できません

- 本機に対応したカードをお使いください。(P27)

カードを入れ直してください/別のカードでお試してください

- カードにアクセスできませんでした。カードを入れ直してください。
- 別のカードを入れてお試してください。

リードエラー/ライトエラー/カードを確認してください

- データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。カメラの電源を切り、カードを入れ直してから、もう一度、電源を入れてください。
- カードが壊れている可能性があります。
- 別のカードを入れてお試してください。

カードの書き込み速度不足のため記録を終了しました

- カードの書き込み速度が不足しています。対応するスピードクラスのカードをお使いください(P27)
- 指定されたスピードクラスのカードを使用しても撮影が停止する場合は、カードのデータ書き込み速度が低下しています。データのバックアップを取り、フォーマット(P27)することをお勧めします。
- カードの種類によっては、途中で撮影が終了することがあります。

■ レンズ

レンズが正しく装着されていません。レンズ装着時はレンズ取り外しボタンを押さないでください。

- レンズを一度取り外し、レンズ取り外しボタンを押さずに付け直してください。(P28)
電源を入れ直し、それでもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

レンズと通信できませんでした。レンズとの接点が汚れていないかご確認ください。

- レンズをカメラから取り外し、レンズとカメラ両方の接点を乾いた綿棒で軽くふいてください。それでもメッセージが表示される場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ バッテリー

このバッテリーは使えません

- バナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- バッテリーの端子部が汚れている場合は、端子部のごみやほこりを取り除いてください。

■ その他

消去できない画像があります / この画像は消去できません

- DCF規格に準拠していない画像は消去できません。必要なデータをバックアップしてからカードをフォーマットしてください。(P27)

この画像には設定できません

- DCF規格に準拠していない画像は編集できません。

フォルダーを作成できません

- 使用できるフォルダー番号の上限に達したため、新しいフォルダーを作成できません。必要なデータをバックアップしてからカードをフォーマットしてください。(P27) フォーマットしたあとにセットアップメニューの[番号リセット]を実行すると、フォルダー番号が100にリセットされます。(P206)

電源を入れ直してください。/システムエラー

- 電源を入れ直してください。数回繰り返してもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

Q&A 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、まず **1** の内容をお試しください。
それでも解決できない場合は、**2**、**3**、**4** の順にお試しください。

1 本項目(Q&A)の内容を試す

「電源、バッテリー」.....	P268
「撮影」.....	P268
「動画」.....	P270
「再生」.....	P271
「モニター/ファインダー」.....	P271
「フラッシュ」.....	P272
「Wi-Fi機能」.....	P272
「テレビ、パソコン」.....	P273
「その他」.....	P274



2 カメラを初期設定に戻す

MENU ボタン → [セットアップ] → [設定リセット]



3 パナソニックのサポートサイトを確認する

<https://panasonic.jp/support/dsc/index.html>

●最新のサポート情報を掲載しています。



4 ご相談窓口にお問い合わせ

「保証とアフターサービス」(P300)をお読みください。



電源、バッテリー

充電ランプが点滅している。

- 温度が極端に高い、または低いところで充電している。
 - 周囲の温度が10℃～30℃(バッテリーの温度も同様)のところでUSB接続ケーブルをつなぎ直し、再度充電をお試しください。
- パソコンの給電能力が低い場合は、充電できません。

カメラの電源を入れても動作しない。電源を入れてもすぐに切れる。

- バッテリーが消耗しています。充電してください。(P20)

電源が勝手に切れる。

- [エコモード]が働いています。(P202)

バッテリーの消費が早い。

- [4Kプリ連写]や[プリ記録]を設定しているときは、バッテリーの消費が早くなります。撮影するときだけ設定してください。
- Wi-Fi接続中はバッテリーの消費が早くなります。[エコモード](P202)を使うなどして、こまめに電源を切ってください。

撮影

撮影が途中で止まる。撮影できない。一部の機能が使用できない。

- 周囲の温度が高い場合は、カメラの温度が上昇します。温度上昇からカメラを保護するため、[△]が表示されたあと、撮影が停止することや、以下の機能が一時的に使用できなくなることがあります。カメラの温度が下がるまでお待ちください。
 - 4Kフォト - 動画撮影
 - フォーカスセレクト - USB接続ケーブルによる給電

撮影できない。シャッターを押しても、すぐにシャッターが切れない。

- [フォーカス/リリース優先]が[フォーカス]に設定されている場合は、ピントが合うまで撮影できません。(P186)

撮影した画像が白っぽい。

- レンズや撮像素子に指紋などの汚れが付くと、画像が白っぽくなる場合があります。レンズが汚れたときは、カメラの電源を切り、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。撮像素子のお手入れについては、276 ページをお読みください。

撮影した画像が明るすぎる、暗すぎる。

- 不適切な状態でAEロックがかかっていないか確認してください。(P90)

1回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。

- ドライブモードを[](連写)に合わせているときは、シャッターボタンを押したままにすると連写されます。(P97)
- ブラケットを設定しているときは、シャッターボタンを押すと自動で設定を変えて複数枚の画像を撮影します。(P119)

ピントが合わない。

- 以下の内容を確認してください。
 - ピントが合う範囲から外れていないか。
 - [シャッター半押しAF]が[OFF]になっていないか。(P184)
 - [フォーカス/リリース優先]が[リリース]になっていないか。(P186)
 - 不適切な状態でAFロック(P90)がかかっていないか。
- レンズに指紋やほこりなどの汚れが付くと、レンズにピントが合うため、被写体にピントが合わないことがあります。

撮影した画像がブレている。手ブレ補正が効かない。

- 暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に動かないことがあります。このようなときは、三脚とセルフタイマーを使って撮影してください。

撮影した画像が粗い。ノイズが出る。

- 以下の内容をお試しください。
 - ISO感度を低くする(P92)
 - [フォトスタイル]の[ノイズリダクション]をプラス方向にするか、[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整する(P168)
 - [長秒ノイズ除去]を[ON]に設定する(P174)

被写体が曲がって撮影される。

- 以下の機能を使用中は、動いている被写体を撮影すると被写体が曲がって撮影される場合があります。
 - 電子シャッター
 - 動画撮影
 - 4Kフォト
 これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。

蛍光灯やLEDなどの照明下でちらつきや横しまが出る。

- 本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。
- 電子シャッター(P176)使用時は、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。
- 動画撮影中にちらつきや横しまが目立つ場合は、シャッタースピードを固定することで軽減できます。[フリッカー軽減](P180)を設定するか、クリエイティブ動画モード(P150)で撮影してください。



ISO感度が高いとき、横しが出ると出る。

- ISO感度が高いとき、使用するレンズによっては横しが出ることがあります。ISO感度を低くしてください。(P92)

撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。

- 蛍光灯やLEDなどの照明下では、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化することがあります。これは光源の特性により発生するもので、異常ではありません。
- 極端に明るい場所や、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横しが出ることがあります。

被写体がない明るい点が画像に記録される。

- 撮像素子の画素欠けの可能性がります。[ピクセルリフレッシュ](P207)を実行してください。

動画

動画が撮影できない。

- 容量の大きなカードをお使いの場合は、電源を入れたあとしばらくの間撮影できないことがあります。

動画撮影が途中で止まる。

- SDカードを使った動画の撮影には、対応したスピードクラスのSDカードが必要です。対応したSDカードをお使いください。(P27)

4K動画撮影時、AFでピントが合いにくいことがある。

- 高い精度でピントを合わせるために、AFの速度を抑えて撮影する場合に生じる現象ですので、異常ではありません。

動画に「カチッ」、「ジー」などの異常音が録音される。録音される音声が非常に小さい。

- 撮影環境や使用するレンズによっては、絞りやフォーカスの動作音が動画に記録されることがあります。動画撮影中のフォーカス動作は[AF連続動作](P144)で[OFF]に設定できます。
- 動画撮影中にマイクの穴を塞がないでください。

動画に操作音が記録される。

- 撮影中の操作音が気になるときは、クリエイティブ動画モードに設定し、タッチ操作で撮影することをお勧めします。(P150)

フォーカスが合っていない部分にピーキングが表示される。

- [フォタスタイル]を[V-Log L]などガンマカーブを調整する設定にした場合、画像のノイズ成分がピントのコントラストとして誤って検出され、ピーキング表示されることがあります。撮影前にMFアシストでピントを確認することをお勧めします。

フォトスタイルを[V-Log L]にして撮影した動画をポストプロダクション処理すると、輝度や色のむら、またはノイズが現れる。

- 本機の動画は4:2:0/8 bitで記録されるため、青空や人の肌、白い壁などに輝度や色のむら、またはノイズが現れる場合があります。事前に試し撮りを行い、ポストプロダクション処理をした映像を確認してから、撮影することをお勧めします。

再生

再生できない。撮影した画像がない。

- パソコンでフォルダーや画像を加工すると、本機で再生できません。
- [再生モード]を[通常再生]に設定してください。(P211)

モニター/ファインダー

電源が入っているときに、モニター/ファインダーが消える。

- 設定した時間内に何も操作をしないと、[LVF/モニター自動OFF](P202)が動き、モニター/ファインダーが消灯します。
- アイセンサーの近くに手や物があることにより、モニター表示がファインダー表示に切り換わっていることがあります。

一瞬ちらつく、または一瞬画面の明るさが大きく変化することがある。

- シャッターボタンを半押ししたときや、被写体の明るさが変化したときにレンズの絞りが変化して発生する現象です。故障ではありません。

[LVF] ボタンを押してもモニターとファインダーが切り換わらない。

- パソコンと接続しているときは、ファインダー表示に切り換えられません。

ファインダーに明るさや色のむらが現れる。

- 本機のファインダーは有機ELを使用しているため、長時間同じ画面を表示すると焼き付きが発生します。記録される画像に影響はありません。

ファインダーの色合いが実際とは異なる。

- これは本機のファインダーの表示方式の特徴であり、異常ではありません。記録される画像に影響はありません。

フラッシュ

フラッシュが発光しない。

- フラッシュを閉じている場合は、フラッシュを開いてください。(P132)
- [Ⓞ] (発光禁止) になっている場合、フラッシュは発光しません。(P134、135、136)

Wi-Fi機能

Wi-Fi接続できない。電波が途切れる。

- スマートフォンなどの接続する機器をカメラに近づけて通信を行ってください。(通信距離は使用環境等により大きく変化します)
- 2.4 GHz帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くで使用すると、電波が途切れることがあります。それらの機器から十分に離れてご使用ください。
- スマートフォンなどの接続する機器が本機以外の無線アクセスポイントと接続されているときは、本機と接続できません。スマートフォンなどの接続する機器側のWi-Fi設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。
- バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- カメラを金属製のテーブルや棚に置くと電波に影響し接続しにくい場合があります。金属面から離してご使用ください。

スマートフォンのWi-Fi設定画面で本機が表示されない。

- スマートフォンのWi-Fi機能を一度オフにしてから、再度オンにしてお試しください。

画像送信が途中で失敗する。送信できない画像がある。

- 画像のサイズが大きすぎませんか？
 - [送信サイズ](P245)で画像サイズを小さくして送信してください。
 - [動画分割](P221)で動画を分割して送信してください。
- 送信できる画像のファイル形式(P236、239)

Wi-Fiのパスワードを忘れた。

- ネットワーク設定をリセットしてください。(P206)
ただし、[Wi-Fi設定]や[Bluetooth]で設定した情報もすべてリセットされます。

テレビ、パソコン

テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れる、色が付かない。

- テレビとの接続を確認してください。(P248)
- テレビの入力をHDMI入力にしてください。

ビエラリンク(HDMI)が働かない。

- カメラの[ビエラリンク]が[ON]になっていることを確認してください。(P204)
- 接続した機器側のビエラリンク(HDMI)の設定を確認してください。
- カメラの電源を入れ直してください。

パソコンとの通信ができない。

- カメラの[USBモード]を[PC(Storage)]に設定してください。(P204)
- カメラの電源を入れ直してください。

パソコンにSDカードが認識されない。(SDXCメモリーカードを使用している)

- お使いのパソコンがSDXCメモリーカードに対応しているか確認してください。
- パソコンと接続したときにカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。
- モニターの「通信中」の表示が消えない場合は、電源を切り、USB接続ケーブルを抜いてからもう一度接続してください。

その他

カメラを振ると「カタカタ」音がする。

- この音はボディ内手ブレ補正機構によるもので、故障ではありません。

カメラを振ると装着したレンズから「カタカタ」音がする。

- レンズによっては、レンズが内部で移動する音がする場合がありますが、故障ではありません。

レンズ部から音がする。

- 電源を入れたり切ったりするときに、レンズ移動や絞り動作を行う音で、故障ではありません。
- 明るさが変化したときに絞り動作を行う音で、異常ではありません。

シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。

- 暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF補助光ランプ(P185)が赤く点灯します。

カメラが熱くなる。

- ご使用中、カメラの表面が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。

時計が合っていない。

- カメラを長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。再度時計を設定してください。(P32)



使用上のお願い

本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビ、スピーカーや大型モーターなど)からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーを取り出し、ACアダプターを一度抜いてから、あらためて挿入または接続し、電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線の近くでは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなる場合があります。

コード、ケーブルは延長しないでください。

本機のそばにクレジットカードなど磁気の影響を受けるものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。

殺虫剤や揮発性のものを本機にかけない

- 外装ケースが変質したり、塗装がはがれたりするおそれがあります。

ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

お手入れについて

お手入れの際はバッテリーを取り出し、電源プラグをコンセントから抜いてから、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはがれたりするおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾を使用する場合は、その注意書きに従ってください。

■ 撮像素子のごみの付着について

レンズ交換の際に、マウント内部にごみが入り込むと、撮影条件によっては、撮像素子に付着したごみが写り込む場合があります。

本体の内部にごみやほこりが付着することを防ぐため、ほこりの多い場所でのレンズ交換は避けてください。本体を保管するときは、必ずボディキャップまたはレンズを付けてください。その際、ボディキャップに付着したごみは必ず取り除いてください。

■ ダストリダクション機能

本機は、撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクション機能を備えています。特にごみが気になる場合は、セットアップメニューの[センサークリーニング]を実行してください。

■ 撮像素子のごみの除去

撮像素子は非常に精密で、傷つきやすいため、やむをえずご自身でクリーニングする場合は、以下のことを必ずお守りください。

- 市販のプロワーで撮像素子の表面のほこりを吹き飛ばします。強く吹きすぎないようにしてください。
- プロワーをレンズマウントより中に入れしないでください。
- プロワーが撮像素子に触れないようにしてください。万一、プロワーが撮像素子に触れると傷がつきます。
- プロワー以外のものは使用しないでください。
- プロワーでもごみやほこりを除去できない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

■ ファインダーのお手入れについて

ファインダーが汚れた場合は、市販のプロワーでファインダーの表面のごみを吹き飛ばしてから、乾いた布で軽くふいてください。

- アイカップは取り外しできませんので、お手入れの際はアイカップが外れないようお気をつけください。
- 万一、強くこすってアイカップが外れた場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

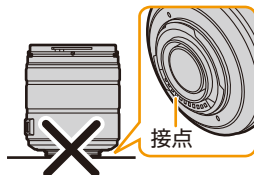
■ モニター/ファインダー

- モニターを強く押さえないでください。画面にむらが出ることや、故障の原因になることがあります。
- 寒冷地などでカメラが冷えきっている場合、電源を入れた直後はモニター/ファインダーが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

モニター/ファインダーは、精密度の高い技術で作られています。画面上に黒い点や白い点が現れることや、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。モニター/ファインダーの画素については高精度管理をしておりますが、画素欠けするものがあります。また、これらの点は、カードの画像には記録されないためご安心ください。

レンズ

- レンズ面を強く押さえつけないでください。
- 太陽や強い光源にレンズを向けないでください。集光作用により、火災・故障の原因になることがあります。
- レーザー光などの強い光線を、直接、本機(レンズ)に照射しないでください。撮像素子が破損し、本機の故障の原因になることがあります。
- レンズ表面の汚れ(水、油、指紋など)が画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前と撮影後に、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
- ほこりやごみの付着、侵入を防ぐため、使用しないときは、レンズキャップ、レンズリアキャップを取り付けてください。
- レンズの接点を保護するため、以下のことはしないでください。故障の原因になります。
 - レンズの接点に触れる
 - レンズの接点を汚す
 - レンズの接点を下にして置く
- 交換レンズ(H-FSA14140)は、防じん防滴性能の向上のため、マウント部にレンズマウントラバーを使用しています。
 - デジタルカメラのマウント部分にレンズマウントラバーのすれ跡が付いても、性能には問題ありません。
 - レンズマウントラバーの交換については、修理ご相談窓口にお問い合わせください。



バッテリー

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど性能への影響が大きくなります。

バッテリーの端子部を汚さないでください。

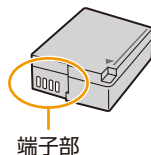
- 汚れた場合は、乾いた布でふいてください。

使用後は、必ずバッテリーを取り出してください。

- 取り出したバッテリーはポリ袋などに入れ、金属類(クリップなど)から離して保管、持ち運びしてください。

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認してください。

- 端子部が変形したバッテリーをカメラに入れると、カメラを傷めます。



不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ <http://www.jbrc.com>



使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

カード

カードを高温になるところや直射日光の当たるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しないでください。

カードを折り曲げたり、落としたりしないでください。

カードに強い振動を与えないでください。

- カードや撮影データが壊れるおそれがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カードの端子部にごみや水、異物を付着させないでください。また手などで触れないでください。

個人情報について

カメラ内および撮影した画像には個人情報が含まれます。個人情報の保護のため、Wi-Fi機能ロックを設定してセキュリティーを強化することをお勧めします。(P246)

- 画像には、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。
- サイレントモード、位置情報の書き込み、シャッター音の変更などの機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。
- 誕生日など第三者に推測されやすいパスワードの使用は避けるようにしてください。
- 他社サービスとは異なるパスワードの設定をお願いします。

免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。個人情報を含む情報の変化、消失が生じて、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼または譲渡/廃棄される時

- 個人情報の控えを取ったあと、カメラ内にお客様が登録または設定した無線 LAN 接続設定等の個人情報を含む情報を[ネットワーク設定リセット]を実行して必ず消去してください。(P206)
- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(P206)
- カメラからカードを取り出してください。
- 修理をすると、カメラが初期設定状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により、カメラの操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

カードを廃棄/譲渡するときのお願い

カメラやパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。

廃棄/譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトを使ってカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。

カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

長期間使用しないときは

- バッテリーとカードは必ずカメラから取り出してください。バッテリーを入れたままにしておくと、カメラの電源を切っても、絶えず微小電流が流れています。そのままにしておくと過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなるおそれがあります。
- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。(推奨温度: 15℃～25℃、推奨湿度: 40%RH～60%RH)
- 長期間保管する場合、1年に1回はバッテリーを充電し、カメラでバッテリーを使い切ってから、カメラから取り出して再保管することをお勧めします。
- 押し入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤(シリカゲル)と一緒に入れることをお勧めします。
- 長期間使用していないときは、撮影前に各部を点検してから使用してください。

画像データ

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

三脚/一脚

- カメラを取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚/一脚使用時は、バッテリーが取り出せないことがあります。
- 三脚/一脚の取り付けまたは取り外し時に、ねじが斜めにならないようお気をつけください。無理な力で回すとカメラの三脚取り付け部を傷つけるおそれがあります。ねじを締めすぎるとカメラに傷がつくことや、定格ラベルがはがれることがあるためお気をつけください。
- 三脚/一脚によっては、カメラに径の大きなレンズを取り付けると、台座にレンズが接触するものがあります。レンズが接触した状態でねじを締めると、カメラやレンズを傷つけることがあるため、三脚アダプター(別売: DMW-TA1)を取り付けてから三脚/一脚に装着することをお勧めします。
- 三脚/一脚の取扱説明書もよくお読みください。

ショルダーストラップ

- カメラに重いレンズを付けた場合は、ショルダーストラップだけを持ってつり下げないでください。カメラとレンズを持って持ち運んでください。

Wi-Fi機能

■ 本機は無線LAN機器としてお使いください

無線LAN機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。

無線LAN機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

■ Wi-Fi機能は日本での利用を前提としています

本機のWi-Fi機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください

- 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- 2.4 GHz帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

- 本製品に対応するソフトウェアを無断で営業目的として複製(コピー)したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用(他社製品との組み合わせ使用含む)、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

無線LAN/Bluetooth 使用上のお願い

■ 使用周波数帯

本機は2.4 GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に留意してご使用ください。

■ 周波数表示の見方

周波数表示は、セットアップメニューの[認証情報]で確認できます。

下記の「認証情報の表示方法」をご覧ください。

本機の無線LAN機能/Bluetooth機能(2.4 GHz帯)が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4DS4/OF4/XX1

2.4: 2400 MHz帯を利用する無線設備を表します。

DS/OF/XX: 変調方式が DSSS、OFDM、その他の方式であることを示します。

1: 想定される与干渉距離が約 10 mであることを示します。

4: 想定される与干渉距離が約 40 mであることを示します。

無線LAN/Bluetooth機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、電波の使用を停止したうえ、下記の連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、下記の連絡先へお問い合わせください。

LUMIX (ルミックス) ・ ムービーご相談窓口



フリーダイヤル
0120-878-638

■ 上記電話番号をご利用いただけない場合
06-6907-1187

バナハ ロクサンハチ

受付時間
9:00~18:00 月~土曜日
(祝日・正月三が日を除く)

■ FAX フリーダイヤル
0120-878-236

■ 認証情報の表示方法

本機の認証情報は、メニュー画面で確認できます。

MENU ボタン → **⌂** [セットアップ] → [認証情報]

バッテリーの撮影可能枚数、撮影可能時間

付属のバッテリーを使用して撮影できる枚数と時間は下記のとおりです。

- 写真の記録可能枚数は、CIPA(カメラ映像機器工業会)規格による。
- Nextorage 製 SDXC メモリーカード使用。
- 交換レンズ(H-FS12060)使用。
- 記載している数値は目安です。

■ 写真記録(モニター使用時)

撮影可能枚数	約280枚
--------	-------

■ 写真記録(ファインダー使用時)

()内は[省電力ファインダー撮影]の[時間]を[1秒]に設定し、[省電力ファインダー撮影]が働いた場合の数値です。(CIPA 規格をベースにした当社測定条件による)

撮影可能枚数	約300枚 (約1050枚)
--------	----------------

■ 動画撮影(モニター使用時)

画質設定	FHD/20M/30p	FHD/28M/60p	4K/100M/30p
撮影可能時間	約110分	約100分	約90分
実撮影可能時間	約55分	約50分	約45分

- 実撮影可能時間とは、電源の[ON]/[OFF]切り換え、撮影の開始/終了などを繰り返したときに撮影できる時間です。

■ 再生(モニター使用時)

再生使用時間	約190分
--------	-------


- 使用時間と撮影枚数は、周囲環境や使用条件によって変わります。
例えば、以下の場合には、使用時間と撮影枚数は減少します。
 - スキー場などの低温下
 - フラッシュ発光を繰り返したとき
- 充電直後でも、バッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。

カードの写真撮影枚数、動画記録時間


カードに記録できる写真の枚数と動画の時間は下記のとおりです。

- 記載している数値は目安です。

■ 写真撮影枚数(枚)

- 画像横縦比 [4:3]、クオリティ[]の場合

記録画素数	カードの容量			
	32 GB	64 GB	128 GB	256 GB
L(20M)	2910	5550	11180	22380
M(10M)	5280	10040	20220	40110
S(5M)	9220	16860	33950	64170

- 画像横縦比 [4:3]、クオリティ[RAW]の場合

記録画素数	カードの容量			
	32 GB	64 GB	128 GB	256 GB
L(20M)	900	1730	3490	7020
M(10M)	1050	2010	4060	8150
S(5M)	1150	2190	4420	8830

■ 動画記録時間(h: 時間、m: 分、s: 秒)

動画記録時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。

画質設定	カードの容量			
	32 GB	64 GB	128 GB	256 GB
4K/100M/30p	41m00s	1h20m	2h45m	5h35m
4K/100M/24p				
FHD/28M/60p	2h25m	4h50m	9h45m	19h55m
FHD/20M/30p	3h15m	6h25m	13h05m	26h35m
HD/10M/30p	6h20m	12h20m	25h00m	50h45m

- 撮影条件、カードの種類により記録可能枚数・記録可能時間は変動します。
- 記録可能枚数の残り枚数が10000枚以上の場合、撮影画面では[9999+]と表示されます。
- 動画記録時間の残り時間が100時間以上の場合、撮影画面に[99h59m]と表示されます。
- [画質設定]のサイズが[FHD]/[HD]の場合:
連続記録時間が30分を超える場合やファイルサイズが4GBを超える場合は、ファイルは分かれて保存・再生されます。(撮影は中断することなく続けることができます)
- [画質設定]のサイズが[4K]の場合:
以下の条件ではファイルは分かれて保存・再生されます。(撮影は中断することなく続けることができます)
SDHCメモリーカード使用時: ファイルサイズが4GBを超える場合
SDXCメモリーカード使用時: 連続記録時間が3時間4分を超える場合、ファイルサイズが96GBを超える場合
- 画面には、連続して動画を記録できる時間が表示されます。

各撮影モードで設定できる機能一覧

メニュー		iA	iA+	P	A	S	M	M	S&Q	SCN	🔄
📷 撮影											
画像横縦比		✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
記録画素数		✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
クオリティ			✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
AFS/AFF		✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
AF 追従感度(写真)				✓	✓	✓	✓			✓	✓
フォトスタイル			✓	✓	✓	✓	✓			✓	
フィルター設定	フィルター効果			✓	✓	✓	✓				
	フィルターなし同時記録			✓	✓	✓	✓				
色空間			✓	✓	✓	✓	✓			✓	
測光モード				✓	✓	✓	✓				✓
ハイライトシャドウ				✓	✓	✓	✓				
iD レンジコントロール				✓	✓	✓	✓			✓	
超解像				✓	✓	✓	✓			✓	✓
フラッシュ設定			✓	✓	✓	✓	✓			✓	
	発光モード			✓	✓	✓	✓				
	フラッシュモード		✓	✓	✓	✓	✓			✓	
	フラッシュシンクロ			✓	✓	✓	✓				
	フラッシュ光量調整			✓	✓	✓	✓			✓	
	露出補正連動			✓	✓	✓	✓			✓	
	マニュアル発光量設定			✓	✓	✓	✓				
	ワイヤレスモード			✓	✓	✓	✓				
	ワイヤレスチャンネル			✓	✓	✓	✓				
	ワイヤレス FP			✓	✓	✓	✓				
	ワイヤレス通信光量			✓	✓	✓	✓				
	ワイヤレス設定			✓	✓	✓	✓				
ISO感度設定(写真)	ISOオート下限設定			✓	✓	✓	✓			✓	
	ISOオート上限設定			✓	✓	✓	✓			✓	
下限シャッター速度				✓	✓						
長秒ノイズ除去				✓	✓	✓	✓			✓	✓
シェーディング補正				✓	✓	✓	✓			✓	✓
回折補正				✓	✓	✓	✓			✓	✓

メニュー		iA	iA+	P	A	S	M	M	S&Q	SCN	👍
手ブレ補正	動作設定		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
	電子補正(動画)		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
	手ブレロック(動画)		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
	焦点距離設定		✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
EX テレコン(写真)			✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
デジタルズーム				✓	✓	✓	✓				✓
連写速度		✓	✓	✓		✓	✓			✓	✓
4K フォト	撮影方法	✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
	プリ記録	✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
	ループ記録(4Kフォト)	✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
セルフタイマー		✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
インターバル/コマ撮り撮影		✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
ライブビューコンポジット撮影							✓				
サイレントモード		✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
シャッター方式			✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
シャッターディレイ			✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
ブラケット			✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓
HDR				✓	✓	✓	✓				
多重露出	自動ゲイン補正			✓	✓	✓	✓				
	再生画像と多重			✓	✓	✓	✓				

メニュー		iA	iA+	P	A	S	M	M	S&Q	SCN	👍
📹 動画											
画質設定		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
スナップムービー		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
AFS/AFF		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
AF 連続動作			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
AF カスタム設定(動画)			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
フォトスタイル			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
フィルター設定	フィルター効果			✓	✓	✓	✓	✓			
	フィルターなし同時記録			✓	✓	✓	✓				
輝度レベル設定			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
測光モード				✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓

メニュー		iA	iA+	P	A	S	M	端M	S&Q	SCN	👍
ハイライトシャドウ				✓	✓	✓	✓	✓	✓		
iD レンジコントロール				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
超解像				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ISO感度設定 (動画)	ISOオート下限設定							✓	✓		
	ISOオート上限設定							✓	✓		
回折補正				✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
手ブレ補正	動作設定		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	電子補正 (動画)		✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
	手ブレロック (動画)		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	焦点距離設定		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
フリッカー軽減				✓	✓	✓	✓				
EX テレコン (動画)			✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
デジタルズーム				✓	✓	✓	✓	✓			✓
動画撮影中の写真撮影				✓	✓	✓	✓			✓	✓
録音レベル表示			✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
録音レベル設定			✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
録音レベルリミッター			✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
風音キャンセラー			✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
風音低減 ^{※1}			✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
レンズ動作音低減 ^{※2}			✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
専用マイク設定 ^{※3}		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
音声モニタリング		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

※1 外部マイク (別売) 装着時に設定できます。

※2 パワースーム対応の交換レンズ装着時に設定できます。

※3 ステレオガンマイクロホン (別売: DMW-MS2) 装着時に設定できます。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源	7.2 V===
消費電力	3.3 W(モニター撮影時)、2.6 W(モニター再生時) [交換レンズ(H-FSA14140)使用時]

型式

型式	レンズ交換式デジタル一眼カメラ
レンズマウント	マイクロフォーサーズマウント
記録メディア	SDメモリーカード / SDHCメモリーカード※ ¹ / SDXCメモリーカード※ ¹ ※ ¹ UHS-I/UHS-II UHS Speed Class 3 (U3) 規格対応

撮像素子

撮像素子	4/3型 CMOSセンサー、総画素数約2180万画素、 原色カラーフィルター
カメラ有効画素数	約2030万画素

ラチチュード

12ストップ(V-Log L)

静止画記録形式

静止画ファイル形式	JPEG (DCF 準拠、Exif2.31 準拠) / RAW	
4K フォトファイル形式	MP4 (H.264/MPEG-4 AVC、AAC (2ch))	
記録画素数 (画素)	画像横縦比 [4:3] 設定時 L: 5184×3888 M: 3712×2784 S: 2624×1968 4K フォト: 3328×2496	画像横縦比 [3:2] 設定時 L: 5184×3456 M: 3712×2480 S: 2624×1752 4K フォト: 3504×2336
	画像横縦比 [16:9] 設定時 L: 5184×2920 M: 3840×2160 S: 1920×1080 4K フォト: 3840×2160	画像横縦比 [1:1] 設定時 L: 3888×3888 M: 2784×2784 S: 1968×1968 4K フォト: 2880×2880
写真画質	RAW / RAW+ ファイン / RAW+ スタンダード / ファイン / スタンダード	

動画記録形式

動画フォーマット	MP4 : H.264/MPEG-4 AVC
音声圧縮形式	MP4 : AAC (2ch)
動画画質	解像度や記録フレームレートなど、動画画質については「画質設定」のページをお読みください。(P143)

ファインダー

形式	アスペクト比 4:3、0.39 型、約 236 万ドット、有機 EL (OLED) ライブビューファインダー
視野率	約 100 %
倍率	約 1.48 倍、約 0.74 倍 (35 mm フィルムカメラ換算)、 - 1.0 m ⁻¹ 50 mm 無限遠時、画像横縦比 [4:3] 設定時
アイポイント	約 20 mm (- 1.0 m ⁻¹ 時)
視度調整範囲	- 4.0 ~ +4.0 diopter
アイセンサー	あり

モニター

形式	アスペクト比 3:2、3.0 型、約 184 万ドットモニター、 静電容量方式タッチパネル
視野率	約 100 %

フォーカス

AF 方式	映像検出による TTL 方式 (コントラスト AF)
フォーカスモード	AFS / AFF / AFC / MF
AF モード	顔・瞳認識 / 追尾 / 49 点 / カスタムマルチ / 1 点 / ピンポイント (タッチによるフォーカスエリア選択可能)

露出制御

測光方式、測光モード	1728 分割測光、マルチ測光 / 中央重点測光 / スポット測光
測光範囲	EV 0 ~ EV 18 (F2.0 レンズ、ISO100 換算)
露出	プログラム AE (P)、絞り優先 AE (A)、シャッター優先 AE (S)、 マニュアル露出 (M)
露出補正	1/3 EV ステップ、±5 EV
ISO 感度 (標準出力感度)	静止画：オート / インテリジェント ISO / 100 ^{*2} / 200 / 400 / 800 / 1600 / 3200 / 6400 / 12800 / 25600 クリエイティブ動画：オート / 100 ^{*2} / 200 / 400 / 800 / 1600 / 3200 / 6400 ※2 [拡張 ISO 感度] 設定時 ● 1 EV ステップ (1/3 EV ステップに変更可能)

手ブレ補正

手ブレ補正方式	撮像素子シフト方式、5軸補正、Dual I.S.2対応
手ブレ補正効果	ボディ内手ブレ補正：5.0 段 [焦点距離 f=60 mm(35 mm 換算 f=120 mm)、交換レンズ (H-FS12060)使用時] Dual I.S.2：5.0 段 [焦点距離 f=140 mm(35 mm 換算 f=280 mm)、交換レンズ (H-FSA14140)使用時] (CIPA 規格準拠、Yaw / Pitch 方向)

ホワイトバランス

ホワイトバランスモード	AWB / AWBc / AWBw / 晴天 / 曇り / 日陰 / 白熱灯 / フラッシュ / ホワイトセット 1・2・3・4 / 色温度 1・2・3・4
-------------	--

シャッター

形式	フォーカルプレーンシャッター
シャッター速度	静止画： メカシャッター：バルブ(最大約 30 分)、60 ~ 1/4000 秒、 電子先幕：バルブ(最大約 30 分)、60 ~ 1/2000 秒、 電子シャッター：1 ~ 1/16000 秒 動画： 1/25 ^{*3} ~ 1/16000 秒 ※3 クリエイティブ動画モードで [動画露出設定] を [M]、フォーカスモードを [MF] に設定時、1/2 秒まで設定可能

連写撮影

メカシャッター / 電子先幕	9 コマ / 秒 (高速、AFS/MF) ※4 6 コマ / 秒 (高速、AFF/AFC) ※4 6 コマ / 秒 (中速) 2 コマ / 秒 (低速) ※4 交換レンズ (H-FS12060) 使用時
電子シャッター	9 コマ / 秒 (高速、AFS/MF) 6 コマ / 秒 (高速、AFF/AFC) 6 コマ / 秒 (中速) 2 コマ / 秒 (低速)
最大撮影可能コマ数	RAW ファイルあり：27 コマ以上(当社測定条件による撮影時) RAW ファイルなし：600 コマ以上(UHS-II UHS Speed Class 3 対応 SDXC メモリーカード使用時、当社測定条件による撮影時)

最低被写体照度

約 9 lx (iローライト時、シャッタースピード 1/30 秒)[交換レンズ (H-FSA14140) 装着時]
--

フラッシュ

フラッシュ	TTL 調光内蔵ポップアップ式 GN9.0相当 (ISO200・m) [GN6.4 相当 (ISO100・m)]
フラッシュモード	オート / 赤目軽減オート / 強制発光 / 赤目軽減強制発光 / スローシンクロ / 赤目軽減スローシンクロ / 発光禁止
フラッシュ同調速度	1/200秒以下
撮影可能範囲	約0.5 m ~ 約7.3 m [交換レンズ(H-FSA14140) 装着、W 端、[ISO AUTO] 設定時]

ズーム

デジタルズーム	2倍 / 4倍
EX テレコン (写真)	最大約 2.0 倍 (画像サイズ [S] 選択時)
EX テレコン (動画)	約 2.7 倍 (画質設定 [FHD] 選択時) 約 4.0 倍 (画質設定 [HD] 選択時)

表示言語切り換え

[日本語] / [ENGLISH] (英語) / [简体中文] (簡体字中国語) /
[繁體中文] (繁体字中国語) / [한국어] (韓国語)

マイク / スピーカー

マイク	ステレオ
スピーカー	モノラル

インターフェース

USB / CHARGE	USB Type-C®、USB 2.0 (High Speed)
HDMI	micro HDMI Type D
[REMOTE]	Ø2.5 mm ジャック
[MIC]	Ø3.5 mm ステレオミニジャック Plug-in Power 対応 入力基準レベル: - 55 dBV (マイク入力)
ヘッドホン	Ø3.5 mm ステレオミニジャック

防じん防滴

あり

外形寸法 / 質量

外形寸法	約幅 130.4 mm × 高さ 93.5 mm × 奥行き 77.4 mm (突起部除く)
質量	約 530 g (本体、バッテリー、カード含む) 約 478 g (本体のみ)

動作環境

推奨使用温度	0℃～40℃
許容相対湿度	10%RH～80%RH

Wi-Fi

準拠規格	IEEE 802.11b/g/n(無線LAN標準プロトコル)
使用周波数範囲 (中心周波数)	2412 MHz～2462 MHz(1～11ch)
暗号化方式	WPA TM /WPA2 TM 、Wi-Fi 準拠
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

Bluetooth

準拠規格	Bluetooth v5.0、Bluetooth Low Energy (BLE)
使用周波数範囲 (中心周波数)	2402 MHz～2480 MHz

リチウムイオンバッテリーパック: DMW-BLC12

電圧/容量	7.2 V/1200 mAh
-------	----------------

本製品(付属品を含む)に表示の記号は以下を示しています。

===	DC (直流)
-----	---------

交換レンズ:

H-FSA14140 (LUMIX G VARIO 14-140mm/F3.5-5.6 II ASPH./POWER O.I.S.)

マウント	マイクロフォーサーズマウント
焦点距離	f=14 mm ~ 140 mm (35 mmフィルムカメラ換算: 28 mm ~ 280 mm)
レンズ構成	12群 14枚 (非球面レンズ 3枚、EDレンズ 2枚)
絞り形式	7枚羽根 円形虹彩絞り
開放絞り	F3.5 (W端時) ~ F5.6 (T端時)
最小絞り値	F22
画角	75° (W端時) ~ 8.8° (T端時)
撮影範囲	0.30 m ~ ∞ [撮像面から] (焦点距離 14 mm ~ 21 mm) 0.50 m ~ ∞ [撮像面から] (焦点距離 22 mm ~ 140 mm)
最大撮影倍率	0.25x (35 mmフィルムカメラ換算: 0.5x)
手ブレ補正	あり
フィルター径	58 mm
最大径	Ø67 mm
全長	約75 mm (レンズ先端からレンズマウント基準面まで)
質量	約265 g
防じん防滴	あり
推奨使用温度	0 °C ~ 40 °C
許容相対湿度	10 %RH ~ 80 %RH

商標、ライセンス

- マイクロフォーサーズ™ 及びマイクロフォーサーズ ロゴマークはOMデジタルソリューションズ(株)の米国・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- “Nextorage”はNextorage株式会社の登録商標または商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- USB Type-C® およびUSB-C® はUSB Implementers Forum の登録商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- Adobeは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、macOS は、米国 Apple Inc. の米国、および各国における商標、または登録商標です。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Google、Android、Google Play は Google LLC の商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニックホールディングス株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- “Wi-Fi®” は “Wi-Fi Alliance®” の登録商標です。
- “WPA™”、“WPA2™” は “Wi-Fi Alliance®” の商標です。
- QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。



本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニックが独自に開発したソフトウェア
 - (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
 - (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0(GPL V2.0)に基づきライセンスされたソフトウェア
 - (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1)に基づきライセンスされたソフトウェア
 - (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア
- 上記(3)～(5)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、[MENU/SET]→[セットアップ]→[バージョン表示]→[ソフト情報]で表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0 または LGPL V2.1 に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口: oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。

<https://docs.connect.panasonic.com/oss/>

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i) 画像情報を AVC 規格に準拠して(以下、AVC ビデオ)記録すること。
- (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。

詳細については MPEG LA, L.L.C. ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

さくいん

あ行

アイカップ	276
アイセンサー	203
アイセンサー AF	184
青空をさわやかに撮る	68
アクセス表示	26
圧縮率	166
位置情報記録	237
イルミネーションをキラキラ撮る	69
色温度設定	94
色空間	170
インターバル撮影	114
インターバル動画作成	221
インテリジェントオートプラスモード	55
インテリジェントオートメニュー	56
インテリジェントオートモード	54、55
インテリジェント ISO	92
インプレッシブアート	71
ヴィヴィッド	167
動くベットのきちんと撮る	69
後ダイヤル	37
エコモード	202
お気に入り登録する (Wi-Fi 接続)	243
お手入れ	275
音声モニタリング	182
オートフォーカス	75
オートフォーカスモード	78
オートホワイトバランス	94、95
オートマーキング	108
オートレビュー	189
オールドデイズ	71

か行

回折補正	175
ガイドライン表示	191
外部マイク	257
顔・瞳認識	78、79
拡張 ISO 感度	93
下限シャッター速度	173
画質調整	168
カスタムセット登録	66
カスタムマルチ (AF)	80
カスタムメニュー	183
カスタムモード	66
カスタム (フォトスタイル)	167
風音キャンセラー	181
風音低減	258
画像回転	221
画像表示順	222
画像横縦比	165

カレンダー表示	161
ガンマ設定 (フォトスタイル)	167
カード	25、27、278
機器名称	246
軌跡合成	216
輝度レベル設定	180
逆光でしっかり撮る	68
逆光でふんわり撮る	68
逆光補正	56
記録画素数	166
記録可能時間 (動画撮影時)	282、283
記録可能枚数	282、283
記録枠表示	194
クイックメニュー	48
クイック AF	184
クオリティ	166
クリアレタッチ	217
クリエイティブコントロールメニュー	70
クリエイティブコントロールモード	70
クリエイティブ動画モード	150
グループ画像	162
クロスフィルター	71
クロスプロセス	71
言語設定	204
光学ズーム	127
個人認証	196
子どもをかわいく撮る	68
コマ撮りアニメ	116
コマ撮りアニメ作成	222
コントラスト	168
コントロールダイヤル	39

さ行

再生	157
再生ズーム	160
再生メニュー	209
再生モード	211
彩度	168
サイレントモード	175
撮影距離基準	88
撮影メニュー	165
撮影 / 再生切換	51、52
サムネイル表示	160
三脚	279
サンシャイン	71
残枚数 / 残時間切換	194
シェーディング補正	174
ジオラマ	71
色調	168
自動画像転送	236

電子補正 (動画).....	124	ピンポイント (AF).....	78、84
トイフォト.....	71	ピーキング.....	190
トイポップ.....	71	ファイル番号.....	205、206、264
動画から写真を作成.....	159	ファインダー.....	35、260
動画記録中の赤枠表示.....	194	ファインダー / モニター自動切り換え.....	35
動画再生.....	158	ファンタジー.....	71
動画撮影.....	141	フィルター効果.....	70、168、169
動画撮影中の写真撮影.....	146	フィルター設定.....	169
動画の縦位置情報.....	195	フィルターなし同時記録.....	170
動画分割.....	221	風景をきれいに撮る.....	68
動画ボタン.....	36、141、188	風景 (フォトスタイル).....	167
動画メニュー.....	180	フェード.....	147
動画露出設定.....	150	フォトスタイル.....	167
時計設定.....	32	フォルダー番号.....	205、206、264
ドライブモード.....	97	フォルダー / ファイル設定.....	205
トライポッドグリップ.....	259	フォーカスエリア選択.....	51
トラベル日付.....	200	フォーカス合成.....	112
トリミング (切抜き).....	220	フォーカスセレクト.....	109
		フォーカスブラケット.....	121
		フォーカスモード.....	76
		フォーカスリングロック.....	188
		フォーカス枠のループ移動.....	186
		フォーカス / リリース優先.....	186
		フォーマット.....	27
		ブラケット.....	119
		フラッシュ.....	132
		フラッシュ光量調整.....	137、139
		フラッシュシンクロ.....	136
		フラッシュ設定.....	134
		フラッシュモード.....	134
		プリ記録.....	101
		リッカー軽減.....	180
		ブリーチバイパス.....	71
		プレビュー.....	64
		プログラムシフト.....	58
		プログラム AE モード.....	58
		プロテクト.....	211
		プロフィール設定.....	198
		ヘッドホン音量.....	182
		ボケ味コントロール.....	57、74
		星空 AF.....	75
		ホットシュー.....	133
		ホットシューカバー.....	133
		ポップ.....	71
		ボディ内手ブレ補正.....	123
		ほのぼのした雰囲気撮る.....	68
		ホワイトバランス.....	94
		ホワイトバランスの調整.....	96
		ホワイトバランスブラケット.....	122

な行

ナチュラル (フォトスタイル).....	167
認証情報.....	207
認証情報編集.....	212
ネットワークアドレス表示.....	246
ネットワーク設定リセット.....	206
ノイズリダクション.....	168

は行

ハイキー.....	71
ハイダイナミック.....	71
ハイライトシャドウ.....	171
ハイライト表示.....	192
パソコン接続.....	251
発光禁止.....	134
発光モード.....	134、139
バッテリー.....	20、277
バッテリーグリップ.....	256
バッテリー使用順序.....	256
花をふんわり撮る.....	69
バルブ撮影.....	61、233
パワーズームレンズ.....	130
番号リセット.....	206
バージョン表示.....	205
ピエラリンク.....	204、250
比較明合成.....	215
ピクセルリフレッシュ.....	207
ヒストグラム表示.....	191
ピント.....	75、87、144
ピント送り.....	148
ピンポイント AF 設定.....	185

ま行

マイメニュー設定	208
前ダイヤル	37
マニュアル発光量設定	134、139
マニュアルフォーカス	87
マニュアル露出モード	60
マルチ測光	171
マーカー	108
メカシャッター	176
メニューガイド	194
文字入力	53
文字焼き込み	218
モニター	31、260
モニター輝度	203
モニター撮影情報画面	41、48、50、193
モニター調整	203
モニター表示速度	203
モノクロで撮る	69
モノクロライブビュー	189
モノクローム	71、167

や行

夜景を暖かく撮る	69
夜景をアーティストチックに撮る	69
夜景をきれいに撮る	69
夜景を手持ちで撮る	69
夜景をバックに人物をきれいに撮る	69
夕焼けを印象的に撮る	68
夕焼けを幻想的に撮る	68
夜空をクールに撮る	69

ら行

ライブビューコンポジット撮影	62
ライブビューブースト	190
ラフモノクローム	71
リサイズ (縮小)	219
リモコンの動画ボタン	257
リモート起動	238
リモート撮影	232
リモート優先操作設定	232
粒状	168
料理をおいしそうに撮る	69
ループ記録	101
レトロ	71
連写	98
連写速度	98
レンズ	18、28、277
レンズ位置メモリー	195
レンズ動作音低減	181

レンズ内手ブレ補正	123
レンズフード	29
レンズFn ボタン設定	195
連続撮影可能枚数	98
レーティング	211
録音レベル設定	149
録音レベル表示	149
録音レベルリミッター	149
露出ブラケット	120
露出補正	91
露出補正画面の操作	38
露出補正リセット	184
露出補正連動	137
露出メーター	193
ローキー	71

わ行

ワイヤレス設定	138
ワイヤレスチャンネル	138
ワイヤレス通信光量	140
ワイヤレスフラッシュ	138
ワイヤレスモード	138
ワイヤレス FP	140
ワンブッシュ AE	65
ワンポイントカラー	71
ワールドタイム	199

英数字

1 点 (AF)	78
1 枚消去	52、163
49 点 (AF)	78、186
4K フォト	100
4K フォト一括保存	105
4K プリ連写	100、101
4K ライブクロップ	151
4K 連写	100
4K 連写ファイル	101
4K 連写 (S/S)	100、101
5 軸ハイブリッド手ブレ補正	124
AF	75
AF エリア表示	186
AF カスタム設定 (動画)	144
AF 追従感度 (写真)	77
AF 補助光	185
AF 連続動作 (動画)	144
AFC	76、144
AFF	76、144
AF-ON	90
AFS	76、144
AFS/AFF	76

AF/AE ロック.....	90	TTL.....	134
AF/AE ロック維持.....	184	UHS スピードクラス.....	27
AF/AE ロック切換.....	90	USB 給電.....	204
AF+AE.....	86	USB 接続ケーブル.....	22、251
AF+MF.....	187	USB モード.....	204
Bluetooth (メニュー).....	201	V-Log L.....	145、167
B (バルブ).....	61、233	WB/ISO/露出補正ボタン.....	187
CLUB Panasonic 登録.....	199	Wi-Fi 機能ロック.....	246
DCF 規格.....	157	Wi-Fi 設定メニュー.....	246
Dual I.S. 方式.....	123	WIRELESS 接続ランプ.....	201、224
EX テレコン.....	127		
Fn ボタン.....	50		
Fn ボタン設定.....	50		
HDAVI Control™.....	250		
HDMI 出力解像度 (再生時).....	204		
HDMI 情報表示 (撮影時).....	204、249		
HDMI マイクロケーブル.....	247、250		
HDR.....	177		
i 手持ち夜景.....	56		
iD レンジコントロール.....	172		
iHDR.....	56		
IP アドレス.....	246		
ISO オート上限設定.....	173		
ISO 感度.....	92		
ISO 感度画面の操作.....	38		
ISO 感度ステップ.....	184		
ISO 感度設定 (写真).....	173		
ISO 感度設定 (動画).....	151		
i.ISO (インテリジェント ISO).....	92		
LUMIX Sync.....	225		
LVF 調整.....	203		
LVF/モニター切換.....	203		
LVF/モニター自動 OFF.....	202		
LVF/モニター表示スタイル.....	51		
LVF/モニター表示設定.....	40、193		
L. モノクローム.....	167		
L. モノクローム D.....	167		
MAC アドレス.....	246		
MF.....	87		
MF アシスト.....	187		
MF アシスト表示.....	187		
MF ガイド.....	193		
Q.MENU.....	48、188		
RAW.....	166		
RAW 現像.....	213		
SD スピードクラス.....	27		
S&Q 画質設定.....	156		
S&Q 効果.....	156		
S&Q モード.....	154		
S&Q 露出設定.....	156		

保証とアフターサービス(よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です


販売店名

電話 () —

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「メッセージ表示」(P265)「Q&A 故障かな?と思ったら」(P267)でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。付属品や別売品のアクセサリと組み合わせての現象で修理を依頼される場合は、該当の付属品やアクセサリも一緒に修理をご依頼ください。

製品名	デジタルカメラ / レンズキット / ボディ
品番	<input type="checkbox"/> DC-G99M2H <input type="checkbox"/> DC-G99M2 <input checked="" type="checkbox"/>  お買い上げの品番に記入してください。
故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間:お買い上げ日から本体1年間

保証書は日本国内においてのみ有効です。

The warranty is valid only in Japan.

保証書承諾内容、仅限于产品在日本国内使用时有效。

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料

診断・修理・調整・点検などの費用

部品代

部品および補助材料代

出張料

技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間

8年

当社は、このデジタルカメラ / レンズキット/ボディの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

サポート総合窓口 <https://panasonic.jp/support>



LUMIX (ルミックス)・ムービー 使い方・お手入れなどのご相談窓口



フリーダイヤル
0120-878-638

パナは ロクサンハチ

0120-878-638

受付時間
9:00~18:00 月~土曜日
(祝日・正月三が日を除く)

■ 上記電話番号がご利用いただけない場合 ■ FAX フリーダイヤル
06-6907-1187 **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)



修理に関するご相談窓口



フリーダイヤル
0120-878-554

パナは イイヨ

0120-878-554

■ 上記電話番号がご利用いただけない場合
03-6633-6700



<https://panasonic.jp/support/repair.html>

- ・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。
(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ・ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- ・上記の URL はお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検 長年ご使用のデジタルカメラの点検を!



こんな症状は
ありませんか

- ・煙が出たり、異常なおいや音がる
- ・映像や音声が乱れたり出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・本体やACアダプターが破損した
- ・その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、本体の電源を切り、ACアダプター使用時はコンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、登録商品のサポートも充実

詳しくはこちら <https://club.panasonic.jp/aiyo/>



- カメラのモニターに表示される QR コードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます。
以下の操作をすると QR コードを表示できます。

- ① [MENU] ボタンを押す
- ②  [セットアップ] から [CLUB Panasonic 登録] の [QRコード表示] を選ぶ

パナソニック株式会社
パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社
〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2025

ファームウェアアップデート

- **ファームウェアバージョン1.3: F-3**

本機の性能向上、機能追加やセキュリティー強化のため、ファームウェアアップデートを実施しました。

以降では、ファームウェアアップデートの詳細について説明します。

- カメラのファームウェアのバージョンは、セットアップメニューの[バージョン表示]でご確認ください。
- ファームウェアの最新情報やダウンロード、アップデート方法については、下記サポートサイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/download/index.html>

アプリケーションについて

カメラのファームウェアをアップデートした場合は、スマートフォン用アプリケーションは最新バージョンをご使用ください。

【LUMIX Sync】

- お使いのスマートフォンでインストール/アップデートしてください。
-

ファームウェアバージョン 1.3

- セキュリティ強化に伴う機能変更: F-4






セキュリティ強化に伴う機能変更

Wi-Fi 機能の変更

セキュリティ強化のため、本機とスマートフォンを Wi-Fi で直接接続する場合、本機のパスワードを変更できるようになりました。

[Wi-Fi 設定]の[機器名称]のメニュー項目は、[機器名称/パスワード]に変更されました。

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi設定]

機器名称 / パスワード

カメラの名前 (SSID) とパスワードを変更できます。

- 機器名称、パスワードを変更するには、[DISP.] ボタンを押してください。
- 入力できる文字数は、機器名称は最大 32 文字、パスワードは 8 文字から 63 文字です。

- 文字の入力方法: (P53)
- パスワードを忘れてしまった場合、セットアップメニューの[ネットワーク設定リセット]をするとパスワードをリセットできます。(P206)